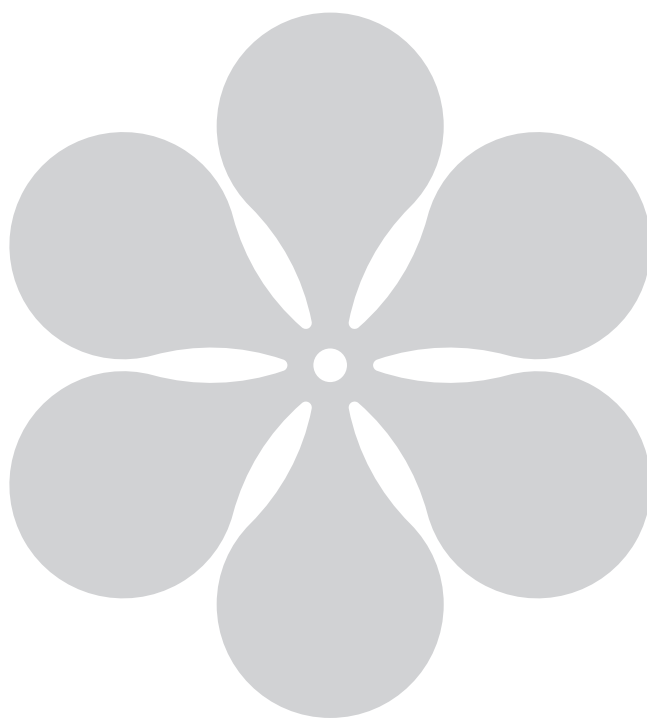


# 札幌市立大学年報

2022年度



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY



# 目次

## I 概要

1 大学の概要	1
2 デザイン学部の概要	4
3 看護学部の概要	5
4 デザイン研究科の概要	6
5 看護学研究科の概要	7
6 助産学専攻科の概要	8
7 2022年度の特筆すべき事項	9
8 行事	10

## II 教育活動

1 教育活動概要	11
2 学際教育・共通教育・連携教育	12
3 デザイン学部	14
4 看護学部	28
5 デザイン研究科	42
6 看護学研究科	48
7 助産学専攻科	60
8 デザインと看護の連携教育	63

## III 研究活動

1 個人研究費による研究一覧	65
2 学内公募研究課題一覧	68
3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況	69
4 寄附金の受入状況	71
5 その他研究助成	71
6 海外出張記録	72

## IV 社会活動

1 地域貢献諸活動	73
2 公開講座開催実績	85
3 国・自治体審議会等への就任状況	88
4 専門職支援・セミナー講師等	93
5 国際交流実績	101
6 サテライトキャンパスの利用状況	101

## V キャリア支援活動

1 デザイン学部	102
2 看護学部(助産学専攻科含む)	107
3 デザイン研究科	110

## VI 令和5年度入学者選抜結果

1 デザイン学部・看護学部	113
2 デザイン研究科・看護学研究科	120
3 助産学専攻科	125

## Ⅶ 附属図書館

1 概要	126
2 利用状況	127

## Ⅷ 法人・学内運営の概要

1 2022年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図	128
2 役員会及び審議会の審議状況	128
3 役員会及び審議会委員名簿(2022年4月1日現在)	129
4 経営会議	130
5 部局長会議	130
6 企画室	131
7 広報室	131
8 教授会	131
9 地域連携研究センター	132
10 AITセンター	133
11 附属図書館	133
12 アドミッションセンター	134
13 教育支援プロジェクトセンター	134
14 情報基盤センター	134
15 学内委員会	134
16 構成員名簿(2022年4月18日時点)	136
17 FD・SD活動	141

## Ⅸ 資料

1 2022年度計画	144
2 2022年度 決算報告書	154
3 教職員数(2023年3月31日現在)	155
4 管理職一覧表(2023年3月31日現在)	155
5 学生定員及び学生数(2022年5月1日現在)	156
6 授業料等	157
7 奨学金貸与・授業料減免実施状況(2023年3月31日現在)	157
8 学生の入選・受賞(デザイン学部)	159
9 学生の課外活動	160
10 後援会	161
11 教育・研究刊行物一覧	161
12 施設	162
13 大学へのアクセス	167
14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』	168

## Ⅹ 教員一覧

1 教員一覧	169
2 教員業績一覧	170



# I 概要

## 1 大学の概要

### 1) 設置の経緯

環境問題や少子高齢化、高度情報化、国際化などの進展に伴い、社会構造がますます複雑化する中で、学術研究の高度化、学際化とともに、社会では高い資質と能力を持った職業人が強く求められている。

特に、札幌市においては、公共事業の削減が進む中、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要であり、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

また、今後も当分の間、看護職の不足が続くと予測されているにもかかわらず、看護職養成施設の廃止や定員の削減に伴う新卒看護職の減少が懸念されている。そうした中、在宅医療を支える訪問看護等の需要増加を始めとして、今後は、患者の生活の質向上を目指したケアを行うことができる、広範で高度な看護能力を有する看護職の確保が求められている。

一方、今日の高等教育機関には、その高度な教育研究機能を通じて、これまで以上に地域社会への貢献を果たすことが大きな社会的要請となっている。

1991年に開校した札幌市立高等専門学校は、中学卒業時から5年間の早期一貫教育を行うデザイン系高等教育機関として、実践的職業人を数多く輩出してきたほか、企業や行政からの受託研究などを通じて、産業の振興や市民生活の向上に貢献してきた。

また、1965年に開校した札幌市立高等看護学院は、高校卒業後の3年課程の専修学校として、市立札幌病院を始めとする札幌市内の医療機関に看護職を多数輩出し、市民の健康支援に貢献してきた。

このような状況の中で、先の地域課題への対応や社会的要請にこたえるために、札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院の大学化の必要性と方向性について幅広い論議を行うべく、2001年11月、「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」を設置した。

大学化検討懇話会は、市民論議の中心的役割を担う立場から、インターネットを始め、さまざまな形で寄せられる市民の意見に耳を傾け、審議経過を逐次公開しながら検討を進め、2002年12月、約1年間にわたる市民論議の集大成として、「札幌市立高等専門学校と札幌市立高等看護学院が社会構造の変化に的確に対応し、かつ、地域社会の要請にこたえていくためには、4年制大学化によるレベルアップをできるだけ早期に図る必要がある。」とした「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」をまとめた。

こうした市民論議の経過を踏まえて、札幌市では、2003年9月に「(仮称)札幌市立大学基本構想」を策定し、2006年春の開学を目指すこととした。

そして、この基本構想に盛り込まれた方向性を具体化するために、2003年11月に大学教育の専門家を中心とする「(仮称)札幌市立大学設置準備委員会」を設置して調査・審議を進め、学部・学科や教育課程、学生の受け入れ、校地・校舎のあり方といった事項について、準備委員会における検討内容を踏まえて、2004年7月に「(仮称)札幌市立大学基本計画」を策定し、2005年4月に札幌市立大学の設置認可申請を行った。同年12月に大学の設置が認可され、2006年4月に開学した。

また、デザインと看護の学部での教育を基盤として、より高度な専門的知識を有する高度専門職業人及び研究者・教育者の育成を目的として大学院修士課程を設置することとした。

大学院修士課程は大学院基本計画に基づき学部1期生の卒業時期に合わせた開設が計画され、2009年5月に札幌市立大学大学院設置認可申請書を文部科学省に提出、10月に大学院の設置が認可され、2010年4月に札幌市立大学大学院修士課程を開設した。

大学院修士課程の開設と併せて、より高度な能力を持った助産師の養成が必要とする社会的要請を受け、本学に助産学専攻科を設置して助産師を育成することとした。

その後、2011年5月に大学院デザイン研究科・看護学研究科の課程変更認可申請書(修士課程を博士課程に変更)を文部科学省に提出、同年10月に認可され、2012年4月に大学院デザイン研究



科・看護学研究科に博士後期課程を開設するとともに、両研究科の修士課程を博士前期課程に改称した。

## 2) 理念

札幌市立大学では、造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させたデザイン学と看護学を教育研究の対象とする。

また、札幌市立大学では、次の二つの理念を掲げて、デザイン学及び看護学に関する教育研究に取り組むとともに、社会における有為な人材の育成に取り組む。

### ① 「人間重視を根幹とした人材の育成」

デザイン学と看護学は、いずれも人間を対象とした学問領域であることから、両者に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、一人の人間から社会全体までを対象に、安全で快適な暮らしを創造できる職業人を育成するとともに、知識・技術に加え、教養と人間性を涵養し、有為な人材を育成する。

### ② 「地域社会への積極的な貢献」

札幌市立大学が市民からの負託にこたえ、「市民に開かれた大学」、「市民の力になる大学」、「市民が誇れる大学」という三つの視点を掲げて、地域貢献という使命を果たし続けていくため、時代の要請に柔軟に対応しながら質の高い教育研究を追究する。

## 3) 特長

札幌市立大学では、教育研究上の理念のもと、「デザイン学部」及び「看護学部」の二つの学部を設けて教育研究を行うとともに、次の二つの特長を備え、開学後及び将来にわたっての大学の基本的な方向性としている。

### ① 「デザイン学部と看護学部の連携」

デザイン学部と看護学部を併せ持つという特長を生かし、両学部の教員が連携・共同して教育を行うとともに、保健・医療・福祉分野を対象とするデザインなどを共同研究し、両学部の連携を目指す。

### ② 「幅広いネットワーク」

行政施策や公的機関、市民、産業界などと連携することにより、幅広いネットワークを持った大学とし、地域課題等に対応した教育研究を積極的に展開することを目指す。

## 4) 目的

### ① 学術研究の高度化等に対応した職業人の育成

デザインと看護に共通する「人間重視」の考え方を常に基本とし、デザイン分野においては、幅広いデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、看護分野においては、医療の高度化に対応する知識・技術に加え、問題解決能力を有し、他職種と連携できる職業人の育成を目指す。

### ② まちづくり全体により大きな価値を生み出す「知と創造の拠点」

デザイン学部の設置によって、産業や芸術・文化の振興、都市機能・都市景観の向上などへの貢献を果たすとともに、看護学部の設置によって、少子高齢社会における地域看護の充実、看護職への学習機会の提供などを通じた、市民の健康の保持増進への貢献を果たす。

また、札幌市の行政施策との緊密な連携によって、地域課題の解決に積極的に取り組み、その成果を広く市民に還元して地域貢献を実現する。



## 沿革

1965年4月	札幌市立高等看護学院 開校
1991年4月	札幌市立高等専門学校 開校
1996年4月	札幌市立高等専門学校専攻科 開設 札幌市立高等専門学校附属研究所 開設
2001年11月	「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化検討懇話会」設置
2002年12月	同懇話会による「市立高等専門学校・高等看護学院の大学化に関する提言」
2003年9月	「（仮称）札幌市立大学基本構想」策定
2003年11月	「（仮称）札幌市立大学設置準備委員会」設置
2004年7月	「（仮称）札幌市立大学基本計画」策定
2005年12月	大学設置認可
2006年3月	公立大学法人札幌市立大学 設立認可
2006年4月	札幌市立大学 開学
2006年10月	サテライトキャンパス 開設
2007年4月	地域連携研究センター 開設 アドミッションセンター 開設
2008年3月	札幌市立高等看護学院 閉校
2008年4月	キャリア支援センター 開設
2008年8月	認定看護管理者制度サードレベル教育課程 開講
2009年3月	札幌市立高等専門学校本科 閉科
2009年10月	大学院（修士課程）設置認可
2009年12月	助産学専攻科の助産師学校指定通知
2010年4月	大学院（修士課程）デザイン研究科・看護学研究科・助産学専攻科 開設
2011年3月	札幌市立高等専門学校専攻科 閉校
2011年10月	大学院（博士課程）変更認可
2012年4月	大学院（博士後期課程）開設 大学院（博士前期課程）に改称
2015年5月	COCキャンパス「まちの学校」開設
2018年4月	まこまないキャンパスに改称（旧称：COCキャンパス「まちの学校」）
2019年4月	AIラボ開設
2022年4月	AITセンター開設



## 2 デザイン学部の概要

### 1) 特色

デザイン学部では、大学の特色を踏まえ、幅広い職業人の育成を行うことを基盤とし、デザインという特定の専門分野の教育研究を通じて、社会に貢献することを特色としている。具体的には、優秀で創造的な人材を社会に輩出するほか、企業との共同研究や受託研究といった産学連携、個人の創造性・スキルに基盤を置き、知的資産によって価値を生み出す創造的な産業の振興などを通じて社会に貢献するものである。

また、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある七つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、デザインという「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

### 2) 教育目的

デザイン学部では、次のような人材の育成を目的とする。

#### ① 幅広いデザイン能力を持った人材の育成

デザインの基礎的な理論や技術について幅広く教育を行い、高度な職業人に必要なデザイン能力を持った人材を育成する。

#### ② 人間中心の視点に立ったデザインに取り組める人材の育成

造形の基盤となる芸術的要素に機能の基盤となる工学的要素を融合させ、人にやさしいデザインや使いやすいデザインなど、人間中心の視点に立ったデザインに取り組むことのできる人材を育成する。

#### ③ 地域社会に貢献できる人材の育成

時代や社会の要請を的確に捉えた教育研究に取り組むとともに、地域産業や芸術・文化の振興をはじめ、都市機能や都市景観の向上など、まちづくり全体に幅広く貢献する人材を育成する。

### 3) 育成する人材像

札幌市においては、IT産業に代表される札幌の産業特性に対応したデザイン分野や、積雪寒冷という札幌の気候風土に着目したデザイン分野など、地域社会に密着した産業の振興への取組が特に重要視されており、こうした取組に対応できる幅広いデザイン能力を持った職業人が求められている。

デザイン学部では、そうした社会の人材需要にこたえるとともに、教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

#### ① 多様なコミュニケーション能力

的確に意思疎通を図り、豊かな人間関係を形成することができる能力のほか、海外とのコミュニケーションに必要な実用的な英語能力、高度情報化社会に不可欠な情報処理能力を養う。

#### ② 課題探求能力と問題解決能力

社会の課題やニーズを自ら探求する能力と、その問題をデザインによって解決することのできる能力を養う。

#### ③ デザインの基礎となる表現力

豊かな感性を涵養するとともに、創造的な発想と豊かな表現力を養う。

#### ④ 人間や環境に配慮したデザイン思考能力

人間にとって使いやすいデザインや環境への負荷に配慮したデザインを行う能力を養う。

#### ⑤ 新たな価値を発見する柔軟な発想力

固定観念にとらわれず、さまざまな視点からデザインに取り組むことのできる柔軟な発想力を養う。

#### ⑥ 企画力や管理・運営能力

デザインを実践的に活用することのできる企画力や管理・運営能力を養う。





### 3 看護学部の概要

#### 1) 特色

看護学部では、幅広い職業人を育成することを基盤として、看護学という特定の専門的分野の教育研究を通じて、社会貢献を果たしていくことを特色としている。具体的には、確実な看護実践力を持ち、高い資質を有する看護職を輩出するとともに、保健・医療・福祉行政や関係機関などと連携し、地域看護の充実や市民の健康の保持増進につながる研究を通して社会に貢献するものである。

したがって、看護学部では、2005年1月中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」の「高等教育の多様な機能と個性・特色の明確化」にある7つの機能のうち、「幅広い職業人養成」を主軸とするほか、看護という「特定の専門的分野の教育・研究」及び「社会貢献機能」に比重を置いて教育研究に取り組むことを特色としている。

#### 2) 教育目的

看護学部では、看護職として活躍する次のような人材の育成を目的とする。

##### ① 的確な実践力を有する人材の育成

看護は、看護の理論や知識を基盤とした看護実践を通して研鑽を重ねつつ、専門性を深める学問である。

高度・専門化する医療、多様化する看護ニーズに対応するためには、緻密な観察に基づく的確な判断能力と技術力、さらにこれらを基盤とした問題解決能力が求められる。また、人々がより高い水準の健康を維持・獲得するためには、科学的根拠に基づいた専門的知識・技術を用いて、自律的にケアを推進する実践的な援助能力が求められる。

このため、あらゆる健康レベルや場において、人々が快適で安全に安心して生活できるよう、理論・知識・根拠に基づき的確に看護を実践できる技術と能力を有する看護職を育成する。

##### ② 人間性を尊重した対人関係形成能力を備えた人材の育成

看護の援助過程は、看護職と看護を必要とする人との人間関係形成により進行するものである。看護職は、人間の尊厳を重視し、安心感を与える態度・態様が求められるとともに、看護行為を実施する上では、すべての人に対する人権の擁護と倫理的判断ができるように常に志向することが肝要である。

また、医療施設における看護はもとより、福祉施設や在宅における看護、地域における看護など、看護職に求められる能力、期待される役割が増大しているとともに、高度化する医療は、さまざまな職種の医療従事者を必要としており、看護職や他の従事者と連携・協働し、対象である人間を中心とする視点に立った医療・看護を提供することが重要である。

このため、対象あるいは医療従事者間との意思疎通を図り、対人関係の形成のために、身体的側面だけではなく、心理的、社会的側面から人間を理解し、幅広い教養を基盤とした豊かな人間性と倫理観を備えた看護職を育成する。

##### ③ 地域社会に貢献できる人材の育成

市民の健康に対するニーズの増大や価値観の多様化などに伴い、看護職に対する需要は増大、複雑化してきており、本学では、このような地域の看護需要に対応することが必須になる。

このため、保健・医療・福祉などの学びに加えて、幅広い分野・職種と連携し、創造的、主体的に学習することで、積極的に地域社会における市民の健康の保持増進に貢献できる人材を育成する。また、看護職に対する需要は、それぞれの地域ごとに異なっており、札幌市はもとより、北海道内あるいは全国的な視点から、看護の発展に寄与できる看護職を育成する。

#### 3) 育成する人材像

札幌市には、多くの高度・専門的医療機関が立地し、北海道における高度・先進的医療技術の中核的役割を担っている。少子高齢化が急速に進行し、さらに、独居老人世帯数、高齢夫婦世帯数も増加しており、このような社会情勢に的確に対応した看護職が求められている。

このため、看護学部では、医療機関における高度・専門的医療を担う看護職を育成することはもとより、在宅の高齢者等に対する看護、保健指導など地域の看護需要に対応できる看護職を育成す



ることとし、こうした社会の人材需要の充足と教育目的を達成するため、次の能力を備えた人材を育成する。

- ① 対人関係形成能力  
豊かな人間性と倫理的判断力を備え、安心感を与える的確な意思疎通により対人関係を形成できる能力を養う。
- ② 権利擁護・安全なケア提供能力  
さまざまな健康レベル、あらゆる発達段階、さまざまな場において、対象の権利を擁護し、安全なケアを提供できる能力を養う。
- ③ 的確な判断能力と問題解決能力に基づく看護実践技術力  
緻密な観察と科学的知識に基づく的確な判断能力と問題解決能力を培い、これらを基盤とした看護実践技術力を養う。
- ④ 医療従事者間における調整・指導のための基礎的能力  
看護対象者の視点から保健・医療・福祉を追究し、各分野における看護の専門性と役割を認識の上、医療従事者間の調整や指導的役割を担うための基礎的な能力を養う。
- ⑤ 課題解決力を高めるための自己研鑽能力  
主体的・創造的に課題探求に取り組み、解決する力を高めるために継続的に自己研鑽できる能力を養う。

## 4 デザイン研究科の概要

### 1) 特色

デザインの役割が拡張し、従来のように造形や視覚表現にとどまらず、社会や地域、産業等の複雑な問題をデザイン課題として受け止め、人間や環境に配慮したデザイン提案によりその解決策を実現できる、高度なデザイン能力を有する人材が必要となっている中で、デザイン研究科では、よりよい地域社会の実現に貢献できる高度専門職業人及び研究者・教育者を育成するため、以下の能力を修得することを特色とする。

また、2005年9月中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の四つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組む。

#### 【博士前期課程】

- ① 複合的かつ複雑な課題・問題を解決する「課題解決能力」
- ② デザインを通じて新たな価値を見出す「創造力」
- ③ 課題・問題の発見、分析から具体的事業化までを一貫したデザインプロセスとしてまとめる「企画調整能力」
- ④ 一連のデザインプロセスを具体化する「実践能力」

#### 【博士後期課程】

- ① 自身の専攻分野の専門的知識・技能を中心としつつ、関連近隣分野の基礎的素養をも修得し、幅広い見識から事象の本質を捉える「課題発見・分析・解決能力」
- ② デザインの視点を通じて自主的・自立的に研究や調査、分析等を実践できる「研究遂行能力」
- ③ 国内外の専門家や研究者とのコミュニケーションを図りながら、広く社会全体を俯瞰し、「リーダーシップ」を発揮できる確かな「調整力」及び「指導力」



## 2) 教育目的

## 【博士前期課程】

地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業、芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としている。

## 【博士後期課程】

自立した研究者として独創的な視点から社会課題を発見するとともに、深く研究に取り組み、デザイン分野における学術理論及び技能の高度化の追求を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

## 3) 育成する人材像

## 【博士前期課程】

## ① 人間空間デザイン分野

高質な建築・都市空間や自然と共存する地域環境のデザイン、およびこれからの社会を提案するまちづくりや地域コミュニティデザインの能力を有する人材

## ② 人間情報デザイン分野

個々の人間に着目し、デザインを科学的に探究するとともに、ものづくりとコミュニケーションのデザイン能力を有する人材

## 【博士後期課程】

① デザインを通じた組織構築や質改善のためのシステム開発を実践し、組織において指導的立場となり得る人材（高度専門職業人）

② 自立して研究活動を行い、デザインの学問的体系を構築できる人材（研究者・教育者）

## 5 看護学研究科の概要

## 1) 特色

近年、看護分野は専門分化しており、これに対応する卓越した実践能力を有する看護職及び統合的な調整能力を有する看護管理者の育成が急務となっている。

また、これら卓越した臨床能力及び看護の専門性のさらなる向上には、看護の未来を見据えた洞察力・創造力を有し、学問的理念を基盤として研究を推進する自立した教育者・研究者の果たす役割が大きい。

看護学研究科は、このような社会の要請に応える人材を育成し、札幌を発信源に、21世紀の看護の一端を担い、これを保健・医療・福祉分野へ発信できる、看護のバランス感覚に優れた人材の育成を目指している。

なお、本研究科では、2005年9月5日中央教育審議会答申「新時代の大学院教育－国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて－」の4つの「大学院に求められる人材養成機能」のうち「高度な専門的知識・能力を持つ高度専門職業人の養成」及び「創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者等の養成」に比重を置いて教育・研究に取り組むことを特色とし、以下の能力の修得を目指している。

## 【博士前期課程】

① 正確性・緻密性及び独創性を有する高度な臨床看護実践能力

② 高度な倫理観に基づき、専門看護分野において分析・判断・行動・評価ができる能力

③ 他職種と協働し、看護における将来展望に資する統合・調整ができる能力

④ 積雪寒冷地における健康づくり支援に取り組む能力

## 【博士後期課程】

① 看護に対する社会的課題を的確に認識し、将来を見据えた技術開発やシステムの検証・創出、組織での施策提言等を行う能力

② 豊かな人間性や広い視野に加え、高度な倫理観、専門知識や技能に裏打ちされる高い管理能力、指導能力



- ③ 高度な学識と臨床の両面から、看護学の基礎研究や応用研究に自立的に取り組み、実践科学としての看護学を追究する能力

## 2) 教育目的

### 【博士前期課程】

保健・医療・福祉分野における様々な課題に主体的に取り組む高度な看護実践能力を有する看護職及び総合的な調整能力を有する看護管理者の育成を目指し、市民の健康の保持増進への貢献を果たすことを目的としている。

### 【博士後期課程】

自立した研究者として、様々な看護現象に対して深く研究に取り組み、看護の枠組みの再構築やシステム開発や、技術開発などを行い、看護分野における学術理論及び技能の高度化の追究を通じて、社会への貢献を果たすことを目的としている。

## 3) 育成する人材像

### 【博士前期課程】

- ① 保健・医療の中核を担う高度臨床看護実践者（専門看護師を含む）
- ② 総合的に看護ケアをマネジメントする看護管理者
- ③ 地域や在宅において健康な生活と福祉の向上に率先して貢献する看護職
- ④ 看護の未来を創造・開拓する看護研究者・看護教育者
- ⑤ 看護技術の開発及び評価能力を備える人材
- ⑥ 幅広い視野のもとで新しい看護システムや制度の開発に資する人材

### 【博士後期課程】

- ① 他職種との協働・連携を円滑に行える人間性とともに交渉力や調整能力、さらにはイノベーション力等を推進できる高度専門職業人
- ② 健康問題や社会の動向をグローバルに捉え、高度な専門知識と豊かな臨床経験の両面から、エビデンスに基づく基礎研究や応用研究を自立的に推進して的確な分析・評価等を行い、地域や保健医療機関等が抱える課題解決に真摯に向き合う研究者
- ③ 大学等の高等教育機関において、次世代を担う看護職に高度な教育・研究の成果とその方法論、指導論等をより高い倫理観や職業観をもって教授できる教育能力を有する教育者

## 6 助産学専攻科の概要

### 1) 特色

助産学専攻科では、学士課程4年間において培った自己研鑽力が発揮できる教育課程を特色としている。

その1つとして、選択科目を設定せず、学生個々に助産学に広く関連した課題を発見し、自ら学びを深める機会を創っている。加えて、この学びの更なる発展に向け文献研究を行う。

また、1年間の学修では、助産師に必要な基本的知識・技術を土台に、ハイリスク事例に対応できるような高度な知識・技術を熟練した助産師と専門医のもとで修得する。この学修では、看護師資格が大いに役立っている。

### 2) 教育目的

札幌市立大学の理念である「人間重視を根幹とした人材の育成」と「地域社会への積極的な貢献」を基盤に、各種助産技術能力の正確な修得を目指し、次のような教育を目的とする。

- ① 助産師に必要な基本的かつ高度な知識が修得できる。
- ② 助産師に必要な基本的かつ正確な助産技術が修得できる。
- ③ 助産師に必要な知識と技術を統合し、助産ケアが実践できる。



### 3) 育成する人材像

北海道、札幌市においては、需給見通しで助産師の不足が見込まれる一方、産科医師の減少などにより、助産師の需要がさらに増加する可能性がある。また、少子高齢化が急速に進行する中で、より一層安全で安心な分娩介助が求められるとともに、思春期や更年期への相談など、助産師が担う役割は広範化・高度化する傾向にある。

このため、助産学専攻科においては、次のような人材を育成する。

- ① 助産に関する高度な知識と正確な技術を幅広く有する助産師
- ② 地域社会における母子健康の向上に貢献できる助産師
- ③ 人間性豊かな助産師

## 7 2022年度の特筆すべき事項

### 1) AITセンター開設

札幌市立大学では、「D×N」（ディーバイエヌ）をモットーとして、デザイン学部と看護学部の連携を目指し、教育や研究を続けている。AIが社会・生活を変えつつある中、本学では人工知能研究の第一人者である理事長・学長中島秀之を中心に、「D×N」をAIにより下支えしていく「DNA」（ディーエヌエー）を新たなモットーとして掲げ、更なる発展を目指している。本学のAI研究と「DNA」を推進していくための研究機関として、2022年4月1日に「札幌市立大学AITセンター（SCU Advanced Intelligence Technology Center）」を開設した。

### 2) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への対応（職域接種について）

2022年度は文部科学省からオミクロン株対応ワクチンの職域追加接種に関する案内があったが、既に札幌市では医療機関での同ワクチン接種が開始されており、集団接種会場での接種も始まることから、本学で職域接種を行う必要性は薄いため実施しないこととし、代わりに接種勧奨の案内を行うこととした。



## 8 行事

行 事 名	月 日
入学式	4月3日
前期ガイダンス	4月4日
前期授業開始	4月4日
前期履修登録期間	4月4日～13日
健康診断	4月11日・13日
第1回オープンキャンパス	6月18日
デザイン学部3年次編入学試験	7月16日
大学院デザイン研究科博士前期課程推薦選抜入学試験	7月16日
前期定期試験期間	8月1日～12日
夏季休業	8月13日～30日
看護学部社会人特別選抜入学試験	9月3日
助産学専攻科入学試験	9月3日
第2回オープンキャンパス	9月17日
大学祭	9月17日～18日
後期ガイダンス	9月16日・29日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月24日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験	9月24日
後期授業開始	9月20日・30日
後期履修登録期間	9月30日～10月7日
デザイン学部総合型選抜入学試験	10月8日
デザイン学部学校推薦型選抜・特別選抜（社会人）入学試験	11月19日
看護学部学校推薦型選抜入学試験	11月19日
冬季休業	12月23日～1月3日
後期定期試験期間	1月4日～5日 1月31日～2月15日
大学院看護学研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月4日
大学院看護学研究科博士後期課程入学試験	2月4日
大学院デザイン研究科博士前期課程一般・特別選抜入学試験（2次募集）	2月18日
大学院デザイン研究科博士後期課程入学試験	2月18日
デザイン学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
看護学部一般選抜入学試験（前期日程）	2月25日
デザイン学部特別選抜入学試験（私費外国人留学生）	2月25日
春季休業	3月1日～31日
卒業式・修了式	3月17日



## II 教育活動

### 1 教育活動概要

#### 1) デザイン学部・看護学部

デザイン学部・看護学部共通の「学際教育科目」は、両学部に通ずる「人間重視」の考え方を基本に、両学部の学生と一緒に学習することにより、学部間の交流を深め、異なる分野を志す学生が互いの発想に触れ、広い視野を持つことができるよう体系化した。また、「学際教育科目」は、①大学における心構えや履修方法、あるいは基本的な学習の進め方や研究方法を学ぶ「導入科目」、②文化や人間、社会に対する理解を目的とする「科学系科目」、③語学などのコミュニケーション・ツールの修得を目的とする「技術・スキル系科目」の3つの区分で構成した。

デザイン学部の「専門教育科目」は、デザインの基礎的な理論や技術から、より専門性の高い知識や技術、実践的・発展的な知識やデザインの方法までを体系的に理解できるよう、①「基本科目」、②「展開科目」、③「発展科目」の3つの科目群で構成した。また、学芸員の資格を取得するために必要となる科目を「自由科目」という区分で開講した。その他、専門教育科目を履修する上で必要となる技術や知識を補完する目的で特別講義を3件計画し、うち1件をオンライン形式で、うち2件を対面形式でそれぞれ実施した。

看護学部の「専門教育科目」は、専門科目を学ぶ前提や基礎となる「専門基礎科目」と看護の専門的知識・技術を学ぶ「専門科目」で構成し、段階を踏んで学修できるよう体系化している。特に「専門科目」の各看護領域の授業カリキュラムは、まず「概論科目」により基本理念や考え方を理解した後、「演習科目」「実習科目」を学ぶことで、高度な実践的能力を修得できる構成としている。「実習科目」は、1年次から4年次まで開講し、各学年の講義・演習のレベルに応じた実習を行っている。また、2012年度（編入学生は2014年度）以降の入学生のうち、保健師国家試験受験資格の取得を希望する場合は、必要な単位を修得したうえで保健師コースを選択することとしている。保健師コースは3年次前期終了時に選択（編入学生を含む）することとしており、選択希望者が30名を上回る場合は、面接及び3年次前期までの成績等により総合的に判定し、選択者を決定している。

#### 2) デザイン研究科

デザイン研究科博士前期課程の授業科目は、幅広い視野を身につけ、デザインと看護に共通する関連領域の基礎的素養を涵養するため、看護学研究科と合同で行う「研究科連携科目」とデザイン分野における高度専門職業人及び研究者・教育者に必要な専門知識・技術、研究方法を修得するための「専門教育科目」の2つに区分し、「専門教育科目」はさらに「基本科目」、「展開科目」、「実践科目」及び「修士研究」の4つの科目群で構成され、学生がデザインの高度かつ専門的な知識・技術を学ぶことができるよう体系化している。

デザイン研究科博士後期課程では、「基本科目」、「展開科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分を設け、体系的なコースワークによる教育課程を編成し、研究指導を体系的・組織的に展開する教育・研究環境を整備している。それにより、専門分野に関する高度な専門知識及び能力を修得させるとともに、関連する分野の教育を行っている。

#### 3) 看護学研究科

看護学研究科博士前期課程の授業科目は、課程制大学院の趣旨に従い、教育目標を達成するために体系化した構成としている。科目区分は、デザイン研究科と合同で授業を行う「研究科連携科目」と、看護学の各専攻分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得する「専門教育科目」に区分し、卓越した能力を発揮できる人材を育成する。また、専門看護師（CNS）教育課程の認定基準に沿った授業科目も配置し、広く保健・医療・福祉や看護学の発展に寄与することを目指している。看護学研究科博士後期課程は、課程制大学院としてコースワークを意識し、コースワーク



がリサーチワークの基礎となるよう学修できる教育課程を構成している。「連携科目」、「専門科目」、「研究指導科目」の3つの科目区分に基づき体系的な授業展開を行い、看護学開発の基盤形成をねらいとする「看護学特講（1年次前期）」の学修を通じて、社会を広く俯瞰し看護学のさらなる進化、発展に取り組む提案力を形成する。各特講科目では、高度な創造性を涵養して主体的に課題発見や新たな提案を行い、「特別研究」で独創的な研究を取りまとめる。

#### 4) 助産学専攻科

助産学専攻科では、助産に関する幅広く、高度な知識と正確な技術を有し、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目標として教育課程を編成している。また、助産師活動に不可欠な技術・能力を高い次元で身につけるため、学部教育と同様にOSCEを導入し、各種助産技術能力の修得度を適正に評価している。

## 2 学際教育・共通教育・連携教育

### 1) 教育活動

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
スタートアップ演習	演習・60時間	1年次前期	◎松井 美穂 片山めぐみ 武田 亘明 並木翔太郎 丸山 洋平 石田 勝也 福田 大年 松永 康佑 坪内 健 吉田 彩乃 川村三希子 貝谷 敏子 加藤 依子 岡 園代 工藤 京子 三戸部純子 久保田祥子 近藤 圭子 中田亜由美 吉田 実和
哲学と倫理	講義・30時間	1年次前期	★中島 孝一
表象文化論	講義・30時間	1年次前期	◎松井 美穂 若林 尚樹 ★苫名 真
生活と文化（1年次）	講義・30時間	1年次前期	★野々原由佳子
体のしくみ	講義・30時間	1年次前期	小宮加容子
自然科学A（科学史）	講義・30時間	1年次前期	★小野田波里
札幌を学ぶ	講義・30時間	1年次前期	丸山 洋平
英語 I A	演習・30時間	1年次前期	並木翔太郎 ★赤間 荘太 ★遠藤 愛
英語 I B	演習・30時間	1年次前期	松井 美穂 ★白土 淳子 ★町田佳世子
英語 I C	演習・30時間	1年次前期	★アイツ バマイ モクター ★山田 パトリシア
日本語表現法	演習・30時間	1年次前期	★斎木 正直 ★齊田 春菜 ★錦戸 葵 ★安永 立子
基礎カウンセリング	演習・30時間	1年次前期	★小坂 守孝
情報リテラシー I（デザイン学部）	演習・30時間	1年次前期	大淵 一博
情報リテラシー I（看護学部）	演習・30時間	1年次前期	★杉野 佑太
宗教と思想	講義・30時間	1年次後期	★堀 雅彦
芸術文化論	講義・30時間	1年次後期	★望月由美子
文学の世界	講義・30時間	1年次後期	松井 美穂
心のしくみ	講義・30時間	1年次後期	★岸 靖亮
自然科学C（動物の生態）	講義・30時間	1年次後期	★本田 直也
現代社会論A（人口・家族）	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平





授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
現代社会論C (経済)	講義・30時間	1年次後期	★近藤 公彦
現代社会論D (社会言語学)	講義・30時間	1年次後期	並木翔太郎
現代社会論E (情報科学)	講義・30時間	1年次後期	高橋 尚人
統計の世界 (看護学部)	講義・30時間	1年次後期	丸山 洋平
英語ⅡA	演習・30時間	1年次後期	並木翔太郎 ★赤間 荘太 ★遠藤 愛
英語ⅡB	演習・30時間	1年次後期	松井 美穂 ★白土 淳子 ★町田佳世子
英語ⅡC	演習・30時間	1年次後期	★アイツ バマイ モクター ★山田 パトリシア
プレゼンテーション	演習・30時間	1年次後期	◎武田 亘明 矢久保空遥
手話	演習・30時間	1年次後期	★高橋 淨
情報リテラシーⅡ (デザイン学部)	演習・30時間	1年次後期	横溝 賢
情報リテラシーⅡ (看護学部)	演習・30時間	1年次後期	★杉野 佑太
生活と文化 (2年次)	講義・30時間	2年次前期	★伊藤 慈晃
環境を考える	講義・30時間	2年次前期	◎★矢部 和夫 ★平野 高司
現代社会と国際関係	講義・30時間	2年次前期	★先川信一郎
ボランティア活動を考える	講義・30時間	2年次前期	★篠原 辰二
日本国憲法を学ぶ	講義・30時間	2年次前期	★岡田 信弘
実践英語A (デザイン学部)	演習・30時間	2年次前期	松井 美穂
実践英語B (デザイン学部)	演習・30時間	2年次前期	★アイツ バマイ モクター
実践英語A (看護学部)	演習・30時間	2年次前期	★二ノ宮 靖史
実践英語B (看護学部)	演習・30時間	2年次前期	★山田 パトリシア
グループ・ダイナミクス	演習・30時間	2年次前期	★渡邊 舞
教育を考える	講義・30時間	2年次後期	◎★光本 滋 ★木下 卓弥
ジェンダーと文化	講義・30時間	2年次後期	松井 美穂
健康とスポーツ (看護学部)	講義・30時間	2年次後期	★出町 道代
韓国語	演習・30時間	2年次後期	★松田 由紀
中国語 (看護学部)	演習・30時間	2年次後期	★照井はるみ
ロシア語 (看護学部)	演習・30時間	2年次後期	★ジダーノフ ウラジーミル
健康とスポーツ (デザイン学部)	講義・30時間	3年次前期	★出町 道代
中国語 (デザイン学部)	演習・30時間	3年次前期	★照井はるみ
ロシア語 (デザイン学部)	演習・30時間	3年次前期	★ジダーノフ ウラジーミル
統計の世界 (デザイン学部)	講義・30時間	3年次後期	丸山 洋平

◎印：科目責任者 (オムニバス形式等の場合)

★印：非常勤講師



## 3 デザイン学部

## 1) 2022年度時間割

## ① 1年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	人間空間デザイン論	材料加工理論/実習I	デザイン史	体のしくみ	人間情報デザイン論
				情報リテラシーI (N)		
2	10:40 ～ 12:10	時間表現理論/演習I	情報リテラシーI (D)	情報リテラシーI (N)	英語IA 英語IB 英語IC 日本語表現法	哲学と倫理
						生活と文化
3	13:10 ～ 14:40	時間表現理論/演習I	デザインと数学	英語IA 英語IB 英語IC 日本語表現法	英語IA 英語IB 英語IC 日本語表現法	札幌を学ぶ
						表象文化論
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎(描画)	材料加工理論/実習I	情報リテラシーI (D)	英語IA 英語IB 英語IC 日本語表現法	英語IA 英語IB 英語IC 基礎カウンセリング
						スタートアップ演習
5	16:30 ～ 18:00			自然科学A(科学史)		英語IA 英語IB 英語IC 基礎カウンセリング

## ② 1年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ～ 10:30	Webデザイン	情報リテラシーII (D)	視覚・色彩心理学	デザイン工学	情報リテラシーII (N)
						手話
2	10:40 ～ 12:10	Webデザイン	情報リテラシーII (D)	宗教と思想	現代社会論A(人口・家族)	情報リテラシーII (N)
				自然科学C(動物の生態)	心のしくみ	手話
3	13:10 ～ 14:40	アイデア生成プロセス	材料加工理論/実習II	英語IIA 英語IIB 英語IIC プレゼンテーション	英語IIA 英語IIB 英語IIC プレゼンテーション	現代社会論C(経済)
						文学の世界
4	14:50 ～ 16:20	表現基礎(製図)		英語IIA 英語IIB 英語IIC	英語IIA 英語IIB 英語IIC	英語IIA 英語IIB 英語IIC
		表現基礎(構成)				
5	16:30 ～ 18:00	表現基礎(製図)		芸術文化論	統計の世界(N)	英語IIA 英語IIB 英語IIC
		表現基礎(構成)		現代社会論E(情報科学)	現代社会論D(社会言語学)	



## ③ 2年前期

		月	火	水	木	金	
1	9:00 ~ 10:30	デザイン総合実習Ⅰ	日本国憲法を学ぶ	フィールドスタディ	近現代建築史	コミュニティデザイン論	
			ボランティア活動を考える		プロダクトデザインⅠ		
2	10:40 ~ 12:10	デザイン総合実習Ⅰ	実践英語A (D)	実践英語A (N)	建築設計製図	環境計画論	
			時間表現理論/演習Ⅱ	実践英語B (N)	プログラミングⅠ	実践英語B (D)	
3	13:10 ~ 14:40	デザイン研究法 (人間情報)	実践英語A (D)	実践英語A (N)	協同デザインⅠ	環境芸術論	実践英語B (D)
		デザイン研究法 (人間空間)	時間表現理論/演習Ⅱ	実践英語B (N)		情報製品製図	
4	14:50 ~ 16:20	3DCG実習 (表現系)	グループ・ダイナミクス	建築系CAD実習		建築計画論	
			生活と文化				
5	16:30 ~ 18:00	3DCG実習 (表現系)	環境を考える	建築系CAD実習	ビジュアライゼーションⅠ	学部連携基礎論	
			現代社会と国際関係				

## ④ 2年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30	プロダクトデザインⅡ	ジェンダーと文化	エコロジカルデザイン	情報社会論	環境心理学
			韓国語 (D)			
2	10:40 ~ 12:10	プロダクトデザインⅡ	韓国語 (D)	エコロジカルデザイン	Webプログラミング	一般構造
					建築デザイン論	協同デザインⅡ
3	13:10 ~ 14:40	空間デザイン史	家具・インテリアデザイン	コンピュータグラフィックス	ユニバーサルデザイン論	空間プロダクト
		プログラミングⅡ				
4	14:50 ~ 16:20	製品系CAD実習	家具・インテリアデザイン	3DCG実習 (建築系)	デザイン総合実習Ⅱ	教育を考える (D)
5	16:30 ~ 18:00	製品系CAD実習	メディア芸術論	3DCG実習 (建築系)	デザイン総合実習Ⅱ	教育を考える (D)



## ⑤ 3年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30		生涯学習概論	都市計画論	建築設備計画	ランドスケープ アーキテクチャ
					プログラミングⅢ	
2	10:40 ~ 12:10	博物館資料論	中国語 (D)		空間演出デザイン論	構造力学I
		博物館概論	ロシア語 (D)			
3	13:10 ~ 14:40	ビジュアルイゼーションⅡ	中国語 (D)	インターンシップ	健康とスポーツ (D)	デザイン総合実習Ⅲ
			ロシア語 (D)			
4	14:50 ~ 16:20	感性情報学	ユーザーエクスペリエンス デザインI	博物館概論	ヒューマンインタラクションI	
				博物館資料論		
5	16:30 ~ 18:00	キャリアガイダンス	メディア社会論	博物館教育論		

## ⑥ 3年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30		構造力学Ⅱ	空間映像表現	建築構法	デザイン展開プロセス
			ヒューマンインタラクションⅡ			
2	10:40 ~ 12:10	博物館経営論	統計の世界 (D)		建築生産	地域ブランド構築
3	13:10 ~ 14:40			キャリアデザイン	建築法規	寒冷地デザイン論
4	14:50 ~ 16:20	博物館資料保存論	学部連携演習	博物館展示論	構造・材料実験	デザイン総合実習Ⅳ
5	16:30 ~ 18:00	ユーザーエクスペリエンス デザインⅡ				



## ⑦ 4年前期

		月	火	水	木	金
1	9:00 } 10:30	博物館実習	知的財産権論	デザイン英語		
2	10:40 } 12:10		起業・経営論			ビジュアライゼーションⅢ
3	13:10 } 14:40	博物館実習	住宅論	卒業研究Ⅰ	ユーザーエクスペリエンス デザインⅢ	
4	14:50 } 16:20		観光デザイン論		景観デザイン文化論	
5	16:30 } 18:00	キャリアガイダンス				

## ⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 } 10:30					
2	10:40 } 12:10					
3	13:10 } 14:40			卒業研究Ⅱ		
4	14:50 } 16:20					
5	16:30 } 18:00	キャリアガイダンス				



## 2) カリキュラム

## ① 授業科目一覧

2022年度（編入学生は2024年度）以降入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件 単位				
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次						
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
学際教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2														2単位	
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義		2		○											12単位以上
		宗教と思想	講義		2			○										
		芸術文化論	講義		2			○										
		表象文化論	講義		2		○											
		ジェンダー論	講義		2					○								
		文学の世界	講義		2			○										
		生活と文化	講義		2		○											
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義		2			○										
		体のしくみ	講義		2			○										
		健康とスポーツ	講義		2						○							
		自然科学A（科学史）	講義		2		○											
		自然科学B（環境）	講義		2					○								
	社会に対する理解	自然科学C（動物の生態）	講義		2				○									
		現代社会論A（人口・家族）	講義		2			○										
		現代社会論B（国際関係）	講義		2					○								
		現代社会論C（経済）	講義		2			○										
		現代社会論D（社会言語学）	講義		2			○										
		現代社会論E（情報科学）	講義		2			○										
		日本国憲法を学ぶ	講義		2					○								
	札幌を学ぶ	講義		2			○											
	統計の世界	講義		2								○						
	技術・スキル系科目	言語	英語 I A	演習	1			○										6単位
			英語 I B	演習	1			○										
			英語 I C	演習	1			○										
			英語 II A	演習	1				○									
			英語 II B	演習	1				○									
			英語 II C	演習	1				○									
			実践英語A	演習		1					○							
		実践英語B	演習		1					○								
		韓国語	韓国語	演習		1						○						2単位以上
			中国語	演習		1							○					
			ロシア語	演習		1								○				
その他言語 I（他大学履修）注3			演習		1			○	○	○	○	○	○	○	○			
その他言語 II（他大学履修）注3			演習		1			○	○	○	○	○	○	○	○			
情報技術		情報リテラシー I	演習	1				○									2単位	
		情報リテラシー II	演習	1				○										
コミュニケーション		日本語表現法	演習		1			○									2単位以上	
	手話	演習		1			○											
	グループ・ダイナミクス	演習		1					○									
	基礎カウンセリング	演習		1			○											
	プレゼンテーション	演習	1				○											
ボランティア基礎演習	演習		1					○										
専門教育科目	デザイン概論	人間空間デザイン論	講義	2			○									4単位		
		人間情報デザイン論	講義	2			○											
		デザイン史	講義	2			○											
	デザイン理論	近現代建築史	講義		2					○						20単位以上		
		情報社会論	講義	2							○							
		エコロジカルデザイン	講義		2							○						
		メディア社会論	講義+演習		2							○						
		知的財産権論	講義		2									○				
		デザインと数学	講義+演習		2		○											
		デザイン工学	講義+演習		2			○										
		コンピュータグラフィックス	講義+演習		2						○							
		アイデア生成プロセス	講義+演習	2				○										
		デザイン展開プロセス	講義+演習		2								○					
		視覚・色彩心理学	講義	2		2			○									
		環境心理学	講義		2						○							
	ユニバーサルデザイン論	講義	2							○								
	感性情報学	講義	2								○							
	デザイン基盤	デザイン研究法	講義+演習	2						○						20単位以上		
		デザイン英語	講義+演習		2									○				
		表現基礎（描画）	実習	2				○										
表現基礎（製図）		講義+演習		2				○										
表現基礎（構成）		講義+演習		2				○										
材料加工理論/実習 I		実習	2			○												
材料加工理論/実習 II		実習		2			○											
建築設計製図		演習		2					○									
情報製品製図		演習		2						○								
3 DCG実習		実習		2						○	○							
建築系CAD実習	実習		2							○								
製品系CAD実習	実習		2								○							



区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位		
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論/演習Ⅰ	講義+演習	2			○									所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
		時間表現理論/演習Ⅱ	講義+演習	2				○								
		Webデザイン	演習	2			○									
		Webプログラミング	講義+演習	2					○							
専門教育科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論	講義	2					○							
		空間デザイン史	講義	2					○							
		建築計画論	講義	2					○							
		都市計画論	講義	2							○					
		景観デザイン文化論	講義	2										○		
		住宅論	講義	2										○		
		環境計画論	講義+演習	2					○							
		建築設備計画	講義+演習	2							○					
		構造力学Ⅰ	講義+演習	2							○					
		構造力学Ⅱ	講義+演習	2								○				
		一般構造	講義+演習	2						○						
		建築構法	講義+演習	2								○				
		構造・材料実験	実習	2									○			
		建築生産	講義+演習	2								○				
	建築法規	講義	2								○					
	家具・インテリアデザイン	実習	2						○							
	ランドスケープアーキテクチャ	講義	2								○					
	コミュニティデザイン論	講義	2						○							
	メディア芸術論	講義	2							○						
	人間情報デザインコース	空間演出デザイン論	講義+演習	2							○					
		地域ブランド構築	講義+演習	2								○				
		観光デザイン論	講義+演習	2									○			
		環境芸術論	講義+演習	2						○						
		空間プロダクト	講義+演習	2							○					
		空間映像表現	演習	2								○				
		寒冷地デザイン論	講義+演習	2								○				
起業・経営論		講義	2										○			
プロダクトデザインⅠ		講義+演習	2						○							
プロダクトデザインⅡ		講義+演習	2							○						
ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ		講義+演習	2								○					
ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ		講義+演習	2									○				
ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義+演習	2										○				
発展科目	連携	学部連携基礎論	講義	2						○					4単位以上	
		学部連携演習	演習	2								○				
		地域プロジェクトⅠ(基礎編) 注4	演習			2	○	○	○	○						
		地域プロジェクトⅡ(応用編) 注4	演習			2			○	○	○	○	○			
	総合実習	デザイン総合実習Ⅰ	実習	2						○					8単位	
		デザイン総合実習Ⅱ	実習	2						○						
		デザイン総合実習Ⅲ	実習	2							○					
		デザイン総合実習Ⅳ	実習	2								○				
	卒業研究	卒業研究Ⅰ	演習	3									○		6単位	
		卒業研究Ⅱ	演習	3									○			
キャリア教育	フィールドスタディ	実習	2						◎					4単位以上		
	インターンシップ	実習	2							◎						
	キャリアデザイン	講義	2								○					
自由科目	学芸員課程関連科目	生涯学習概論	講義			2						○		19単位		
		博物館概論	講義			2						○				
		博物館経営論	講義			2							○			
		博物館資料論	講義			2						○				
		博物館資料保存論	講義			2						○				
		博物館展示論	講義			2						○				
		博物館情報・メディア論	講義			2						○				
		博物館教育論	講義			2						○				
		博物館実習	実習			3							◎			

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。  
 注3) 「その他言語Ⅰ・Ⅱ」は他の大学又は短期大学における既修得単位または在学中の修得単位を認定するものです。  
 注4) 「地域プロジェクトⅠ(基礎編)」「地域プロジェクトⅡ(応用編)」「地域プロジェクトⅢ(発展編)」は、2022年度開講しません。



2016年度（編入学生は2018年度）～2021年度（編入学生は2023年度）入学生用

区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位	
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次			
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
共通教育科目	導入科目	スタートアップ演習	2			○									2単位
	文化に対する理解	哲学と倫理	講義	2			○								4単位以上
		宗教と思想	講義	2				○							
		芸術と文化	講義	2				○							
		教育を考える	講義	2						○					
		生活と文化	講義	2						○					
		ジェンダーと文化	講義	2						○					
	人間と自然に対する理解	心のしくみ	講義	2				○							4単位以上
		体のしくみ	講義	2			○								
		人間関係を考える	講義	2			○								
		健康とスポーツ	講義	2							○				
		環境を考える	講義	2						○					
		自然科学を学ぶ	講義	2			○								
	社会に対する理解	動物のくらし	講義	2				○							4単位以上
		現代社会と家族	講義	2				○							
		現代社会と国際関係	講義	2					○						
		現代社会と経済	講義	2					○						
		札幌を学ぶ	講義	2			○								
		ボランティア活動を考える	講義	2						○					
	外国語	英語 I A	演習	1			○								8単位以上
		英語 I B	演習	1			○								
		英語 I C	演習	1			○								
		英語 II A	演習	1				○							
		英語 II B	演習	1				○							
		英語 II C	演習	1				○							
		実践英語A	演習		1				○						
		実践英語B	演習		1				○						
		韓国語	演習		1					○					
		中国語	演習		1						○				
		ロシア語	演習		1							○			
		コミュニケーション・情報技術	日本語表現法	演習		1			○						
	プレゼンテーション		演習	1				○							
	基礎カウンセリング		演習		1			○							
対人コミュニケーション	演習			1				○							
グループ・ダイナミクス	演習			1					○						
手話	演習			1				○							
情報リテラシー I	演習		1				○								
情報リテラシー II	演習		1					○							
専門教育科目	デザイン概論	人間空間デザイン論	講義	2			○							4単位	
		人間情報デザイン論	講義	2			○								
	デザイン理	デザイン史	講義	2				○						20単位以上	
		近現代建築史	講義		2				○						
		情報社会論	講義	2						○					
		エコロジカルデザイン	講義		2					○					
		メディア社会論	講義+演習		2						○				
		知的財産権論	講義		2							○			
		デザインと数学	講義+演習		2			○							
		デザイン工学	講義+演習		2				○						
		コンピュータグラフィックス	講義+演習		2					○					
		アイデア生成プロセス	講義+演習	2					○						
		デザイン展開プロセス	講義+演習		2						○				
		視覚・色彩心理学	講義	2					○						
	環境心理学	講義		2						○					
	ユニバーサルデザイン論	講義	2							○					
	感性情報学	講義	2								○				
	デザイン基盤	デザイン研究法	講義+演習	2						○				20単位以上	
		デザイン英語	講義+演習		2								○		
		表現基礎 (描画)	実習	2				○							
表現基礎 (製図)		講義+演習		2				○							
表現基礎 (構成)		講義+演習		2				○							
材料加工理論/実習 I		実習	2				○								
材料加工理論/実習 II		実習		2				○							
建築設計製図		演習		2					○						
情報製品製図		演習		2					○						
3DCG実習		実習		2					○	○					
建築系CAD実習	実習		2					○							
製品系CAD実習	実習		2						○						





区分	授業科目	授業形態	単位数			配当年次								卒業要件単位		
			必修	選択	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
						前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基本科目	デザイン基盤	時間表現理論/演習Ⅰ		2			○									所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
		時間表現理論/演習Ⅱ		2				○								
		Webデザイン		2			○									
		Webプログラミング		2					○							
専門教育科目	人間空間デザインコース	建築デザイン論		2					○							所属するコースから22単位以上/他コースから10単位以上
		空間デザイン史		2					○							
		建築計画論		2					○							
		都市計画論		2							○					
		景観デザイン文化論		2										○		
		住宅論		2										○		
		環境計画論		2					○							
		建築設備計画		2							○					
		構造力学Ⅰ		2							○					
		構造力学Ⅱ		2								○				
		一般構造		2						○						
		建築構法		2								○				
		構造・材料実験		2									○			
		建築生産		2								○				
	建築法規		2								○					
	家具・インテリアデザイン		2						○							
	ランドスケープアーキテクチャ		2							○						
	コミュニティデザイン論		2						○							
	メディア芸術論		2						○							
	人間情報デザインコース	空間演出デザイン論		2							○					
		地域ブランド構築		2								○				
		観光デザイン論		2									○			
		環境芸術論		2						○						
		空間プロダクト		2						○						
		空間映像表現		2								○				
		寒冷地デザイン論		2								○				
起業・経営論			2										○			
プロダクトデザインⅠ			2						○							
プロダクトデザインⅡ			2							○						
ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ			2								○					
ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ			2									○				
ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ		2										○				
プログラミングⅠ		2						○								
プログラミングⅡ		2							○							
プログラミングⅢ		2								○						
ヒューマンインタラクションⅠ		2							○							
ヒューマンインタラクションⅡ		2								○						
協同デザインⅠ		2						○								
協同デザインⅡ		2							○							
ビジュアライゼーションⅠ		2						○								
ビジュアライゼーションⅡ		2							○							
ビジュアライゼーションⅢ		2								○						
発展科目	連携	学部連携基礎論		2					○						4単位以上	
		学部連携演習		2								○				
		地域プロジェクトⅠ(基礎編)注3			2		○	○	○	○						
		地域プロジェクトⅡ(応用編)注3			2				○	○	○	○				
	地域プロジェクトⅢ(発展編)注3			2						○	○	○				
	総合実習	デザイン総合実習Ⅰ		2						○					8単位	
		デザイン総合実習Ⅱ		2						○						
		デザイン総合実習Ⅲ		2							○					
		デザイン総合実習Ⅳ		2								○				
	卒業研究	卒業研究Ⅰ		3									○		6単位	
卒業研究Ⅱ			3									○				
キャリア教育	フィールドスタディ		2						◎					4単位以上		
	インターンシップ		2							◎						
	キャリアデザイン		2								○					
自由科目	学芸員課程関連科目	生涯学習概論			2						○			19単位		
		博物館概論			2						○					
		博物館経営論			2							○				
		博物館資料論			2							○				
		博物館資料保存論			2							○				
		博物館展示論			2							○				
		博物館情報・メディア論			2							○				
		博物館教育論			2							○				
		博物館実習			3								◎			

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。

注3) 「地域プロジェクトⅠ(基礎編)」「地域プロジェクトⅡ(応用編)」「地域プロジェクトⅢ(発展編)」は、2022年度開講しません。



## ② 卒業要件

2022年度（編入学生は2024年度）以降入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
学際教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
(基本科目)	(24)	(20)	(44)
(展開科目)	—	(32)	(32)
(発展科目)	(18)	(4)	(22)
合 計	53	71	124

2016年度（編入学生は2018年度）～2021年度（編入学生は2023年度）入学生

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	11	15	26
専門教育科目	42	56	98
(基本科目)	(24)	(20)	(44)
(展開科目)	—	(32)	(32)
(発展科目)	(18)	(4)	(22)
合 計	53	71	124



## 3) 教育活動 (デザイン学部)

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
人間空間デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎片山めぐみ 西川 忠 金子 晋也 武田 亘明 石田 勝也 椎野亜紀夫 山田 良 小林 重人 森 朋子 須之内元洋 齊藤 雅也 大島 卓 小宮加容子 山田 信博 坪内 健
人間情報デザイン論	講義・30時間	1年次前期	◎安齋 利典 藤木 淳 若林 尚樹 横溝 賢 松永 康佑 石井 雅博 細谷 多聞 金 秀敬 大淵 一博 矢久保空遥 柿山浩一郎 三谷 篤史 張 浦華 福田 大年 吉田 彩乃
デザイン史	講義・30時間	1年次前期	◎細谷 多聞 金子 晋也
デザインと数学	講義+演習・30時間	1年次前期	◎石井 雅博 大淵 一博 松永 康佑
表現基礎 (描画)	実習・60時間	1年次前期	◎福田 大年 片山めぐみ
材料加工理論/実習 I	実習・60時間	1年次前期	◎山田 良 矢久保空遥 ★川上 理恵
時間表現理論/演習 I	講義+演習・30時間	1年次前期	◎須之内元洋 石田 勝也
デザイン工学	講義+演習・30時間	1年次後期	◎齊藤 雅也 西川 忠 細谷 多聞
アイデア生成プロセス	講義+演習・30時間	1年次後期	福田 大年
視覚・色彩心理学	講義・30時間	1年次後期	石井 雅博
表現基礎 (製図)	講義+演習・30時間	1年次後期	◎山田 信博 森 朋子
表現基礎 (構成)	講義+演習・30時間	1年次後期	◎横溝 賢 金 秀敬
材料加工理論/実習 II	実習・60時間	1年次後期	◎安齋 利典 ★山田 祥子 張 浦華 ★石崎 友紀
Webデザイン	演習・30時間	1年次後期	大淵 一博
地域プロジェクト I (基礎編) 2022年度開講無し	演習・60時間	1年次・2年次 通年	◎若林 尚樹 森 朋子 原井 美佳
近現代建築史	講義・30時間	2年次前期	◎金子 晋也 ★平 輝 ★藤田 純也
デザイン研究法 (人間空間デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎小林 重人 椎野亜紀夫 森 朋子
デザイン研究法 (人間情報デザイン)	講義+演習・30時間	2年次前期	◎柿山浩一郎 張 浦華 石井 雅博 金 秀敬
建築設計製図	演習・30時間	2年次前期	◎山田 良 森 朋子 山田 信博
情報製品製図	演習・30時間	2年次前期	柿山浩一郎
3DCG実習 (表現系)	実習・60時間	2年次前期	松永 康佑
建築系CAD実習	実習・60時間	2年次前期	★五十嵐雄祐
時間表現理論/演習 II	講義+演習・30時間	2年次前期	◎石田 勝也 須之内元洋
建築計画論	講義・30時間	2年次前期	◎山田 信博



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
環境計画論	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎齊藤 雅也 椎野亜紀夫
コミュニティデザイン論	講義・30時間	2年次前期	◎片山めぐみ 坪内 健
環境芸術論	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	◎大島 卓 須之内元洋
プロダクトデザイン I	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	安齋 利典
プログラミング I	演習・30時間	2年次前期	◎石井 雅博 吉田 彩乃
協同デザイン I	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	福田 大年
ビジュアライゼーション I	講義＋演習・ 30時間	2年次前期	横溝 賢
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎藤木 淳 西川 忠 小林 重人 丸山 洋平 大淵 一博 ◎小田 和美 本田 光 矢野祐美子
デザイン総合実習 I (建築・環境)	実習・60時間	2年次前期	◎山田 信博 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 西川 忠 山田 良 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 森 朋子 石田 勝也
デザイン総合実習 I (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次前期	◎武田 亘明 片山めぐみ 小宮加容子
デザイン総合実習 I (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次前期	◎安齋 利典 三谷 篤史 横溝 賢 大淵 一博
フィールドスタディ	実習・60時間	2年次集中	◎安齋 利典 大島 卓 横溝 賢 須之内元洋
情報社会論	講義・30時間	2年次後期	武田 亘明
エコロジカルデザイン	講義・30時間	2年次後期	椎野亜紀夫
コンピュータグラフィックス	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康佑
環境心理学	講義・30時間	2年次後期	片山めぐみ
ユニバーサルデザイン論	講義・30時間	2年次後期	小宮加容子
3DCG実習 (建築系)	実習・60時間	2年次後期	山田 信博
製品系CAD実習	実習・60時間	2年次後期	三谷 篤史
Webプログラミング	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	大淵 一博
建築デザイン論	講義・30時間	2年次後期	山田 良
空間デザイン史	講義・30時間	2年次後期	金子 晋也
一般構造	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	西川 忠
家具・インテリアデザイン	実習・60時間	2年次後期	◎片山めぐみ ★岸本 幸雄 ★祐川 諭 ★藤原 誠
メディア芸術論	講義・30時間	2年次後期	須之内元洋
空間プロダクト	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	小宮加容子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
プロダクトデザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	三谷 篤史
プログラミングⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	松永 康佑
協同デザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	2年次後期	若林 尚樹
デザイン総合実習Ⅱ (建築・環境)	実習・60時間	2年次後期	◎大島 卓 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 西川 忠 山田 良 片山めぐみ 金子 晋也 森 朋子 山田 信博
デザイン総合実習Ⅱ (地域コミュニケーション・総合系)	実習・60時間	2年次後期	◎石田 勝也 須之内元洋 坪内 健
デザイン総合実習Ⅱ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	2年次後期	◎矢久保空遥 石井 雅博 張 浦華
地域プロジェクトⅡ (応用編) 2022年度開講無し	演習・60時間	2年次・3年 次・4年次 通年	◎若林 尚樹 森 朋子 原井 美佳
メディア社会論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	小林 重人
感性情報学	講義・30時間	3年次前期	◎張 浦華 金 秀敬
都市計画論	講義・30時間	3年次前期	森 朋子
建築設備計画	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	齊藤 雅也
構造力学Ⅰ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	西川 忠
ランドスケープアーキテクチャ	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫 大島 卓
空間演出デザイン論	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	◎石田 勝也 小宮加容子
ユーザーエクスペリエンスデザインⅠ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	金 秀敬
ヒューマンインタラクションⅠ	演習・30時間	3年次前期	矢久保空遥
プログラミングⅢ	演習・30時間	3年次前期	三谷 篤史
ビジュアルライゼーションⅡ	講義＋演習・ 30時間	3年次前期	藤木 淳
デザイン総合実習Ⅲ (建築・環境) ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎山田 良 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 柿山浩一郎 細谷 多聞 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 森 朋子 山田 信博
デザイン総合実習Ⅲ (地域コミュニケーション・総合系) ※人間空間デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎小林 重人 若林 尚樹 大島 卓 小宮加容子 山田 信博
デザイン総合実習Ⅲ (ものづくり・総合系) ※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎柿山浩一郎 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 細谷 多聞 山田 良 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 金 秀敬 山田 信博 森 朋子 福田 大年
デザイン総合実習Ⅲ (情報・総合系) ※人間情報デザインコース	実習・60時間	3年次前期	◎若林 尚樹 藤木 淳 大島 卓 小宮加容子 松永 康佑 吉田 彩乃



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
インターンシップ	実習・60時間	3年次集中	◎藤木 淳 金子 晋也 小林 重人 張 浦華
デザイン展開プロセス	講義＋演習・ 30時間	3年次後期	安齋 利典
構造力学Ⅱ	講義＋演習・ 30時間	3年次後期	西川 忠
建築構法	講義＋演習・ 30時間	3年次後期	金子 晋也
構造・材料実験	実習・60時間	3年次後期	◎西川 忠 ★劉 宏涛
建築生産	講義＋演習・ 30時間	3年次後期	★佐野 天彦
建築法規	講義＋演習・ 30時間	3年次後期	★大場 里樹
地域ブランド構築	講義＋演習・ 30時間	3年次後期	小林 重人
空間映像表現	演習・30時間	3年次後期	石田 勝也
寒冷地デザイン論	講義・30時間	3年次後期	◎大島 卓 齊藤 雅也
ユーザーエクスペリエンスデザインⅡ	講義＋演習・ 30時間	3年次後期	張 浦華
ヒューマンインタラクションⅡ	演習・30時間	3年次後期	◎石井 雅博 吉田 彩乃
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎柿山浩一郎 山田 良 若林 尚樹 金子 晋也 金 秀敬 小宮加容子 森 朋子 横溝 賢 石田 勝也 坪内 健 矢久保空遥 ◎喜多 歳子 佐藤ひとみ 高橋 奈美 藤井 瑞恵 村松 真澄 伊東健太郎 武富貴久子 牧田 靖子 栗原 知己 田仲 里江 平山 憲吾
デザイン総合実習Ⅳ (人間空間デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎須之内元洋 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 西川 忠 山田 良 大島 卓 片山めぐみ 金子 晋也 小林 重人 小宮加容子 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 坪内 健
デザイン総合実習Ⅳ (人間情報デザインコース)	実習・60時間	3年次後期	◎三谷 篤史 石井 雅博 安齋 利典 柿山浩一郎 藤木 淳 細谷 多聞 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥 吉田 彩乃
キャリアデザイン	講義・30時間	3年次後期	◎山田 信博 福田 大年
地域プロジェクトⅢ(発展編) 2022年度開講無し	演習・60時間	3年次・4年 次通年	◎若林 尚樹 森 朋子 原井 美佳
デザイン英語	演習・30時間	4年次前期	★町田佳世子
知的財産権論	講義・30時間	4年次前期	◎安齋 利典 須之内元洋 ★伊藤 博之 ★岩崎 孝治 ★川上 大雅 ★田中 勝也 ★吉田 聡子 ★渡辺 直行
景観デザイン文化論	講義・30時間	4年次前期	★中井 和子
住宅論	講義・30時間	4年次前期	山田 良



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
観光デザイン論	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	大島 卓
起業・経営論	講義・30時間	4年次前期	◎★小林 元 ★佐々木 信
ユーザーエクスペリエンスデザインⅢ	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	細谷 多聞
ビジュアルライゼーションⅢ	講義＋演習・ 30時間	4年次前期	◎柿山浩一郎 吉田 彩乃
卒業研究Ⅰ (人間空間デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎金子 晋也 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 西川 忠 山田 良 大島 卓 片山めぐみ 小林 重人 小宮加容子 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 須之内元洋 坪内 健
卒業研究Ⅰ (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎藤木 淳 石井 雅博 安齋 利典 柿山浩一郎 細谷 多聞 三谷 篤史 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥 吉田 彩乃
卒業研究Ⅱ ※前期履修 (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次前期	◎藤木 淳 石井 雅博 安齋 利典 柿山浩一郎 細谷 多聞 三谷 篤史 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥 吉田 彩乃
卒業研究Ⅱ (人間空間デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎大島 卓 椎野亜紀夫 齊藤 雅也 西川 忠 山田 良 片山めぐみ 金子 晋也 小林 重人 小宮加容子 武田 亘明 森 朋子 山田 信博 石田 勝也 須之内元洋 坪内 健
卒業研究Ⅱ (人間情報デザインコース)	演習・45時間	4年次後期	◎藤木 淳 石井 雅博 安齋 利典 柿山浩一郎 細谷 多聞 三谷 篤史 若林 尚樹 金 秀敬 張 浦華 横溝 賢 大淵 一博 福田 大年 松永 康佑 矢久保空遥 吉田 彩乃
生涯学習概論	講義・30時間	3年次前期	★木村 純
博物館概論	講義・30時間	3年次前期	◎椎野亜紀夫 ★岩崎 直人 ★越前谷宏紀
博物館資料論	講義・30時間	3年次前期	◎★佐藤 弥生 ★工藤 義衛
博物館情報・メディア論	講義・30時間	3年次前期	武田 亘明
博物館教育論	講義・30時間	3年次前期	★細川 健裕
博物館経営論	講義・30時間	3年次後期	★苫名 真
博物館資料保存論	講義・30時間	3年次後期	★守屋 開
博物館展示論	講義・30時間	3年次後期	★岩崎 直人
博物館実習	実習・90時間	4年次前期 (学外での実 習は集中)	◎椎野亜紀夫 ★岩崎 直人 ★越前谷宏紀 ★山崎 真実

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



## 4 看護学部

## 1) 2022年度時間割

## ① 1年前期

	月	火		水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)			
1	9:00 ~ 10:30			情報リテラシー I	体のしくみ	
2	10:40 ~ 12:10		看護観察技術論	情報リテラシー I	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	哲学と倫理 生活と文化
3	13:10 ~ 14:40	形態機能学 I	形態機能学 II	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	札幌を学ぶ 表象文化論
4	14:50 ~ 16:20	形態機能学 I	形態機能学 II	英語 I A 英語 I B 英語 I C 日本語表現法	スタートアップ演習	英語 I A 英語 I B 英語 I C 基礎カウンセリング
5	16:30 ~ 18:00	看護学原論	地域保健学概論	人間発達援助論		自然科学 A (科学史)

※ 集中講義：看護初期実習 6/6 (月)～6/10 (金)

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクト I (基礎編)・地域プロジェクト II (応用編)・地域プロジェクト III (発展編)は、2022年度の開講なし

## ② 1年後期

	月	火		水	木	金
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)			
1	9:00 ~ 10:30	病理病態学	看護過程論			情報リテラシー II 手話
2	10:40 ~ 12:10	病理病態学	看護理論 看護過程論	宗教と思想 自然科学 C (動物の生態)	心のしくみ 現代社会論 A (人口・家族)	情報リテラシー II 手話
3	13:10 ~ 14:40	基礎看護技術論	薬理学	英語 II A 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	英語 II A 英語 II B 英語 II C プレゼンテーション	現代社会論 C (経済) 文学の世界
4	14:50 ~ 16:20	基礎看護技術論	感染予防論	英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C	英語 II A 英語 II B 英語 II C
5	16:30 ~ 18:00			芸術文化論 現代社会論 E (情報科学)	統計の世界 現代社会論 D (社会言語学)	英語 II A 英語 II B 英語 II C

※ 集中講義：基礎看護学臨地実習 I 10/17 (月)～21 (金)

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクト I (基礎編)・地域プロジェクト II (応用編)・地域プロジェクト III (発展編)は、2022年度の開講なし





## ③ 2年前期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	精神看護学 概論	人間工学	ボランティア活動を 考える 日本国憲法を学ぶ	老年看護学 概論			家族社会学		
2	10:40 ~ 12:10	生命科学	環境保健	実践英語A 実践英語B	医療情報		成人看護学 概論		臨床栄養学	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生学	成人看護 援助論	実践英語A 実践英語B	生命倫理		疾病治療学概論		症状マネジメント論	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生学	成人看護 援助論	生活と文化 グループ・ ダイナミックス					症状マネジメント論	
5	16:30 ~ 18:00	疾病治療学B		現代社会と国際関係 環境を考える			疾病治療学A		学部連携基礎論	

※ 集中講義：基礎看護学臨地実習Ⅱ 5/23（月）～6/3（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅠ（基礎編）・地域プロジェクトⅡ（応用編）・地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2022年度の開講なし

## ④ 2年後期

		月		火	水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	援助的 人間関係論	精神看護 援助論	ジェンダーと文化	臨床薬理学		社会福祉学			
2	10:40 ~ 12:10	援助的 人間関係論	精神看護 援助論		臨床心理学		小児看護 学概論	看護倫理学	母性看護学 概論	
3	13:10 ~ 14:40	感染管理論	教育を 考える	中国語 ロシア語	健康とスポーツ		老年看護 援助論	がん看護学		在宅看護 援助論
4	14:50 ~ 16:20	在宅看護学 概論	教育を 考える	中国語 ロシア語	韓国語		老年看護 援助論	がん看護学		在宅看護 援助論
5	16:30 ~ 18:00						公衆衛生看 護学概論	チーム 医療論	疾病治療学C	

※ 集中講義：成人看護学臨地実習Ⅰ 10/24（月）～11/11（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅠ（基礎編）・地域プロジェクトⅡ（応用編）・地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2022年度の開講なし



## ⑤ 3年前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療福祉 行政論 I		保健統計	
2	10:40 ~ 12:10	認知症ケア		母性看護 援助論		成人看護 技術論		保健医療福祉 行政論 I		保健統計	
3	13:10 ~ 14:40			在宅看護 技術論		疫学 I		リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
4	14:50 ~ 16:20	小児看護 援助論		在宅看護 技術論				リハビリ テーション 看護学		精神看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00	小児看護 援助論									

※ 集中講義：老年看護学臨地実習 I 5/9（月）～5/13（金）

成人看護学臨地実習 II・精神看護学臨地実習・在宅看護学臨地実習 6/20（月）～7/29（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある。

※ 地域プロジェクト I（基礎編）・地域プロジェクト II（応用編）・地域プロジェクト III（発展編）は、2022年度の開講なし

## ⑥ 3年後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	研究方法論		健康教育 指導法		看護教育学		公衆衛生 看護援助論 (前半 I / 後半 II)		老年看護 技術論	
2	10:40 ~ 12:10	研究方法論		健康教育 指導法		透析ケア		公衆衛生 看護援助論 (前半 I / 後半 II)		老年看護 技術論	
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生 看護援助論 (前半 I / 後半 II)						小児看護 技術論		重症集中 ケア	
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生 看護援助論 (前半 I / 後半 II)						小児看護 技術論		母性看護 技術論	
5	16:30 ~ 18:00	救急看護学		学部連携演習				放射線医療 管理論		母性看護 技術論	

※ 集中講義：母性看護学臨地実習・小児看護学臨地実習・老年看護学臨地実習 II 11/21（月）～12/16（金）、1/16（月）～1/27（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクト I（基礎編）・地域プロジェクト II（応用編）・地域プロジェクト III（発展編）は、2022年度の開講なし



## ⑦ 4年前期

		月		火		水		木	金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ~ 10:30	国際保健学		パリアティブ ケア		看護管理学		卒業研究		ヘルスプロ モーション 活動論
2	10:40 ~ 12:10	現代専門 職論		災害看護学		看護管理学		卒業研究		ヘルスプロ モーション 活動論
3	13:10 ~ 14:40	公衆衛生 看護技術論		医療安全管 理論		看護情報学				医療経営学
4	14:50 ~ 16:20	公衆衛生 看護技術論		寒冷地医療						ペリネイタル ケア
5	16:30 ~ 18:00							国際看護学		

※ 集中講義：公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ 6/13（月）～7/29（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅠ（基礎編）・地域プロジェクトⅡ（応用編）・地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2022年度の開講なし

## ⑧ 4年後期

		月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:30			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論Ⅱ
2	10:40 ~ 12:10			公衆衛生看護管理論	卒業研究	保健医療福祉行政論Ⅱ
3	13:10 ~ 14:40					疫学Ⅱ
4	14:50 ~ 16:20					
5	16:30 ~ 18:00					

※ 集中講義：ヘルスケアマネジメント実習 9/20（火）～10/7（金）

※ 看護学部専門教育科目は、開講曜日時間を週によって変更する場合がある

※ 地域プロジェクトⅠ（基礎編）・地域プロジェクトⅡ（応用編）・地域プロジェクトⅢ（発展編）は、2022年度の開講なし



2) カリキュラム

① 授業科目一覧

2022年度以降入学生用

区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位					
				必修	選択	保健師コース必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次							
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期						
学際教育科目	導入科目	I1D600	スタートアップ演習	演習	2			○												2単位	
	文化に対する理解	I1D601	哲学と倫理	講義		2			○												12単位以上
		I1D602	宗教と思想	講義		2				○											
		I1D603	芸術文化論	講義		2				○											
		I1D604	表象文化論	講義		2			○												
		I2D605	ジェンダー論	講義		2						○									
		I1D606	文学の世界	講義		2				○											
		I1D607	生活と文化	講義		2			○												
	人間と自然に対する理解	I1D608	心のしくみ	講義		2				○											
		I1D609	体のしくみ	講義		2			○												
		I3D610	健康とスポーツ	講義		2						○									
		I1D611	自然科学A (科学史)	講義		2			○												
		I2D612	自然科学B (環境)	講義		2						○									
		I1D613	自然科学C (動物の生態)	講義		2							○								
		社会に対する理解	I1D614	現代社会論A (人口・家族)	講義		2				○										
	I2D615		現代社会論B (国際関係)	講義		2					○										
	I1D616		現代社会論C (経済)	講義		2				○											
	I1D617		現代社会論D (社会言語学)	講義		2				○											
	I1D618		現代社会論E (情報科学)	講義		2				○											
	I2D619		日本国憲法を学ぶ	講義		2						○									
	I1D620		札幌を学ぶ	講義		2			○												
I3D621	統計の世界	講義		2				○													
技術・スキル系科目	言語	I1D701	英語 I A	演習	1			○												6単位	
		I1D702	英語 I B	演習	1			○													
		I1D703	英語 I C	演習	1			○													
		I1D704	英語 II A	演習	1				○												
		I1D705	英語 II B	演習	1				○												
		I1D706	英語 II C	演習	1				○												
		I2D707	実践英語 A	演習		1					○										
	情報技術	I2D708	実践英語 B	演習		1					○										2単位以上
		I2D709	韓国語	演習		1						○									
		I3D710	中国語	演習		1						○									
		I3D711	ロシア語	演習		1						○									
		I5D712	その他言語 I (他大学履修)	演習		1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		I5D713	その他言語 II (他大学履修)	演習		1			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		I1D714	情報リテラシー I	演習	1				○												
コミュニケーション	I1D715	情報リテラシー II	演習	1				○												2単位以上	
	I1D716	日本語表現法	演習		1			○													
	I1D717	手話	演習		1				○												
	I1D718	グループ・ダイナミクス	演習		1					○											
	I1D719	基礎カウンセリング	演習		1			○													
	I1D720	プレゼンテーション	演習		1				○												
専門基礎科目	人間と命	I1D721	ボランティア基礎演習	演習		1				○										5単位以上	
		N1D201	形態機能学 I	演習	2				○												
		N1D202	形態機能学 II	演習	2				○												
		N2D203	生命科学	講義		1					○										
		N2D204	生命倫理	講義		1					○										
		N2D205	環境保健	講義		1					○										
	健康と健康障害と予防	N2D206	人間工学	講義		1					○										
		N1D207	薬理学	講義	2					○											
		N2D208	臨床薬理学	演習	1							○									
		N2D209	臨床栄養学	演習	1						○										
		N1D210	病理病態学	演習	2					○											
		N2D211	疾病治療学概論	演習	1						○										
		N2D212	疾病治療学 A	演習	1						○										
		N2D213	疾病治療学 B	演習	1						○										
		N2D214	疾病治療学 C	演習	1							○									
		N1D215	感染予防論	講義	2					○											
	保健と医療と福祉	N2D216	公衆衛生学	演習	1						○										
		N2D217	社会福祉学	講義	1							○									
		N2D218	家族社会学	講義		1						○									
		N2D219	チーム医療論	講義		1						○									
		N2D220	感染管理論	講義		1						○									
N2D221		臨床心理学	講義		1						○										
N1D222		地域保健学概論	講義	1				○													
N3D223		保健医療福祉行政論 I	演習	1								○									
N4D224		保健医療福祉行政論 II	演習		1								○								
N3D225		保健統計	講義	2									○								
N3D226		疫学 I	講義	1									○								
N4D227		疫学 II	講義		1									○							
N2D228		医療情報	演習	1							○										



区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次 (◎は集中で開講)								卒業要件単位		
				必修	選択	保健師コース必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目	看護の基礎となるもの	N1D301	看護学原論	講義	1				○									7単位
		N1D302	看護理論	講義	1					○								
		N2D303	援助の人間関係論	演習	1							○						
		N1D304	人間発達援助論	演習	1				○									
		N1D305	看護初期実習	実習	1				◎									
		N2D306	看護倫理学	講義	1							○						
		N3D307	健康教育指導法	演習	1									○				
		N1D308	看護過程論	演習	1					○								
		N1D309	看護観察技術論	演習	1				○									
		N2D310	症状マネジメント論	演習	2						○							
		N1D311	基礎看護技術論	演習	2					○								
		N1D312	基礎看護学臨地実習 I	実習	1					◎								
		N2D313	基礎看護学臨地実習 II	実習	2						◎							
		N3D314	研究方法論	演習	1										○			
		N2D315	小児看護学概論	講義	1							○						
		N3D316	小児看護援助論	演習	1								○					
		N3D317	小児看護技術論	演習	1									○				
		N3D318	小児看護学臨地実習	実習	2										◎			
	N2D319	母性看護学概論	講義	1							○							
	N3D320	母性看護援助論	演習	1								○						
	N3D321	母性看護技術論	演習	1									○					
	N3D322	母性看護学臨地実習	実習	2										◎				
	N2D323	成人看護学概論	講義	1							○							
	N2D324	成人看護援助論	演習	1							○							
	N3D325	成人看護技術論	演習	1								○						
	N2D326	成人看護学臨地実習 I	実習	3							◎							
	N3D327	成人看護学臨地実習 II	実習	2								◎						
	N2D328	老年看護学概論	講義	1							○							
	N2D329	老年看護援助論	演習	1								○						
	N3D330	老年看護技術論	演習	1									○					
	N3D331	老年看護学臨地実習 I	実習	1									◎					
	N3D332	老年看護学臨地実習 II	実習	2										◎				
	N2D333	精神看護学概論	講義	1							○							
	N2D334	精神看護援助論	演習	1								○						
	N3D335	精神看護技術論	演習	1									○					
	N3D336	精神看護学臨地実習	実習	2										◎				
N2D337	在宅看護学概論	講義	1								○							
N2D338	在宅看護援助論	演習	1								○							
N3D339	在宅看護技術論	演習	1									○						
N3D340	在宅看護学臨地実習	実習	2										◎					
N3D341	リハビリテーション看護学	演習	1									○						
N2D342	がん看護学	演習	1								○							
N3D343	認知症ケア	演習	1									○						
N3D344	透析ケア	講義	1										○					
N3D345	重症集中ケア	講義	1										○					
N3D346	救急看護学	講義	1										○					
N3D347	放射線医療管理論	講義	1										○					
N4D348	ペリネイタルケア	講義	1											○				
N4D349	バリアティブケア	講義	1											○				
N4D350	寒冷地医療	講義	1											○				
N2D401	公衆衛生看護学概論	講義	1								○							
N3D402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1									○						
N3D403	公衆衛生看護援助論 II	演習	1										○					
N4D404	公衆衛生看護技術論	演習	1											○				
N4D405	ヘルスプロモーション活動論	演習	1											○				
N4D406	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習	2											◎				
N4D407	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習	3											◎				
N4D408	看護管理学	演習	1											○				
N3D409	看護教育学	講義	1										○					
N4D410	卒業研究	演習	4											○				
N4D411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3											◎				
N4D412	公衆衛生看護管理論	講義	1											○				
N4D413	看護情報学	講義	1											○				
N4D414	災害看護学	講義	1											○				
N4D415	国際看護学	講義	1											○				
N4D416	国際保健学	講義	1											○				
N4D417	医療経営学	講義	1											○				
N4D418	医療安全管理論	講義	1											○				
N4D419	現代専門職論	講義	1											○				
N5D423	地域プロジェクトⅠ(基礎編)注4	演習	2					○	○	○	○	○	○	○	○			
N5D424	地域プロジェクトⅡ(応用編)注4	演習	2					○	○	○	○	○	○	○	○			
N5D425	地域プロジェクトⅢ(発展編)注4	演習	2								○	○	○	○	○			
N2D422	学部連携基礎論	講義	2							○								
N3D420	学部連携演習	演習	2											○				

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。

注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)

注4) 「地域プロジェクトⅠ(基礎編)」「地域プロジェクトⅡ(応用編)」「地域プロジェクトⅢ(発展編)」は、2022年度開講しません。

※開講時期(前期・後期)は変更になる場合があります。



2017年度（編入学生は2019年度）～2021年度（編入学生は2020年度）入学生用

区分	科目 ナンバリング	授業科目	授業 形態	単位数				配当年次								卒業 要件 単位			
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次					
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
共通教育科目	導入科目	C1C000	スタートアップ演習	演習	2			○										2単位	
	文化に 対する 理 解	C1C001	哲学と倫理	講義	2			○											4単位 以上
		C1C002	宗教と思想	講義	2				○										
		C1C003	芸術と文化	講義	2					○									
		C2C004	教育を考える	講義	2						○								
		C2C005	生活と文化	講義	2						○								
		C2C006	ジェンダーと文化	講義	2							○							
	人間と 自然に 対する 理 解	C1C007	心のしくみ	講義	2					○									4単位 以上
		C1C008	体のしくみ	講義	2			○											
		C1C009	人間関係を考える	講義	2			○											
		C2C010	健康とスポーツ	講義	2							○							
		C2C011	環境を考える	講義	2						○								
		C1C012	自然科学を学ぶ	講義	2			○											
	社会に 対する 理 解	C1C013	動物のくらし	講義	2				○										4単位 以上
		C1C014	現代社会と家族	講義	2					○									
		C2C015	現代社会と国際関係	講義	2						○								
		C1C016	現代社会と経済	講義	2						○								
		C1C017	札幌を学ぶ	講義	2			○											
		C2C018	ボランティア活動を考える	講義	2						○								
外国語	C1C101	英語 I A	演習	1				○										8単位 以上	
	C1C102	英語 I B	演習	1				○											
	C1C103	英語 I C	演習	1				○											
	C1C104	英語 II A	演習	1					○										
	C1C105	英語 II B	演習	1					○										
	C1C106	英語 II C	演習	1					○										
	C2C107	実践英語A	演習	1						○									
	C2C108	実践英語B	演習	1						○									
	C2C109	韓国語	演習	1							○								
	C2C110	中国語	演習	1							○								
	C2C111	ロシア語	演習	1							○								
コミュニ ケーション 科目	C1C112	日本語表現法	演習	1				○										4単位 以上	
	C1C113	プレゼンテーション	演習	1					○										
	C1C114	基礎カウンセリング	演習	1				○											
	C1C115	対人コミュニケーション	演習	1					○										
	C2C116	グループ・ダイナミックス	演習	1						○									
	C1C117	手話	演習	1						○									
	C1C118	情報リテラシー I	演習	1				○											
	C1C119	情報リテラシー II	演習	1					○										
人間と命	N1C201	形態機能学 I	演習	2				○										5単位 以上	
	N1C202	形態機能学 II	演習	2				○											
	N2C203	生命科学	講義	1						○									
	N2C204	生命倫理	講義	1						○									
	N2C205	環境保健	講義	1						○									
	N2C206	人間工学	講義	1						○									
	健康と健康 障害と予防	N1C207	薬理学	講義	2					○									12単位
		N2C208	臨床薬理学	演習	1						○								
		N2C209	臨床栄養学	演習	1						○								
		N1C210	病理病態学	演習	2					○									
N2C211		疾病治療学概論	演習	1						○									
N2C212		疾病治療学A	演習	1						○									
N2C213		疾病治療学B	演習	1						○									
N2C214		疾病治療学C	演習	1						○									
N1C215		感染予防論	講義	2						○									
保健と医 療と福祉		N2C216	公衆衛生学	演習	1						○								
	N2C217	社会福祉学	講義	1							○								
	N2C218	家族社会学	講義	1							○								
	N2C219	チーム医療論	講義	1							○								
	N2C220	感染管理論	講義	1							○								
	N2C221	臨床心理学	講義	1							○								
	N1C222	地域保健学概論	講義	1				○											
	N3C223	保健医療福祉行政論 I	演習	1								○							
	N4C224	保健医療福祉行政論 II	演習	1									○						
	N3C225	保健統計	講義	2								○							
	N3C226	疫学 I	講義	1								○							
	N4C227	疫学 II	講義	1									○						
N2C228	医療情報	演習	1								○								



区分	科目ナンバリング	授業科目	授業形態	単位数				配当年次								卒業要件単位		
				必修	選択	保健師 コース 必修	自由	1年次		2年次		3年次		4年次				
								前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期			
専門教育科目 看護の基礎となるもの	ヒューマンケアの基本	N1C301	看護学原論	講義	1				○									7単位
		N1C302	看護理論	講義	1					○								
		N2C303	援助的人間関係論	演習	1							○						
		N1C304	人間発達援助論	演習	1				○									
		N1C305	看護初期実習	実習	1				◎									
		N2C306	看護倫理学	講義	1							○						
		N3C307	健康教育指導法	演習	1								○					
	看護の基本的展開	N1C308	看護過程論	演習	1					○								10単位
		N1C309	看護観察技術論	演習	1				○									
		N2C310	症状マネジメント論	演習	2						○							
		N1C311	基礎看護技術論	演習	2					○								
		N1C312	基礎看護学臨地実習 I	実習	1					◎								
		N2C313	基礎看護学臨地実習 II	実習	2						◎							
		N3C314	研究方法論	演習	1									○				
	小児	N2C315	小児看護学概論	講義	1						○							5単位
		N3C316	小児看護援助論	演習	1							○						
		N3C317	小児看護技術論	演習	1								○					
		N3C318	小児看護学臨地実習	実習	2								◎					
	母性	N2C319	母性看護学概論	講義	1						○							5単位
		N3C320	母性看護援助論	演習	1							○						
		N3C321	母性看護技術論	演習	1								○					
		N3C322	母性看護学臨地実習	実習	2								◎					
	成人	N2C323	成人看護学概論	講義	1						○							8単位
		N2C324	成人看護援助論	演習	1						○							
		N3C325	成人看護技術論	演習	1							○						
		N2C326	成人看護学臨地実習 I	実習	3						◎							
		N3C327	成人看護学臨地実習 II	実習	2								◎					
	老年	N2C328	老年看護学概論	講義	1						○							6単位
		N2C329	老年看護援助論	演習	1							○						
		N3C330	老年看護技術論	演習	1								○					
		N3C331	老年看護学臨地実習 I	実習	1								◎					
	精神	N2C332	老年看護学臨地実習 II	実習	2								◎					5単位
		N2C333	精神看護学概論	講義	1						○							
		N2C334	精神看護援助論	演習	1							○						
		N3C335	精神看護技術論	演習	1								○					
N3C336		精神看護学臨地実習	実習	2								◎						
在宅	N2C337	在宅看護学概論	講義	1							○					5単位		
	N2C338	在宅看護援助論	演習	1							○							
	N3C339	在宅看護技術論	演習	1								○						
	N3C340	在宅看護学臨地実習	実習	2								◎						
健康問題への対応	N3C341	リハビリテーション看護学	演習	1								○				5単位以上		
	N2C342	がん看護学	演習	1							○							
	N3C343	認知症ケア	演習	1								○						
	N3C344	透析ケア	講義	1	1								○					
	N3C345	重症集中ケア	講義	1	1								○					
	N3C346	救急看護学	講義	1	1								○					
	N3C347	放射線医療管理論	講義	1	1								○					
	N4C348	ペリネイタルケア	講義	1	1									○				
	N4C349	バリアティブケア	講義	1	1									○				
	N4C350	寒冷地医療	講義	1	1									○				
コミュニティーケアに関するもの	N2C401	公衆衛生看護学概論	講義	1							○					2単位以上 (保健師コース10単位)		
	N3C402	公衆衛生看護援助論 I	演習	1								○						
	N3C403	公衆衛生看護援助論 II	演習	1		1						○						
	N4C404	公衆衛生看護技術論	演習	1		1							○					
	N4C405	ヘルスプロモーション活動論	演習	1	1								○					
	N4C406	公衆衛生看護学臨地実習 I	実習	2		2							◎					
	N4C407	公衆衛生看護学臨地実習 II	実習	3		3							◎					
発展・統合に関するもの	N4C408	看護管理学	演習	1										○		12単位以上		
	N3C409	看護教育学	講義	1										○				
	N4C410	卒業研究	演習	4										○				
	N4C411	ヘルスケアマネジメント実習	実習	3										◎				
	N4C412	公衆衛生看護管理論	講義	1		1								○				
	N4C413	看護情報学	講義	1	1									○				
	N4C414	災害看護学	講義	1	1									○				
	N4C415	国際看護学	講義	1	1									○				
	N4C416	国際保健学	講義	1	1									○				
	N4C417	医療経営学	講義	1	1									○				
	N4C418	医療安全管理論	講義	1	1									○				
	N4C419	現代専門職論	講義	1	1									○				
	N5C423	地域プロジェクト I (基礎編) 注4	演習	2			2	○	○	○	○	○	○	○	○			
	N5C424	地域プロジェクト II (応用編) 注4	演習	2			2	○	○	○	○	○	○	○	○			
	N5C425	地域プロジェクト III (発展編) 注4	演習	2			2	○	○	○	○	○	○	○	○			
学部連携	N2C422	学部連携基礎論	講義	2							○					4単位		
	N3C420	学部連携演習	演習	2								○						

注1) ◎は集中 注2) 自由科目は卒業要件単位に含まれません。  
 注3) 単位数(選択)の網掛け部分と保健師コース必修部分は、保健師コース選択の学生の必修科目です。(保健師コース必修部分は看護師コースの学生は履修できません。)  
 注4) 「地域プロジェクト I (基礎編)」「地域プロジェクト II (応用編)」「地域プロジェクト III (発展編)」は、2022年度開講しません。  
 ※開講時期(前期・後期)は変更になる場合があります。



## ② 卒業要件

(単位)

区分	必修	選択	合計
共通教育科目	10	16	26
専門教育科目	93	7	100
(専門基礎科目)	(24)	(2)	(26)
(専門科目)	(69)	(5)	(74)
合 計	103	23	126

## 3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
形態機能学Ⅰ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
形態機能学Ⅱ	演習・60時間	1年次前期	★高野 廣子
地域保健学概論	講義・15時間	1年次前期	◎喜多 歳子 本田 光
看護学原論	講義・15時間	1年次前期	◎定廣和香子 檜山 明子
人間発達援助論	演習・30時間	1年次前期	◎小田 和美 荒木 奈緒 松浦 和代 貝谷 敏子 守村 洋
看護初期実習	実習・45時間	1年次前期	◎藤井 瑞恵 菅原 美樹 本田 光 村松 真澄 守村 洋 伊東健太郎 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 檜山 明子 矢野祐美子 山本真由美 原井 美佳 加藤 依子 岡 園代 鬼塚 美玲 牧田 靖子 三戸部純子 山出 誓子
看護観察技術論	演習・30時間	1年次前期	◎武富貴久子 檜山 明子 鬼塚 美玲 三戸部純子 吉田 実和
薬理学	講義・30時間	1年次後期	★松本真知子
病理病態学	演習・60時間	1年次後期	◎★鳥越 俊彦 ★廣橋 良彦 ★塚原 智英 ★金関 貴幸 ★久保 輝文 ★村田 憲司
感染予防論	講義・30時間	1年次後期	★永坂 敦
看護理論	講義・15時間	1年次後期	◎定廣和香子 檜山 明子
看護過程論	演習・30時間	1年次後期	◎武富貴久子 檜山 明子 三戸部純子 吉田 実和
基礎看護技術論	演習・60時間	1年次後期	◎檜山 明子 樋之津淳子 武富貴久子 三戸部純子 矢野祐美子 吉田 実和
基礎看護学臨地実習Ⅰ	実習・45時間	1年次後期	◎樋之津淳子 定廣和香子 檜山 明子 武富貴久子 三戸部純子 吉田 実和 坂本 結城 近藤 圭子 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾 久保田祥子 渋谷 友紀 市戸 優人 田仲 里江 中田亜由美 高橋 葉子
地域プロジェクトⅠ(基礎編)	演習・60時間	1・2年次 通年	◎若林 尚樹 原井 美佳
生命科学	講義・15時間	2年次前期	★鈴木 健史





授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
生命倫理	講義・15時間	2年次前期	★村上 友一
環境保健	講義・15時間	2年次前期	★齋藤 健
人間工学	講義・15時間	2年次前期	◎檜山 明子 樋之津淳子 ★佐藤 秀一
臨床栄養学	演習・30時間	2年次前期	★高野 良子
疾病治療学概論	演習・30時間	2年次前期	◎★高野 廣子 ★檀上 涉
疾病治療学A	演習・30時間	2年次前期	◎★和田 典男 他
疾病治療学B	演習・30時間	2年次前期	◎★永坂 敦 他
公衆衛生学	演習・30時間	2年次前期	◎★高橋 恭子
家族社会学	講義・15時間	2年次前期	◎丸山 洋平 小田 和美 加藤 依子
医療情報	演習・30時間	2年次前期	◎佐藤ひとみ ★小笠原克彦 ★谷 祐児 ★遠藤 晃
症状マネジメント論	演習・60時間	2年次前期	◎平山 憲吾 藤井 瑞恵 菅原 美樹 村松 真澄 工藤 京子 栗原 知己 齋 若奈 山出 誓子
基礎看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	2年次前期	◎檜山 明子 定廣和香子 樋之津淳子 武富貴久子 三戸部純子 吉田 実和 中田亜由美 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾 大友 舞 久保田祥子 坂本 結城 渋谷 友紀 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江 高橋 葉子
成人看護学概論	講義・15時間	2年次前期	◎卯野木 健 小田 和美 川村三希子
成人看護援助論	講義・30時間	2年次前期	◎小田 和美 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾 山出 誓子
老年看護学概論	講義・15時間	2年次前期	貝谷 敏子
精神看護学概論	講義・15時間	2年次前期	守村 洋
学部連携基礎論	講義・30時間	2年次前期	◎小田 和美 矢野祐美子 本田 光 ◎藤木 淳 大淵 一博 丸山 洋平 小林 重人 西川 忠
臨床薬理学	演習・30時間	2年次後期	◎★後藤 仁和 ★川本由加里 ★加納 宏樹
疾病治療学C	演習・30時間	2年次後期	◎★三澤 一仁 他
社会福祉学	講義・15時間	2年次前期	★新田 雅子
チーム医療論	講義・15時間	2年次後期	◎矢野祐美子 佐藤ひとみ
感染管理論	講義・15時間	2年次後期	◎貝谷 敏子 卯野木 健 牧田 靖子 ★土佐理恵子
臨床心理学	講義・15時間	2年次後期	◎守村 洋 ★菊池 浩光
援助の人間関係論	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎 渋谷 友紀 三戸部純子 山出 誓子
看護倫理学	講義・15時間	2年次後期	◎荒木 奈緒 檜山 明子
小児看護学概論	講義・15時間	2年次後期	松浦 和代
母性看護学概論	講義・15時間	2年次後期	荒木 奈緒



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
成人看護学臨地実習 I	実習・ 135時間	2年次後期	◎工藤 京子 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 山出 誓子 吉田 実和 近藤 圭子 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾 坂本 結城 渋谷 友紀 市戸 優人 田仲 里江 高橋 葉子
老年看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎村松 真澄 貝谷 敏子 原井 美佳 中田亜由美 ★平野 嘉信 ★高石 恵一
精神看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎伊東健太郎 渋谷 友紀 ★松原 良次 ★伊藤 侯輝
在宅看護学概論	講義・15時間	2年次後期	菊地ひろみ ★石崎 剛
在宅看護援助論	演習・30時間	2年次後期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 坂本 結城 ★石谷 夕子 ★松田 諭
がん看護学	演習・30時間	2年次後期	◎川村三希子 加藤 依子 齋 若奈 平山 憲吾
公衆衛生看護学概論	講義・15時間	2年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域プロジェクトII (応用編)	演習・60時間	2・3・4年 次通年	◎若林 尚樹 原井 美佳
保健医療福祉行政論 I	演習・30時間	3年次前期	◎市戸 優人 田仲 里江 本田 光 守村 洋 矢野祐美子 近藤 圭子
保健統計	講義・30時間	3年次前期	◎★榎 洋一
疫学 I	講義・15時間	3年次前期	★池野多美子
小児看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎牧田 靖子 松浦 和代 加藤 依子 ★畠山 欣也 ★水島 正人 ★佐野 仁美
母性看護援助論	演習・30時間	3年次前期	◎山本真由美 石引かずみ ★箱山 聖子
成人看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎齋 若奈 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 山出 誓子 栗原 知己 平山 憲吾
成人看護学臨地実習 II	実習・90時間	3年次前期	◎菅原 美樹 卯野木 健 小田 和美 川村三希子 藤井 瑞恵 工藤 京子 山出 誓子 齋 若奈 栗原 知己 平山 憲吾
老年看護学臨地実習 I	実習・45時間	3年次前期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 村松 真澄 中田亜由美
精神看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎伊東健太郎 守村 洋 渋谷 友紀
精神看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎伊東健太郎 守村 洋 渋谷 友紀
在宅看護技術論	演習・30時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 坂本 結城 ★鈴木 英樹
在宅看護学臨地実習	実習・90時間	3年次前期	◎高橋 奈美 菊地ひろみ 坂本 結城
リハビリテーション看護学	演習・30時間	3年次前期	◎卯野木 健 栗原 知己 ★喜納 俊介 ★根木 亨 ★戸田 創 ★佐々木健史
認知症ケア	演習・30時間	3年次前期	◎村松 真澄 貝谷 敏子 原井 美佳
健康教育指導法	演習・30時間	3年次後期	◎田仲 里江 近藤 圭子 市戸 優人



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
研究方法論	演習・30時間	3年次後期	◎荒木 奈緒 菅原 美樹 檜山 明子 ★平 紀子
小児看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎加藤 依子 牧田 靖子 ★能登奈々枝
小児看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎牧田 靖子 松浦 和代 加藤 依子
母性看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎石引かずみ 山本真由美 久保田祥子
母性看護学臨地実習	実習・90時間	3年次後期	◎山本真由美 荒木 奈緒 石引かずみ 久保田祥子
老年看護技術論	演習・30時間	3年次後期	◎原井 美佳 貝谷 敏子 村松 真澄 中田亜由美
老年看護学臨地実習Ⅱ	実習・90時間	3年次後期	◎中田亜由美 村松 真澄 貝谷 敏子 原井 美佳
透析ケア	講義・15時間	3年次後期	◎藤井 瑞恵 ★木村 剛 ★宮腰 麻矢
重症集中ケア	講義・15時間	3年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹 栗原 知己 ★高橋 正浩
救急看護学	講義・15時間	3年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★三上 剛人
放射線医療管理論	講義・15時間	3年次後期	◎★中田 健生 ★神島 保
公衆衛生看護援助論Ⅰ	演習・30時間	3年次後期	◎近藤 圭子 本田 光 市戸 優人 田仲 里江
公衆衛生看護援助論Ⅱ	演習・30時間	3年次後期	◎本田 光 近藤 圭子 市戸 優人 田仲 里江
看護教育学	講義・15時間	3年次後期	◎定廣和香子
学部連携演習	演習・60時間	3年次後期	◎喜多 敏子 武富貴久子 佐藤ひとみ 村松 真澄 藤井 瑞恵 平山 憲吾 牧田 靖子 高橋 奈美 伊東健太郎 市戸 優人 田仲 里江 ◎柿山浩一郎 山田 良 小宮加容子 石田 勝也 金子 晋也 矢久保空遥 金 秀敬 若林 尚樹 森 朋子 横溝 賢 坪内 健
地域プロジェクトⅢ (発展編)	演習・60時間	3・4年次 通年	◎若林 尚樹 原井 美佳
ペリネイタルケア	講義・15時間	4年次前期	◎黒田 紀子 牧田 靖子
パリアティブケア	講義・15時間	4年次前期	◎川村三希子 齋 若奈
寒冷地医療	講義・15時間	4年次前期	◎原井 美佳 近藤 圭子 ★山田 康介 ★高石 恵一
公衆衛生看護技術論	演習・30時間	4年次前期	◎近藤 圭子 市戸 優人 田仲 里江
ヘルスプロモーション活動論	演習・30時間	4年次前期	◎本田 光 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江
公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ	実習・90時間	4年次前期	◎田仲 里江 喜多 歳子 本田 光 市戸 優人 近藤 圭子
公衆衛生看護学臨地実習Ⅱ	実習・ 135時間	4年次前期	◎本田 光 喜多 歳子 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江
看護管理学	演習・30時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ 矢野祐美子 鬼塚 美玲



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
看護情報学	講義・15時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ
災害看護学	講義・15時間	4年次前期	◎鬼塚 美玲 市戸 優人 ★岩本 満美
国際看護学	講義・15時間	4年次前期	★スーディ神崎和代
国際保健学	講義・15時間	4年次前期	★千葉 逸朗
医療経営学	講義・15時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ 矢野祐美子 鬼塚 美玲 ★千葉美恵子
医療安全管理論	講義・15時間	4年次前期	◎佐藤ひとみ 檜山 明子 矢野祐美子 鬼塚 美玲
現代専門職論	講義・15時間	4年次前期	◎樋之津淳子 佐藤ひとみ ★上田 順子 ★釣部 公映 ★木村 禎 ★田中 聖美
保健医療福祉行政論Ⅱ	演習・30時間	4年次後期	◎本田 光子 市戸 優人 近藤 圭子 田仲 里江
疫学Ⅱ	講義・15時間	4年次後期	喜多 歳子
ヘルスケアマネジメント実習	実習・ 135時間	4年次後期	◎鬼塚 美玲 檜山 明子 武富貴久子 三戸部純子 佐藤ひとみ 矢野祐美子 村松 真澄 原井 美佳 菅原 美樹 藤井 瑞恵 工藤 京子 山出 誓子 加藤 依子 牧田 靖子 岡 園代 高橋 奈美 守村 洋 伊東健太郎
公衆衛生看護管理論	講義・15時間	4年次後期	◎本田 光 喜多 歳子 市戸 優人
卒業研究	演習・ 120時間	4年次通年	◎守村 洋 荒木 奈緒 卯野木 健 小田 和美 貝谷 敏子 川村三希子 菊地ひろみ 喜多 歳子 定廣和香子 佐藤ひとみ 樋之津淳子 加藤 依子 菅原 美樹 藤井 瑞恵 本田 光 村松 真澄 石引かずみ 伊東健太郎 岡 園代 工藤 京子 高橋 奈美 武富貴久子 原井 美佳 檜山 明子 矢野祐美子 山本真由美 市戸 優人 鬼塚 美玲 近藤 圭子 栗原 知己 齋 若奈 平山 憲吾 坂本 結城 渋谷 友紀 田仲 里江 中田亜由美 牧田 靖子 三戸部純子 吉田 実和

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



## 4) 実習概要

※機関種別

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
看護初期実習	2022年6月6日～10日	医療機関	85名
		老人福祉センター	0名
		健診センター、その他	8名
基礎看護学臨地実習Ⅰ	2022年10月17日～21日	医療機関	340名
基礎看護学臨地実習Ⅱ	2022年5月23日～6月3日	医療機関	840名
成人看護学臨地実習Ⅰ	2022年10月24日～11月11日	医療機関	1092名
老年看護学臨地実習Ⅰ	2022年5月9日～13日	老人福祉センター	79名
		介護老人保健施設	79名
		老人クラブ	79名
成人看護学臨地実習Ⅱ	2022年6月20日～7月29日 (一部実習中止)	医療機関	608名
精神看護学臨地実習	2022年6月29日～7月29日 (一部実習中止)	医療機関	172名
		社会福祉施設	80名
在宅看護学臨地実習	2022年6月29日～7月29日	医療機関	0名
		訪問看護ステーション	380名
		地域包括支援センター・居宅介護支援事業所	0名
母性看護学臨地実習	2022年11月21日 ～2023年1月27日	医療機関	355名
小児看護学臨地実習	2022年11月21日 ～2023年1月27日 (一部実習中止)	医療機関	459名
		保育所	226名
老年看護学臨地実習Ⅱ	2022年11月21日 ～2023年1月27日 (一部実習中止)	医療機関	225名
		介護老人保健施設	105名
公衆衛生看護学臨地実習 Ⅰ・Ⅱ	2022年6月13日～7月29日	保健所・保健センター	559名
		事業所	87名
		教育機関	58名
		児童会館	58名
ヘルスケアマネジメント 実習	2022年9月20日～10月7日	医療機関	972名
		介護老人保健施設	48名



## 5 デザイン研究科

## 1) 2022年度時間割

## ① 前期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期2年生	博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30			認知・感性 科学特論				建築構造デ ザイン特論	コミュニケー ション特論
2	10:40 ～ 12:10			メカトロニ クス特論		メディアプロ デュース特論			国際関係 特論
3	13:10 ～ 14:40	環境マネジ メント特論		製品デザイ ン特論		形状情報処 理特論		製品造形特論	少子高齢社 会特論
4	14:50 ～ 16:20	環境共生デ ザイン特論		景観デザイ ン特論		インタラク ションデザ イン特論		地域創成デ ザイン特別 セミナーB	連携プロジェ クト演習
5	16:30 ～ 18:00	建築計画特論		インターシッ プ I (事前講義) インターシッ プ II (事前講義)		地域創成デ ザイン特別 セミナーA			
6	18:10 ～ 19:40	デザイン 研究法	人間空間デ ザイン研究法 人間情報デ ザイン研究法	デザイン特論			地域プロジェ クト演習		
7	19:50 ～ 21:20								

※デザイン特別演習、特別研究、横断型連携特別演習、博士デザイン特別演習および博士特別研究Ⅰ～Ⅲの開講時期は担当教員により異なる。

## ② 後期

		月		火	水	木		金	土
		芸森キャンパス		芸森キャンパス	芸森キャンパス	芸森キャンパス		芸森キャンパス	桑園キャンパス
		博士前期1年生	博士後期課程	博士前期1年生	博士前期1年生	博士前期1年生		博士前期1年生	博士前期1年生
1	9:00 ～ 10:30			地域環境 評価特論		インタフェースデザイン 特論	建築環境学 特論	健康福祉 政策特論	
2	10:40 ～ 12:10	ビジュアル デザイン特論		製品評価特論		コンピューショナル・ アート特論	デザインマネ ジメント特論	地域経済 政策特論	
3	13:10 ～ 14:40	地域ブランド 構築特論				映像デザイン特論		ヒューマニ ティ特論	
4	14:50 ～ 16:20	日本建築史 特論						連携プロジェ クト演習	
5	16:30 ～ 18:00					感性価値特論			
6	18:10 ～ 19:40	現代芸術特論	人間空間デ ザイン特講 人間情報デ ザイン特講						
7	19:50 ～ 21:20								



## 2) カリキュラム

① 授業科目一覧  
〈博士前期課程〉

## 2019年度以降入学生用

科目区分	授業科目の名称	配当年次(時期)	単位数			人間空間デザイン分野		人間情報デザイン分野	
			必修	選択	自由	履修モデル名		履修モデル名	
						建築・環境デザイン	地域コミュニケーションデザイン	ものづくりデザイン	情報コミュニケーションデザイン
						研究テーマ例		研究テーマ例	
国際関係特論	1・2 前		2						
少子高齢社会特論	1・2 前		2		(△)	(△)			
健康福祉政策特論	1・2 後		2						
地域経済政策特論	1・2 後		2		△	(△)			
ヒューマニティ特論	1・2 後		2				(△)	(△)	
コミュニケーション特論	1・2 前		2		(△)	△	(△)	△	
連携プロジェクト演習	1 通		2		△	△	△	△	
小計(7科目)	-	-	14	-	4単位以上				
基本科目	デザイン特論	1 前	2			◎	◎	◎	
	デザイン研究法	1 前		2		△	(△)	△	
	デザインマネジメント特論	1 後		2		(△)	△	(△)	
	小計(3科目)	-	2	4	-	4単位以上			
専門教育科目	建築計画特論	1・2 前		2		△■	(△)	(△)	
	建築環境学特論	1・2 後		2		△■	(△)	(△)	
	建築構造デザイン特論	1・2 前		2		△■			
	日本建築史特論	1・2 後		2		(△)			
	景観デザイン特論	1・2 前		2		△	(△)		
	地域環境評価特論	1・2 後		2		(△)	△		
	環境共生デザイン特論	1・2 前		2		△■	(△)		
	環境マネジメント特論	1・2 前		2		(△)	△	(△)	
	現代芸術特論	1・2 後		2		(△)	△		
	メディアプロデュース特論	1・2 前		2			△	(△)	
	地域ブランド構築特論	1・2 後		2			△		
	製品造形特論	1・2 前		2				(△)	
	製品評価特論	1・2 後		2				△	
	メカトロニクス特論	1・2 前		2				△	
	インタフェースデザイン特論	1・2 後		2			(△)	△	
	製品デザイン特論	1・2 前		2				△	
	感性価値特論	1・2 後		2			(△)	(△)	
	認知・感性科学特論	1・2 前		2		(△)		(△)	
	インタラクションデザイン特論	1・2 前		2				△	
	形状情報処理特論	1・2 前		2				(△)	
	映像デザイン特論	1・2 後		2				(△)	
	ビジュアルデザイン特論	1・2 後		2				(△)	
	コンピュータグラフィック・アート特論	1・2 後		2		(△)		(△)	
	デザイン特別演習	1 前・後	2			◎■	◎	◎	
小計(24科目)	-	2	46	-	12単位以上				
実践科目	地域プロジェクト演習	2 前	2			◎■	◎	◎	
	地域創成デザイン特別セミナーA	1・2 前		2			△		
	地域創成デザイン特別セミナーB	1・2 前		2				△	
	インターンシップ I	1・2 集中		2		△■		△	
	インターンシップ II	1・2 集中		4		△■			
小計(5科目)	-	2	6	4	4単位以上				
修了研究	特別研究	1-2 通	6	-	-	◎	◎	◎	
	小計(1科目)	-	6	-	-	6単位			
合計(40科目)	-	12	70	4	30単位以上				

◎: 必修科目 △: 推奨される選択科目 (△): 選択科目の組み合わせ候補(研究課題によって選択)

■: 一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な指定科目(8科目・18単位からインターンシップIIを含む16単位以上の履修が必要となります)

※「建築・環境デザイン」履修モデルは一級建築士免許登録時に必要となる実務経験1年とみなすために必要な科目の取得を想定しているため、合計単位数が34単位となっています。



### < 博士後期課程 >

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習
基本科目	横断型連携特別演習	1通年	2				○	
	人間空間デザイン研究法	1前期		2		○		
	人間情報デザイン研究法	1前期		2		○		
	小計 (3科目)	—	2	4	0		—	
展開科目	人間空間デザイン特講	1後期		2		○		
	人間情報デザイン特講	1後期		2		○		
	博士デザイン特別演習	2前期	2				○	
	小計 (3科目)	—	2	4	0		—	
研究指導科目	博士特別研究Ⅰ	1通年	2				○	
	博士特別研究Ⅱ	2通年	2				○	
	博士特別研究Ⅲ	3通年	4				○	
	小計 (3科目)	—	8	0	0		—	
合計 (9科目)		—	12	8	0			

### ② 修了要件

#### < 博士前期課程 >

科目区分		修了要件	
研究科連携科目		4単位以上	
専門教育科目	基本科目	4単位以上	
	展開科目	人間空間デザイン分野	12単位以上
		人間情報デザイン分野	
	実践科目	4単位以上	
修了研究	6単位		
合計		30単位以上	

「研究科連携科目」から4単位以上、「基本科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「展開科目」から12単位以上(必修2単位を含む)、「実践科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「特別研究」を6単位、合計30単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文等の審査に合格したものに学位を授与する。

#### < 博士後期課程 >

科目区分	修了要件
基本科目	4単位以上
展開科目	4単位以上
研究指導科目	8単位以上
合計	16単位以上

「基本科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「展開科目」から4単位以上(必修2単位を含む)、「研究指導科目」から8単位、合計16単位以上修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士論文の審査に合格したものに学位を授与する。





3) 教育活動  
 <博士前期課程>  
 研究科連携科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎スーディ神崎和代 安齋 利典 石井 雅博 張 浦華 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ ★町田佳世子
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 喜多 歳子 本田 光 ★大久保一郎 ★塚本 容子 ★今野 好江
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎小林 重人 丸山 洋平
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎西川 忠 須之内元洋 福田 大年 定廣和香子 原井 美佳 鬼塚 美玲

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

専門教育科目

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
デザイン特論	講義・30時間	1年次前期	◎齊藤 雅也 安齋 利典 石井 雅博 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 西川 忠 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 山田 良 若林 尚樹 小林 重人 小宮加容子
デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫 石井 雅博 柿山浩一郎
デザインマネジメント特論	講義・30時間	1年次後期	◎安齋 利典 ★及川 雅稔 ★近藤 公彦 ★高橋 尚基
建築計画特論	講義・30時間	1・2年次前期	山田 信博
建築環境学特論	講義・30時間	1・2年次後期	齊藤 雅也
建築構造デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	西川 忠
日本建築史特論	講義・30時間	1・2年次後期	金子 晋也
景観デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	椎野亜紀夫
地域環境評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	森 朋子
環境共生デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	大島 卓
環境マネジメント特論	講義・30時間	1・2年次前期	片山めぐみ
現代芸術特論	講義・30時間	1・2年次後期	山田 良
メディアプロデュース特論	講義・30時間	1・2年次前期	須之内元洋
地域ブランド構築特論	講義・30時間	1・2年次後期	小林 重人
製品造形特論	講義・30時間	1・2年次前期	★石崎 友紀
製品評価特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎柿山浩一郎 張 浦華
メカトロニクス特論	講義・30時間	1・2年次前期	三谷 篤史



インタフェースデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	若林 尚樹
製品デザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	安齋 利典
感性価値特論	講義・30時間	1・2年次後期	金 秀敬
認知・感性科学特論	講義・30時間	1・2年次前期	石井 雅博
インタラクションデザイン特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎細谷 多聞 小宮加容子
形状情報処理特論	講義・30時間	1・2年次前期	★城間 祥之
映像デザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	松永 康佑
ビジュアルデザイン特論	講義・30時間	1・2年次後期	横溝 賢
コンピュータショナル・アート特論	講義・30時間	1・2年次後期	藤木 淳
デザイン特別演習	演習・30時間	1年次 前期・後期	◎齊藤 雅也 安齋 利典 石井 雅博 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 西川 忠 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 山田 良 若林 尚樹 片山めぐみ 金子 晋也 金 秀敬 小林 重人 小宮加容子 張 浦華 森 朋子 山田 信博 横溝 賢
地域プロジェクト演習	演習・30時間	2年次前期	◎山田 良 柿山浩一郎 藤木 淳 三谷 篤史 若林 尚樹 金子 晋也 金 秀敬 横溝 賢 松永 康佑
地域創成デザイン特別セミナーA	演習・30時間	1・2年次前期	◎齊藤 雅也 山田 良 小宮加容子
地域創成デザイン特別セミナーB	演習・30時間	1・2年次前期	◎安齋 利典 石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史
インターンシップ I	実習90時間	1・2年次集中	◎山田 良 西川 忠 金子 晋也 山田 信博 横溝 賢
インターンシップ II	実習180時間	1・2年次集中	◎山田 良 西川 忠 金子 晋也 山田 信博
特別研究	演習・90時間	1~2年次通年	◎齊藤 雅也 安齋 利典 石井 雅博 柿山浩一郎 椎野亜紀夫 西川 忠 藤木 淳 細谷 多聞 三谷 篤史 山田 良 若林 尚樹 片山めぐみ 金子 晋也 金 秀敬 小林 重人 小宮加容子 張 浦華 森 朋子 山田 信博 横溝 賢

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

< 博士後期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
人間空間デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎椎野亜紀夫 齊藤 雅也
人間情報デザイン研究法	講義・30時間	1年次前期	◎三谷 篤史 石井 雅博 細谷 多聞
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎三谷 篤史 石井 雅博 柿山浩一郎 大島 卓 金 秀敬 小宮加容子
人間空間デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎山田 良 山田 信博
人間情報デザイン特講	講義・30時間	1年次後期	◎藤木 淳 安齋 利典 柿山浩一郎



博士デザイン特別演習	演習・30時間	2年次前期	齊藤 雅也 柿山浩一郎 細谷 多聞 片山めぐみ 山田 信博	安齋 利典 椎野亜紀夫 三谷 篤史 小林 重人	石井 雅博 藤木 淳 山田 良 森 朋子
博士特別研究 I	演習・30時間	1年次通年	齊藤 雅也 柿山浩一郎 細谷 多聞 片山めぐみ 山田 信博	安齋 利典 椎野亜紀夫 三谷 篤史 小林 重人	石井 雅博 藤木 淳 山田 良 森 朋子
博士特別研究 II	演習・30時間	2年次通年	齊藤 雅也 柿山浩一郎 細谷 多聞 片山めぐみ 山田 信博	安齋 利典 椎野亜紀夫 三谷 篤史 小林 重人	石井 雅博 藤木 淳 山田 良 森 朋子
博士特別研究 III	演習・60時間	3年次通年	齊藤 雅也 柿山浩一郎 細谷 多聞 片山めぐみ 山田 信博	安齋 利典 椎野亜紀夫 三谷 篤史 小林 重人	石井 雅博 藤木 淳 山田 良 森 朋子



## 6 看護学研究科

## 1) 2022年度時間割

&lt;博士前期課程&gt;

①1年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30						
2	10:40 ~ 12:10						
3	13:10 ~ 14:40						
4	14:50 ~ 16:20	看護理論特論 D401	看護コンサル テーション特論 D402	看護研究法特論 D401	寒冷地生活支援 看護学特論 D402 がん看護・緩和 ケア特論	看護専門職教育特論 D402 小児看護学特論A	在宅看護学特論C 小児看護学特論E クリティカルケア看 護学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
5	16:30 ~ 18:00	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論I 看護教育・看護マネ ジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント 学特論	看護管理学特論 D402	家族看護学特論 D402 小児看護学特論C がん薬物療法看護特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論 D402	継続教育特論 D402
		在宅看護学特論B 急性期看護学特論					
6	18:10 ~ 19:40	地域生活看護学特論 母子看護学特論 成人看護学特論 精神看護学特論A 看護技術学特論I 看護教育・看護マネ ジメント学特論	老年看護学特論 在宅看護学特論A 地域看護学特論 小児看護学特論B 母性看護学特論 慢性期看護学特論 がん看護学特論 精神看護学特論B 看護技術学特論II 看護教育学特論 看護マネジメント 学特論	看護研究法特論 D401	寒冷地生活支援看 護学特論 D402 小児看護学特論C がん看護・緩和ケア 特論	看護専門職教育 特論 D402 小児看護学特論A	在宅看護学特論C 小児看護学特論E クリティカルケア看 護学特論 がん看護学援助特論 精神看護学特論C
		在宅看護学特論B 急性期看護学特論					
7	19:50 ~ 21:20	看護理論特論 D401	看護コンサル テーション特論 D402	看護管理学特論 D402	家族看護学特論 D402 がん薬物療法看 護特論 精神看護学特論D	看護倫理学特論 D402	継続教育特論 D401 臨床哲学特論 D402

※ 「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土		
前期	後期	前期	後期	前期	後期	
				コミュニケーション特論 D402	健康福祉政策特論 D402	
				国際関係特論 D402	地域経済政策特論 D402	
				少子高齢社会特論 D402	ヒューマニティ特論 D402	
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習I 看護教育・看護 マネジメント学演習	老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習II 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学特論 (後期)		アドバンスト・フィ ジカルアセスメント 論	連携プロジェクト演習 D401		
		フィジカルアセスメント論 D402				
		病態生理学特論 D401	臨床薬理学特論 D402			がん病態治療特論
				小児看護学演習B		
地域生活看護学演習 母子看護学演習 成人看護学演習 精神看護学演習A 看護技術学演習I 看護教育・看護 マネジメント学演習	老年看護学演習 在宅看護学演習 地域看護学演習 小児看護学演習A 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 看護技術学演習II 看護教育学演習 看護マネジメント学演習 急性期病態管理学特論 (後期)	病態生理学特論 D401	臨床薬理学特論 D402			
			アドバンスト・フィ ジカルアセスメント 論			
		フィジカルアセスメント論 D402				



## ②2年次

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ～ 10:30						
2	10:40 ～ 12:10						
3	13:10 ～ 14:40						
4	14:50 ～ 16:20					小児看護学特論D	
5	16:30 ～ 18:00	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	在宅看護学特論E		
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ	がん看護・緩和ケア演習	がん薬物療法看護学演習	クリティカルケア看護学演習Ⅱ		
6	18:10 ～ 19:40	老年看護学特論 地域看護学特論 母性看護学特論 慢性期看護学特論 看護技術学特論Ⅱ 看護教育学特論 看護マネジメント学特論	在宅看護学特論D 慢性期精神看護学特論	慢性期精神看護学演習	小児看護学特論D		
		クリティカルケア看護学演習Ⅰ	がん看護・緩和ケア演習	がん薬物療法看護学演習	クリティカルケア看護学演習Ⅱ		
7	19:50 ～ 21:20					在宅看護学特論E	

※ 「特別研究」及び「課題研究」は、指導教員ごとに開講する。

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合がある。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。



木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
				コミュニケーション特論 D402	健康福祉政策特論 D402
				国際関係特論 D402	地域経済政策特論 D402
				少子高齢社会特論 D402	ヒューマニティ特論 D402
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習  急性期病態管理学特論(後期)				小児看護学演習B がん看護学演習Ⅱ	
老年看護学演習 地域看護学演習 母性看護学演習 急性期看護学演習 慢性期看護学演習 精神看護学演習B 看護技術学演習Ⅱ 看護教育学演習 看護マネジメント学演習  急性期病態管理学特論(後期)					



< 博士後期課程 >

		月		火		水	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期
1	9:00 ~ 10:30						
2	10:40 ~ 12:10						
3	13:10 ~ 14:40						
4	14:50 ~ 16:20			後期特別研究 I II III			
5	16:30 ~ 18:00			(横断型連携特別演習)			
6	18:10 ~ 19:40			後期特別研究 I II III			
7	19:50 ~ 21:20			(横断型連携特別演習)			

※ 開講曜日・時間は週によって変更する場合があります。

※ 「後期特別研究 I II III」は、教員と学生が協議の上で授業時間帯を確定する。

※ 集中講義の日程は別途、掲示する。

木		金		土	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
看護学特講				横断型連携特別演習	
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					
看護学特講					
看護技術学特別演習 実践看護学特別演習 機能看護学特別演習					





2) カリキュラム

① 授業科目一覧  
 <博士前期課程>

科目区分	科目ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件		
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習			
研究科連携科目	C5B701	国際関係特論	1・2 前		2			○		4単位以上		
	C5B702	少子高齢社会特論	1・2 前		2			○				
	C5B703	健康福祉政策特論	1・2 後		2			○				
	C5B704	地域経済政策特論	1・2 後		2			○				
	C5B705	ヒューマニティ特論	1・2 後		2			○				
	C5B706	コミュニケーション特論	1・2 前		2			○				
	C1B701	連携プロジェクト演習	1 通		2				○			
専 門 基 礎 科 目	N1B801	看護理論特論	1 前	2				○		8単位以上 (専門看護師認定希望者14単位以上)		
	N1B802	看護研究法特論	1 前	2				○				
	N1B803	看護倫理特論	1 前	2				○				
	N1B804	看護管理特論	1 前	2				○				
	N1B805	臨床哲学特論	1 後	2				○				
	N1B806	看護コンサルテーション特論	1 後	2				○				
	N1B807	看護専門職教育特論	1 前	2				○				
	N1B808	継続教育特論	1 後	2				○				
	N1B809	寒冷地生活支援看護学特論	1 後	2				○				
	N1B810	家族看護学特論	1 後	2				○				
	N1B811	フィジカルアセスメント論	1 通	2				○				
	N1B812	病態生理学特論	1 前	2				○				
	N1B813	臨床薬理特論	1 後	2				○				
専 門 実 践 科 目	N1B821	地域生活看護学特論	1 前	2				○		1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者22単位以上)		
	N5B821	老年看護学特論	1・2 後	2				○				
	N1B822	在宅看護学特論A	1 後	1				○				
	N1B823	在宅看護学特論B	1 通	1				○				
	N1B824	在宅看護学特論C	1 後	2				○				
	N2B821	在宅看護学特論D	2 前	2				○				
	N2B822	在宅看護学特論E	2 前	2				○				
	N5B822	地域看護学特論	1・2 後	2				○				
	N1B825	地域生活看護学演習	1 通	2				○				
	N5B823	老年看護学演習	1・2 通	2				○				
	N1B826	在宅看護学演習	1 通	2				○				
	N5B824	地域看護学演習	1・2 通	2				○				
	N1B827	高度在宅看護学実習 I	1 通	2					○			
	N2B823	高度在宅看護学実習 II	2 通	3					○			
	N2B824	高度在宅看護学実習 III	2 通	3					○			
	N2B825	高度在宅看護学実習 IV	2 通	2					○			
	N1B831	母子看護学特論	1 前	2				○				
	N5B831	母性看護学特論	1・2 後	2				○				
	N1B832	小児看護学特論A	1 前	2				○				
	N1B833	小児看護学特論B	1 後	2				○				
	N1B834	小児看護学特論C	1 後	1				○				
	N2B831	小児看護学特論D	2 前	1				○				
	N1B835	小児看護学特論E	1 後	2				○				
	N1B836	母子看護学演習	1 通	2				○				
	N5B832	母性看護学演習	1・2 通	2				○				
N1B837	小児看護学演習A	1 通	2				○					
N5B833	小児看護学演習B	1・2 通	2				○					
N1B838	高度小児看護学実習 I	1 後	2					○				
N2B832	高度小児看護学実習 II	2 通	4					○				
N2B833	高度小児看護学実習 III	2 通	4					○				
専 門 実 践 科 目	N1B841	成人看護学特論	1 前	2				○		1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者22単位以上)		
	N1B842	急性期看護学特論	1 通	2				○				
	N5B841	慢性期看護学特論	1・2 後	2				○				
	N1B843	がん看護学特論	1 後	2				○				
	N5B842	急性期病態管理特論	1・2 後	2				○				
	N1B844	クリティカルケア看護学特論	1 後	2				○				
	N1B845	アドバンスド・フィジカルアセスメント論	1 後	2				○				
	N1B846	がん看護学援助特論	1 後	2				○				
	N1B847	がん薬物療法看護学特論	1 後	2				○				
	N1B848	がん看護・緩和ケア特論	1 後	2				○				
	N1B849	がん病態治療特論	1 後	2				○				
	N1B850	成人看護学演習	1 通	2				○				
	N5B843	急性期看護学演習	1・2 通	2				○				
	N2B841	クリティカルケア看護学演習 I	2 通	2				○				
	N2B842	クリティカルケア看護学演習 II	2 通	2				○				
	N5B844	慢性期看護学演習	1・2 通	2				○				
	N2B843	がん薬物療法看護学演習	2 通	2				○				
	N2B844	がん看護・緩和ケア演習	2 通	2				○				
	N1B851	高度急性期看護学実習 I	1 後	3					○			
	N2B845	高度急性期看護学実習 II	2 通	3					○			
	N2B846	高度急性期看護学実習 III	2 通	2					○			
	N2B847	高度急性期看護学実習 IV	2 通	2					○			
	N1B852	高度がん看護学実習 I	1 後	2					○			
	N2B848	高度がん看護学実習 II	2 通	4					○			
	N2B849	高度がん看護学実習 III	2 通	4					○			
専 門 実 践 科 目	N1B861	精神看護学特論A	1 前	2				○		1つの領域から8単位以上(専門看護師認定希望者22単位以上)		
	N1B862	精神看護学特論B	1 後	2				○				
	N1B863	精神看護学特論C	1 後	2				○				
	N1B864	精神看護学特論D	1 後	2				○				
	N2B861	慢性期精神看護学特論	2 前	1				○				
	N1B865	精神看護学演習A	1 通	2				○				
	N2B862	精神看護学演習B	2 通	2				○				
	N2B863	慢性期精神看護学演習	2 後	1				○				
	N1B866	高度精神看護学実習 I	1 後	2					○			
	N1B867	高度精神看護学実習 II	1 後	2					○			
	N2B864	高度精神看護学実習 III	2 通	4					○			
	N2B865	高度精神看護学実習 IV	2 通	2					○			
	N1B871	看護技術学特論 I	1 前	2				○				
	N5B871	看護技術学特論 II	1・2 後	2				○				
	N1B872	看護技術学演習 I	1 通	2				○				
	N5B872	看護技術学演習 II	1・2 通	2				○				
	専 門 実 践 科 目	N1B881	看護教育・看護マネジメント学特論	1 前	2				○			8単位(専門看護師認定希望者4単位)
		N5B881	看護教育学特論	1・2 後	2				○			
		N5B882	看護マネジメント学特論	1・2 後	2				○			
		N1B882	看護教育・看護マネジメント学演習	1 通	2				○			
		N5B883	看護教育学演習	1・2 通	2				○			
		N5B884	看護マネジメント学演習	1・2 通	2				○			
		N5B891	特別研究	1~2 通	8				○			
	N5B892	課題研究	1~2 通	4				○				



< 博士後期課程 >

科目区分	科目 ナンバリング	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			修了要件
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	
連携 博士後期 科目	N1A901	横断型連携特別演習	1 通	2				○		2 単位
博士後期 専門科目	N1A911	看護学特講	1 前	2			○			4 単位以上
	N1A912	看護技術学特別演習	1 通		2			○		
	N1A913	実践看護学特別演習	1 通		2			○		
	N1A914	機能看護学特別演習	1 通		2			○		
博士後期 研究指導 科目	N1A921	後期特別研究Ⅰ	1 通	2				○		8 単位
	N2A921	後期特別研究Ⅱ	2 通	2				○		
	N3A921	後期特別研究Ⅲ	3 通	4				○		

② 修了要件

< 博士前期課程 >

※修士論文コース

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	20	—	24
専門基礎科目	4	4	—	8
専門科目	—	16	—	16
選択する領域・分野から	—	8	—	8
研究	—	8	—	8
合計	4	26	—	30

※専門看護師コース

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
研究科連携科目	—	4	—	4
専門教育科目	4	36	—	40
専門基礎科目	4	10	—	14
専門科目	—	26	—	26
選択する領域・分野から	—	22	—	22
研究	—	4	—	4
合計	4	42	—	46



＜博士後期課程＞

(単位)

区分	必修科目	選択科目	自由科目	合計
博士後期連携科目	2	—	—	2
博士後期専門科目	2	2	—	4
博士後期研究指導科目	8	—	—	8
合計	12	2	—	14

3) 教育活動

＜博士前期課程＞

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
国際関係特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎★スーディ神崎和代 安齋 利典 石井 雅博 張 浦華 ★千葉 逸朗
少子高齢社会特論	講義・30時間	1・2年次前期	丸山 洋平
健康福祉政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎守村 洋 喜多 歳子 本田 光 ★大久保一郎 ★塚本 容子 ★今野 好江
地域経済政策特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎小林 重人 丸山 洋平
ヒューマニティ特論	講義・30時間	1・2年次後期	松井 美穂
コミュニケーション特論	講義・30時間	1・2年次前期	◎石井 雅博 柿山浩一郎 三谷 篤史 山田 信博 片山めぐみ ★町田佳世子
連携プロジェクト演習	演習・30時間	1年次通年	◎定廣和香子 原井 美佳 鬼塚 美玲 西川 忠 須之内元洋 福田 大年
看護理論特論	講義・30時間	1年次前期	◎小田 和美 松浦 和代 川村三希子 菅原 美樹 ★山内まゆみ
看護研究法特論	講義・30時間	1年次前期	◎貝谷 敏子 喜多 歳子 菊地ひろみ 本田 光 ★平 紀子
看護倫理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎川村三希子 荒木 奈緒 檜山 明子
看護管理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎佐藤ひとみ ★勝見 真澄
臨床哲学特論	講義・30時間	1年次後期	★尾形 敬次
看護コンサルテーション特論	講義・30時間	1年次後期	◎佐藤ひとみ 牧田 靖子 ★藤野 智子 ★葛西 陽子
看護専門職教育特論	講義・30時間	1年次前期	定廣和香子
継続教育特論	講義・30時間	1年次後期	◎定廣和香子 佐藤ひとみ ★舟島なをみ ★中山登志子 ★佐藤 紀子 ★田中かおり
寒冷地生活支援看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎村松 真澄 ★池田 貴夫 ★鈴木 英樹 ★山田 康介 ★平野 嘉信 ★高石 恵一
家族看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎小田 和美 菊地ひろみ ★柳原 清子 ★川村 真澄
フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次通年	◎菅原 美樹 ★羽賀 将衛 ★石川 幸司 ★牧野 夏子
病態生理学特論	講義・30時間	1年次前期	◎★齋藤 重幸 卯野木 健 高橋 奈美 藤井 瑞恵 ★岡村 英明 ★榊田 佳枝 ★今井 崇



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
臨床薬理学特論	講義・30時間	1年次後期	◎★齊藤 浩司 川村 三希子 菊地ひろみ 加藤 依子 守村 洋
地域生活看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎菊地ひろみ 貝谷 敏子 喜多 歳子 本田 光 村松 真澄
老年看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎貝谷 敏子 村松 真澄 原井 美佳 ★樋渡ひとみ ★大久保抄織
在宅看護学特論A	講義・15時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★石崎 剛
在宅看護学特論B	講義・15時間	1年次通年	◎菊地ひろみ ★山内 豊明
在宅看護学特論C	講義・30時間	1年次後期	◎菊地ひろみ ★鈴木眞一郎 ★西川 就 ★吉崎 秀夫 ★矢崎 一雄 ★土島 智幸 ★橋本 集
在宅看護学特論D	講義・30時間	2年次前期	◎菊地ひろみ 村松 真澄 ★鈴木 英樹
在宅看護学特論E	講義・30時間	2年次前期	菊地ひろみ
地域看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎喜多 歳子 本田 光
地域生活看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎貝谷 敏子 菊地ひろみ 喜多 歳子 本田 光 村松 真澄 高橋 奈美 原井 美佳 ★平原 優美
老年看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎貝谷 敏子 村松 真澄 原井 美佳
在宅看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美 ★門脇 陸子 ★濱田 香純
地域看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎本田 光 喜多 歳子
高度在宅看護学実習 I	実習・90時間	1年次通年	◎高橋 奈美 菊地ひろみ
高度在宅看護学実習 II	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習 III	実習・135時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
高度在宅看護学実習 IV	実習・90時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 高橋 奈美
母子看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎松浦 和代 荒木 奈緒
母性看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	荒木 奈緒
小児看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	松浦 和代
小児看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論C	講義・15時間	1年次後期	松浦 和代
小児看護学特論D	講義・15時間	2年次前期	松浦 和代
小児看護学特論E	講義・30時間	1年次後期	◎★佐野 仁美 松浦 和代 牧田 靖子 ★水島 正人 ★畠山 欣也 ★伊藤 智城 ★山崎 健史 ★工藤絵理子
母子看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎荒木 奈緒 松浦 和代 加藤 依子 石引かずみ 岡 園代 ★山内 豊明
母性看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎荒木 奈緒 石引かずみ 黒田 紀子 岡 園代
小児看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎松浦 和代 加藤 依子 牧田 靖子
小児看護学演習B	演習・60時間	1・2年次通年	◎松浦 和代 加藤 依子 牧田 靖子
高度小児看護学実習 I	実習・90時間	1年次後期	◎松浦 和代 加藤 依子 牧田 靖子



授業科目	授業 形態・時数	年次	担当教員
高度小児看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	◎松浦 和代 加藤 依子 牧田 靖子
高度小児看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎松浦 和代 加藤 依子 牧田 靖子
成人看護学特論	講義・30時間	1年次前期	◎小田 和美 卯野木 健 川村三希子
急性期看護学特論	講義・30時間	1年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹
慢性期看護学特論	講義・30時間	1・2年次後期	小田 和美
がん看護特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子
急性期病態管理学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎卯野木 健 ★七戸 康夫 ★井上 貴昭 ★升田 好樹 ★春名 純平
クリティカルケア看護学特論	講義・30時間	1年次後期	◎卯野木 健 菅原 美樹
アドバンスト・フィジカルアセスメント論	講義・30時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★小川 謙 ★木村 禎
がん看護学援助特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子 ★荒尾 晴恵
がん薬物療法看護特論	講義・30時間	1年次後期	◎川村三希子 ★石岡 明子
がん看護・緩和ケア特論	講義・30時間	1年次後期	川村三希子
がん病態治療特論	講義・30時間	1年次後期	◎★小林 正伸 川村三希子 ★福原 敬 ★鈴木恵士郎
成人看護学演習	演習・60時間	1年次通年	◎小田 和美 藤井 瑞恵 ★山内 豊明
急性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★平尾 明美 ★藤野 智子
クリティカルケア看護学演習Ⅰ	演習・60時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★春名 純平
クリティカルケア看護学演習Ⅱ	演習・60時間	2年次通年	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★平尾 明美
慢性期看護学演習	演習・60時間	1・2年次通年	◎小田 和美 藤井 瑞恵
がん薬物療法看護演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 齋 若奈 ★小野 聡子 ★石岡 明子
がん看護・緩和ケア演習	演習・60時間	2年次通年	◎川村三希子 ★内海 明美 ★田中いづみ
高度急性期看護学実習Ⅰ	実習・135時間	1年次後期	◎菅原 美樹 卯野木 健 ★藤野 智子
高度急性期看護学実習Ⅱ	実習・135時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★村中 沙織 ★春名 純平
高度急性期看護学実習Ⅲ	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★村中 沙織 ★春名 純平
高度急性期看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎卯野木 健 菅原 美樹 ★村中 沙織 ★春名 純平
高度がん看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	川村三希子
高度がん看護学実習Ⅱ	実習・180時間	2年次通年	川村三希子
高度がん看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	川村三希子
精神看護学特論A	講義・30時間	1年次前期	◎守村 洋 ★山本 勝則
精神看護学特論B	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★吉野 淳一
精神看護学特論C	講義・30時間	1年次後期	◎守村 洋 ★齊藤 浩司 ★吉野 淳一
精神看護学特論D	講義・30時間	1年次後期	◎★山本 勝則 守村 洋



授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員
慢性期精神看護学特論	講義・15時間	2年次前期	◎★山本 勝則 守村 洋
精神看護学演習A	演習・60時間	1年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎
精神看護学演習B	演習・60時間	2年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎
慢性期精神看護学演習	演習・30時間	2年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅰ	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅱ	実習・90時間	1年次後期	◎守村 洋 伊東健太郎
高度精神看護学実習Ⅲ	実習・180時間	2年次通年	◎守村 洋 伊東健太郎 ★中村 創
高度精神看護学実習Ⅳ	実習・90時間	2年次通年	◎伊東健太郎 守村 洋
看護技術学特論Ⅰ	講義・30時間	1年次前期	樋之津淳子
看護技術学特論Ⅱ	講義・30時間	1・2年次後期	◎樋之津淳子 檜山 明子
看護技術学演習Ⅰ	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子 檜山 明子 ★山内 豊明
看護技術学演習Ⅱ	演習・60時間	1・2年次通年	◎檜山 明子 樋之津淳子
看護教育・マネジメント学特論	講義・30時間	1年次前期	◎定廣和香子 佐藤ひとみ
看護教育学特論	講義・30時間	1・2年次後期	定廣和香子
看護マネジメント学特論	講義・30時間	1・2年次後期	◎佐藤ひとみ ★勝見 真澄
看護教育・看護マネジメント学演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣和香子 佐藤ひとみ 矢野祐美子 鬼塚 美玲
看護教育学演習	演習・60時間	1・2年次通年	定廣和香子
看護マネジメント学演習	演習・60時間	1・2年次通年	佐藤ひとみ 武富貴久子 矢野祐美子 鬼塚 美玲
特別研究	演習・240時間	1～2年次通年	◎菊地ひろみ 荒木 奈緒 卯野木 健 小田 和美 貝谷 敏子 川村三希子 喜多 歳子 定廣和香子 佐藤ひとみ 樋之津淳子 松浦 和代 高橋 奈美 菅原 美樹 檜山 明子 村松 真澄 守村 洋 藤井 瑞恵 本田 光 原井 美佳
課題研究	演習・120時間	1～2年次通年	◎菊地ひろみ 卯野木 健 川村三希子 松浦 和代 加藤 依子 高橋 奈美 菅原 美樹 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



< 博士後期課程 >

授業科目	授業形態・時数	年次	担当教員		
横断型連携特別演習	演習・30時間	1年次通年	◎樋之津淳子 貝谷 敏子 喜多 歳子 本田 光	荒木 奈緒 川村三希子 定廣和香子	卯野木 健 菊地ひろみ 松浦 和代
看護学特講	講義・30時間	1年次前期	◎喜多 歳子 松浦 和代 ★中山 和弘	卯野木 健 中島 秀之	貝谷 敏子 ★スーディ神崎和代
看護技術学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎樋之津淳子	村松 真澄	
実践看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 貝谷 敏子 村松 真澄	荒木 奈緒 川村三希子 守村 洋	卯野木 健 松浦 和代
機能看護学特別演習	演習・60時間	1年次通年	◎定廣和香子 本田 光	喜多 歳子	佐藤ひとみ
後期特別研究 I	演習・60時間	1年次通年	◎菊地ひろみ 川村三希子 定廣和香子 本田 光	荒木 奈緒 貝谷 敏子 樋之津淳子 村松 真澄	卯野木 健 喜多 歳子 松浦 和代 守村 洋
後期特別研究 II	演習・60時間	2年次通年	◎菊地ひろみ 川村三希子 定廣和香子 本田 光	荒木 奈緒 貝谷 敏子 樋之津淳子 村松 真澄	卯野木 健 喜多 歳子 松浦 和代 守村 洋
後期特別研究 III	演習・120時間	3年次通年	◎菊地ひろみ 川村三希子 定廣和香子 本田 光	荒木 奈緒 貝谷 敏子 樋之津淳子 村松 真澄	卯野木 健 喜多 歳子 松浦 和代 守村 洋

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師



## 7 助産学専攻科

## 1) 2022年度時間割

## ① 前期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
2	10:40 ～ 12:10	妊娠期助産診断・技術学		分娩期助産診断・技術学		周産期ハイリスク援助論		分娩期助産診断・技術学		産褥期助産診断・技術学	
3	13:10 ～ 14:40	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論		助産管理論	
4	14:50 ～ 16:20	助産学総論		助産学フィールド演習		周産期医学論		乳幼児支援論			
5	16:30 ～ 18:00			地域母子保健論							

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。

## ② 後期

		月		火		水		木		金	
		前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)	前半 (第1~7.5週)	後半 (第7.5~15週)
1	9:00 ～ 10:30	助産学演習									
2	10:40 ～ 12:10	助産学演習									
3	13:10 ～ 14:40	助産学課題研究									
4	14:50 ～ 16:20	助産学課題研究									
5	16:30 ～ 18:00										

※開講曜日時間は週によって変更する場合がある。





## 2) カリキュラム

## ① 授業科目一覧

区分	授業科目の名称	授業形態	単位数 (全科目：必修)
基礎助産学	助産学総論	講義	2
	周産期医学論	講義	2
	乳幼児支援論	講義	2
	妊娠期助産診断・技術学	演習	1
	分娩期助産診断・技術学	演習	3
	産褥期助産診断・技術学	演習	1
実践助産学	助産学フィールド演習	演習	1
	周産期ハイリスク援助論	講義	2
	地域母子保健論	講義	2
	助産管理論	講義	1
	助産学実習Ⅰ	実習	3
	助産学実習Ⅱ	実習	3
	助産学実習Ⅲ	実習	3
	助産学実習Ⅳ	実習	2
	助産学実習Ⅴ	実習	1
統合助産学	助産学演習	演習	1
	助産学課題研究	演習	2
合計			32

## ② 修了要件

32単位（全科目必修）

## 3) 教育活動

授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
助産学総論	講義・30時間	前期	◎荒木 奈緒 ★吉 裕子 ★佐藤みはる
周産期医学論	講義・30時間	前期	◎山本真由美 石引かずみ 黒田 紀子 ★高野 良子 ★後藤 仁和 ★西 基 ★塩津 英之 ★渡利 道子 ★津村 宣彦 ★荒木 英司 ★鈴木 伸和 ★木島 弘道
乳幼児支援論	講義・30時間	前期	◎岡 園代 黒田 紀子 ★柳内 聖香 ★渡邊 大地
妊娠期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎石引かずみ 山本真由美
分娩期助産診断・技術学	演習・90時間	前期	◎黒田 紀子 石引かずみ 山本真由美 岡 園代 大友 舞 久保田祥子 ★塩津 英之 ★渡利 道子 ★山村 満恵
産褥期助産診断・技術学	演習・30時間	前期	◎山本真由美 大友 舞 久保田祥子



授業科目	授業・時数 形態	年次	担当教員
助産学フィールド演習	演習・30時間	前期	◎大友 舞 石引かずみ 黒田 紀子
周産期ハイリスク援助論	講義・30時間	前期	◎岡 園代 黒田 紀子 大友 舞 ★平山 恵美 ★佐野 敬夫 ★塩野 展子 ★石田 桐代 ★城戸真紗美
地域母子保健論	講義・30時間	前期	◎荒木 奈緒 岡 園代 ★斉藤佳代子 ★藤田 泰恵 ★古瀬 優太 ★石田 桐代
助産管理論	講義・15時間	前期	◎荒木 奈緒 ★釣部 公映 ★下山 友子 ★佐々木理恵 ★川名 愛深
助産学実習 I	実習・135時間	通年	◎黒田 紀子 荒木 奈緒 石引かずみ 山本真由美 岡 園代 大友 舞 久保田祥子
助産学実習 II	実習・135時間	通年	◎黒田 紀子 荒木 奈緒 石引かずみ 山本真由美 岡 園代 大友 舞 久保田祥子
助産学実習 III	実習・135時間	通年	◎石引かずみ 黒田 紀子 荒木 奈緒 山本真由美 岡 園代 大友 舞 久保田祥子
助産学実習 IV	実習・90時間	後期	◎岡 園代 黒田 紀子 荒木 奈緒 石引かずみ 山本真由美 大友 舞 久保田祥子
助産学実習 V	実習・45時間	後期	◎山本真由美 黒田 紀子 荒木 奈緒 石引かずみ 岡 園代 大友 舞 久保田祥子
助産学演習	演習・30時間	通年	◎荒木 奈緒 石引かずみ 黒田 紀子 山本真由美 岡 園代 大友 舞 久保田祥子 金子 晋也
助産学課題研究	演習・60時間	通年	◎荒木 奈緒 黒田 紀子 大友 舞 久保田祥子

◎印：科目責任者（オムニバス形式等の場合）

★印：非常勤講師

#### 4) 実習概要

(単位：名)

科目名	実習期間	実習機関	延べ人数
助産学実習	2022年6月27日～2023年1月27日	医療機関	676



## 8 デザインと看護の連携教育

「デザイン」・「看護」という、異なる学部の学生たちが、共に学ぶことが札幌市立大学の特色である。常識にとらわれない多彩なカリキュラムと自由な雰囲気での授業で、地域社会に根ざした豊かな人間性と柔軟な感性を育む。

1年次前期「スタートアップ演習」（学際教育科目）では、大学生としての基本的な心構えを学ぶことを目標に、デザイン学部生・看護学部生を混成した少人数編成によるグループ活動を行う。

前半は、「大学生活をおくる上で必要なことを知る、学ぶ」ことを目的として、スチューデントスキルの学び、Excursionの準備と実施、中間レポートの執筆に取り組む。

後半は、『「問い」を設定する』プロジェクト活動として、大学生としての主体的な学びの姿勢の修得に取り組む。

令和4年度（2022年度）「スタートアップ演習」

後半課題（各チームで設定）

チーム	小グループ名	テーマ
チーム1 (松井・吉田)	フォルテッシモ	MUSIC × FEELING 時間帯と気分で聴く音楽は変わるのか
	ヒュマエもん	人間の思考の変化に関する考察と問い
	Cupid	男性は直感的、女性は思慮深いというのは本当なのか
チーム2 (武田・中田)	唐揚げアイス	見方と考え方変えてみない??? 型にとられるな!!!
	ぞうさん	ハマるってどういう状態?
	キリングメモリー	人の名前と顔を覚えられない!!
	アルバイター	飲食店などを汚して帰る人の心理とは?
チーム3 (丸山・近藤)	キャプテンおすし	モテるためには??
	Yes! プリキュア5 GO!GO!	恋人の存在意義
	女子会	恋愛感情はどう生まれるの?
チーム4 (並木・久保田)	Oh! mkmk	グループワークに必要な能力とは?
	シークワサー	食と色彩の関係
	みかんがいくら	食べ合わせによる味の変化
チーム5 (福田・工藤)	DAYキャンプ	仲を深める
チーム6 (片山・三戸部)	ARMY	心のユニバーサルデザイン
	Gand Lovers	居心地のいい空間の条件 ～「居心地がいい」とは～
	ビスコ	仕掛を用いて本学における分別回収の課題にアプローチする
	ファクトリー	アトリウム空間～風～
チーム7 (石田・岡)	SOBORO	LGBTQIA+
	鳥人間	味覚と視覚の関係
	カントリーマアム	非常事態でもご飯を食べたい!
チーム8 (松永・加藤)	いもむしぐみ	こどもの谷に迷子ブザーを作ろう
	ケンキョ	遊具を開発しよう
	階段団	人々が自主的に利用したくなる階段はどのようなものか



チーム9 (吉田・貝谷)	お土産班	北海道のお土産
	シメパフェ班	札幌とシメパフェ
	スープカレー班	スープカレー
チーム10 (坪内・川村)	キミ	ひとりでおいしいものをおいしく食べるには
	サザエさん	世代を超えた食事 ～みんなでご飯を食べるには？～

2年次前期「学部連携基礎論」（専門教育科目）では、札幌市の各地域の特徴と課題をそれぞれの専門的視点から分析し、課題発見のプロセスや、相互の専門性や異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を学び、3年次の学部連携演習に備える。

授業の前半では、地域についての基礎知識を学ぶ他、交換授業においてデザイン学部・看護学部の学生がお互いの学問領域の基礎や調査方法・研究事例など相互の専門性を理解する。後半では、札幌市内の南区を除く9区について特徴や課題把握、課題解決方法をグループごとに討議し、成果発表を行う。

3年次後期「学部連携演習」（専門教育科目）では、スタートアップ演習から2年を経て、基本的な専門教育の上に、相互の専門性を尊重し合い、それぞれがデザイン・看護の専門家として積極的に取り組む姿勢を身につけるとともに、学生自身の専門性を広げ、異分野の人材と連携する能力を養うことを目的とし、両学部合同による演習を行う。両学部生を少人数グループに編成し、デザイン・看護相互に関わりのあるテーマや課題を、札幌市南区の地域に見出し、相互の学生が共同・協力しながら、地域調査・課題発見・解決に取り組む。

#### 令和4年度（2022年度）「学部連携演習」

地区	テーマ
真駒内	真駒内私たちの視展
芸術の森	芸術の森まちづくりセンター管理人室リフォーム案 3世代が集まる家のような空間づくり
澄川	澄川集合！ 自然豊かな紅櫻公園でお酒を飲もう！
藻岩下	藻岩下×〇〇さん インタビューを通して想像力を学ぶ
藻岩	空き店舗リノベーションカフェ”もいこい” ～地区における地域コネクティッドプラン～
南沢	公園のまち。みなみのさわ
石山	石山地区に暮らす人びとのQOLとは？ 朝市とひょっとこ踊りへの参加から見えたこと
藤野	藤野しか勝たん！みなぎるパワーたいそう 高齢者の運動不足の解消に向けたコンテンツの提案
簾舞	簾舞よりみち屋 世代を超えて人を結ぶシェアキッチン
定山溪	ふらっと健康温泉 定山溪の新たな力



## III 研究活動

### 1 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
中島 秀之	AI研究の普及活動、一人称研究と環世界の概念を整理する
椎野 亜紀夫	大規模停電発生時の都市公園水道施設利用に関する研究
齊藤 雅也	過去・現在・未来の想像温度の地域特性に関する研究
石井 雅博	行為による外界変化の認知に両者の適合性は影響するか
大淵 一博	色彩分析・イメージ分析用Webアプリケーションの開発
安齋 利典	ペルソナの一環性のある活用について
柿山 浩一郎	BtoB企業の製品評価に関する特徴抽出
西川 忠	1.アイスコンクリートの研究 2.自己治癒コンクリートのRC造建築物への適用に関する研究 3.木質外装材の経時による色変化の研究 4.コンクリートブロック造の品質向上と施工合理化に関する研究
藤木 淳	地域活性化のための位置情報を含む任意データに対するレトロRPG ゲーム風ビジュアルライズ手法の研究
細谷 多聞	地域連関型活動に関するデザイン研究
松井 美穂	アメリカ南部文学研究
三谷 篤史	乗馬療育用バックサポート付きクッションの開発
山田 良	公共空間のデザインに関する研究
若林 尚樹	体験プログラムにおける教材としての工作キットの設計手法
大島 卓	岩手県小岩井農場の経年変化および土地利用変遷に伴う景観価値醸成
片山 めぐみ	多世代共生を試みる公営集合住宅のコミュニティマネジメントと高齢者の交流実態
金子 晋也	木材資源の活用としての空き家の自主改修の実践
金 秀敬	干渉に着眼した文字認識における主観フィルターの干渉に関する研究
小林 重人	ミクロ・メゾ・マクロループの枠組みに基づいたソーシャルシステムデザイン
小宮 加容子	誰もが一緒に楽しむことができるあそびのデザインに関する研究
武田 亘明	地域コミュニケーション活性化を目指した地域連携型プロジェクト
張 浦華	特徴的な作品を目指したセラミック創作
並木 翔太郎	嗅覚認知と言語化に関する研究
丸山 洋平	1.人口移動と単身化の関係—東京特別区を対象として 2.地域統計の客観的解釈に関する研究—地域別ランキングの批判的検討を通して 3.北陸新幹線金沢延伸前後の北陸3県の人口移動 4.Child-Woman Ratioの分母年齢と地域別将来人口推計の精度との関係
森 朋子	北海道内の太陽光発電設備等の設置関連市町村条例と現状課題
山田 信博	団地のコミュニティ形成に向けた実証実験の有効性検証
横溝 賢	社会実践デザインの視覚化手法の研究
石田 勝也	環境情報を直感的感覚につなげるデザイン方策の研究



教員名	研究課題
須之内 元洋	北海道の文化芸術アーカイブ基盤構築にむけたリサーチと制度設計
福田 大年	見立て観察と協創を連動させたアイデア生成経験学習プログラムの開発
松永 康佑	四分円環体が連結した運動によるアニメーション知覚に関する研究
坪内 健	移設型仮設住宅を用いた被災者の私有地における環境移行の特徴： 平成30年北海道胆振東部地震による導入事例を対象として
矢久保 空遥	ダマスカス鋼製理美容鋏の感性評価と音響特性調査
吉田 彩乃	生体内の情報処理に着目した知能ロボット構築のための基礎的研究の予備研究

## 看護学部

教員名	研究課題
松浦 和代	1. モンゴル国における発育性股関節形成不全ハイリスク群への育児指導とその評価 2. 乳児虐待リスク予測システム（仮称）の構築に向けた基礎調査
菊地 ひろみ	在宅看護を担う新卒・新人訪問看護師育成の取り組み
荒木 奈緒	出生前検査の各検査の受検における意思決定の際に妊婦が抱く心理の違いについて
川村 三希子	看護師の倫理的感受性を育むための組織的アプローチに関する研究
卯野木 健	集中治療後症候群の解明
小田 和美	「熟練看護師のもつ実践知の可視化に関する研究 －「看護の教育的関わりモデル」の構成要素の概念分析
貝谷 敏子	高齢者の脆弱な皮膚に対する効率性の高いスキンケアマネジメント方法の構築
喜多 歳子	「子どもの貧困」を支援する保健師活動の特徴
定廣 和香子	国際協奏型プロジェクトによるデリバリー型アートインホスピタルモデルの開発
佐藤 ひとみ	電子看護記録システムを利用した演習方法に必要な機能の検討
樋之津 淳子	大学と医療施設の協働による看護師の遠隔会議システムを用いた継続教育の効果
加藤 依子	Food Allergyをもつ幼児の親を対象としたElectronic Diaryの導入とその評価
菅原 美樹	二次救急医療機関の救急外来看護師のコンピテンシー
高橋 奈美	ALSの進行過程におけるALS患者と家族の関係性に関する研究
原井 美佳	寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発
檜山 明子	入院患者に対する転倒予防看護実践方法の検討
藤井 瑞恵	看護コンソーシアム構築を目指した大学と医療施設の協働による事業の実施と効果検証
本田 光	子育て支援に関するWebアプリの効果の検証
村松 真澄	介護老人福祉施設におけるエンドオブライフケアについてCNSやCN、NPなどがかわることで質の高いケアが提供できるか
守村 洋	メンタルヘルスに関する研究（主として精神障害セルフヘルプ・グループへの地域生活支援および自殺予防に関する研究）
石引 かずみ	開業助産師の分娩期におけるWomen centered careの認識と実践
伊東 健太郎	当事者参加型の精神看護学シミュレーション教育に参加した当事者の思い
岡 園代	超低出生体重児の出生直後の初期ケアプロセス
鬼塚 美鈴	積雪寒冷期大地震の災害急性期における病院での災害看護活動に関するリスクの特定
工藤 京子	コロナ禍での患者会のあり方と支援

教員名	研究課題
黒田 紀子	プレコンセプションケアの概念分析
武富 貴久子	①副師長対象のリフレクションを活用した継続教育プログラムの実践 ②根拠に基づく看護実践のための情報リテラシーに関する研究 ③看護実践環境と看護師の心理的エンパワーメントの関連 ④臨床研究を行う看護師（リサーチナース）のサポートシステムの構築
牧田 靖子	札幌市における乳幼児の「窒息・誤飲」による事故の実態と事故予防対策
三戸部 純子	薬剤情報の見逃し・見誤りの実験的検討
矢野 祐美子	中小規模病院の看護師長を対象とした継続学習支援
山本 真由美	客観的看護実践能力（OSCE）のCOVID-19による影響 -助産学専攻科新生児観察に焦点を当てて-
山出 誓子	日本における一般病棟の看護チーム活動に影響する要因に関する質的研究：スコーピングレビュー
市戸 優人	1.思春期の子どもをもつ親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証 2.特別支援教育で活用可能な性教育教材（SHカード）の開発と有用性・有効性の検証
大友 舞	妊娠初期における口腔内自覚症状と関連要因の分析
久保田 祥子	1.性的同意概念の分析と教育への示唆 2.満期単胎骨盤位の一律帝王切開に関する倫理的考察
栗原 知己	集中治療室において標準的な看護職務を遂行するために必要な臨床実践能力の特性に関する研究
近藤 圭子	地域住民における地域医療に関する思いの実態把握
坂本 結城	「生活」の概念分析～生活学および看護関連分野に焦点をあてて～
渋谷 友紀	1.リカバリーの視点で当事者の全体像を捉えるための取り組み -当事者参加型演習における学びのレポート分析から- 2.精神科医療における暴力のシナリオを用いたシミュレーション教育 -情緒的難易度を考慮した段階的な試み- 3.サービスデザイン手法を応用した教材作成方法に関する研究 -ユーザーの行動を中心としたアプローチにより意欲を引き出す試み
田仲 里江	看護基礎教育と継続教育の連携による中堅看護師研修プログラムの構築
平山 憲吾	がん薬物療法を受ける進行がん患者を支える高齢配偶者の体験
吉田 実和	血圧測定 技術 動画教材 における 映像表現技法 の分析
中田 亜由美	コロナ禍におけるA地域在住高齢者の社会活動実態調査
齋 若奈	外見の変化を体験したがんサバイバーのヘルスリテラシーに関する研究

**AITセンター**

教員名	研究課題
高橋 尚人	2022年2月の札幌圏での大雪時のTwitterデータおよび人流データ分析



## 2 学内公募研究課題一覧

### 学術奨励研究

教員名	研究課題
坪内 健	「べてるの家」における地域資源を活用した精神疾患患者の地域移行モデルの解明
西川 忠	札幌軟石を使用した組積造建築物の耐震性診断法に関する研究
金子 晋也	北海道建築の歴史的価値からみた保存論の展開
張 浦華	札幌軟石とセラミックの特徴を複合化した“焼成札幌軟石”等の基礎研究
福田 大年	協働的な学習を支援する移動式ハイフレックス型授業配信システムの開発

### 共同研究

教員名	研究課題
◎定廣 和香子、細谷 多聞、 下水流 裕斗、三浦 友理子	デザインと看護の連携による心電図初学者のための3D学習教材の開発
◎矢久保 空遥、川名 宏和	マルチモーダル刺激に対応した感性評価アプリケーションの開発
◎金 秀敬、ピエル・レヴィ、 ファブリス・マントレ	感覚融合に着目した知覚情報分析と知覚力向上への試み
◎藤木 淳、檜山 明子、 松永 康佑、吉田 実和	ゲーミフィケーションを用いた血圧測定技術教材の開発
◎片山 めぐみ、小林 重人、 武田 亘明、本田 光、 近藤 圭子	マルシェとこども地域通貨を活用したフリースクールのプログラムデザイン
◎石引 かずみ、松浦 和代、 三谷 篤史、牧田 靖子、 久保田 祥子	内診指を可視化する透明内診シミュレータDX教材の開発 ープロトタイプ I の作成
◎檜山 明子、高橋 尚人、 三戸部 純子	睡眠・活動の長時間モニタリングデータを活用した入院患者の転倒予測

◎印：代表者

### 田村ICT基金

教員名	研究課題
◎三谷 篤史、村松 真澄、 松永 康佑、田頭 正一	高齢者の自己決定を促すレクリエーションシステム及びコンテンツの開発

◎印：代表者

### 採択状況

学術奨励研究		共同研究		田村ICT基金		合計	
応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数	応募件数	採択件数
9	9	10	7	1	1	20	17



### 3 学外からの研究費、研究補助金などの受入状況

#### 科学研究費助成事業（科研費）

研究代表者	研究課題	研究種目	金額（円）
村松 真澄	人工知能を利用した高齢者の口腔アセスメントのスクリーニング構築の基礎研究	基盤研究（B）	2,400,000
中島 秀之	AI技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデルの実証的研究	基盤研究（A）	12,610,000
齊藤 雅也	地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断	基盤研究（C）	910,000
貝谷 敏子	高齢者の脆弱な皮膚に対する効率性の高いスキンケアマネジメント方法の構築	基盤研究（C）	390,000
本田 光	子育てママの地域とのつながりを育むロボットアプリの開発及びその効果と課題の検証	基盤研究（C）	520,000
矢部 和夫	泥炭採掘跡地の再湿潤化による群落、水質、および温室効果気体生成の初期変遷の追跡	基盤研究（C）	390,000
藤井 瑞恵	看護基礎教育と継続教育の連携による中堅看護師研修プログラムの構築	基盤研究（C）	1,560,000
松浦 和代	モンゴル国における発育性股関節形成不全予防ケアの普及とその評価	基盤研究（C）	1,040,000
加藤 依子	経口免疫療法を受ける子どものための体調管理アプリ「わたし・ぼくのカルテ」の開発	基盤研究（C）	1,040,000
平山 憲吾	化学療法を継続する進行高齢がん患者における意思決定支援モデルの開発と検証	若手研究	1,690,000
原井 美佳	積雪寒冷な中山間地域に暮らしてきた高齢女性の地域活動の経験についての研究	基盤研究（C）	520,000
檜山 明子	転倒リスク行動自己評価尺度と身体認識の誤差測定による転倒予測精度の検証	基盤研究（C）	1,300,000
市戸 優人	思春期の子どもの親を対象とした家庭内性教育支援プログラムの開発と有効性の検証	基盤研究（C）	1,040,000
鬼塚 美玲	積雪寒冷期大地震時の病院における災害看護活動のリスク解明と備えガイドラインの開発	基盤研究（C）	1,560,000
高橋 奈美	ALS患者家族への支援体制構築に向けた支援プログラムの構築	基盤研究（C）	520,000
菊地 ひろみ	医療依存度の高い在宅療養者の生活再構築におけるレジリエンス促進看護モデルの創出	基盤研究（C）	390,000
田仲 里江	大規模災害時の死体検案補助の人材育成と公衆衛生看護による遺族ケアの連携	基盤研究（C）	910,000
小宮 加容子	未就学児を対象とした触覚刺激の指標化に関する研究	基盤研究（C）	1,950,000
並木 翔太郎	使役交替に基づく北海道方言「ラサル」の形態統語的研究	若手研究	910,000
矢久保 空遥	「柔らかさ」に着目した感性の神経基盤解明の試み	若手研究	1,820,000
大島 卓	農畜産業施設の経年変化および土地利用変遷に伴う景観価値醸成とその保全方策	若手研究	1,040,000
藤木 淳	視線距離に応じて閲覧者に異なる表面イメージを知覚させる立体表現手法	挑戦的研究（萌芽）	2,730,000

研究代表者	研究課題	研究種目	金額 (円)
若林 尚樹	体験プログラムにおける教材としての工作キットの設計手法の開発	基盤研究 (C)	1,300,000
森 朋子	北海道における国立公園から展開する広域景観形成へ向けた景観計画手法に関する研究	基盤研究 (C)	1,040,000
近藤 圭子	住民が地域医療を守る住民協働型教育プログラム (北海道モデル) の開発	基盤研究 (C)	1,560,000
卯野木 健	遠隔期における集中治療後症候群の実態と患者体験からみたリスク因子の解明	基盤研究 (C)	1,950,000
菅原 美樹	二次救急医療機関の救急外来看護師のコンピテンシー評価指標の開発	基盤研究 (C)	650,000
牧田 靖子	「乳児虐待リスク予測システム (仮称)」プロトタイプの開発	基盤研究 (C)	1,560,000
喜多 歳子	子どもの貧困世帯に対する保健指導の質向上を促すチェックシートの開発	基盤研究 (C)	1,170,000
川村 三希子	認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントにおけるシミュレーション教育プログラムの開発	基盤研究 (C)	390,000
坪内 健	残余宅地の解消プロセスからみる東日本大震災の集団移転計画の経年的実態把握	研究活動スタート支援	1,040,000

※課題番号順

**受託研究費**

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
矢部 和夫	キウシト湿原保全基礎研究	登別市	200,000
矢久保 空遥	ダマスカス鋼製理美容鉢の感性評価と音響特性調査	(株)山村製作所	330,000
卯野木 健	重症患者における効果的な口腔ケア解明	アルケア(株)	330,000
吉田 彩乃	動物福祉に配慮した夏季の屋外放飼場のデザイン研究	札幌市	253,000
矢久保 空遥	動物科学館における展示デザインリニューアルに向けた検証	札幌市	253,000
並木 翔太郎	新しいこども動物園における教育コンテンツの提案に向けた予備的研究	札幌市	990,000
森 朋子	21世紀・アイヌ文化伝承の森整備推進事業の内アイヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究	国立大学法人 北海道大学	253,000
高橋 尚人	雪埋没物の検知に関する研究	本田技術工業(株)	198,000
羽深 久夫	厚真町吉野地区における環境整備に関する調査研究	厚真町	330,000

**共同研究費**

研究代表者	研究課題	委託者	金額 (円)
高橋 尚人	気象情報とAI学習による防災・生活情報の研究開発	(一財)日本気象協会	110,000
高橋 尚人	構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究 (その3)	中日本高速道路(株)	74,000
高橋 尚人	コネクティッドカーデータを活用した冬期路面評価に関する研究	トヨタ自動車(株)	330,000
高橋 尚人	雪氷光散乱特性とニューラルネットワークを用いた雪氷モニタリングシステム技術の研究開発	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構	0
西川 忠	歴史的建築物を活かした中心市街地活性化に関する研究	浦臼町	480,000



柿山 浩一郎	BtoB企業のユーザビリティ評価の研究	東京エレクトロン(株)	210,000
柿山 浩一郎	動画表現の効果測定研究・映像サンプルの実験計画策定と感性評価	三菱電機(株)統合デザイン研究所	2,500,000
吉田 彩乃	SAVSシミュレータの改造	(株)未来シェア	0
松浦 和代	女性ホルモンリズムが心理状態や肌に与える影響の解明	(株)資生堂	1,000,000
高橋 尚人	深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	(株)メイセイ・エンジニアリング	300,000
高橋 尚人	救急需要予測に基づく救急車の最適配置に関する基礎研究	札幌市	1,210,000
高橋 尚人	デジタル技術を活用した被災者支援のワンストップ化に係る基礎的研究	札幌市	4,950,000
高橋 尚人	スマートシティ推進に向けたコネクティッドカーデータ活用に関する研究	トヨタ自動車(株)	2,772,000

#### 4 寄附金の受入状況

教員名	寄附目的	寄附元	金額 (円)
西川 忠	北海道内の石造建築、特に木骨石造の構造特性や耐震性解明のための研究	北電総合設計(株)	180,000
羽深 久夫	工学研究の為	北電総合設計(株)	200,000

#### 5 その他研究助成

教員名	研究課題	助成元	金額 (円)
金子 晋也	北海道における文化的生態的景観に関する研修	(公財)トランスコスモス財団	1,000,000
山田 信博	寒冷地のサンルーム付き住戸の居住特性と実践的改修に関する研究	(一財)住総研	70,000
石井 雅博	「こころとカラダのライフデザイン共創拠点」に関する公立大学法人札幌市立大学の研究開発	国立研究開発法人科学技術振興機構	2,600,000



## 6 海外出張記録

期間	教員名	目的国	用務
2022/07/01～10	金 秀敬	ドイツ	国際フォーラムIMRF2022参加
2022/08/18～29	定廣 和香子	ノルウェー	ホスピタルアート展開のためのフィールド調査、打ち合わせ
2022/09/02～12	金 秀敬	イギリス	国際学会E&PDE2022参加/国際学会KEER2022（スペイン）で研究発表のオンライン参加
2022/09/03～11	山田 良	イギリス	現代美術館 建築調査
2022/10/21～31	金 秀敬	フィンランド	マルチモーダル知覚情報の干渉構造に着眼した、表象力向上に関する実証研究のための検証実験
2022/10/25～31	小林 重人	ブルガリア	6th Biennial RAMICS International Congress “Complementary Currency Systems Bridging Communities”での発表
2022/11/12～20	高橋 尚人	スペイン	Smart City Expo World Congress (SCEWC) 参加、打ち合わせ
2022/11/20～27	森 朋子	ネパール	世界遺産ルンビニの現地調査及び打ち合わせ参加
2023/02/05～09	須之内 元洋	タイ	バンコクビエンナーレ視察
2023/02/10～03/11	張 浦華	台湾	アーティストインレジデンス
2023/02/20～27	高橋 尚人	ポルトガル	2023 15th International Conference on Agents and Artificial Intelligence (ICAART) 参加
2023/02/26～03/06	金 秀敬	フィンランド	SCU×UT国際ワークショップ、美術館見学ツアー
2023/03/18～25	高橋 尚人	フランス	世界道路協会（PIARC）打ち合わせ、Autonomy Mobility World Expo 2023参加
2023/03/24～04/01	森 朋子	ネパール	UNESCOカトマンズ事務所による国際科学会議への出席



## IV 社会活動

### 1 地域貢献諸活動

#### 1) 受託研究一覧

研究課題	期間	概要	委託者
キウシト湿原保全基礎研究	2022年4月14日～ 2023年3月3日	今後のミズゴケ属再生の事業化の際の、除草作業を機械除草によって簡便化できるかどうかを検証するために、機械刈りと手刈りのミズゴケ属成長効果を検証した。	登別市
ダマスカス鋼製理美容鉢の感性評価と音響特性調査	2022年6月24日～ 2023年2月28日	詳細は非公開	榊山村製作所
重症患者における効果的な口腔ケア解明	2022年11月7日～ 2024年12月30日	2023年度継続中	アルケア(株)
動物福祉に配慮した夏季の屋外放飼場のデザイン研究	2022年11月10日～ 2023年2月28日	札幌市円山動物園のキリン舎における夏季の野外放飼育上の熱環境を改善するため、(1)対象動物の夏季の野外放飼育場における行動パターンの調査、(2)動物福祉に配慮した野外放飼育場に設置可能な日射遮へいシステムデザインの検討を行なった。	札幌市
動物科学館における展示デザインリニューアルに向けた検証(3年目・最終年度)	2022年11月24日～ 2023年2月28日	2020年度、2021年度の成果の上に立ち、動物科学館に実際に展示するコンテンツを制作し、効果を検証し、具体的な展示案について提案することを目的として設定した。具体的には実際に展示するコンテンツとして、観察用カード(動物科学館にて配布することを想定)を提案した。	札幌市
新しいこども動物園における教育コンテンツの提案に向けた予備的研究	2022年11月10日～ 2023年2月28日	現こども動物園の利用実態に関する客観的データを収集し、主たる利用者として設定されている子供の園内における①滞在時間、②散策ルート、③視線の動き、④凝視ポイントと、⑤保護者の行動(散策時における子どもとの位置関係、子どもの凝視時における振る舞い)を明らかにした。	札幌市
21世紀・アイヌ文化伝承の森整備推進事業の内アイヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究	2022年11月29日～ 2023年3月31日	文化的景観としてのコタン・イウォロの理解に向けた空間変容と文化継承に関する調査を行った。北海道大学にて本年度の全体調査・研究成果を取りまとめて製本し、関連する部署や地元配布して共有する。また、次年度の継続を予定しており、今年度調査で得られた成果を手がかりに、継続して現地調査を行い、さらなる研究成果を得る予定である。	国立大学法人 北海道大学
雪埋没物の検知に関する研究	2023年1月11日～ 2023年3月31日	除雪機械に関する技術開発の方向性の検討に資するため、行政の動向や今般の雪に関する話題などについて資料を収集し、とりまとめた。	本田技研工業(株)
厚真町吉野地区における環境整備に関する調査研究	2023年2月13日～ 2023年3月31日	平成30年北海道胆振東部地震で甚大な被害のあった吉野地区を対象に、今後の整備を通じた景観形成のあり方や震災の記憶の継承に対する具体的な知見を提示した。	厚真町



## 2) 共同研究（学外との連携）一覧

研究課題	期間	概要	委託者
気象情報とAI学習による防災・生活情報の研究開発	2020年2月18日～ 2022年10月31日	札幌市および北海道が抱える地域特有の課題（積雪寒冷地、観光等）に対して、気象情報並びに事故・人流なども含めたAIによる学習を行い、地域防災や市民生活に資する新たな予測情報やリスク情報の研究開発を行う。	(財)日本気象協会
構造物に負の影響を与えない凍結防止剤の研究（その3）	2020年2月25日～ 2023年9月30日	2023年度継続中	中日本高速道路(株)
コネクティッドカーデータを活用した冬期路面評価に関する研究	2022年1月20日～ 2022年8月1日	コネクティッドカー（ICT端末としての機能を有する自動車で、車両の状態や周囲の道路状況などの様々なデータをセンサーにより取得）データから、冬期路面の凸凹状態や滑りやすさの定量化が可能か、実証実験により検証した。また、雪対策における冬期路面情報の活用可能性について検討した。	トヨタ自動車(株)
歴史的建築物を活かした中心市街地活性化に関する研究	2022年4月1日～ 2023年3月31日	空知管内浦臼町の地域資源の発掘し、その中でも地域資源を構成する歴史的建築物について調査を行い、復元図面や写真を町に保存できるようにした。また、広報誌やワークショップにより、歴史的建築物の価値や活用の必要性について町民に再認識してもらうとともに、町のまちづくり計画に組み入れられた。	浦臼町
BtoB企業のユーザビリティ評価の研究	2022年4月1日～ 2023年3月31日	東京エレクトロン(株)社の半導体製造装置の操作インタフェースの改善指針を、16名の被験者を対象とした「オンライン実験」を通じた分析から得られた知見をもとに、ガイドラインとしてまとめた。	東京エレクトロン(株)
動画表現の効果測定研究・映像サンプルの実験計画策定と感性評価	2022年4月1日～ 2023年3月31日	各種映像表現の「共感」を与える影響について、効果検証のための感性評価実験を実施し、情報量（書き込み）、情報量（動き）、シナリオ、聴覚情報の4属性に関する適切な動画を構成する要素を明らかにした。	三菱電機(株) 統合デザイン研究所
SAVSシミュレータの改造	2022年5月13日～ 2023年3月31日	詳細は非公開	(株)未来シェア
女性ホルモンリズムが心理状態や肌に与える影響の解明	2022年6月10日～ 2023年5月31日	2023年度継続中	(株)資生堂
深層学習を用いたコンクリートの健全度判定に関する研究	2022年7月13日～ 2023年3月31日	コンクリート構造物の非破壊検査方法として、ドライアイスペレットをコンクリートにぶつけて得られた衝撃音スペクトルデータを、深層学習を用いて分析し、健全であるか否かを判別する方法を開発する。具体的には、診断の高速化に向けたデータ処理の改良、試験用構造物のデータに対する精度検証等に取り組んだ。	(株)メイセイ・エンジニアリング



<p>救急需要予測に基づく救急車の最適配置に関する基礎研究</p>	<p>2022年 8月26日～ 2023年3月31日</p>	<p>札幌市の救急需要の実績データ、気象等の救急搬送に係ると考えられるデータを集積する。その上で、AI（ニューラルネットワーク）分析を行い、札幌市の救急搬送予測精度が高くなるようなニューラルネットワークモデル構造と適切な説明変数となるデータ種類を明らかにし、札幌市の救急需要の将来予測が可能なAIモデルの構築に取り組んだ。</p>	<p>札幌市</p>
<p>デジタル技術を活用した被災者支援のワンストップ化に係る基礎的研究</p>	<p>2022年 12月1日～ 2023年3月24日</p>	<p>災害発生時の被災者に対し、「公助」にあたる国や基礎自治体からの支援制度は多岐にわたる。基礎自治体である札幌市においては、現状被災者支援について「生活支援ガイド」や「住宅再建ガイド」等を作成し、各支援制度の所管部署において、それぞれが個別に被災者からの申請を受けつけている状況にある。 一方で、北海道胆振東部地震で被災を受けた清田区里塚地区においては、ワンストップ窓口となる現地事務所を設置し、一人ひとりの被災者に寄り添った対応を行ってきた。それらの知見を活かしながら、デジタル技術を活用し、被災者支援のワンストップ化、オンライン申請、プッシュ型の情報提供が可能なシステム等について、国や他都市や民間先進事例等踏まえながら、今後の札幌市として被災者支援の効果的なあり方について検討した。</p>	<p>札幌市</p>
<p>スマートシティ推進に向けたコネクティッドカーデータ活用に関する研究</p>	<p>2023年 1月27日～ 2023年3月28日</p>	<p>スマートシティ推進に向けたコネクティッドカーデータの活用検討の一環として、札幌市の雪対策のニーズの一つである「積雪雪時に狭小バス路線でバスのすれ違いが可能な状況であるか把握したい」に対し、コネクティッドカーデータを使ってすれ違いが可能な状況かどうかを推定するロジックについて、確からしさの検証を行った。</p>	<p>トヨタ自動車(株)</p>



## 3) 地域連携研究センターへの協力依頼一覧

事業名	依頼元	担当教員
「南区＝アートのまち」プロジェクト	札幌市（南区）	須之内元洋
広報さっぽろ南区版表紙デザイン事業	札幌市（南区）	大淵 一博
(公財)北海道対がん協会キャラクター制作事業	(公財)北海道対がん協会	大淵 一博
「料理のチカラを身に付けよう 実践編」動画の制作	札幌市（南区）	若林 尚樹 大島 卓 小宮加容子
芸術の森小学校 工作ワークショップ事業	札幌市立芸術の森小学校	若林 尚樹
札幌市制100周年記念花電車事業	札幌市（総務局）	細谷 多聞 小宮加容子
SSDC Symposium2022	(一社)社会システムデザインセンター	横溝 賢
桑園商店街わくわくプロジェクト	桑園わくわく商店会実行委員会	三谷 篤史 村松 真澄
札幌市グリーティングカード制作事業	札幌市（総務局）	大淵 一博
第5回いきいき健康塾	幌加内町	原井 美佳
北海道の建築展2022	(公財)日本建築家協会北海道支部	山田 良
「南区芸術祭2022」連携（冠）企画	札幌市（南区）	藤木 淳 須之内元洋
カオミエプロジェクト	ベンチココミュニティー(株)	武田 亘明
地区広報芸術の森題字変更に伴う新題字デザイン依頼	芸術の森地区連合会広報編集委員会	細谷 多聞 小宮加容子
ショップバックデザインコンペ	(株)土屋ホームトピア	矢久保空遥
冬みち便りデザインの制作事業	札幌市（南区）	大島 卓
北8条西1地区第一種市街地再開発事業 地域全体等のネーミングの字体デザイン制作	札幌駅北口8・1地区市街地再開発組 合	福田 大年
東洋医学、初学者向け概念図の制作	整骨 鍼灸 漢方 薬膳 福	細谷 多聞 小宮加容子
壁掛け名刺ボード製品デザインの募集	(同)TTB	細谷 多聞 小宮加容子
みなづきホーム澄川館の食堂への作品展示	(株)みなづき	藤木 淳
第28回芸術の森地区文化祭（展示依頼）	芸術の森地区連合会	細谷 多聞 小宮加容子
第28回芸術の森地区文化祭（ポスター制作依頼）	芸術の森地区連合会	細谷 多聞 小宮加容子
NTT東日本札幌病院診察券デザイン募集	NTT東日本札幌病院	大淵 一博
任意団体によるフリースクール設立準備事業	桑園フリースクール設立準備会	本田 光 片山めぐみ 近藤 圭子
芸術の森小学校 工作ワークショップ事業	札幌市立芸術の森小学校	若林 尚樹
都市型水族館のコミュニケーションツールとしての 配布資料のデザイン制作	(株)青々	若林 尚樹 福田 大年





事業名	依頼元	担当教員
冬の「雪あかり」イベントPRチラシの制作	札幌市(南区)	大淵 一博
産学官連携グミ商品の開発	味覚糖(株)	細谷 多聞 小宮加容子
矯正職員募集ポスターデザイン制作事業	法務省札幌矯正管区	武田 亘明
道民の179で彩る木彫りのクマ ～イラスト&写真で北海道を描こう～	NHK札幌放送局	細谷 多聞 小宮加容子
商品キャラクターデザイン・POP制作	横浜植木(株)北海道支店	椎野亜紀夫
鹿角を利用したアクセサリ製品の開発協力	(株)北海道えぞ鹿ファクトリー	矢久保空遥
工作キットの教材開発とそれを活用したワークショップ型授業の実施	札幌市藻岩南小学校	若林 尚樹
南区の魅力をPRする啓発品制作事業	札幌市(南区)	大淵 一博
札幌駅前地下歩行空間における情報発信ツールの検討及び制作	(一社)北海道開発技術センター	山田 良
AOAO SAPPOROコミュニケーションツールとしての絵本のデザイン制作	(株)青々	若林 尚樹 福田 大年
地方自治体向け提案書のイラスト制作	アストモスエネルギー(株)	細谷 多聞 小宮加容子
第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン及び次期中期実施計画の表紙デザイン制作等について(2件)	札幌市(まちづくり政策局)	矢久保空遥

## 4) 高大連携

## ① デザイン学部 2022年度高大連携公開講座

開催日	高校名	参加生徒数	タイトル	担当教員
2022年9月11日 (オンライン)	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌大通高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌新川高等学校	20名	世界を面白く見るための アーツ	須之内元洋

## ② 看護学部 高大連携講座

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員	
2022年4月11日～ 2023年2月2日	市立札幌旭丘高等学校 市立札幌大通高等学校 市立札幌新川高等学校 市立札幌平岸高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌啓北商業高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌開成中等教育学校	29名	7名	看護学原論 (講義・15時間)	◎定廣和香子 檜山 明子
			8名	人間発達援助論 (演習・30時間)	◎小田 和美 松浦 和代 荒木 奈緒 貝谷 敏子 守村 洋
			7名	チーム医療論 (講義・15時間)	◎矢野祐美子 佐藤ひとみ
			7名	地域保健学概論 (講義・15時間)	◎喜多 歳子 本田 光



## ③ 看護学部 模擬授業

開催日・期間	高校名	受講生徒数	受講科目名	担当教員
2022年9月17日 ～25日	市立札幌旭丘高等学校	28名	コロナ禍での応急処置ってどうするの？	菅原 美樹
	市立札幌新川高等学校 市立札幌清田高等学校 市立札幌藻岩高等学校 市立札幌開成中等教育学校		臨地実習－「学生さんはもういいです…」あの時には気づけなかった大切なこと	本田 光

※オンライン（オンデマンド）配信

## 5) 高校出前講義

## ① デザイン学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2022年8月30日	北海道旭川北高等学校	人間の行動も変える？デザインのチカラ	小林 重人
2022年11月8日	市立札幌旭丘高等学校	こどものスケッチから読み解く未来のまちのデザイン	椎野亜紀夫
2022年11月9日	北海道札幌国際情報高等学校	コミュニティデザインで輝く"学生×地域"	片山めぐみ
2022年11月9日	市立札幌新川高等学校	現代のスーパーテクノロジー建築&トンデモ建築 一挙紹介！	西川 忠

## ② 看護学部

開催日	高校名	テーマ	担当教員
2022年8月18日	市立札幌清田高等学校	探求人インタビュー 助産師の仕事	山本真由美
2022年8月19日	北海道旭川西高等学校	看護学の魅力とは～精神看護学の視点から～	伊東健太郎
2022年8月26日	市立札幌新川高等学校	地域医療 ・保険と医療の体制整備 ・人が地域で暮らしたい理由	本田 光



## 6) その他の地域貢献諸活動

## ① デザイン学部

教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
柿山 浩一郎	副会長（執行役員会議、三役会等での審議・町内配布チラシ等の作成）	札幌市 南区 北の沢第三町内会		
藤木 淳	南区芸術祭2022連携企画の実施	札幌市南区		2022年9月5日 ～10月14日
細谷 多聞	地区広報芸術の森題字変更に伴う新題字デザイン	芸術の森地区連合会広報編集委員会	1名	2022年7月25日 ～11月15日
	東洋医学初学者のための体系的概念図のデザイン	整骨 鍼灸 漢方 薬膳 福	4名	2022年8月24日 ～2023年3月25日
	芸術の森地区文化祭（2022.11.5-6）ポスター制作	芸術の森文化祭実行委員会	1名	2022年10月4日 ～11月6日
	芸術の森地区文化祭（2022.11.5-6）展示作品制作、作品展示	芸術の森文化祭実行委員会		2022年11月5日 ～6日
	木彫りぐまコラージュ作品の制作	NHK札幌放送局	6名	2023年3月17日 ～31日
三谷 篤史	WRO札幌予選会の実行委員	北海道ロボット教育推進会		2022年8月7日
山田 良	空き家リノベーション提案	留萌市地域振興課		2022年8月1日
	アートプロジェクト提案	留萌市地域振興課		2022年9月1日
	留萌高校建築科 作品講評会	留萌市地域振興課、留萌高校建築科		2022年12月1日
	留萌市イベント空間提案	留萌市地域振興課		2023年2月1日
若林 尚樹	日本集中治療医学会×札幌市立大学デザイン学：「命を守る最後の砦：ICU看護師認定制度」ポスターデザイン賞	日本集中治療医学会	8名	2021年1月4日 ～2022年5月13日
	南区ご当地健康料理「南区鮮やカレーシチュー」の提案	札幌市南区保健センター	3名	2022年6月1日 ～9月30日
	AIRDOとレバンガ北海道のために制作した絵本7冊を図書館に寄贈、図書館での展示制作	札幌市中央図書館	5名	2022年9月24日 ～10月30日
	芸術の森小学校 工作ワークショップ事業	札幌市立芸術の森小学校	5名	2022年10月 ～2023年3月
	ロゴ・商品パッケージ及びブランディング開発	海鮮キッチン魚まる	5名	2022年10月11日
	「料理のチカラを身に付けよう 実践編」動画の作	札幌市南区保健センター	5名	2022年12月14日
	総合学習、教科科目のための工作キットの教材開発と、それを活用したワークショップ型授業の実施	札幌市立藻岩南小学校	3名	2023年1月～3月
	都市型水族館のコミュニケーションツールとしての配布物のデザイン制作	AOAO Sapporo	4名	2023年1月31日



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
大島 卓	「北の造園遺産研究会」事務局運営	日本造園学会北海道支部		2022年5月～8月
	南区のご当地料理提案企画の支援	札幌市南区保健センター	21名	2022年6月～10月
	大学演習成果を地域の公園整備のアイデアプランとして提供	常磐団地町内会	31名	2023年2月8日
	懇話会幹事として事業運営に参画	北海道造園懇話会		通年
片山 めぐみ	こども食堂事業企画および活動継続の支援	札幌藤野多世代交流ラボ WAO!		通年
	高齢者交流拠点事業企画および活動継続の支援（副理事長）	NPO法人ゆとりの		通年
	コミュニティレストラン事業企画、広報活動の支援	風のごはんや		通年
	フリースクール設立準備の支援	桑園フリースクール設立準備会	7名	通年
	芸術の森マルシェにおける企画運営および地域住民との連携	芸術の森マルシェ実行委員会	1名	通年
小宮 加容子	地区広報芸術の森題字変更に伴う新題字デザイン	芸術の森地区連合会広報編集委員会	1名	2022年7月25日 ～11月15日
	東洋医学初学者のための体系的概念図のデザイン	整骨 鍼灸 漢方 薬膳 福	4名	2022年8月24日 ～2023年3月25日
	芸術の森地区文化祭（2022.11.5-6）ポスター制作	芸術の森文化祭実行委員会	1名	2022年10月4日 ～11月6日
	芸術の森地区文化祭（2022.11.5-6）展示作品制作、作品展示	芸術の森文化祭実行委員会		2022年11月5日 ～6日
	木彫りぐまコラージュ作品の制作	NHK札幌放送局	6名	2023年3月17日 ～31日
武田 亘明	メディア社会の暮らしの変化に対応するための自治体DX	青森県職員研修会	4名	2022年10月11日
	岩宇地域における移住定住に関する地域的な課題について	岩宇4町村職員岩宇地域まちづくり研修、岩宇地区岩宇4カ町村（岩内町、共和町、泊村、神恵内村）		2023年3月9日
張 浦華	北海道陶芸会の展覧会DM担当、北海道窯地区図、案内DMなど関連資料の制作を行った。	北海道陶芸会		
	特任理事、中国語エリアへの展覧会等の連絡調整	アジア・ネットワーク・ビヨンド・デザイン		
並木 翔太郎	思春期の子どもに悩む地域市民のための講演会（講師：加藤弘道（北大））の開催	こころとカラダのライフデザイン	5名	2023年2月5日
	ライフデザイン思考の地域市民への導入のための講演会（講師：折茂武彦（レバンガ北海道））の開催	こころとカラダのライフデザイン	12名	2023年2月12日
横溝 賢	学部連携演習にて石山振興組合と連携し石山朝市の振興活動。新聞掲載（11/18北海道新聞掲載）。	石山振興組合	20名	2022年10月～12月



教員名	内容	主催者	参加学生数	参加日・期間
大渕 一博	キャラクターデザイン事業	北海道対がん協会	9名	2022年8月8日
	南区雪あかりフライヤー制作	札幌市南区役所	49名	2022年12月23日
	南区PRグッズ（マスクケース）制作	札幌市南区役所	1名	2023年2月8日
	診察券デザイン制作事業	NTT東日本札幌病院	23名	2023年2月13日
須之内 元洋	団体実施ワークショップの告知・推薦など	SMF 札幌メディアアートフォーラム		
福田 大年	COVID-19禍以後を見据えた道産スギ材の家具のアイデア出しワークショップ	家具制作会社くらCra、公立はこだて未来大学		2023年2月21日

## 7) マスメディアへの掲載

### ① デザイン学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
中島 秀之	教育情報誌「ドリームナビ」特集取材	教育情報誌「ドリームナビ」	2022年9月16日（11月号）
齊藤 雅也	テレビ：カビを発生させない簡単予防法	みんテレ（UHB北海道文化放送）	2022年6月23日
	テレビ：蒸し暑さ 扇風機を上手に活用 体感温度を下げ 湿気対策にも	みんテレ（UHB北海道文化放送）	2022年7月6日
	新聞：熱中症警戒 屋外は脱マスク（きょうから暑さ本格化）	北海道新聞（北海道新聞社）	2022年7月30日
	インターネット：熱中症、実は重症化しやすい北海道 エアコンなしで乗り切るには… <a href="https://www.hokkaido-np.co.jp/article/713666">https://www.hokkaido-np.co.jp/article/713666</a>	北海道新聞オンライン	2022年8月4日
	テレビ：超簡単！室内の暖かさを逃がさない 始まる冬 暖房費の節約に	みんテレ（UHB北海道文化放送）	2022年11月4日
	加湿器 置く場所で効果が変わる 賢い使い方 冬の乾燥対策	みんテレ（UHB北海道文化放送）	2022年11月17日
	インターネット：「冬は北海道より東京が“寒く”感じる」は道民あるある!? 雪や雲が関係… 専門家に聞くと理由があった <a href="https://www.fnn.jp/articles/-/487733">https://www.fnn.jp/articles/-/487733</a>	FNNプライムオンライン	2023年2月21日
西川 忠	浦臼町との共同研究の一環で行った歴史的建築物紹介	北海道新聞（空知版）	2022年7月28日
	札幌軟石を用いた建築の保存に関する活動に関して	北海道新聞	2022年8月21日
	「札幌人図鑑」歴史的建築物の保存活動に関して	J-COM札幌TV	2022年11月2日
	SCU公開講座「建築と雪を考える」の内容	北海道住宅新聞	2022年12月25日
	SCU公開講座「建築と雪を考える」の内容	北海道住宅通信	2023年1月15日



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
藤木 淳	表現の幅を広げる摩訶不思議な「視線方向と時間経過に応じて色変化する立体物造形のためのユニットモジュール」	InnoUvators前編・中編・後編	2022年5月以降
	レトロゲームの“土管ワープ”を物理装置で表現 ロボット「Game Order」	ITmedia (Website、Twitter、Facebook、NewsPicks)	2022年10月25日
	第27回大会報告 技術芸術展示	日本バーチャルリアリティ学会誌Vol.27, No.4, 2022	2022年12月31日
	藤木の活動を2Pに渡って紹介	デザイナーズFILE 2023	2023年3月5日
	レトロRPGの世界で“アニメ聖地”を巡礼できる位置情報ゲーム	ITmedia (Website、Twitter、Facebook、NewsPicks)	2023年3月22日
細谷 多聞	色紙ちぎりツリー作り挑戦 夕張	北海道新聞 (空知)	2022年12月11日
	STV どさんこワイド 報道部テレインタビュー (雪像アートの社会的評価)	STV 札幌テレビ	2023年2月16日
	「木彫りのクマと旅するHokkaido」 (展示会紹介)	NHK北海道Webページ、Twitter	2023年3月9日
	「木彫りのクマと旅するHokkaido」 (展示会紹介)	NHK北海道ニュース (テレビ放送)	2023年3月21日
山田 良	作品: Infinite Landscape / 水・光 作品単体にて掲載 (編集者による選定 掲載率は約5%)	Deaignboom (伊)	2022年9月25日
	作品: Infinite Landscape / 水・光 作品単体にて掲載 (編集者による選定)	Archidaily (米)	2022年10月4日
若林 尚樹	レコードの音色 秘密は振動	北海道新聞小学生新聞	2022年4月2日
	運動の楽しさ 絵本に*レバンガなど制作*幼稚園に寄贈へ	北海道新聞	2022年5月11日
	B1レバンガ北海道・折茂武彦代表、100人の園児に絵本の読み聞かせ	スポーツ報知	2022年5月11日
	航空会社の仕事を紹介する授業 エア・ドウが北斗市の小学校で	NHKニュース	2022年7月6日
	南区のご当地料理を作ろう 南区が札幌市立大の学生と開発	北海道新聞	2022年7月8日
	カレーシチュー 南区健康料理に	北海道新聞	2022年12月23日
片山 めぐみ	学生×地域住民×農家で創る森の中のマルシェ『八百カフェ』	Scenic Byway vol.29 夏秋号'22	2022年6月1日
	社協・福祉を身近に、市立大学生協働 LINEスタンプ、デザイン・福看護学部 専門職インタビューからデザインアイデア	週刊介護新聞	2022年10月21日
	まもりんLINEスタンプ第2弾完成!!～札幌市立大学・市社協コラボスタンプ～	チ・カ・ホ北2条デジタルサイネージ	2022年10月29日 ～30日
	「まもりん」ラインスタンプ@う第2弾 市立大生のコラボ、作成	北海道新聞の別冊 さっぽろ10区	2022年11月17日
	まもりんLINEスタンプ第2弾完成!!～札幌市立大学・市社協コラボスタンプ～	札幌市社会福祉協議会「やさしいまち」No.253	2023年1月1日



教員名	内容	掲載媒体	掲載日
金子 晋也	Act for Hokkaido～札幌市立大学 厚真町でコミュニティスペースづくり	テレビ北海道「5時ナビ」	2022年5月17日
	NPO木の建築55フォーカス記事の掲載	NPO木の建築55	2022年10月15日
金 秀敬	連携科目の指導成果	ウェブサイト	
小林 重人	「資産運用ゲーム考案 役立てて」コメント掲載	北海道新聞	2023年1月20日
小宮 加容子	色紙ちぎりツリー作り挑戦 夕張	北海道新聞（空知）	2022年12月11日
	「木彫りのクマと旅するHokkaido」（展示会紹介）	NHK北海道Webページ、Twitter	2023年3月9日
	「木彫りのクマと旅するHokkaido」（展示会紹介）	NHK北海道ニュース（テレビ放送）	2023年3月21日
	三角山放送局「飛び出せ車いす（第一火曜日、12:00～13:00）」番組担当、12回/年	ラジオ放送	毎月第1火曜日
並木 翔太郎	ワタシ的ライフデザインアップデート：ココロ×カラダ×ライフのミライを考える	北海道新聞朝刊札幌市内版	2023年1月28日
丸山 洋平	コロナ禍 続く札幌集中	北海道新聞	2023年1月1日
	穂別の活気、新博物館核に むかわ竜生かし再整備 市街地遠く不安視も	北海道新聞	2023年2月5日
	取材現場から「札幌市長選争点は？」	テレビ北海道	2023年3月30日
横溝 賢	学部連携演習にて石山振興組合と連携し石山朝市の振興活動。新聞掲載（11/18北海道新聞掲載）	北海道新聞	2022年11月18日
大淵 一博	広報さっぽろ南区版ヘッダデザイン	広報さっぽろ南区版2021年4月号～2022年3月号	毎月1日
須之内 元洋	アイヌ文化と全世界をつなぐ国際プロジェクト「The Story of DEBO」を始動しました	Web東奥	2022年7月27日
松永 康佑	東京ゲームショーにおいて、指導学生らが制作したゲームがTV、WEBで取り上げられました。	テレビ、WEB	2022年9月16日
	本学のCG教育について	北海道 未来のしごとの参考書 CGクリエイターへの道 vol.2CGクリエイターを育む学び舎（大学編） WEB及び冊子体での掲載	2022年10月7日
矢久保 空遥	ほっとニュース北海道	NHK	2023年3月27日
吉田 彩乃	北海道新聞さっぽろ10区「南区のご当地料理開発中」	北海道新聞	2022年7月12日



## ② 看護学部

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
松浦 和代	雑誌寄稿「第29回看護・教養図書ガイド」	best Nurse	2022年11月1日
	取材「認定看護管理者の取得支援」	北海道新聞	2023年2月21日
	取材「認定看護管理者サードレベル」札幌市立大学	北海道医療新聞	2023年3月1日
	雑誌寄稿「札幌市立大学IX育支援プロジェクトセンター 銅器との絆を胸に9人が全課程修了」	best Nurse	2023年3月1日
荒木 奈緒	荒木奈緒大会長（札幌市立大学教授）インタビュー	ベストナース	2022年8月1日
村松 真澄	withコロナ時代の口腔ケア	ケア2022年10月号	2022年9月20日発行
	withコロナ時代の口腔ケア	医療と介護ナビ2023年冬春号・特集記事	2022年12月15日発行
	学部連携演習	地区広報・芸術の森第54号	2022年12月15日
	学部連携演習の紹介	ケア2023年3月号	2023年2月20日発行
伊東 健太郎	地域で生活する精神障害者と精神科看護師を交え、当事者支援について語った。	ワンダーストレージ FMドラマシティ 77.6Mhz 注）札幌市内のコミュニティFM	2022年10月11日
矢野 祐美子	特集 コロナ禍、看護職育成への挑戦	ベストナース 第33巻第9号	2022年9月1日
市戸 優人	性教育に関連する研究活動の紹介	ラジオFMびゅー（室蘭コミュニティFM）	2022年10月、11月

## ③ AITセンター

教員名	内容	掲載媒体	掲載日
高橋 尚人	GW後 感染急増警戒	北海道新聞	2022年4月23日
	AIを活用した排雪作業の最適化	日本雪工学会誌	4月号
	畳み込みニューラルネットワークを用いた高齢者の口腔アセスメントの基礎研究	メディカル・サイエンス・ダイジェスト	8月号
	データ活用でスマートシティ実現へ	北海道建設新聞	2022年10月24日
	AIが拓く土木の未来	草野作工	2023年1月19日
	タイヤ回転数で冬道分析	北海道新聞	2023年2月22日





## 2 公開講座開催実績

### 1) 札幌市立大学主催

開催日	タイトル	講師	受講者数 (名)
2022年6月7日	まちの健康応援室ミニ出張講座① 熱中症とスキンケアについて	大友 舞 (看護学部 助教)	2
2022年6月11日 2022年10月29日	2022年時点での最新認知症情報と暮らしの中 の発症遅延策	スーディ神崎和代 (札幌市立大学 名誉教授)	137
2022年6月11日	トラウマをめぐる看護実践 (全3回) 第1回セ ミナー「喪失体験とトラウマ」	守村 洋 (看護学部 准教授) 渋谷 友紀 (看護学部 助教)	27
2022年6月25日	メカトロ教室「走れ！ロボットカー！」	三谷 篤史 (デザイン学部 教授) 梶原 秀一 (室蘭工業大学 准教授) 江丸 貴紀 (北海道大学 准教授)	13
2022年7月1日	もっと知りたい！響き合うTherapyー音楽療 法、タクティールケア、回想法ー (オンライン講座)	中山ヒサ子 (NPO法人 和・ハーモニー 音楽療法研究会 理事長) 鈴木 卓也 (JSCI株式会社日本 スウェーデン福祉研究所 認定インストラクター) 原井 美佳 (看護学部 准教授)	23
2022年7月23日	札幌市立大学公開講座@おもしろ実験室1DAY サイエンス1「ロボットプログラミング体験！ ～動かそうロボットカー！～」	三谷 篤史 (デザイン学部 教授)	15
2022年7月23日	トラウマをめぐる看護実践 (全3回) 第2回シ ンポジウム「周産期・育児期にトラウマを抱え る母親」	石田 桐代 (市立札幌病院 看護師) 岩崎 美輝 (釧路赤十字病院 看護師) 鶴 有希 (砂川市立病院 看護師) 守村 洋 (看護学部 准教授)	26
2022年7月29日	まちの健康応援室ミニ出張講座② おっぱい・ミルク・卒乳について	石引かずみ (看護学部 講師)	6
2022年7月30日	遊びイベント：にんにんどろ～ん、にんじゃで ござる。～きみはスーパーにんじやになれるか な？～	細谷 多聞 (デザイン学部 教授) 小宮加容子 (デザイン学部 准教授)	105
2022年7月30日	NCPR (新生児蘇生法) 専門コース (Aコー ス)	小林 正樹 (札幌東豊病院 小児科医師) 荒木 奈緒 (看護学部 教授) 黒田 紀子 (看護学部 講師) 大友 舞 (看護学部 助教)	9
2022年8月27日	遺伝子の検査でわかること (オンライン講座)	石川 亜貴 (札幌医科大学医学部 助教)	56
2022年9月16日	AIと北の街づくり	中島 秀之 (札幌市立大学 学長) 一橋 基 (札幌市デジタル戦略推進局 局長) 小淵(但野)友美 (株式会社調和技研) 高橋 尚人 (AITセンター 教授)	75
2022年9月23日	「環境の中の建築」林 知充の観察と実践ーエ ストニアにおける建築デザインの可能性2022 ー①「観察と実践」ーエストニアにおける林 知充の建築世界ー (オンライン講座)	林 知充 (タリン応用科学大学 教授、Hayashi- Grossschmidt Arhitektuur 共同主宰)	59
2022年10月1日	マイコンレーサー講習会・大会① マイコンレーサー講習会 (初級講習会)	三谷 篤史 (デザイン学部 教授)	4



開催日	タイトル	講師	受講者数 (名)
2022年10月15日、 16日	2022年ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育 プログラム《二日間コース》	川村三希子 (看護学部 教授) 小島 悦子 (札幌保健医療大学 教授) 平山さおり (KKR札幌医療センター 看護師長) 門脇 睦子 (訪問看護ステーションそよ 風 所長) 佐藤 明美 (札幌医科大学附属病院医療 連携福祉センターがん看護 相談) 梅田 恵 (ファミリー・ホスピス(株) 副社長・執行役員)	52
2022年10月15日	トラウマをめぐる看護実践 (全3回) 第3回 フォーラム「精神看護実践におけるトラウマ」	川野 雅資 (奈良学園大学) 中島 甫 (五稜会病院 看護師) 伊東健太郎 (看護学部 講師)	28
2022年10月21日	「環境の中の建築」林 知充の観察と実践ーエ ストニアにおける建築デザインの可能性2022 ー②「まちをつくる、ランドスケープをつく る」ーエストニアにおける最新設計手法ー (対 面・オンライン講座)	林 知充 (タリン応用科学大学 教授、Hayashi- Grossschmidt Arhitektuur 共同主宰)	87
2022年10月22日	研究の二刀流・第4弾 4話シリーズ① 昆虫のデザイン～歩く宝石オオルリオサムシの 謎～	酒井 正幸 (札幌市立大学 名誉教授)	21
2022年10月29日	研究の二刀流・第4弾 4話シリーズ② ギター音楽のデザイン#4～幻の名曲の魅力と 謎に迫る～	中原 宏 (札幌市立大学 名誉教授)	22
2022年10月29日	こころの健康講座～優しく学ぶメンタルヘルス ～ (全3回) ①こころの健康を保つためにでき ること	渋谷 友紀 (看護学部 助教)	20
2022年11月4日	まちの健康応援室ミニ出張講座③ 子どもの感染症について	牧田 靖子 (看護学部 講師)	4
2022年11月5日	研究の二刀流・第4弾 4話シリーズ③ 生活の変化とコンピュータのデザイン	細谷 多聞 (デザイン学部 教授)	6
2022年11月5日	マイコンレーサー講習会・大会② マイコンレーサーアドバンスド講習会	三谷 篤史 (デザイン学部 教授)	7
2022年11月12日	研究の二刀流・第4弾 4話シリーズ④ パリの街とデザイン (その6)	安齋 利典 (デザイン学部 教授)	23
2022年11月12日	こころの健康講座～優しく学ぶメンタルヘルス ～ (全3回) ②こころの病気とその予防～気分 障害について～	守村 洋 (看護学部 准教授)	15
2022年11月20日	マイコンレーサー講習会・大会③ 第5回マイコンレーサー北海道大会	三谷 篤史 (デザイン学部 教授)	10
2022年11月26日	こころの健康講座～優しく学ぶメンタルヘルス ～ (全3回) ③精神に障がいを抱えながら地域 で生活する当事者	伊東健太郎 (看護学部 講師) 前道 孝之 (千歳当事者研究会) 西坂 自然 (札幌べての集い)	17
2022年12月3日	保健指導に効果あり！チラシ・リーフレットの 作り方 (オンライン講座)	山岡 明広 (株)バックテック)	61
2022年12月14日	「建築と雪」について考える～雪氷の不思議な 物性と雪害について事例をもとに～ (対面・オンライン講座)	西川 忠 (デザイン学部 教授)	53



開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2023年1月31日	まちの健康応援室ミニ出張講座④ 子どもの怪我（鼻血、切り傷、打撲など）の応急処置や手当について	牧田 靖子（看護学部 講師）	10
2023年2月5日	ワタシ的ライフデザインアップデート：ココロ×カラダ×ライフのミライを考える ①小児看護の仕事にチャレンジ！②脳って不思議！～目の錯覚はどうして起こる？～③風音ー芸術の森にてー④"やさしい"って何だろう？	①松浦 和代（看護学部 教授） 牧田 靖子（看護学部 講師） 大友 舞（看護学部 助教） ②石井 雅博（デザイン学部 教授） ③石田 勝也（デザイン学部 講師） ④並木翔太郎（デザイン学部 准教授）	7
2023年2月11日	ワタシ的ライフデザインアップデート：ココロ×カラダ×ライフのミライを考える ⑤ロボットが描く未来の社会⑥北海道の隠れた素材～エゾシカとの共生を考える～	⑤三谷 篤史（デザイン学部 教授） ⑥矢久保空遥（デザイン学部 助教）	15
2023年2月12日	ワタシ的ライフデザインアップデート：ココロ×カラダ×ライフのミライを考える ⑤ロボットが描く未来の社会⑥北海道の隠れた素材～エゾシカとの共生を考える～⑦コトバスライム⑧ヒカリでお絵描き	⑤三谷 篤史（デザイン学部 教授） ⑥矢久保空遥（デザイン学部 助教） ⑦須之内元洋（デザイン学部 講師） ⑧細谷 多聞（デザイン学部 教授） 小宮加容子（デザイン学部 准教授） 吉田 彩乃（デザイン学部 助教）	25
2023年3月4日	NCPR（新生児蘇生法）スキルアップコース（Sコース）	荒木 奈緒（看護学部 教授） 黒田 紀子（看護学部 講師） 大友 舞（看護学部 助教）	12

## 2) 共催講座：「さっぽろ市民カレッジ」連携講座

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2022年6月16日、23日	さっぽろ市民カレッジ2022春・夏期講座 ～小樽の歴史的建造物をたどる～	羽深 久夫（札幌市立大学 名誉教授）	20

## 3) 共催講座：「知活（ちいき）ゼミナール」

開催日	タイトル	講師	受講者数(名)
2022年12月1日 ～2023年2月28日	札幌市立大学・道総研共同セミナー 『知活（ちいき）ゼミナール2022』 テーマ「「知りたいなら、見に行こう！」 ①集落の見方・調べ方 ②地球で一番重い南極大陸を測る (YouTube配信)	①森 朋子（デザイン学部 准教授） ②岡 大輔（北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研 究所 資源エネルギー部 地域エネルギーグループ研 究職員）	991



## 3 国・自治体審議会等への就任状況

デザイン学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
中島 秀之	特定非営利活動法人産学連携推進機構／理事	特定非営利活動法人産学連携推進機構
	(公財)本田財団／理事	(公財)本田財団
	本田賞／選考委員	(公財)本田財団
	未踏事業審査委員会／委員	(独)情報処理推進機構
	(一社)社会システムデザインセンター／構成員(副理事長)	(一社)社会システムデザインセンター
	(大)はこだて未来大学未来AI研究センター／顧問	(大)はこだて未来大学
	(株)未来シェア／取締役会長	(株)未来シェア
	(大)会津大学参与会／参与	(大)会津大学
	国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会／委員	国立障害者リハビリテーションセンター
	北海道大学電子科学研究所／外部評価委員	北海道大学電子科学研究所
	(一社)日本ディープラーニング協会／有識者会員	(一社)日本ディープラーニング協会
	(大)宮城大学評価委員会／委員	宮城県(総務部)
	NoMaps実行委員会／顧問	NoMaps実行委員会
	札幌国際芸術祭実行委員会／委員(副会長)	札幌国際芸術祭実行委員会
	北海道MaaS推進研究会／会長	(一社)北海道産学官研究フォーラム
	DX白書有識者委員会／委員	(独)情報処理推進機構
	「Sapporo AI Lab」／エグゼクティブ・アドバイザー	Sapporo AI Lab
	「Innovators Under 35 Japan」2022年／審査員	(株)角川アスキー総合研究所
	『AI白書2023』／編集委員長	(株)角川アスキー総合研究所
	札幌市主催 高度エンジニア発掘・育成事業「STAND OUT」／特別コメンテーター	(株)シーラクス
	NEDO技術委員会／委員	国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構
	戦略的創造研究推進事業／分野別研究領域評価委員(ICTイノベーション分野)	国立研究開発法人科学技術振興機構
札幌市次世代公共交通システム研究会／委員	札幌市(まちづくり政策局)	
(一社)新雪／設立時理事	(一社)新雪	
椎野 亜紀夫	北海道土地利用審査会／委員	北海道(総合政策部政策局)
	岩見沢市都市計画審議会／委員	岩見沢市(建設部都市計画課)
	札幌市まちづくり戦略ビジョン審議会／委員	札幌市(まちづくり政策局)
	札幌市都市計画審議会／委員	札幌市(まちづくり政策局)
	(一財)さっぽろ産業振興財団／評議員	(一財)さっぽろ産業振興財団
	札幌市の設置する都市公園及び札幌市豊平川さけ科学館に係る指定管理者選定委員会／委員	札幌市(建設局)
	札幌市都心のみどりづくり方針検討委員会／委員	札幌市(建設局)



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
椎野 亜紀夫	北海道国土利用計画審議会／委員	北海道（総合政策部政策局）
齊藤 雅也	BIS試験講習委員会／委員	(一社)北海道建築技術協会
	登録建築物エネルギー消費性能評価機関・任意評定実施機関／評価員・評定員	(一財)北海道建築指導センター
	市営住宅光星団地5号棟耐震改修ほか改善事業者選定委員会／委員	札幌市（都市局）
石井 雅博	数理・データサイエンス教育／客員教授	(大)北海道大学 数理・データサイエンス教育研究センター
安齋 利典	令和4年度「北海道新技術・新製品開発賞」／評価	北海道（経済部産業振興局）
柿山 浩一郎	低床車両デザイン選考委員会／委員	(一財)札幌市交通事業振興公社
西川 忠	フォーラム企画委員会／委員	インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム
	(一社)北海道建築技術協会／理事	(一社)北海道建築技術協会
	2022年度精農寮の現状把握に向けた建物及び関連法令調査業務／調査	(株)コンステック
	丸彦渡辺建設(株)／技術アドバイザー	丸彦渡辺建設(株)
	札幌地方裁判所・札幌簡易裁判所／民事調停委員	札幌地方裁判所
	赤平市炭鉱遺産文化財化検討委員会／委員	赤平市教育委員会
藤木 淳	札幌国際芸術祭 SIAFスクール／プロジェクトリーダー	札幌国際芸術祭実行委員会
細谷 多聞	「札幌市制100周年記念花電車装飾業務」企画競争実施委員会／外部委員	札幌市（総務局）
松井 美穂	(一財)さっぽろ水道サービス協会／評議員	(一財)さっぽろ水道サービス協会
三谷 篤史	令和4年度 札幌市青少年科学館夏の特別展「あつまれ！ロボット学校大開放」／監修	札幌市青少年科学館
山田 良	第5回北海鋼機デザインアワード／審査委員長	(社)日本建築協会北海道支部 北海鋼機(株)
若林 尚樹	(公財)画像情報教育振興協会／委員	(公財)画像情報教育振興協会
片山 めぐみ	札幌市動物愛護管理推進協議会／委員	札幌市（保健福祉局）
	北海道住宅対策審議会／委員	北海道（建設部住宅局）
	札幌市緑の審議会／委員	札幌市（建設局）
	安平町未来創生委員会／外部有識者	安平町（政策推進課）
	国有財産北海道地方審議会／委員	北海道（財務局）
	第18回公共建築賞北海道地区審査委員会／委員	(一社)公共建築協会
	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	石狩市空家等対策協議会／委員	石狩市（建設水道部）
	札幌市開発審査会／委員	札幌市（都市局）
	札幌市の設置する都市公園及び札幌市豊平川さけ科学館に係る指定管理者及び公募対象公園施設設置等予定者選定委員会／委員	札幌市（建設局）
	令和4年度町内会加入促進啓発事業等企画競争実施委員会／委員	札幌市（市民文化局）
もなみ学園移転整備に関するプロポーザル選定委員会／委員	(福)北海道社会福祉事業団	



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
片山 めぐみ	旧手稲鉄北小学校跡地公募提案審査委員会／委員	札幌市（財政局）
	札幌市都心のみどりづくり方針検討委員会／委員	札幌市（建設局）
	北海道国土利用計画審議会／委員	北海道（総合政策部政策局）
金子 晋也	厚真町地域脱炭素推進委員会／委員	厚真町（まちづくり推進課）
小林 重人	北陸先端科学技術大学院大学／客員研究員	北陸先端科学技術大学院大学
武田 亘明	いじめ問題調査委員会／委員	当別町教育委員会
	北海道社会教育委員・第15期北海道生涯学習審議会／委員	北海道教育委員会
	札幌情報未来専門学校ITシステムエンジニア学科教育課程編成委員会／委員	(学)桑園学園 札幌情報未来専門学校
張 浦華	札幌家庭裁判所／家事調停委員	札幌家庭裁判所
丸山 洋平	新潟市都市政策部GISセンター／研究参与	新潟市都市政策部GISセンター
	「高校生対流促進事業」推進協議会／構成員	北海道教育庁（学校教育局）
	若者出合い創出業務企画競争実施委員会／委員	札幌市（子ども未来局）
森 朋子	(仮称)はぐくみの軸強化方針検討会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	札幌市屋外広告物審議会／委員	札幌市（建設局）
	札幌市景観審議会／委員	札幌市（まちづくり政策局）
	北海道百年記念広場（仮称）への新たなモニュメント設置に係る懇談会／構成員	北海道（環境生活部文化局）
	北海道における縄文世界遺産の拠点機能のあり方に関する懇談会／参画	北海道（環境生活部文化局）
	北海道景観審議会／委員	北海道（建設部まちづくり局）
	北広島市旧島松駅通所整備検討委員会／委員	北広島市教育委員会
	重要文化財ニッカウキスキー余市蒸溜所施設保存活用計画策定委員会／委員	ニッカウキスキー(株)
	大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会 まちづくり委員会／委員	大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会
	縄文遺跡群世界遺産専門家委員会／委員	縄文遺跡群世界遺産本部
	阿寒摩周国立公園川湯温泉廃屋撤去跡地における宿舍事業者選定審査委員会／委員	環境省北海道地方環境事務所釧路自然環境事務所
	札幌市中高層建築物紛争調整委員会／委員	札幌市（都市局）
	北海道土地利用審査会／委員	北海道（総合政策部計画局）
	ネパールにおけるユネスコ関連事業／コンサルタント	ユネスコ・ネパール代表
(一社)日本イコモス国内委員会／理事	(一社)日本イコモス国内委員会	
山田 信博	札幌市広告／アドバイザー	札幌市（建設局）
	令和4年度新たな活動の場創設支援事業審査委員会／委員	札幌市（市民文化局）
横溝 賢	札幌スタイル認証委員会／委員長	札幌市（経済観光局）
石田 勝也	児童生徒向け副教材作成検討委員会／委員	(公財)アイヌ民族文化財団
	「札幌市消防局バーチャルコンテンツ制作業務」における企画競争実施委員会／委員	札幌市（消防局）
	SIAFラボ／メンバー	札幌国際芸術祭実行委員会



教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
大淵 一博	「令和4年度札幌市消防団入団促進広報事業企画・運営業務」企画競争実施委員会／委員	札幌市（消防局）
須之内 元洋	(学)フレンド恵学園 認定こども園・浦河フレンドようちえん／理事	(学)フレンド恵学園
福田 大年	NoMaps2022 メインビジュアル用アートワークコンペティション／選考員	NoMaps実行委員会
	研究活動／アドバイザー	(株)グラグリッド
	とくとく健診・ジェネリック医薬品PRポスターの図案選考会／選考委員	札幌市（保健福祉局）
	厚真町大沼野営場設置管理者選考委員会／委員	厚真町（産業経済課）

## 看護学部

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
松浦 和代	日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会／小児看護専門分科会の委員	(一社)日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会
	日本看護系大学協議会 高度実践看護師教育課程認定委員会／委員	(一社)日本看護系大学協議会
	北海道成育看護研究会／評議員	北海道成育看護研究会
菊地 ひろみ	公益財団法人北海道看護協会／訪問看護推進検討会委員	(公社)北海道看護協会
荒木 奈緒	北海道成育看護研究会／評議員	北海道成育看護研究会
	2022年度 看護管理研修事業（北海道委託）企画検討会Ⅱへの参加	(公社)北海道看護協会
川村 三希子	特定非営利活動法人 日本ホスピス緩和ケア協会／監事	(非)日本ホスピス緩和ケア協会
喜多 歳子	北海道公衆衛生協会／理事	北海道公衆衛生協会
定廣 和香子	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
佐藤 ひとみ	病院機能評価事業／評価調査者（看護サーベイヤー）	(公財)日本医療機能評価機構
	一般社団法人協済会／理事	(一財)協済会
樋之津 淳子	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
本田 光	2022年度北海道看護協会支部職能委員長会議／委員	(公社)北海道看護協会
村松 真澄	旭川口腔ケア普及研究会／幹事	上川中部地域歯科保健推進協議会
	科学研究費委員会／専門委員	(独)日本学術振興会
守村 洋	札幌市自殺総合対策連絡会議への参画	札幌市（保健福祉局）
黒田 紀子	若手による小児保健検討会準備委員会／委員	(公社)日本小児保健協会
武富 貴久子	医学系OSCE 認定標準模擬患者委員会／委員	(公社)医療系大学間共用試験実施評価機構
山本 真由美	北海道看護協会札幌第1支部／助産師職能委員	(公社)北海道看護協会 札幌第1支部
近藤 圭子	北海道看護協会札幌第1支部／保健師職能委員	(公社)北海道看護協会 札幌第1支部



## AITセンター

教員名	名称／役職	自治体名・主催団体名
高橋 尚人	(一財)さっぽろ産業振興財団／客員研究員	(一財)さっぽろ産業振興財団
	産学融合拠点創出事業／上級エリアコーディネーター	(公財)北海道科学技術総合振興センター
	官民データ流通促進基盤の利活用促進に向けた調査研究業務に係る企画競争実施委員会／委員	札幌市（デジタル戦略推進局）
	情報政策技術支援業務の受託者選定に係る審査委員会／審査委員	札幌市（デジタル戦略推進局）
	降雪・地表面性状観測装置による融解熱量測定方法に関するJIS原案作成委員会／委員	(一財)日本規格協会
星野 聖太	JCAR氷工学研究作業委員会（ワーキンググループ）／メンバー	北極環境研究コンソーシアム





## 4 専門職支援・セミナー講師等

## 1) 専門職支援

## ① 認定看護管理者教育課程サードレベル

2022年度受講者10名（修了者9名）

開催期間	教科目/時間	単元	講義・演習・実習（時間数）	講師
第Ⅰ期（14日間） 2022年8月22日 ～9月8日  第Ⅱ期（12日間） 2022年11月2日 ～11月18日  第Ⅲ期（8日間） 2023年1月6日 ～1月25日	ヘルスケアシステム論Ⅲ/30時間	社会保障制度・政策の動向	講義（6）	★大久保一郎
		看護制度・政策の動向	講義（9）	★齋藤 訓子
		ヘルスケアサービスの創造	講義（9）	★松下 博宣
			講義（3）	★土井 正子
			講義（3）	★池畑ひろみ ★高畑 智子
	組織管理論Ⅲ/30時間	組織デザインと組織運営	講義（3）	★大林由美子
			講義（3）	★小藤 幹恵
			講義（3）	★牧野 憲一
			講義（3）	★深澤 優子
			講義（6）	★勝見 真澄
			演習（3）	佐藤ひとみ 矢野祐美子
	組織における倫理	講義（3）	★田中かおり	
		講義（3）	★葛西 陽子	
	人材管理Ⅲ/18時間	社会システムと労務管理	講義（3）	★和田 昌代
			講義（3）	★櫛引 久丸
			講義（3）	★田中いずみ
	看護管理者の育成	講義（6）	佐藤ひとみ	
		特別講義	講義（3）	★石垣 靖子
	資源管理Ⅲ/30時間	経営戦略	講義（6）	★高橋 泰
			講義（6）	★工藤 高
			演習（3）	佐藤ひとみ 矢野祐美子
		財務管理	講義（6）	★渡邊 寧子
			講義（3）	★富樫 正浩
		組織的情報管理	講義（6）	★宇都由美子
	質管理Ⅲ/30時間	経営と質管理	講義（6）	★須田 倫子
			講義（6）	★坂上 真弓
			講義（3）	佐藤ひとみ
演習（6）		佐藤ひとみ 矢野祐美子		
組織の安全管理		講義（3）	★平岡 康子	
		講義（6）	★岡林 靖子	



第Ⅰ期（14日間） 2022年8月22日 ～9月8日  第Ⅱ期（12日間） 2022年11月2日 ～11月18日  第Ⅲ期（8日間） 2023年1月6日 ～1月25日	統合演習Ⅲ/45時間	第Ⅰ期演習	演習（9）	★伊藤 リカ ★須田 倫子 ★千葉美恵子 佐藤ひとみ 矢野祐美子
		第Ⅱ期演習	演習（12）	★飯野智恵子 ★田中いずみ ★萩原 直美 佐藤ひとみ 矢野祐美子
		統合演習	演習（15）	★勝見 真澄 ★坂上 真弓 ★鹿内三起子 ★樋口 春美 佐藤ひとみ 矢野祐美子
	その他/6時間	実習	実習（9）	佐藤ひとみ 矢野祐美子
		ヒューマンネットワーキング	その他（3）	佐藤ひとみ 矢野祐美子
		正しい統計データの探し方、使い方	講義（1.5）	丸山 洋平
		表現方法 レイアウトの基礎	講義（1.5）	安齋 利典

★印：非常勤講師等

## 2) セミナー講師等

### ① デザイン学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
中島 秀之	2022年8月1日、2日	2022年度「技術者の一日」論文研究発表会／技術指導講師	トヨタ技術会
	2022年8月25日	第20回Kフォーラム「AI・ロボットも使ってこそ使われてこそ～新たな共生時代のニューノーマルを生抜く」／講師	(公財) 栢森情報科学振興財団
	2022年8月31日	戦略的創造研究推進事業 CREST「人間と情報環境の共生インタラクション基盤技術の創出と展開」領域 中間報告シンポジウム／講師	国立研究開発法人科学技術振興機構
	2022年9月12日	札幌市制100周年記念事業「さらなる100年を見据えたサップロの防災とAI」フォーラム／基調講演講師、パネルディスカッション登壇	札幌市（建設局）
	2022年9月29日	市立札幌旭丘高等学校講演会「札幌におけるAI活用」／講師	札幌市教育委員会
	2022年10月3日	第4回合同談話会勉強会「AIと人間社会」／講師	日本学士院
	2022年10月29日	第11回ホームホスピス全国大会 in 札幌「医療・福祉の未来予想図」／講師	(一社) 全国ホームホスピス協会
	2022年12月14日	北海道議会議員講演会「新たな公共交通への取組みについて」／講師	北海道議会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
中島 秀之	2022年12月15日	「Innovators Under 35 Japan Summit 2022 in Nihonbashi」基調講演「U35時代と次のイノベーターたちへ」／講師	榊角川アスキー総合研究所 MITテクノロジーレビュー [日本版]
	2023年1月31日	2022年度青年研修パキスタン「ICT推進によるDX実践」講演「札幌市の教育・科学・産業を先導する大学の役割」及び「日本に於けるAI研究の現状と未来」／講師	JICA北海道（札幌）
	2023年2月28日	スマートモビリティ地域シンポジウム基調講演「AIを活用した地域の公共交通の新たな展開について」／講師	経済産業省北海道経済産業局
	2023年3月15日	令和4年度 医療・ヘルスケアビジネス創出事業「医療×運輸」特別講演会「『AI技術×ポジティブヘルス増進』～もみじ台団地で進める看護MaaSの取組と今後の可能性～」／講師	札幌商工会議所
齊藤 雅也	2022年12月8日	「ハビタットデザイン」熊本講演会／講師	ピーエス(株)
	2023年2月3日、4日	令和4年度（2022年度）北海道旭川西高等学校スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業「SS特別講座」「サイエンスセミナーⅣ」／講師	北海道旭川西高等学校
	2023年2月26日	「これからの医療とケアを考える」熊本講演会／講師	ピーエス(株)
安齋 利典	2022年9月22日	「臨地実務実習Ⅰ・Ⅱ事前準備/クラウド技術概論」講義／講師	(学)新潟総合学院 開志専門職大学
西川 忠	2023年2月26日	赤平インスタレーション展 公開シンポジウム「炭鉱遺産を伝えるための技術的課題」／講師	赤平市教育委員会
細谷 多聞	2022年12月10日	未来を創るりすた市民学習講座「びりびり わしゃわしゃ～誰でも楽しい！紙あそび～」／講師	夕張市教育委員会
小林 重人	2022年9月30日	地域通貨に関する職員研修会／講師	石川県河北郡内灘町（都市整備部）
	2022年11月13日	学遊の会「文化経済によるまちづくりのための地域通貨」／講演講師・指導助言	学遊の会
山田 良	2023年2月26日	赤平インスタレーション展 公開シンポジウム「インスタレーションの可能性」／講師	赤平市教育委員会
丸山 洋平	2022年9月13日 ～2023年3月31日	神奈川県人口推計等調査共同研究会／講師	神奈川県（政策局）
	2023年3月14日	令和4年度神奈川県地域人口研究会／講師	神奈川県（政策局）
武田 亘明	2023年3月9日	岩宇地域まちづくり研修会・交流会「岩宇地域における移住定住に関する地域的な課題について～新しい公共空間と市民生活～」／講師	岩宇まちづくり連携協議会
小宮 加容子	2022年12月10日	未来を創るりすた市民学習講座「びりびり わしゃわしゃ～誰でも楽しい！紙あそび～」／講師	夕張市教育委員会



## ② 看護学部

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
松浦 和代	2021年4月1日 ～2024年3月31日	一般社団法人 日本看護学教育学会／専任査読者	(一社)日本看護学教育学会
	2022年4月1日 ～2023年3月31日	LIFE2022 運営実行委員会／実行委員長	(一社)日本生活支援工学会
	2023年3月8日	茨城キリスト教大学看護学部 FD研修会／講演の講師	茨城キリスト教大学看護学部
菊地 ひろみ	2022年5月11日、 26日	2022年度北海道専任教員養成講習会／講師	(公社)北海道看護協会
荒木 奈緒	2020年3月31日 ～2023年3月31日	一般社団法人 日本助産学会／代議員	(一社)日本助産学会
	2022年3月18日 ～2024年3月31日	一般社団法人 日本助産学会／代議員	(一社)日本助産学会
	2022年5月1日 ～2023年3月31日	臨床看護研究の指導	NTT東日本札幌病院
	2023年1月20日 ～2023年3月31日	一般社団法人 日本助産学会 NIPT教育ワーキンググループ／委員サブリーダー	(一社)日本助産学会
	2023年2月1日 ～2024年1月31日	日本看護学会学術集会 登録演題の選考／抄録選考委員	(公社)日本看護協会
川村 三希子	2022年4月1日 ～2023年3月31日	LIFE2022 運営実行委員会／実行委員	(一社)日本生活支援工学会
卯野木 健	2022年9月28日	データ活用支援研修／講師	(医)溪仁会 手稲溪仁会病院
貝谷 敏子	2022年4月1日 ～2023年3月31日	LIFE2022 運営実行委員会／実行委員	(一社)日本生活支援工学会
	2022年4月1日 ～2024年3月31日	札幌医科大学倫理委員会／委員	札幌医科大学
喜多 歳子	2022年4月1日 ～2023年3月31日	LIFE2022 運営実行委員会／実行委員	(一社)日本生活支援工学会
	2022年12月16日 ～2023年11月30日	北海道公衆衛生学会／理事	北海道公衆衛生学会
佐藤 ひとみ	2022年7月23日	第23回日本医療情報学会看護学術大会／講師	第23回日本医療情報学会看護学術大会
樋之津 淳子	2020年6月7日～ 2024年度定時評議員会 終了時まで	一般社団法人日本看護学教育学会／評議員	(一社)日本看護学教育学会
	2021年4月1日 ～2024年3月31日	一般社団法人日本看護学教育学会／専任査読者	(一社)日本看護学教育学会
	2021年10月9日～ 2023年評議員会終了 時まで	看護理工学会／評議員と監事	看護理工学会
	2022年6月4日 ～2024年6月3日	一般社団法人 日本看護研究学会／評議員	(一社)日本看護研究学会
	2022年8月15日～ 2024年北海道地方 会総会前日まで	一般社団法人 日本看護研究学会北海道地方会 ／役員	(一社)日本看護研究学会北海道 地方会
	2022年8月16日～ 2024年社員総会終了 時まで	一般社団法人 日本看護技術学会／評議員	(一社)日本看護技術学会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
樋之津 淳子	2022年8月16日～ 2025年社員総会終了時まで	一般社団法人 日本看護技術学会／編集委員会 委員	(一社)日本看護技術学会
加藤 依子	2022年7月1日 ～2023年3月31日	一般社団法人 日本小児看護学会災害対策委員会／実行委員	(一社)日本小児看護学会
菅原 美樹	2022年1月31日～ 2024年社員総会終了時まで	日本循環器看護学会誌／専任査読委員	日本循環器看護学会
	2022年2月13日～ 選出後4年以内に実施される代議員選挙終了時まで	一般社団法人 日本災害看護学会／代議員	(一社)日本災害看護学会
	2022年3月26日～ 2023年 年次大会終了時まで	一般社団法人 日本災害看護学会／査読委員	(一社)日本災害看護学会
	2022年9月9日	2022年度認定看護師教育課程 クリティカルケア学科／講師	(公社)日本看護協会看護研修学校
	2022年12月1日	関西大学看護学部のFD研修会／講師	関西医科大学看護学部
	2022年12月1日 ～2024年6月24日	第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会／企画委員	第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会
高橋 奈美	2021年4月1日 ～2024年3月31日	日本慢性看護学会／評議員会	日本慢性看護学会
	2022年7月1日 ～2023年3月31日	一般社団法人 日本小児看護学会の災害対策委員会／実行委員	(一社)日本小児看護学会
	2022年7月9日 ～2024年7月8日	一般社団法人 日本在宅ケア学会／代議員	(一社)日本在宅ケア学会
	2023年2月22日	北海道看護協会ニュース（広報誌）の記事／取材対象	(公社)北海道看護協会
原井 美佳	2023年2月6日	学校法人 札幌青葉学園 北海道看護専門学校／2年次講義ゲストスピーカー	(学)札幌青葉学園 北海道看護専門学校
檜山 明子	2022年6月17日、6月29日、7月8日、7月11日、7月15日、7月22日、7月29日、8月16日	2022年度 北海道専任教員養成講習会「看護論演習」／講師	(公社)北海道看護協会
本田 光	2022年5月21日	2022年度 札幌第1支部看護の日フェア／健康相談コーナーの担当相談員	(公社)北海道看護協会 札幌第1支部
	2022年6月12日 ～2024年6月予定	一般社団法人 日本公衆衛生看護学会学術実践開発委員会／委員	(一社)日本公衆衛生看護学会
	2022年8月17日	札幌市南区研修会における講演「地域課題に基づく地域活動の実践について」／講師	札幌市（南区保健福祉部）
	2022年9月21日	札幌市豊平区「地域分析に関する研修」／講師	札幌市（豊平区保健福祉部）
	2023年3月13日	性や生き方について深く学ぶことを目的とした授業／講師	市立札幌みなみの杜高等支援学校



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
村松 真澄	2020年4月1日 ～2025年3月31日	一般社団法人 日本口腔ケア学会認定施設医療 法人社団はぎわら歯科クリニック内「口腔ケア チーム」/認定指導者	(医)はぎわら歯科クリニック
	2020年6月29日～ 2024年度社員総会 まで	一般社団法人 日本老年看護学会/代議員	(社)日本老年看護学会
	2020年7月17日～ 2022年度社員総会 まで	一般社団法人 日本老年看護学会編集委員会/ 査読委員	(社)日本老年看護学会
	2020年8月28日～ 2022年度社員総会 まで	一般社団法人 日本老年看護学会老年看護政策 検討委員会/委員	(社)日本老年看護学会
	2020年12月16日 ～2023年11月30日	北海道公衆衛生学会/評議員	北海道公衆衛生学会
	2022年4月1日 ～2024年3月31日	一般社団法人 日本口腔ケア学会/評議員	(社)日本口腔ケア学会
	2022年7月27日～ 2024年年度社員総 会まで	一般社団法人 日本老年看護学会老年看護政策 検討委員会/委員	(社)日本老年看護学会
	2022年8月1日～ 2024年年度社員総 会まで	一般社団法人 日本老年看護学会編集委員会/ 査読委員	(社)日本老年看護学会
	2022年10月29日、 10月30日	一般社団法人 全国ホームホスピス協会全国大 会/実行委員	(社)全国ホームホスピス協会
	2022年12月18日	第11回日本公衆衛生看護学会学術集会/講師 (シンポジスト)	第11回日本公衆衛生看護学 会学術集会
	2023年1月26日	社会福祉法人 愛全会 高齢者総合福祉施設 サン・グレイスの職員研修会/講師	(福)愛全会 高齢者総合福祉 施設 サン・グレイス
2023年3月11日	2022年度北海道医療大学「公開講座」/講師	北海道医療大学	
守村 洋	2022年4月24日	一般財団法人 メンタルケア協会/「メンタル ケア・スペシャリスト養成講座」/講師	(財)メンタルケア協会
	2022年5月19日、 8月30日、 2023年1月19日	2022年度「生活支援員登録に向けた研修・説 明会」/講師	(福)札幌市社会福祉協議会
	2022年7月22日	2022年度札幌市教育センター専門研修【C03】 自殺予防の取組/講師	札幌市(教育委員会)
	2022年8月2日、 8月4日	2022年度福祉職場におけるメンタルヘルス研 修/講師	北海道社会福祉協議会社会 福祉研修所
	2022年8月20日	第472回精神療養講座/講師	(継)札幌市精神障害者家族連 合
	2022年9月5日	2022年度 日常生活自立支援事業「生活支援員 現任者研修会」/講師	(福)札幌市社会福祉協議会
	2022年10月1日	札幌第2支部 働き続けられる職場づくり推進委 員会研修会/講師	(公)北海道看護協会 札幌第2 支部
	2022年10月16日	「メンタルケア・スペシャリスト養成講座」/ 講師	(般)メンタルケア協会
2022年10月19日 ～2024年9月30日	一般社団法人 日本看護シミュレーションラー ニング学会誌/査読委員	(社)日本看護シミュレーショ ンラーニング学会	



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
守村 洋	2022年11月7日 ～2022年12月9日	学校法人 熊本保健科学大学研究誌／査読	(学)熊本保健科学大学
	2022年12月14日	一般社団法人 日本北海道中小企業家同友会 12月例会／講師	(社)日本北海道中小企業家同友会
	2023年1月24日	2022年度中空知管内救急研修会／講師	空知・日高地域検証部会 中空知救急連絡協議会
岡 園代	2022年5月30日 ～2022年8月28日	日本遺伝看護学会の第21回学術大会／実行委員	日本遺伝看護学会第21回学術大会
鬼塚 美玲	2022年5月1日 ～2023年3月31日	自衛隊札幌病院／看護研究指導	自衛隊札幌病院
	2022年7月1日 ～2023年3月31日	一般社団法人 日本小児看護学会災害対策委員会／実行委員	(社)日本小児看護学会
	2022年12月17日	2022年度北海道防災総合訓練（厳冬期）の防災講和／講師	北海道
武富 貴久子	2022年 9月10日、9月11日、9月24日、10月22日	北海道大学医学研究院／指導教員	日本慢性看護学会
	2022年11月5日	一般社団法人 日本看護管理学会 2022年度例会 in 近畿地区／講師	(社)日本看護管理学会
牧田 靖子	2022年10月28日 ～2022年10月29日	一般社団法人 日本小児看護学会災害対策委員会／実行委員	(社)日本小児看護学会
矢野 祐美子	2022年4月1日 ～2024年3月31日	日本伝統医療看護連携研究の発行／査読委員	日本伝統医療看護連携学会
	2022年4月25日	札幌厚生病院/「臨床実習指導者導入」研修会／講師	JA北海道厚生連 札幌厚生病院
	2022年7月16日	認定看護管理者会北海道・東北ブロック合度研修会の基調講演／講師	認定看護管理者会北海道ブロック
	2023年1月30日	実習指導者研修Ⅰ・プリセプター研修Ⅰ／講師	苫小牧市立病院
	2023年3月14日～ 2025年度定時社員 総会終了時まで	一般社団法人 日本看護管理学会／学術活動推進委員会委員	(社)日本看護管理学会
山出 誓子	2022年5月1日 ～2024年3月31日	認定看護管理者認定実行委員会／委員	(公)日本看護協会
市戸 優人	2022年9月17日	室蘭まちづくり放送(株)／ラジオ出演	室蘭まちづくり放送(株)
	2023年3月13日	性や生き方について深く学ぶことを目的とした授業／講師	市立札幌みなみの杜高等支援学校
久保田 祥子	2022年6月6日 ～2022年8月28日	日本遺伝看護学会の第21回学術大会／実行委員	日本遺伝看護学会第21回学術大会
栗原 知己	2022年6月11日	第18回日本クリティカルケア看護学会／演者	第18回日本クリティカルケア看護学会
	2022年4月1日 ～2023年3月31日	看護教育委員会／委員	(社)日本集中治療医学会
	2022年10月27日～ 2023年開催学術集 会終了時まで	一般社団法人 日本救急看護学会 外相看護委員会小委員会／委員	(社)日本救急看護学会
	2022年8月7日	一般社団法人 日本救急看護学会主催 第19回WEB版 外傷初期看護セミナー／インストラクター	(社)日本救急看護学会



教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
栗原 知己	2022年9月 (30日間)	一般社団法人 日本集中治療医学会「ICUセミナー 中級編」セミナー／講師	(一社)日本集中治療医学会
坂本 結城	2022年10月28日、 10月29日	一般社団法人 日本小児看護学会災害対策委員会／実行委員	(一社)日本小児看護学会

## ③ AITセンター

教員名	開催日・期間	内容・タイトル	主催者
高橋 尚人	2022年10月21日	セミナー「DXゼミナール in 札幌 vol.3」／講師	(一社)さっぽろ産業振興財団
	2022年12月10日	市立札幌旭丘高等学校サイエンスセミナー「AIと街づくり」／講師	市立札幌旭丘高等学校





## 5 国際交流実績

期間	種別	内容
2021年10月1日 ～2022年9月30日	受入	台中科技大学から特別聴講生1名を受入
2022年4月27日	オンライン 交流	台中科技大学（学生14名、教員5名）と、オンライン国際交流プログラムを実施し、看護学部学生12名ならびに教職員3名が参加
2022年9月13日	オンライン 交流	オーストラリアのグリフィス大学（医学専攻学生2名）のオンライン留学体験を実施し、デザイン学部学生1名ならびに看護学部学生2名が参加
2022年9月20日	オンライン 交流	オーストラリアのグリフィス大学（医学専攻学生2名）のオンライン留学体験を実施し、デザイン学部学生2名ならびに看護学部学生2名が参加
2023年2月10日 ～3月10日	派遣	華梵大学アーティスト インレジデンスにデザイン学部教員1名を派遣
2023年2月24日	セミナー型	経済連携協定で来札したインドネシア人看護師とのオンライン交流会を実施し、看護学部学生5名ならびに教員7名が参加
2023年2月26日 ～3月6日	派遣	フィンランドのトゥルク大学と共同で国際ワークショップを実施し、デザイン学部学生3名、デザイン研究科大学院生1名ならびに教員1名を派遣
2023年3月3日	オンライン 交流	オーストラリアのクィーンズランド大学（看護学部学生1名ならびに人文社会学部学生1名）のオンライン留学体験を実施し、デザイン学部学生3名ならびに看護学部学生1名が参加
2023年3月13日	セミナー型	医療通訳者から見た外国人患者支援に関するオンラインセミナーを実施し、看護学部学生5名ならびに教職員7名が参加

## 6 サテライトキャンパスの利用状況

利用目的	利用件数
講演会・セミナー	24
会 議	※内訳 会議（学内者のみ）29 産学連携・会議（学外者を含む）36 65
研究会・学会	204
そ の 他	14
合計	307



## V キャリア支援活動

### 1 デザイン学部

#### 1) 概要

デザイン学部キャリア支援委員会は、デザイン学部の学生を対象としたキャリア支援の取り組みを図る目的で2008年4月に設立された。本委員会は、定例会議（毎月1回程度）において学生の支援方法及び企業へのPR・求人開拓活動などを協議し、コース毎の独自企画と連携しながら運営を行った。

また、同時に開設されたキャリア支援室では、教職員による就職相談体制を整えるとともに、専門の就職相談員1名を配置し、きめ細かな個別指導を行っている。2020年度以降は、対面だけではなくオンラインによる相談体制も整備し、後援会からの支援をうけた就職活動支援の取組も行っている。活動実績の詳細については以下のとおりである。

学部4年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別指導（就職相談、面接・履歴書・ES対策など）（2022年4月～）</li> <li>・学内企業説明会の開催（随時）</li> <li>・求人情報の提供（随時）</li> </ul>
学部3年生への支援 大学院1年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・OB・OGイベントを含むキャリアガイダンス（2022年4月～2023年2月）</li> <li>・デザイン学部専門教育科目「キャリアデザイン」（2022年10月～2023年1月）</li> <li>・進路希望調査（2022年9月）</li> <li>・学内業界セミナーの開催（2022年10月～2023年1月）</li> <li>・求人情報の提供（随時）</li> <li>・インターンシップ・企業実習情報の提供（随時）</li> </ul>
学部2・3年生への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケッチ講習会の開催（2022年10月）</li> <li>・ワークショップ型インターンシップ体験の開催（2022年12月）</li> </ul>
後援会からの支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エントリーシート個別相談会の開催（2022年12月）</li> <li>・履歴書用証明写真撮影補助（2022年6月・2022年11月）</li> <li>・模擬面接（2023年1月～2月）</li> </ul>

#### 2) 支援体制

デザイン学部のキャリア支援は、キャリア支援委員会の委員、2コースのゼミ担当教員及び事務局（学生課学生支援係キャリア支援担当、就職相談員）が行っている。主な役割分担として、事業の企画・運営は本委員会の委員が、就職先の開拓は全教員及びキャリア支援担当が、学生相談のうち就職活動に関わることはキャリア支援室の就職相談員及びキャリア支援担当がそれぞれ行っている。



3) 就職・進学結果  
(14期生) 2023年3月卒業生

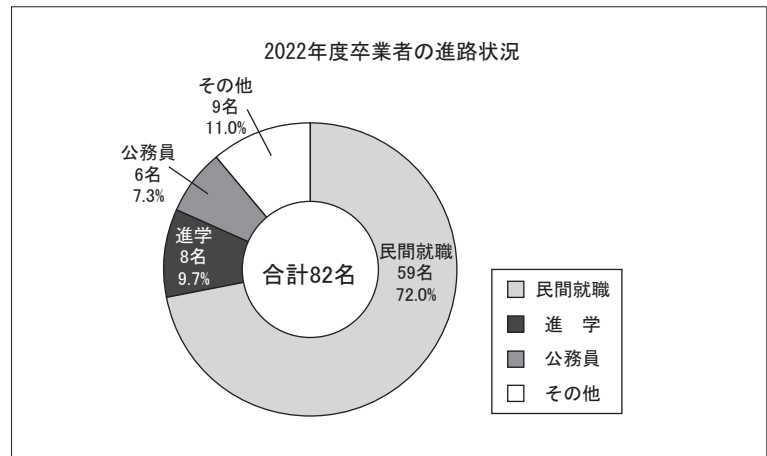
就職先	<b>■建設業</b> (株)アトリエアク/(有)イシツキ/鹿島建物総合管理(株)/(株)キクザワ/(株)スウェーデンハウス/武ダ技研創(株)/永浜クロス(株)/北海道セキスイハイム(株)/(株)ユニテック/(株)リビングワーク
	<b>■製造業</b> アイリスオーヤマ(株)/(株)コスメニスト/(株)須田製版/(株)ローザ
	<b>■情報通信業（放送・ゲームソフト・インターネット関連・映像制作等）</b> (株)アイティ・コミュニケーションズ/(株)インターパーク/(株)エイチ・アイ・ディ/クリナップソリューション(株)/(株)ジャパンテクニカルソフトウェア/トランスコスモス(株)/(株)富士巧芸社/富士ソフト(株)/ブライド(株)
	<b>■卸売・小売業</b> (株)Knot/(株)ガモウ北海道/(株)菊地/大丸(株)/長谷川産業(株)/(株)ベクトル/(株)リアブル/(株)レブニーズ
	<b>■不動産業</b> (株)JR東日本ビルディング/(株)インテリックス/札幌駅総合開発(株)/日本グランデ(株)
	<b>■専門・技術サービス業（デザイン業・広告業等）</b> Hand Inc./ (株)アニバーサルドリーム/(株)ウィットスタジオ/シオリグラフィック(株)/(株)ジェ・シー・スパーク/(株)東宝映像美術/(株)ドットゼロ/(株)博報堂プロダクツ/(株)ハレガケ/フリーランス
	<b>■宿泊・飲料サービス業</b> (同)BCC/(有)ありんこ/(株)アレフ/(株)東横イン
	<b>■電気・ガス・熱供給・水道業</b> 北海道パワーエンジニアリング(株)
進学先	<b>■複合サービス</b> 東旭川農業協同組合
	<b>■公務</b> 小樽市/札幌市/北海道
進学先	札幌市立大学大学院/北星学園大学大学院



(14期生) 札幌市立大学デザイン学部 2022年度卒業生 就職状況 (2023年7月1日現在)

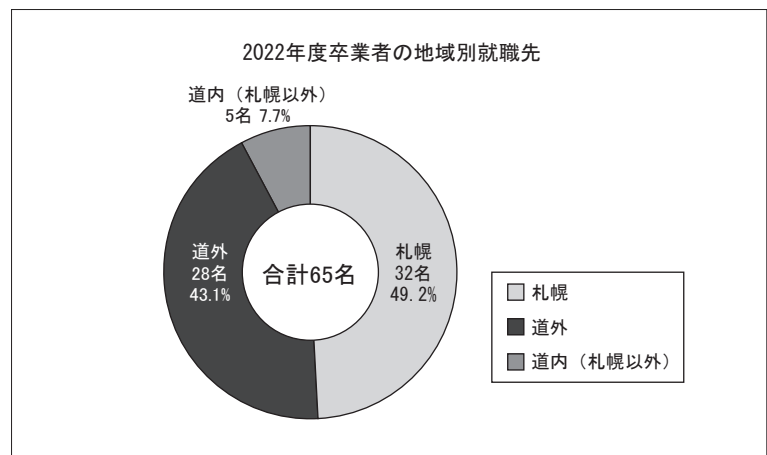
進路状況

進路状況	人数	割合
民間就職	59名	72.0%
進学	8名	9.7%
公務員	6名	7.3%
その他	9名	11.0%
合計	82名	—



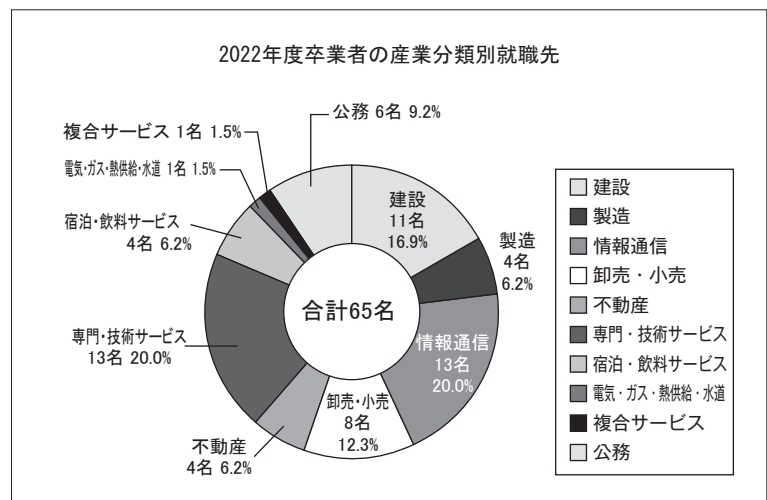
地域別就職先

地域別就職先	人数	割合
札幌	32名	49.2%
道外	28名	43.1%
道内 (札幌以外)	5名	7.7%
合計	65名	—



産業分類別就職先

産業分類	人数	割合
建設	11名	16.9%
製造	4名	6.2%
情報通信	13名	20.0%
卸売・小売	8名	12.3%
不動産	4名	6.2%
専門・技術サービス	13名	20.0%
宿泊・飲料サービス	4名	6.2%
電気・ガス・熱供給・水道	1名	1.5%
複合サービス	1名	1.5%
公務	6名	9.2%
合計	65名	—





## 4) コース別概要

(14期生) 札幌市立大学デザイン学部 2022年度卒業生 (2023年7月1日現在)

## 1. コース別進路状況

コース	卒業生数①	1. 就職希望		就職者 (起業含)		2. 進学希望		3. その他 ⑥※2
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤	
人間空間	39	32	5	31	5	5	5	2
人間情報	43	38	1	34	1	3	3	2
合計	82	70	6	65	6	8	8	4
割合		85.4%	8.6%	92.9%	9.2%	9.8%	100.0%	4.9%
		②÷①		③÷② ※1		④÷①	⑤÷④ ※3	⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者 (アルバイト・公務員浪人等、将来的な就職に関する進路選択をしたもの)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

## 2. 内定先の内訳 (市内28社32名、道内4社5名、道外23社28名)

コース	道内企業 (札幌市内含む)	道外企業
人間空間	市内 (同)BBC [宿泊・飲食: 接客] ㈱アトリエアク [建設: 設計職] (有)インジキ [建設: 設計施工職] ㈱エイチ・アイ・ディ [情報通信: プログラマー] ㈱ガモウ北海道 [卸・小売: 総合職] 札幌駅総合開発㈱ [不動産: 技術職] 札幌市 [公務: 建築職、造園職] (3名) シオリグラフィック㈱ [専門・技術: デザイナー] 武ダ技建創㈱ [建設: 現場施工管理職] 永浜クロス㈱ [建設: ショールーム職] フリーランス [専門・技術] 北海道 [公務: 建築職] 北海道セキスイハイム㈱ [建設: 総合職] ㈱リビングワーク [建設: 設計職] ㈱レブニーズ [卸・小売: 総合職]	㈱JR東日本ビルディング [不動産: 総合職] ㈱Knot [卸・小売: デザイナー] ㈱アニバーサルドリーム [専門・技術: フォトグラファー] ㈱インテリックス [不動産: 設計職] 鹿島建物総合管理㈱ [建設: 総合職] ㈱スウェーデンハウス [建設: 設計職] ㈱東宝映像美術 [専門・技術: 制作進行] トランスコスモス㈱ [情報通信: 建築設計エンジニア] ブライド㈱ [情報通信: 営業職]
	道内 小樽市 [公務: 事務職] ㈱キクザワ [建設: 設計職] (2名) 東旭川農業協同組合 [複合サービス: 業務職] ㈱リアリアブル [卸・小売: 総合職]	



コース	道内企業（札幌市内含む）	道外企業
人間情報	市内	Hand Inc.〔専門・技術：デザイナー〕 アイリスオーヤマ(株)〔製造：商品開発職〕 (株)ウィットスタジオ〔専門・技術：制作進行〕 クリナップソリューション(株)〔情報通信：SE〕 (株)コスメニスト〔製造：デザイナー〕 (株)ジェ・シー・スパーク 〔専門・技術：グラフィックデザイナー〕 (株)東横イン〔宿泊・飲食〕 (株)ドットゼロ〔専門・技術：デザイナー〕 トランスコスモス(株)〔情報通信：WEBデザイナー・デジタルマーケティング職〕（4名） (株)博報堂プロダクツ 〔専門・技術：デジタルプロデュース職・プランニング職〕（2名） (株)ハレガケ〔専門・技術：デザイナー〕 (株)富士巧芸社〔情報通信：字幕制作〕 富士ソフト(株)〔情報通信：技術職〕 フリーランス〔専門・技術〕 (株)ベクトル〔卸・小売：販売職〕
	道内	
小計	32社 37名	23社 28名
合計	55社 65名	

### 3.進学状況（大学院8名）

コース	進学先			
人間空間	大学院	札幌市立大学大学院4名、北星学園大学大学院1名		
	研究生			
	その他			
人間情報	大学院	札幌市立大学大学院3名		
	研究生			
	その他			
合計	大学院	8	研究生 0	その他 0



## 2 看護学部（助産学専攻科含む）

### 1) 概要

看護学部キャリア支援委員会は、学生の進路相談や就職活動、国家試験への支援だけでなく、就職後の支援も視野に入れ、学生を支援する体制を整えている。

看護学部における支援体制には、①進路相談、②就職活動支援、③国家試験対策、④卒業後のキャリア支援の4つの取組を軸に、次のような活動の企画・運営を行っている。①看護学部キャリア支援相談室の管理・運営、②進路希望調査の実施、③看護学部キャリア支援・進路活動ガイダンスの実施、④各種就職・進学説明会の開催、⑤国家試験自主ゼミの組織化、⑥国家試験受験に向けたガイダンスの実施。

学生のニーズ調査に基づき、経験豊富な看護管理者を模擬面接官として招聘した「模擬面接プログラム」を実施し、参加学生から好評価を得ている。

また、卒業生を対象としたシャトル研修を実施し、卒後のキャリア支援を行った。

これらの活動が学生のニーズに合う内容であること及び学生の将来に有用な指針を示すものであることを念頭に、進路希望調査の結果など学生の声を重視し、計画立案に反映させながら支援を行っている。

### 2) 支援体制

看護学部キャリア支援委員9名により、次の表のとおり年間活動計画及び進路相談などを行った。また、学生による国家試験対策自主ゼミグループを組織し、自主ゼミリーダー会議を定期的に開催した。

月	4年次生、助産学専攻科生	3年次生
4月	前期ガイダンス	
	キャリアハンドブック配布（専攻科生） 進路希望調査 模擬面接	
5月		
6月		
7月		
8月	再学修セミナー 看護師模試① 保健師模試①	
9月	後期ガイダンス	
		進路活動ガイダンス 特別講義（就職活動への心構え）
10月	看護師模試② 助産師模試① シャトル研修	進路希望調査 国家試験対策自主ゼミ結成
11月	保健師模試② 国家試験説明会	
12月	国家試験直前対策講座 助産師模試②	
1月	看護師模試③ 保健師模試③	
2月	国家試験受験事前説明会 スキルアップトレーニング	特別講義（マナー講座） 低学年用国家試験模試
3月	卒業・修了前ガイダンス 特別講義（就労支援）	学内キャリア説明会 特別講義（面接対策講座）



## 3) 就職・進学結果

## ① 進路状況

(単位：名)

	卒業者数	就職希望者数 (a)	進学者数	就職者数 (b)	内定率 (%) (b/a)
看護学部	85	74	11	74	100.0
助産学専攻科	9	9	0	9	100.0

## ② 就職者の職種

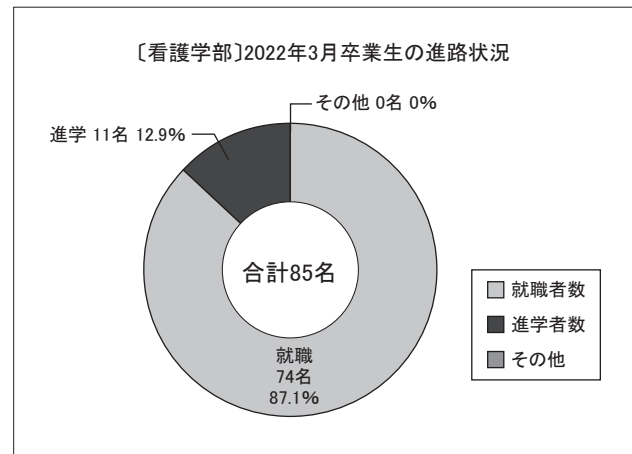
(単位：名)

看護師	69
保健師	4
助産師	9
その他	1
合計	83

## 2022年3月卒業生・修了生

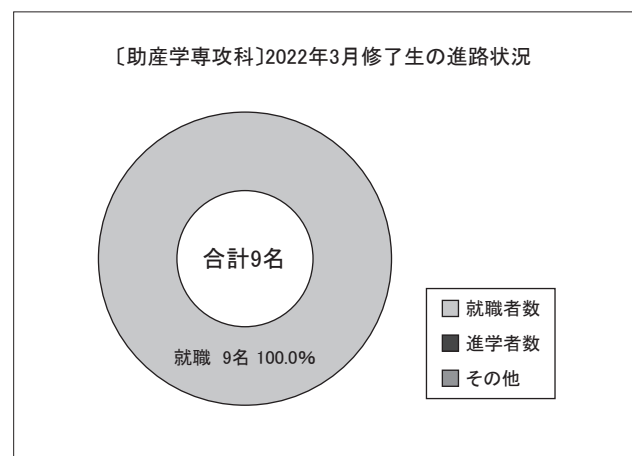
## 看護学部

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	74	87.1
進学	11	12.9
その他	0	0.0
合計	85	—



## 助産学専攻科

進路状況	人数(名)	割合(%)
就職	9	100.0
進学	0	0.0
その他	0	0.0
合計	9	—

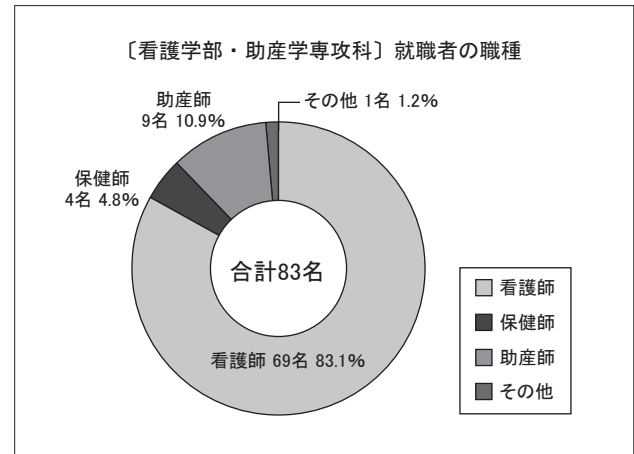






## 看護学部・助産学専攻科

産業分類	人数(名)	割合(%)
看護師	69	83.1
保健師	4	4.8
助産師	9	10.9
その他	1	1.2
合計	83	—



## 4) 国家試験の結果

(単位：名)

	出願者数(名)	受験者数(名)	合格者数(名)	合格率(%)
看護師	84	84	82	97.6
保健師	28	28	27	96.4
助産師	9	9	9	100.0



### 3 デザイン研究科

#### 1) 就職・進学結果

(12期生) 札幌市立大学 (デザイン研究科博士前期課程) 2022年度修了生

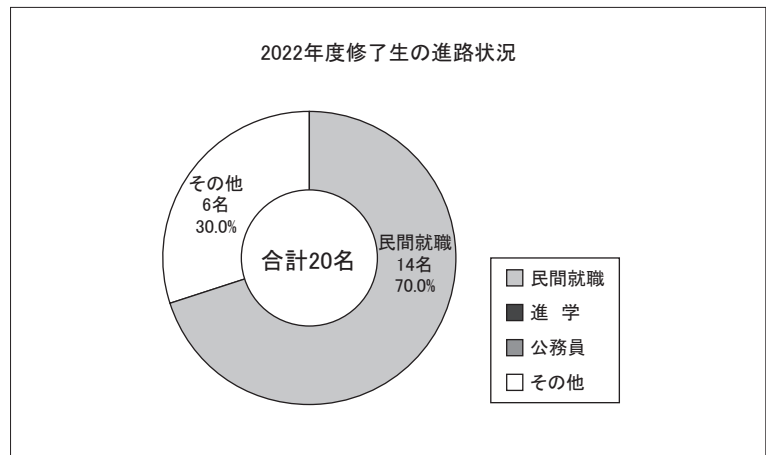
就職 先	<b>■建設業</b> 隈研吾建築都市設計事務所/株丹青社/株藤田建装
	<b>■製造業</b> 株イシモク・コーポレーション/株パーペル/富士フィルムビジネスイノベーション(株)
	<b>■情報通信業</b> 株カヤック/株メンバーズ
	<b>■卸・小売業</b> 株ローソン
	<b>■不動産業</b> 株オープンハウス・ディベロップメント
	<b>■専門・技術サービス業</b> (公財)札幌芸術文化財団/株ニトリパブリック/フリーランス



## (12期生) デザイン研究科博士前期課程 2022年度修了者 就職状況

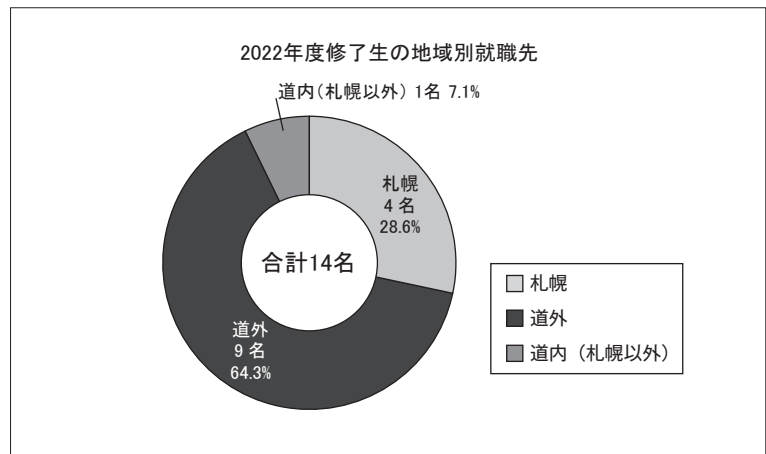
## 進路状況

進路状況	人数	割合
民間就職	14名	70.0%
その他	6名	30.0%
合計	20名	—



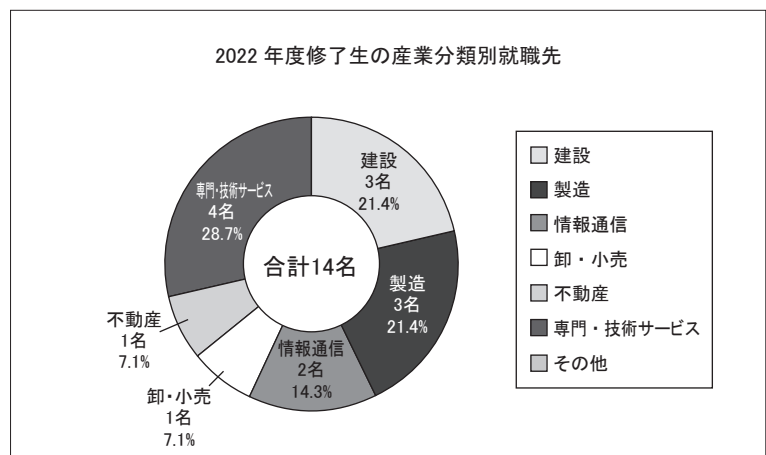
## 地域別就職先

地域別就職先	人数	割合
札幌	4名	28.6%
道外	9名	64.3%
道内（札幌以外）	1名	7.1%
合計	14名	—



## 産業分類別就職先

産業分類	人数	割合
建設	3名	21.4%
製造	3名	21.4%
情報通信	2名	14.3%
卸・小売	1名	7.1%
不動産	1名	7.1%
専門・技術サービス	4名	28.7%
合計	14名	—





## 2) 進路決定状況概要

## 1.進路状況

(12期生) 札幌市立大学デザイン研究科博士前期課程 2022年度修了者

(単位:名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人数	20	16	0	14	0	0	0	4
割合	100.0%	80.0%	0.0%	87.5%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(9期生) デザイン研究科博士後期課程 2022年度修了者

(単位:名)

	修了生数①	1. 就職希望		就職者(起業含)※1		2. 進学希望		3. その他
		②	内公務員志望	③	内公務員	④	進学先決定者⑤※3	⑥※2
人数	3	1	0	0	0	0	0	2
割合	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
	①÷①	②÷①		③÷②		④÷①	⑤÷④	⑥÷①

(備考)

※1: 就職希望者に対する就職者の割合

※2: 就職希望・進学希望以外の者(社会人学生、アルバイト・公務員浪人、将来的な就職に関する進路選択をしたもの等)

※3: 進学希望者に対する進学先決定者の割合

## 2.内定先の内訳(市内3社4名、道内1社1名、道外9社9名)

コース	道内企業(札幌市内含む)		道外企業
デザイン専攻	市内	(公財)札幌芸術文化財団 [専門・技術:テクニカルスタッフ] ㈱ニトリパブリック [専門・技術:総合職] フリーランス[専門・技術](2名)	㈱イシモク・コーポレーション[製造:デザイナー] ㈱オープンハウス・ディベロップメント[不動産:設計職] ㈱カヤック[情報通信:デザイナー] 隈研吾建築都市設計事務所[建設:設計職] ㈱丹青社[建設:デザイナー] ㈱藤田建装[建設:設計職] 富士フィルムビジネスイノベーション㈱ [製造:総合職] ㈱メンバーズ[情報通信:WEBデザイナー] ㈱ローソン[卸・小売:総合職]
	道内	㈱パーペル[製造業、デザイナー]	
小計	4社 5名		9社 9名
合計	13社 14名		

## 3.進学状況(大学院0名)

課程	進学先			小計(名)			
デザイン研究科博士前期課程	大学院			0			
	研究生			0			
	その他			0			
合計	大学院博士後期課程	0	研究生	0	その他	0	0



## VI 令和5年度入学者選抜結果

### 1 デザイン学部・看護学部

#### 1) 入学者選抜要項

##### ① アドミッション・ポリシー

##### 【全学部共通アドミッション・ポリシー】

本学は、教育研究上の理念、ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、以下の方針を定め、入学者を受け入れます。

##### <求める学生像>

- 1 人間重視を理解し、自身の専門性を生かして未来を創造しようとする姿勢をもつ人
- 2 人々の幸福や地域社会の持続的な発展に貢献しようとする意志をもつ人  
そのため、本学は、高等学校等における基礎学力、課外活動等によって培われた協調性及び責任感のある人を求めています。入学者には、日ごろから、生命、人間及びその生活に興味・関心を持ち、地域社会が抱える課題の発見や解決に向けて、日々の学修の中で幅広い知識・思考力・判断力・表現力を身につけるとともに、多様な人々と協同するためのコミュニケーション能力を備え、学ぶ意欲があることが求められます。

##### <入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、複数の選抜区分により行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、大学入学共通テストの成績、調査書等で測る。
- 3 各学部が求める能力等は、個別試験で測る。

##### 【デザイン学部アドミッション・ポリシー】

##### <求める学生像>

- 1 人間重視の姿勢を持ち、デザインを通して社会に貢献しようとする姿勢をもつ人
- 2 豊かな感性と見識をもって、主体的かつ協同して未来のデザインを創造することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域活性化のリーダーとして文化・産業の発展に寄与する意志をもつ人  
これらの学生像は、高等学校等における次のような学習により導かれるものです。
  - ・「国語」及び「英語」において、基本的な読解力とコミュニケーション力を身につけること。
  - ・「数学」及び「理科」において、論理的思考力や、自然科学に対する教養を身につけること。
  - ・「社会」において、人間と社会の諸問題に関心をもつこと。
  - ・「芸術（美術・音楽等）」や課外活動等において、美や文化を理解する感性を育むこと。

##### <入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、特別選抜（社会人・私費外国人留学生）及び3年次編入学で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力の水準は、選抜区分ごとに、大学入学共通テスト、英語の資格・検定試験、個別試験の成績及び調査書等を組み合わせて測る。
- 3 観察力、想像力、思考力、判断力、表現力、自分の考えを他者へ伝える力は、個別試験のデザイン総合問題やグループワーク・個別発表で測る。
- 4 専門分野への関心、主体性（学習意欲、目的意識等）、社会性（コミュニケーション能力等）は、個別試験の面接やグループワークで測る。
- 5 3年次編入学では、面接に加え、学修・研究成果、適性等を口頭試問で測る。

##### <入学者選抜方法>

- 1 一般選抜は、大学入学共通テスト（国語、地歴・公民、数学、理科、外国語）と個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。配点は、大学入学共通テストを800点、個別試験を



300点とする。

- 2 学校推薦型選抜は、個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。デザイン総合問題と面接の配点は、それぞれ200点とする。
- 3 総合型選抜は、個別試験（グループワーク・個別発表）により行う。グループワークと個別発表の配点は、それぞれ200点とする。
- 4 特別選抜（社会人・私費外国人留学生）は、個別試験（デザイン総合問題、面接）により行う。デザイン総合問題と面接の配点は、それぞれ200点とする。
- 5 3年次編入学は、面接・口頭試問、英語の資格・検定試験により行う。配点は、面接・口頭試問を300点、英語の資格・検定試験を100点とする。
- 6 調査書等の提出書類は、面接やグループワークの際の参考資料とするとともに選抜の総合的な判定資料とする。

#### 【看護学部アドミッション・ポリシー】

##### <求める学生像>

- 1 人々の健康・心・暮らしに関心をもち、生命の尊厳を理解しようとする姿勢をもつ人
- 2 豊かな感性と探究心をもって、柔軟に物事を考え、自主的に学修できる人
- 3 他者と協調し、信頼関係を築くことができ、積極的に地域に貢献する意志をもつ人  
このため看護学部では、高等学校等における「国語」「英語」「数学」「理科」などの基礎的な学力及び課外活動等によって培われた協調性や責任感のある人を求めています。

##### <入学者選抜の在り方>

- 1 入学者の選抜は、多様な能力を身につけた学生を求めるため、一般選抜、学校推薦型選抜、特別選抜（社会人）で行う。
- 2 入学者に求める基礎学力、読解力、論理的思考力、判断力、表現力、専門分野への関心、主体性、社会性等は、大学入学共通テストの成績及び個別試験で測る。

##### <入学者選抜方法>

- 1 一般選抜は、大学入学共通テスト及び面接の合計得点を算出する。
- 2 学校推薦型選抜は、小論文及び面接の合計得点を算出する。
- 3 特別選抜（社会人）は、総合問題及び面接の合計得点を算出する。
- 4 調査書等の提出書類は、面接の際の参考資料とするとともに、選抜の総合的な判定資料とする。

## ② 令和5年度入学者選抜概要

### 入学定員・募集人員

(単位：名)

学部・学科名	入学定員	募集人員				
		一般選抜 前期日程	学校推薦型 選抜	総合型選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人 留学生)
デザイン学部 デザイン学科	90	57	25	8	若干名	若干名
看護学部 看護学科	85	48	37	—	若干名	—



## 選抜日程

選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
一般選抜 前期日程	2023年1月23日 ～2月3日	2023年2月25日	2023年3月8日 【入学手続期間】 2023年3月8日～15日
学校推薦型選抜	2022年11月1日～4日	2022年11月19日	2022年12月5日 【入学手続期間】 2022年12月5日～12日
総合型選抜（※）	2022年9月1日～7日	2022年10月8日	2022年11月1日 【入学手続期間】 2022年11月1日～8日
特別選抜（社会人）	デザイン学部 2022年11月1日～4日	デザイン学部 2022年11月29日	デザイン学部 2022年12月5日 【入学手続期間】 2022年12月5日～12日
	看護学部 2022年8月3日～9日	看護学部 2022年9月3日	看護学部 2022年9月20日 【入学手続期間】 2022年9月20日～27日
特別選抜 （私費外国人留学生）（※）	2023年1月23日 ～2月1日	2023年2月25日	2023年3月8日 【入学手続期間】 2023年3月8日～15日

（※）は、デザイン学部のみ実施

## 試験会場

学部・学科名	試験会場
デザイン学部デザイン学科	芸術の森キャンパス
看護学部看護学科	桑園キャンパス



## 選抜方法

選抜区分	学部・学科名	選抜方法
一般選抜 前期日程	デザイン学部 デザイン学科	大学入学共通テスト及び本学が実施する個別試験の成績並びに調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。ただし、看護学部においては、面接の得点が一定基準以下の場合には不合格とすることがある。
	看護学部 看護学科	
学校推薦型選抜	デザイン学部 デザイン学科	デザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。
	看護学部 看護学科	小論文及び面接の成績、提出書類を総合的に判定して行う。ただし、小論文か面接いずれかの得点が一定基準以下の場合、不合格とすることがある。
総合型選抜	デザイン学部 デザイン学科	講義1・講義2に基づいた2回のグループワーク、個別発表（レポート作成、口頭試問含む）、提出書類を総合的に判定して行う。
特別選抜（社会人）	デザイン学部 デザイン学科	本学が実施するデザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。
	看護学部 看護学科	総合問題及び面接の成績、提出書類を総合的に判定して行う。ただし、総合問題か面接いずれかの得点が一定基準以下の場合、不合格とすることがある。
特別選抜 （私費外国人留学生）	デザイン学部 デザイン学科	本学が実施するデザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接、提出書類を総合的に判定して行う。

## 一般選抜試験の大学入学共通テスト及び個別試験の教科・科目

学部・学科名	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テスト		個別試験
		教科	科目名等（略称）	
デザイン学部 デザイン学科	前期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	デザイン総合問題（論述及び描画の問題）、面接
		地歴公民	「世A」「世B」「日A」「日B」「地理A」「地理B」「現社」「倫理」「政・経」「倫理、政・経」から1科目	
		数学	「数Ⅰ・数A」と「数Ⅱ・数B」の2科目	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、もしくは「物理」「科学」「生物」「地学」から1科目	
		外国語	「英」（リーディング及びリスニング）	
看護学部 看護学科	前期日程	国語	「国」（古文・漢文を含む。）	面接
		数学	「数Ⅰ・数A」	
		理科	「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目、もしくは「物理」「科学」「生物」「地学」から2科目	
		外国語	「英」（リーディング及びリスニング）	





## 注1) 【デザイン学部】

- ・ 地歴公民について、2科目選択した場合は、第1解答科目を合否判定に利用します。
- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）の両方を選択した場合は、「基礎を付した科目」の得点を利用します。  
「基礎を付していない科目」のみを選択した場合は、1科目の得点（2科目選択した場合は第1解答科目の得点）を利用します。

## 注2) 【看護学部】

- ・ 理科について、「基礎を付した科目」（「物理基礎」「化学基礎」「生物基礎」「地学基礎」）と「基礎を付していない科目」（「物理」「化学」「生物」「地学」）の両方を選択した場合には、「基礎を付した科目」の得点を利用します。

## 注3) 【デザイン学部・看護学部共通】

- ・ 外国語について、「英語」のリーディング及びリスニングの合計得点を利用します。いずれか一方を受験しなかった場合は、出願資格はありません。ただし、大学入学共通テストの受験上の配慮において、リスニングを免除された者を除きます。

## ③ 令和5年度3年次編入学者選抜概要

## 募集人員

(単位：名)

学部・学科名等	募集人員
デザイン学部デザイン学科	若干名

## 選抜日程・試験会場

学部・学科名	出願期間	試験日	試験会場	合格発表
デザイン学部 デザイン学科	2022年6月17日 ～24日	2022年7月16日	芸術の森キャンパス	2022年7月28日

## 選抜方法

学部・学科名	選抜方法
デザイン学部 デザイン学科	本学が実施する面接・口頭試問、TOEICのスコア、提出書類を総合的に判定して行う。



## 2) 選抜状況

## ① 入学者選抜状況

## a. 選抜・入学状況

## デザイン学部

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜 前期日程	57	99	96	63	62
学校推薦型選抜	25	47	46	25	25
総合型選抜	8	40	29	8	8
特別選抜（社会人）	若干名	1	1	0	0
特別選抜 （私費外国人留学生）	若干名	1	0	0	0

## 看護学部

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜 前期日程	48	115	110	48	48
学校推薦型選抜	37	76	76	37	37
特別選抜（社会人）	若干名	4	4	2	2

## b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	95	49	28	18	19	76
看護学部	87	42	40	5	8	79
合計	182	91	68	23	27	155

## ② 編入学者選抜状況

## a. 選抜・入学状況

(単位：名)

学部	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
デザイン学部	人間空間デザイン	若干名	6	6	1	1
	人間情報デザイン		4	4	0	0
	計	若干名	10	10	1	1



## b. 入学者の内訳

(単位：名)

学部	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン学部	1	0	0	1	0	1



## 2 デザイン研究科・看護学研究科

### 1) 博士前期課程

#### i 入学者選抜要項

##### ① アドミッションポリシー

##### 【デザイン研究科】

本課程は、地域社会全体に内在する様々な課題に対してデザインによる解決策を教育・研究することにより、高度で専門的なデザイン能力を持った職業人の育成を目指し、産業・芸術・文化等の振興、地域再生・活性化などの貢献を果たすことを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜デザイン研究科博士前期課程の求める学生像＞

- 1 デザインに関する基礎知識を備え、豊かな感性と深い見識を持ち、人間重視の視点からデザインの発展に寄与できる人
- 2 各種のデザインを統合し、先導的なプロジェクトを主体的・戦略的に展開することに意欲のある人
- 3 デザインを通じ、地域を創成していくリーダーとして文化・産業の発展に貢献する意思を持った人

##### 【看護学研究科】

本課程では、広い視野に立って看護学の基盤を学修した個々人の専門性及び学識を深めつつ、看護学の発展、様々な形態での看護の実践及び幅広く地域社会に貢献できる高度で専門的な人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

＜看護学研究科博士前期課程が求める学生像＞

- 1 看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探究心を持って、自主的・意欲的に看護実践の向上に寄与できる人
- 2 柔軟で論理的な思考を持って保健・医療・福祉の諸問題に積極的に取り組み、問題解決に向けた研究を遂行できる人
- 3 高い倫理観を有し、地域社会や国際社会に貢献する意志と責任感を持った人

### ② 令和5年度入学者選抜概要

募集人員

(単位：名)

研究科・専攻名	推薦選抜	一般選抜	特別選抜 (社会人)	特別選抜 (私費外国人留学生)
デザイン研究科 デザイン専攻	9	9	若干名	若干名
看護学研究科 看護学専攻	18 (一般選抜、特別選抜を含む)			

※デザイン研究科の特別選抜（社会人・私費外国人留学生）の若干名は、入学定員18名を含む。



## 選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	2022年6月17日 ～24日	2022年7月16日	2022年7月28日 【入学手続期間】 2022年7月28日～8月3日
	一般選抜	2022年8月26日 ～9月2日	2022年9月24日	2022年10月11日 【入学手続期間】 2022年10月11日～18日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2023年1月23日 ～30日	2023年2月18日	2023年3月3日 【入学手続期間】 2023年3月3日～9日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2022年8月10日 ～16日	2022年9月24日	2022年10月11日 【入学手続期間】 2022年10月11日～18日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）			
	一般選抜 【第2次募集】	2023年1月5日 ～11日	2023年2月4日	2023年2月21日 【入学手続期間】 2023年2月21日～28日
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生） 【第2次募集】			

## 試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス

## 選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	推薦選抜	面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	一般選抜	学力検査、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。 ※英語はTOEIC/TOEFLのスコアにより評価する。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	学力検査、面接・試問の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	筆記試験（専門科目）、面接（口頭試問含む）、TOEICのスコア及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。
	特別選抜（社会人・私費外国人留学生）	



## ii 選抜状況

## ① 入学者選抜状況

## a. 選抜・入学状況

デザイン研究科 【第1次・第2次募集合計】 (単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
推薦選抜	9	5	5	5	5
一般選抜	9	10	10	7	7
特別選抜	社会人	若干名	2	2	2
	私費外国人留学生	若干名	4	4	3

看護学研究科 【第1次・第2次募集合計】 (単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	
一般選抜	18	4	4	4	4	
特別選抜		社会人	2	2	2	2
特別選抜		私費外国人留学生	0	0	0	0

## b. 入学者の内訳 (単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	17	16	0	1	9	8
看護学研究科	6	4	0	2	2	4
合計	23	20	0	3	11	12

## 2) 博士後期課程

## i 入学者選抜要項

## ① アドミッションポリシー

## 【デザイン研究科】

## ＜教育研究の理念＞

本課程は、人間重視を根幹とした高度な教育・研究を実践し、「知と創造の拠点」として地域からの負託に応え、高度の専門知識・技術を基盤に地域社会の発展に寄与します。さらに、高度で先進的な教育・研究の中核機関として機能し、新たな理論構築や技術開発に独創的に取り組み、新たな社会価値の創造を図ることが教育研究の理念です。

## ＜教育研究の目的＞

本課程は、地域社会に内在する様々な課題をデザインの視点から幅広く発見するとともに、高度な教育・研究の成果を通じて、その解決策を見出し、より豊かな人間生活や地域社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

## ＜デザイン研究科博士後期課程の求める学生像＞

1 柔軟な思考と独創的な視点に立って地域課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて



- 旺盛な探究心を持って自立した研究を遂行できる人
- 2 豊かな感性と深い見識を持ち、高度な教育・研究による成果をもとにデザインの発展に貢献しようとする意識を有する人
  - 3 既成の概念にとらわれず、自立して独自のデザイン理論構築や技術開発に取り組み、新たな社会価値の創造を目指す意欲と実行力を有する人

### 【看護学研究科】

本課程では、高度な学識と豊かな実践経験を基礎に様々な看護現象の分析や評価を行い、その研究成果をもとに将来を見据えた看護の枠組みを再構築し、システム開発などを行うことができる人材を育成することを目的としています。この目的を達成するために、本課程が求める学生像は次のとおりです。

#### <看護学研究科博士後期課程が求める学生像>

- 1 柔軟な思考と独創的な視点に立って、看護を軸とした諸課題を発見・明確化し、その課題解決に向けて旺盛な探究心を持って自立した教育・研究を遂行できる人
- 2 保健医療福祉分野における新たな理論構築や技術開発等を通じて、より質の高い看護サービスのあり方を探求する意欲を有する人
- 3 卓越した看護知識と高い倫理観に基づく実践能力を有し、教育・管理能力の研鑽に励み、将来を見据えた保健医療福祉分野の指導者となりうる人

## ② 令和5年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

研究科・専攻名	一般選抜
デザイン研究科 デザイン専攻	3
看護学研究科 看護学専攻	3

### 選抜日程

研究科・専攻名	選抜区分	出願期間	試験日	合格発表等
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	2023年1月23日 ～30日	2023年2月18日	2023年3月3日 【入学手続期間】 2023年3月3日～9日
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	2023年1月5日 ～11日	2023年2月4日	2023年2月21日 【入学手続期間】 2023年2月21日～28日

### 試験会場

研究科名	試験会場
デザイン研究科	芸術の森キャンパス
看護学研究科	桑園キャンパス



## 選抜方法

研究科・専攻名	選抜区分	選抜方法
デザイン研究科 デザイン専攻	一般選抜	面接（入学前の研究成果・研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）の評価及び研究計画書等の提出書類の内容を総合的に判定して行う。
看護学研究科 看護学専攻	一般選抜	面接（研究計画書に基づくプレゼンテーション、口頭試問を含む）、TOEICのスコア及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

## ii 選抜状況

## ① 入学者選抜状況

## a. 選抜・入学状況

## デザイン研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	1	1	1	1

## 看護学研究科

(単位：名)

選抜区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
一般選抜	3	2	2	2	2

## b. 入学者の内訳

(単位：名)

研究科	入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
		道内		道外	男	女
		札幌市内	札幌市外			
デザイン研究科	1	0	1	0	0	1
看護学研究科	2	2	0	0	0	2
合計	3	2	1	0	0	3





### 3 助産学専攻科

#### 1) 入学者選抜要項

##### ① アドミッションポリシー

本専攻科は、看護学を基盤に、助産に関する幅広く高度な知識と正確な技術を育み、地域社会における母子保健の向上に貢献できる人間性豊かな助産師の育成を目的としています。

これらの目的を達成するために、本専攻科が求める学生像は次のとおりです。

<助産学専攻科が求める学生像>

- 1 「生命の誕生」に、責任を持って真摯に向き合える誠実で優しい人
- 2 看護学を基盤に、倫理観を持ち、主体的に「助産学」を積み重ねることができる人
- 3 広い視野で現代社会をとらえ、母子保健を取り巻くさまざまな課題の解決を追求できる人

##### ② 令和5年度入学者選抜概要

募集人員 (単位：名)

専攻科名	募集人員
助産学専攻科	10

選抜日程

出願期間	試験日	合格発表等
2022年8月3日 ～9日	2022年9月3日	2022年9月20日 【入学手続期間】 2022年9月20日～27日

試験会場

専攻科名	試験会場
助産学専攻科	桑園キャンパス

選抜方法

専攻科名	選抜方法
助産学専攻科	筆記試験（専門科目（看護学一般）、小論文）、面接及び提出書類の内容を総合的に判定して行う。

#### 2) 選抜状況

##### ① 入学者選抜状況

a. 選抜・入学状況 (単位：名)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
10	55	53	14	10

b. 入学者の内訳 (単位：名)

入学者数	道内外の内訳			男女の内訳	
	道内		道外	男	女
	札幌市内	札幌市外			
10	7	1	2	—	10



## VI 附属図書館

### 1 概要

#### 1) 施設規模

芸術の森キャンパス図書館 延べ床面積／1,480㎡  
 桑園キャンパス図書館 延べ床面積／519㎡

#### 2) 図書・雑誌・視聴覚資料・電子ジャーナル所蔵数

(2023年3月31日現在)

図書館の名称	図書の冊数				雑誌の種数		
	和書	洋書	視聴覚資料	計	和雑誌	洋雑誌	電子 ジャーナル
芸術の森 キャンパス図書館	74,888	9,857	2,328	87,073	333	16	0
桑園 キャンパス図書館	41,579	1,984	710	44,273	347	8	5
合計	116,467	11,841	3,038	131,346	680	24	5

#### 3) 2022年度年間受入状況

区分		和	洋	計	
芸術の森 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,648	18	1,666
		寄贈	83	13	96
		計	1,731	31	1,762
	雑誌 (種)	購入	55	2	57
		寄贈	41	0	41
		計	96	2	98
桑園 キャンパス 図書館	図書 (冊)	購入	1,082	11	1,093
		寄贈	21	0	21
		計	1,103	11	1,114
	雑誌 (種)	購入	57	2	59
		寄贈	32	1	33
		計	89	3	92



## 2 利用状況

※COVID-19感染拡大防止のため開館時間を短縮し、利用者を学内関係者に限定した。

### 1) 開館時間・休館日

開館時間	平日：午前9時～午後7時 ※9月30日まで、午前9時～午後5時 大学の長期休業期間中：午前9時～午後5時
休館日	土曜・日曜・祝日・年末年始

### 2) 利用資格

学内関係者

### 3) 貸出冊数・期間

利用者	貸出冊数	貸出期間
学部生 (科目等履修生を含む)	10冊	図書：2週間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間 ※登校禁止の期間については、返却期限を延長した。
教職員	無制限	図書：2ヶ月間 雑誌：2週間（芸森館の一部のみ貸出可） 視聴覚資料：1週間
市民等学外者	—	—

### 4) 年間利用者数・貸出冊数等

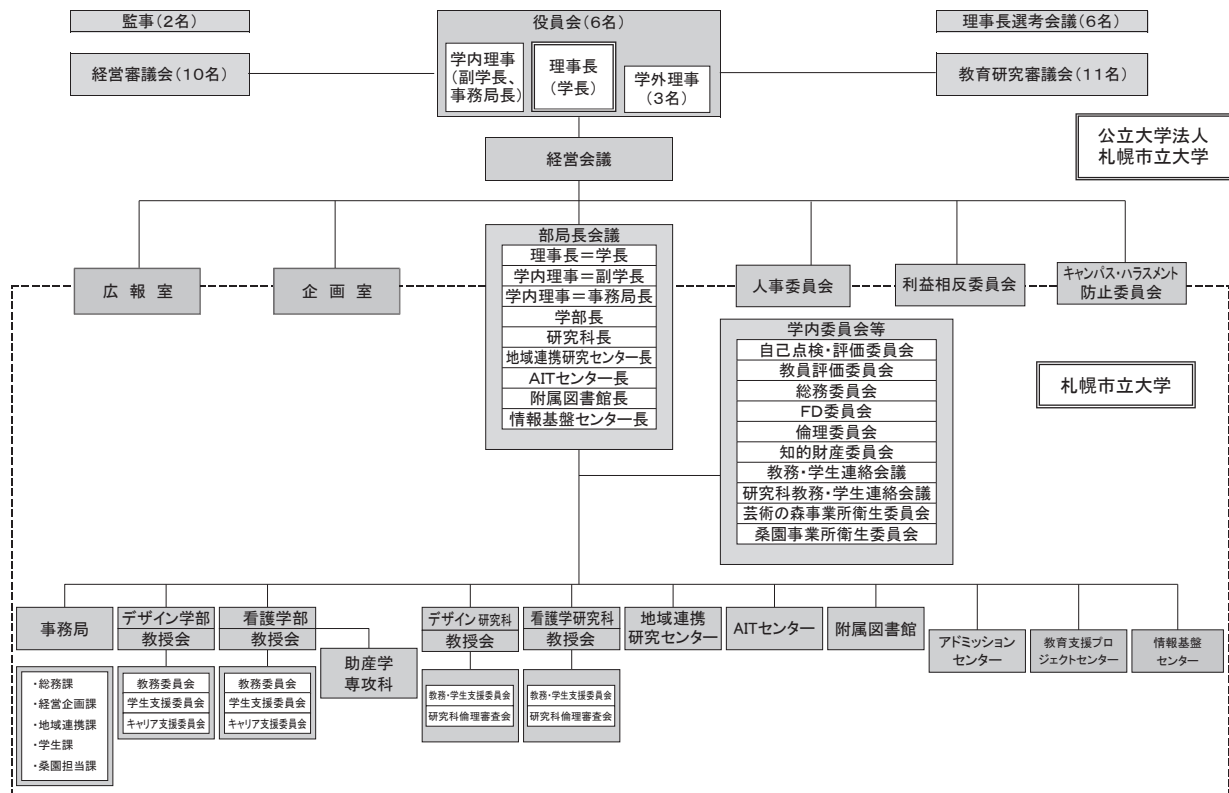
図書館の 名称	利用者	開館 日数	入館 者数	貸出 人数	貸出 冊数	ILL件数	
						受付	依頼
芸術の森 キャンパス図書館	学生・ 教職員	238	4,033	1,769	4,277	23	81
	市民等 学外者	—	—	—	—	—	—
桑園 キャンパス図書館	学生・ 教職員	239	6,340	2,046	4,940	196	647
	市民等 学外者	—	—	—	—	—	—
合計		—	10,373	3,815	9,217	219	728

ILL：Inter-Library Loan（相互貸借）



## VIII 法人・学内運営の概要

### 1 2022年度 公立大学法人札幌市立大学 組織図



### 2 役員会及び審議会の審議状況

回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第1回	(1) 2021年度決算及び事業報告書 (2) 2021年度計画実績及び第三期中期計画中間評価に係る自己点検・評価結果 (3) 特別休暇の改正	(1) 2021年度計画実績及び第三期中期計画中間評価に係る自己点検・評価結果	(1) 2021年度決算及び事業報告について (2) 2021年度計画実績及び第三期中期計画中間評価に係る自己点検・評価結果
第2回	(1) 2023年度予算編成方針 (2) 理事長選考会議の委員選任 (3) 「公益通報規程」の改正 (4) 「育児休業規程」の改正 (5) 公衆衛生看護学専攻科（仮称）開設時期の前倒し (6) 保健師コース廃止に伴う看護学部カリキュラムの変更承認申請	(1) 2023年度予算編成方針 (2) 理事長選考会議の委員選任 (3) 教員の再任 (4) 「公益通報規程」の改正 (5) 「育児休業規程」の改正 (6) 公衆衛生看護学専攻科（仮称）開設時期の前倒し (7) 保健師コース廃止に伴う看護学部カリキュラムの変更承認申請	(1) 2023年度予算編成方針 (2) 理事長選考会議の委員選任
第3回	(1) 公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の改正について	—	(1) 公立大学法人札幌市立大学教職員の給与に関する規程の改正について



回数	経営審議会	教育研究審議会	役員会
第4回	(1) 2023年度計画及び予算 (2) 認証評価 点検評価ポートフォリオ (3) 職員定年年齢の引き上げ (4) 個人情報取扱事務規程の改正 (5) 契約職員の給与等引上げ改定 (6) 札幌市立大学大学院学則の改正	(1) 2023年度計画及び予算 (2) 認証評価 点検評価ポートフォリオ (3) 個人情報取扱事務規程の改正 (4) 令和7年度以降入学者に係るデザイン学部・看護学部入学者選抜試験の変更 (5) 令和6年度以降入学者に係る看護学部学校推薦型選抜試験の変更 (6) 札幌市立大学大学院学則の改正 (9) デザイン研究科及び看護学研究科 履修等に関する規則の改正	(1) 2023年度計画及び予算 (2) 学則、各種規則及び規程等の改正

### 3 役員会及び審議会委員名簿（2022年4月1日現在）

#### 1) 役員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	学長
理事（常勤）	松浦 和代	副学長
理事（常勤）	小野 聡	事務局長
理事（非常勤）	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事（非常勤）	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
理事（非常勤）	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
監事（非常勤）	橋場 弘之	田村・橋場法律事務所（札幌市任命）
監事（非常勤）	谷口 雅子	谷口雅子公認会計士事務所（札幌市任命）

#### 2) 経営審議会委員

役職	氏名	現職
理事長	中島 秀之	
理事	松浦 和代	
理事	恩村 裕之	北電興業株式会社 取締役社長
理事	大友 裕之	公益財団法人札幌市芸術文化財団 副理事長
事務局長	小野 聡	
学外委員	木村 義広	一般財団法人さっぽろ産業振興財団 専務理事
学外委員	花井 秀勝	フュージョン株式会社 代表取締役会長
学外委員	水落 隆志	札幌商工会議所常務理事・事務局長
学外委員	町野 和夫	北海道大学大学院経済学研究院 教授
学外委員	上田 順子	公益財団法人北海道看護協会会長



## 3) 教育研究審議会委員

役職	氏名	現職
学 長	中島 秀之	
理 事	松浦 和代	
デザイン学部長	椎野 亜紀夫	
看護学研究科長	菊地 ひろみ	
デザイン研究科長	齊藤 雅也	
附属研究所長	石井 雅博	
附属図書館長	川村 三希子	
事務局 長	小野 聡	
学 外 委 員	前田 弘志	バナナムーン・ステュディオ代表
学 外 委 員	石井 知子	札幌市教育委員会委員
学 外 委 員	石垣 靖子	北海道医療大学名誉教授
学 外 委 員	黒宮 裕久	市立札幌平岸高等学校

## 4 経営会議

2022年度は9回の会議を開催した。

会議では、法人の経営及び札幌市立大学の教育研究に関する重要事項について協議を行った。

## 5 部局長会議

回数	開催日	議題
第1回	4月6日	(1) 学内会議等実施報告
第2回	5月12日	(1) 学内会議等実施報告
第3回	6月1日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 特別休暇の改正について (3) 2021年度決算について (4) 2021年度計画実績及び第三期中期計画中間評価に係る自己点検・評価結果について
第4回	7月6日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 教育支援プロジェクトセンター所管事業の講師給与の見直しについて (3) 本学の専任教員が院生研究支援費を執行する際の取り扱いについて
第5回	7月25日	(1) 2021事業年度及び第三期中期計画中間実績報告に係るヒアリング回答（案）について
第6回	8月15日	(1) 札幌市地方独立行政法人評価委員会の評価結果（案）に対する意見の有無について
第7回	9月7日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 公衆衛生看護学専攻科（仮称）開設時期の前倒し及び保健師コース廃止に伴う看護学部カリキュラムの変更承認申請について (3) 休暇申請・在宅勤務申請のシステム導入について
第8回	10月5日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 公益通報規程の改正について (3) 育児休業規程の改正について



回数	開催日	議題
第9回	11月2日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 学外ユーザの情報システム一時利用に関する内規の制定等について
第10回	12月7日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 学位論文審査に親族が関わる場合の取り扱いについて
第11回	1月12日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 学位論文審査に親族が関わる場合の取り扱いについて
第12回	2月1日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 成績の標語に対する基準について（両学部・助産学専攻科） (3) 第四期中期計画にかかる新規レベルアップ事業（調書）について
第13回	3月1日	(1) 学内会議等実施報告 (2) 事務局職員の定年引上げに係る諸規定の改正 (3) 個人情報取扱事務規程の改正 (4) 契約職員の給与引き上げ (5) 公印規則の改正 (6) 情報セキュリティポリシー等の改正について (7) 第四期中期計画にかかる新規レベルアップ事業（調書）について（2次） (8) 2023年度計画（案）について (9) 自己点検・評価結果について (10) 令和7年度以降入学者選抜試験（デザイン学部・看護学部）の変更について (11) 令和6年度以降入学者 看護学部学校推薦型選抜試験の変更 (12) 研究科博士後期課程早期修了制度の新設及び大学院学則の改正について (13) 成績の標語に対する基準について（デザイン研究科・看護学研究科） (14) 自己点検及び評価に関する規則の改正

## 6 企画室

企画室は、全学ポリシーの策定に関すること、教育改革に関することについて企画・立案し、経営会議へ提案する組織である。2022年度の会議の開催数は7回であった。

主な活動として、DNAタスクフォースを設置し、大学の魅力向上のための意見収集を行った。

## 7 広報室

広報室は、主に広報戦略の推進に関する事項等を所管している。2022年度の会議の開催数は11回であった。2022年度の広報の指針として、「表情が見える広報」をテーマとして広報展開に取り組んだ。

主な活動として、2022年度版大学案内パンフレットの発行及び2023年度版大学案内パンフレットの検討・制作のほか、大学公式ウェブサイトの管理・更新、リニューアルを行った。リニューアルしたウェブサイトは2023年3月31日に公開した。また、北海道新聞への広告掲載や、学生広報委員会が制作したSCUZINEのセイコーマート配架などを行った。

## 8 教授会

### 1) デザイン学部教授会

デザイン学部教授会は、2022年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他学部の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

また、教授会終了後には、毎回、各学内委員会及び学部委員会からの報告を行う教員会議を開催した。



## 2) 看護学部教授会

看護学部教授会は、2022年度に臨時教授会3回を含む15回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、進級卒業判定及びその他学部の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、助産学専攻科における教育課程の編成、修了判定及びその他専攻科の教育研究に関する事項などについても、幅広く審議を行った。

なお、本教授会において、各学内委員会及び学部委員会からの報告も行った。

## 3) デザイン研究科教授会

デザイン研究科教授会は、2022年度に14回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、その他研究科の教育等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。

## 4) 看護学研究科教授会

看護学研究科教授会は、2022年度に臨時教授会4回を含む16回開催し、教育課程の編成、学生の入学・在籍、学生支援、修了判定及びその他研究科の教育研究等に関する事項などについて、幅広く審議を行った。また、各学内委員会等からの報告も行い、必要に応じて看護学研究科科目担当専任教員を構成員とする拡大会議として開催した。

## 9 地域連携研究センター

運営会議（計11回）の開催に加え、地域・産学連携部門、国際交流部門の2セクションに構成員を配置し、公開講座、地域貢献事業、産学連携事業、国際交流活動、知的財産管理、研究活動推進に関する活動、まこまないキャンパスに係わる事業を実施した。主な活動内容は以下のとおりである。

### <公開講座>

大学が持つ知的資源をデザイン・看護の視点に基づき地域に還元し、地域の産業、まちづくり、保健・医療・福祉等への貢献をすることを目的として、公開講座を開催した。専門職業人や市民を対象とした20コース44コマの講座を、延べ1,025名が受講した。また、ちえりあとの連携講座として延べ20名が受講した。さらに、今年度も北海道立総合研究機構との共催講座「知活（ちいき）ゼミナール」を開催。YouTubeで配信し、延べ991名が視聴した。

### <地域・産学連携>

地域からの協力要請に対して、教員・学生が教育・研究の成果を地域に還元するため、地域連携活動への協力を行った。また、教員の研究成果を学外に周知し産学官金連携のきっかけを探るために、「ビジネスEXPO」等の展示会へ出展したほか、SCU産学官金研究交流会を開催するなど、COVID-19の影響を受けながらも、更なるネットワークづくりを図った。

### <国際交流>

国際化に関する基本方針および行動計画に基づき、提携校との交流を推進することを計画していたが、COVID-19の影響により、予定していた交流プログラムを中止または延期し、オンライン国際交流プログラムを行った。また、COVID-19以降初めて、海外の大学と国際共同ワークショップを行い、学生と教員を派遣したほか、学生に広く国際交流の機会を提供するため、英語圏の大学の学生とのオンライン留学体験や、オンラインセミナーを行った。

### 「学生の国際化」

2021年度に引き続き、台中科技大学とオンライン国際交流プログラムを実施し、看護学部学生12名ならびに教職員3名が参加した。

提携校ではないが、オーストラリアのグリフィス大学やクイーンズランド大学とオンライン留学体験を計3回実施し、医学専攻学生や看護学部学生ならびに人文社会学部学生と、デザイン学部学生延べ6名ならびに看護学部学生延べ5名との交流を行った。





提携校ではないが、フィンランドのトゥルク大学と国際共同ワークショップを開催し、参加のため、デザイン研究科大学院生及びデザイン学部学生4名ならびに教員1名を派遣した。

新たに設けたセミナー型プログラムでは、2021年度に引き続き、経済連携協定で来札したインドネシア人看護師とのオンライン交流会を実施し、看護学部学生5名ならびに教員7名が参加した。また、医療通訳者から見た外国人患者支援に関するオンラインセミナーを実施し、看護学部学生5名ならびに教職員7名が参加した。

#### 「教職員の国際化」

学術奨励研究において、教員の国際学会・国際展示会への発表に関わる補助制度、国際学会誌への投稿を促進する補助制度を実施した。

華梵大学から、アーティスト インレジデンスの招へいがあり、デザイン学部教員1名を1ヶ月間派遣した。

#### 「提携校との交流の活性化」

台中科技大学との学生交流協定に基づき、特別聴講生1名を引き続き受け入れた。

#### 「海外とのネットワーク化」

フィンランド・トゥルク大学やオーストラリアの大学等との新たな交流を検討した。

#### <知的財産>

学内の知的財産に係わる管理・運営を行った。特許出願1件を行ったほか、イノベーションジャパンへの知的財産シーズ出展などの活動を行った。また、「北海道地域大学等知的財産部門連絡会議」(1回)に参加し、知的財産戦略に関する情報交換等を行った。

#### <研究推進>

地域や産業界等から依頼された受託研究9件、共同研究13件、寄附金2件の受入れを行ったほか、前年度に改善した学内競争的研究費(学術奨励研究費・共同研究費・田村ICT基金)制度を実施した。また、両学部の教員の交流を図るため研究交流会を企画・実施した。

## 10 AITセンター

AITセンターでは、AIやIT(情報技術)を活用し、地域の課題解決や行政の効率化を目指している。

2022年度の主な活動として、受託研究1件・共同研究8件を受け入れ研究に取り組んだ他、公開講座や学長講演の開講、ビジネスイベントにおける研究シーズの紹介、公式ウェブサイトにおいて札幌市中心部の人流データの定期配信等を行った。

## 11 附属図書館

2022年度は全10回運営会議を開催し、附属図書館の運営に係る事項について協議を行った。主な協議内容は、図書館サービス、図書館予算、データベース・電子ジャーナル・購読雑誌の契約検討、除却、等であった。

SCUジャーナル編集ワーキングでは、研究論文集「SCU Journal of Design & Nursing 第16巻」を2022年9月に発行した。また、第17巻発行に向けて、投稿論文の査読を開始した。



## 12 アドミッションセンター

アドミッションセンターは、2022年度に11回の会議を開催し、新型コロナウイルス感染症対応の検討、前年度の入試結果の分析、高校訪問・進学相談会の実施計画の策定、入試区分ごとの学生募集要項・選抜試験実施要領に関する審議、入学者選抜試験に係る現状分析を行った。

また、学生募集に係る具体的な取組として、オープンキャンパス、大学・大学院等説明会及び高校訪問等を企画・実施した。

## 13 教育支援プロジェクトセンター

教育支援プロジェクトセンターは、文部科学省の補助事業や公的機関が実施する事業に関するプロジェクト等を所管しており、「サードレベル部門」「看護コンソーシアム部門」を設け、各部門において活動を行った。

## 14 情報基盤センター

情報基盤センターの2022年度は11回の会議を行い、情報セキュリティポリシーの啓発活動として、情報セキュリティに関するFD研修会の実施及び情報セキュリティに関する自己点検を行った。その他の活動としては、各種システムの見直し・更新、教職員への情報システムに関する情報提供を行った。

また、第四期中期計画策定に向けて、DXに関するワーキンググループを設置し、教職員、学生から情報システムに関する要望を取りまとめ、第四期中期計画案へ反映した。

## 15 学内委員会

### 1) 自己点検・評価委員会

自己点検・評価委員会は、主に認証評価や年度計画の進捗管理に関する事項等を所管しており、2022年度は19回開催した。

2022年度の主な活動として、認証評価に係る点検評価ポートフォリオ（案）や2021年度計画と第三期中期目標期間の終了時に見込まれる業務の実績報告書（案）の作成を行ったほか、2022年度計画について半期の取組状況の進捗管理を行った。

### 2) 教員評価委員会

2022年度は委員会を5回開催した。各教員から提出された教員活動実績申告書の確認作業や教員評価書の作成作業を行うとともに、次年度に向けた記入要領及び申告書様式等の検証を行った。評価結果については、2022年度末に任期満了を迎える教員の再任審査の資料として活用した。

### 3) 総務委員会

2022年度は委員会を11回（メール会議3回を含む）開催した。昨年に引き続き、学内の防災訓練、夏季及び冬季の節電対策を実施した。

また、学生を対象とした安否確認訓練、2022年度卒業式・修了式、2023年度入学式等の検討を行い実施した。

### 4) FD委員会

FD委員会は、2022年度に5回開催し、教員の資質向上、FDに関する情報の共有化・情報収集のため、他部署からの企画も含め学内研修会の開催及び学外研修会への教員派遣等を行ったほか、授業評価アンケートの集計結果に対する教員所見のとりまとめを行った。



## 5) 倫理委員会

倫理委員会では、申請された研究計画の倫理的配慮が充分であるか否かについて、人権擁護の観点に基づき審査を行っている。

2022年度は、原則、毎月第4水曜日に委員会を開催した（計12回開催）。

2012年度から始めた審査方法として、審査資料の事前確認を行い、申請者へ委員のコメントを送付し、最終版の申請書及び資料の提出を委員会開催までに求めている。この審査方法の採用により、審査時間の短縮化、審査申請から研究開始までの迅速化を図っていたが、更に迅速審査を含めて効率化ならびに迅速化を図るため、2020年度から新様式、新審査フローを導入した。

年間の審査申請総数は49件であったが4件の申請取下げならびに差戻しがあり、最終的に承認したのは45件であり、1回当たり平均3.75件の審査を実施した。

審査結果は「承認」、「条件付承認」、「再提出」、「不承認」、「非該当」のいずれかで判定した。

審査の社会的透明性及び客観性を担保すると同時に、申請者や委員に係るリスク管理の保全のため、2011年度から継続して弁護士1名に外部委員として委嘱し、委員会を組織している。

2014年12月告示の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省）に基づき、2015年度から人を対象に介入・侵襲を伴う医学系研究の倫理審査を扱う特別審査部門を設置した。この指針において、倫理審査委員会の成立要件として、構成員は「倫理審査委員会の設置者の所属機関に所属しない者が複数含まれていること」とされていることから、この特別審査部門の外部委員として、前述の弁護士に加え、医師1名を追加で委嘱した（2022年度は、特別審査部門の開催は0回）。

## 6) 利益相反委員会

利益相反委員会は、産学官連携活動において大学と教職員等が利益相反の疑いを持たれることを防ぎ、大学の社会的信頼の維持を目的として、2016年度に設置された。

## 7) 教務・学生連絡会議

教務・学生連絡会議は、2022年度に9回開催し、学際教育、デザイン・看護両学部の連携教育に関する事項及び学生生活、課外活動支援に関する事項等について審議した。

具体的には、学事暦、時間割、シラバス、定期試験及び授業評価アンケートに関する事、また、奨学金、大学祭、チューター制度に関する事等について審議した。また、両学部の教務委員会及び学生支援委員会から教務及び学生支援に関する課題を報告し、両学部の情報を共有した。特に、新型コロナウイルス感染症への対応に関しては両キャンパスの情報共有の場になったとともに、授業実施方針や課外活動に関する方針などの原案を作成し各教授会に諮った。

## 8) 研究科教務・学生連絡会議

研究科教務・学生連絡会議は、2022年度に8回開催し、デザイン・看護学両研究科の連携教育に関する事項、研究科連携科目に関する事項、学位論文審査に係る事項、院生研究支援費に関する事項及び学生生活に関する事項等について審議した。



## 16 構成員名簿 (2022年4月18日時点)

区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	経営会議	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長
	部局長会議	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 石井 雅博 高橋 尚人 川村 三希子 大淵 一博 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 地域連携研究センター長 AITセンター長 附属図書館長 情報基盤センター長 事務局長
	企画室	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	広報室	◎若林 尚樹 荒木 奈緒 横溝 賢 金子 晋也 大島 卓 原井 美佳 伊東 健太郎 武富 貴久子 小野 聡	デザイン学部教授 助産学専攻科長 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 事務局長
	人事委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 高橋 尚人 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 AITセンター長 事務局長
	キャンパス・ハラスメント防止委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 小野 聡	学長 副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 事務局長
	利益相反委員会	◎中島 秀之 松浦 和代 小野 聡	理事長 副学長 兼 看護学部長 事務局長



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
	地域連携研究センター	◎石井 雅博 山田 良 卯野木 健 小田 和美 武田 亘明 張 浦華 並木 翔太郎 檜山 明子 石田 勝也 福田 大年 松永 康佑 岡 園代 黒田 紀子 田仲 里江 矢野 祐美子 加藤 秀樹	地域連携研究センター長 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部講師 看護学部講師 看護学部講師 看護学部助教 看護学部講師 事務局地域連携課長
	図書館	◎川村 三希子 松井 美穂 片山 めぐみ 金 秀敬 加藤 依子 藤井 瑞恵 松永 康佑 栗原 知己 加藤 秀樹	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部准教授 デザイン学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長
	教育支援プロジェクトセンター	◎松浦 和代 佐藤 ひとみ 樋之津 淳子 成澤 元宏	副学長 兼 看護学部長 看護学部教授 看護学部教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	アドミッションセンター	◎松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 柿山 浩一郎 藤木 淳 喜多 歳子 横溝 賢 金子 晋也 丸山 洋平 菅原 美樹 工藤 京子 山本 真由美 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長



区分	委員会等	委員・構成員		
		教職員名	所属・職位等	
	情報基盤センター	佐藤 ひとみ 本田 光 ◎大淵 一博 吉田 彩乃 伊関 洋	看護学部教授 看護学部准教授 情報基盤センター長 デザイン学部助教 総務課長	
学内委員会	常置委員会	自己点検・評価委員会	松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 ◎石井 雅博 菊地 ひろみ 川村 三希子 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 地域連携研究センター長 看護学研究科長 附属図書館長 事務局長
		教員評価委員会	◎松浦 和代 椎野 亜紀夫 齊藤 雅也 菊地 ひろみ 高橋 尚人 樋之津 淳子 小野 聡	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン研究科長 看護学研究科長 AITセンター長 看護学部教授 事務局長
		総務委員会	若林 尚樹 武田 亘明 佐藤 ひとみ 大淵 一博 村松 真澄 石引 かずみ ◎小野 聡	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 看護学部教授 情報基盤センター長 看護学部准教授 看護学部講師 事務局長
		FD委員会	◎細谷 多聞 小宮 加容子 張 浦華 貝谷 敏子 定廣 和香子 鬼塚 美玲 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 看護学部教授 看護学部教授 看護学部講師 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
		倫理委員会	◎川村 三希子 細谷 多聞 森 朋子 矢久保 空遥 高橋 奈美 三戸部 純子 市戸 優人 加藤 秀樹	附属図書館長 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部助教 看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教 事務局地域連携課長
		看護学部卒業研究部会	原井 美佳 武富 貴久子 平山 憲吾	看護学部准教授 看護学部講師 看護学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
連絡調整会議	学部間 教務・学生連絡会議	松浦 和代 ◎椎野 亜紀夫 柿山 浩一郎 藤木 淳 松井 美穂 貝谷 敏子 喜多 歳子 福原 啓祐 布廣 成規	副学長 兼 看護学部長 デザイン学部長 デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部教授 看護学部教授 看護学部教授 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
	研究科間 研究科教務・学生連絡会議	齊藤 雅也 ◎菊地 ひろみ 三谷 篤史 荒木 奈緒 福原 啓祐 布廣 成規	デザイン研究科長 看護学研究科長 デザイン学部教授 助産学専攻科長 事務局学生課長 事務局桑園担当課長
衛生委員会	芸術の森事業所衛生委員会	森 朋子 ◎成澤 元宏 安藤 貴之 山田 しおり	デザイン学部准教授 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 事務局総務課庶務係員 事務局総務課庶務係員
	桑園事業所衛生委員会	三戸部 純子 近藤 圭子 ◎成澤 元宏 松本 佳代	看護学部講師 看護学部助教 事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長 桑園事務室学生支援係員
学部委員会	デザイン学部 教務委員会	◎藤木 淳 小林 重人 金 秀敬 並木 翔太郎 森 朋子 大淵 一博 須之内 元洋 矢久保 空遥	デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 情報基盤センター長 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	デザイン学部 学生支援委員会	◎柿山 浩一郎 松井 美穂 小宮 加容子 張 浦華 石田 勝也 福田 大年 坪内 健	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部講師 デザイン学部助教
	デザイン学部 キャリア支援委員会	◎西川 忠 若林 尚樹 片山 めぐみ 山田 信博 松永 康佑 吉田 彩乃	デザイン学部教授 デザイン学部教授 デザイン学部准教授 デザイン学部准教授 デザイン学部講師 デザイン学部助教



区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
学部委員会	看護学部	教務委員会	◎貝谷 敏子 看護学部教授 加藤 依子 看護学部准教授 菅原 美樹 看護学部准教授 原井 美佳 看護学部准教授 本田 光 看護学部准教授 伊東 健太郎 看護学部講師 岡 園代 看護学部講師 工藤 京子 看護学部講師 黒田 紀子 看護学部講師 武富 貴久子 看護学部講師 矢野 祐美子 看護学部講師 齋 若奈 看護学部助教 坂本 結城 看護学部助教 平山 憲吾 看護学部助教 高橋 葉子 看護学部助手
		学生支援委員会	◎喜多 歳子 看護学部教授 藤井 瑞恵 看護学部准教授 村松 真澄 看護学部准教授 守村 洋 看護学部准教授 石引 かずみ 看護学部講師 鬼塚 美玲 看護学部講師 牧田 靖子 看護学部講師 市戸 優人 看護学部助教 久保田 祥子 看護学部助教 吉田 実和 看護学部助教 山出 誓子 看護学部特任講師
		キャリア支援委員会	◎樋之津 淳子 看護学部教授 小田 和美 看護学部教授 檜山 明子 看護学部准教授 山本 真由美 看護学部講師 大友 舞 看護学部助教 栗原 知己 看護学部助教 田仲 里江 看護学部助教 渋谷 友紀 看護学部助教 中田 亜由美 看護学部助教





区分	委員会等	委員・構成員	
		教職員名	所属・職位等
研究科委員会	デザイン研究科 教務・学生支援委員会	安 齋 利典	デザイン学部教授
		◎三谷 篤史	デザイン学部教授
	研究科倫理審査会	大島 卓	デザイン学部准教授
		森 朋子	デザイン学部准教授
看護学研究科	教務・学生支援委員会	山田 信博	デザイン学部准教授
		横溝 賢	デザイン学部准教授
	研究科倫理審査会	◎安 齋 利典	デザイン学部教授
		小宮 加容子	デザイン学部准教授
看護学研究科	教務・学生支援委員会	丸山 洋平	デザイン学部准教授
		成澤 元宏	事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長
	研究科倫理審査会	◎荒木 奈緒	助産学専攻科長
		定廣 和香子	看護学部教授
看護学研究科	教務・学生支援委員会	原井 美佳	看護学部准教授
		守村 洋	看護学部准教授
	研究科倫理審査会	◎喜多 歳子	看護学部教授
		高橋 奈美	看護学部准教授
看護学研究科	教務・学生支援委員会	藤井 瑞恵	看護学部准教授
		成澤 元宏	事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長

◎印：所管部局長等

## 17 FD・SD活動

### FD活動 年間活動概要（学内研修会）

（単位：名）

全学FD	研修会名	参加者数
6月29日	点検評価ポートフォリオの作成を通じた自己点検・評価	62
7月6日	SCU将来計画2022	87
7月20日	本学の情報セキュリティポリシーについて	104
8月23日	2022年度札幌市立大学研究交流会	72
9月15日	私たちはどう学んでいるのか	36
9月21日	いつもと違うと感じた学生への対応	72
2月28日	“倫理的”に研究を遂行するとは～倫理指針・ガイダンスの改正ポイントの理解～	57
3月6日	学生をマインド・コントロールから守るために	53
3月6日	2022年度 DX_WG年次報告について	62
3月15日	新WEBサイトの方針と教職員による情報発信の方法について	70



(単位：名)

デザイン学部・ 研究科FD	研修会名	参加者数
9月21日	デザイン総合実習における学びの設計と現状	36
12月21日	札幌市立大学デザイン学部における大学教職員としての学生相談・サポートの 範囲～デザイン学部のメンター制度改革に向けて～	51
2月28日	発達障害の基礎と学習支援について	33

(単位：名)

看護学部・ 研究科FD	研修会名	参加者数
9月21日	模擬患者参加型演習・OSCEにおける教員の役割	45
1月31日	リアリティのある演技とお互いに成長できるフィードバックとは	51
3月14日	精神疾患を有する事例（シナリオ）の理解	27



## SD活動 年間活動概要

(単位：名)

日付	研修名	形態	受講者数
通年	障害者差別解消法に関する研修	札幌市立大学	101
2022年4月1日	新採用向けシステム説明会	札幌市立大学	5
4月12日	採用者レク（経営企画、桑園）	札幌市立大学	1
4月13日	採用者レク（学生、地域連携）	札幌市立大学	1
4月14日	採用者レク（総務）	札幌市立大学	1
5月10日	公立大学に関する基礎研修	学外	4
5月20日	令和4年度公立大学の研究活動促進に資するための勉強会	学外	2
5月26日	公立大学の研究活動促進に資するための研修会（第1回）	学外	2
5月29日	2022年度新人・若手層職員向けオンラインワークショップ	学外	1
6月11日	教務系職員初任者向け講習会	学外	2
6月15日	公立大学の研究活動促進に資するための研修会（第2回）	学外	2
6月24日	公立大学法人における個人情報保護法改正に伴う実務者勉強会	学外	2
7月6日	SCU将来計画2022	札幌市立大学	20
7月7日	アドバンスセミナー「研究設備・機器の共用推進に向けたガイドラインに係る説明会」	学外	2
7月13日	公立大学の研究活動促進に資するための研修会（第3回）	学外	2
7月15日	教学マネジメントに関するセミナー	学外	1
7月20日	本学の情報セキュリティポリシーについて	札幌市立大学	66
7月25日	リスク意識向上講座	学外	1
7月27日	アドバンスセミナー（第2回）～海外からの研究者招聘編～	学外	1
8月2日	バワハラを恐れない部下育成方法	学外	1
8月17日	分かりやすい説明の仕方研修	学外	1
8月20日	公立大学職員セミナー	学外	1
8月25日	押さえておきたい『インボイス制度』の勘所	学外	1
8月26日	ロジカルシンキング研修	学外	2
9月6日	ビジネス文書研修	学外	1
9月13日	経理担当者研修（基礎編）	学外	1
9月16日	令和4年度公立大学法人会計セミナー	学外	4
9月21日	いつもと違うと感じた学生の対応について	札幌市立大学	15
10月11日	Tutorial English	学外	1
10月13日	交渉力向上研修～ネゴシエーションスキルを上達させる	学外	1
10月22日	教務系事務部門リーダー講習会	学外	1
11月9日	ビジネス文書研修	学外	1
11月14日	入札談合防止に関する調達担当者研修会	学外	1
11月25日	ロジカルシンキングセミナー	学外	2



## Ⅸ 資料

### 1 2022年度計画

#### I 教育に関する目標を達成するための措置

##### 1 専門職業人の育成に関する目標を達成するための措置

###### 項目番号1

- 両学部<sup>1</sup>の学生が協働して地域課題に取り組み、それぞれの専門性を理解しながら異分野連携に必要な基礎的知識・技術・態度を習得する2年次前期開講科目「学部連携基礎論」、その基礎を踏まえて課題解決プロセスを習得する3年次後期開講科目「学部連携演習」等の地域志向科目を、シラバスに基づき着実に実施する。

- 「学部連携演習」の成果について、卒業時の教育評価アンケートを基に経年的な検証を行う。

[指標] 卒業時に地域の課題発見、解決提案する能力が身に付いたと認識した学生の割合：65%

###### 項目番号2

- 学際教育科目の外国語科目により基礎的な外国語力を養う。特に英語については新入生に対するTOEIC<sup>1</sup>試験を実施する。

- 既存の科目において、国際的な共通性と多様性への理解を深めるための内容を充実する。

[指標] TOEIC受験率（1年次）：100%

[指標] 卒業時に国際的な文化の理解を深めたと認識した学生の割合：60%

###### 項目番号3

- 〔デザイン学部〕カリキュラムを着実に運用するとともに、特に3年次前期開講科目「デザイン総合実習Ⅲ」において専門コース間による連携授業を実施し、互いの専門性を客観的に理解させるとともに、専門職業人としてのデザイン、コミュニケーション等の実践能力を養う。

[指標] 卒業時に社会で活用できるデザイン、コミュニケーション等の実践能力向上を認識した学生の割合：60%

###### 項目番号4 【重点取組項目】

- 〔デザイン学部〕3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」において企業や外部機関と連携した授業を実施し、専門職業人として地域や仕事の現場で活躍できる実践能力を養う。

[指標] 専門科目における企業等連携課題の実施：2件

###### 項目番号5 【重点取組項目】

- 〔看護学部・助産学専攻科〕OSCE<sup>2</sup>やシミュレーターを用いた実践型教育を効果的に実施し、看護実践能力及び助産実践能力の向上を図る。

[指標] 〔看護学部〕卒業時の看護実践能力の達成度：3.75（5段階自己評価）

[指標] 〔助産学専攻科〕修了時の助産実践能力の到達度：3.25（5段階自己評価）

###### 項目番号6

- 〔看護学部〕道内の保健医療機関との関係構築を通じて、臨地教員<sup>3</sup>が関わる授業を積極的に行い、実際の臨床現場の理解を促す。

[指標] 専門科目における臨地教員の活用：29科目

###### 項目番号7

- 〔大学院博士前期課程〕実践的な演習・実習に加えて、研究指導教員による専門的な研究指導を行い、地域や仕事の現場を先導できる課題解決能力やマネジメント能力等を養う。

[指標] 〔デザイン研究科〕修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：80%（5段階自己評価）

1 TOEIC (Test of English for International Communication)

国際コミュニケーション英語能力テスト。英語を母語としない者向けの試験で、日本では一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会が実施している。

2 OSCE (Objective Structured Clinical Examination)

客観的臨床能力試験。ペーパーテストによる知識重視の教育ではなく、判断力・技術力・マナーなど実際の現場で必要とされる臨床技能の習得を適正に評価する。

3 臨地教員

医療機関等から招き、実際の現場の実践的能力を教授する現役の看護師・保健師・助産師等



〔指標〕 [看護学研究科] 修了時における在学中の教育に対する総合的満足度（直近3年間平均）：90%（4段階自己評価）

〔項目番号8〕

- ・ [大学院博士後期課程] 1年次の研究計画書の立案・審査、2年次の公開発表会、3年次の学位審査を通して、自立的かつ計画的に研究活動を進める能力を養う。また、研究指導教員による専門的な研究指導に加え、他の教員の助言・指導を通して学生の幅広い視野を養う。

〔指標〕 博士後期課程研究計画書審査：3件

2 学生に対する支援に関する目標を達成するための措置

〔項目番号9〕

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、キャリア教育科目「キャリアデザイン」「インターンシップ」を開講する。また、キャリア支援室において学生個々の進路希望に対応した個別サポートを引き続き行う。
- ・ [看護学部] キャリアガイダンスを開催するとともに、国家試験対策を含めたキャリア支援対策講座を計画的に実施する。また、キャリア支援相談室において学生の要望に応じた進路支援を随時行う。

〔指標〕 [デザイン学部] 就職内定率（直近3年間平均）：93%

〔指標〕 [デザイン学部] キャリアガイダンスの開催：10回

〔指標〕 [看護学部] 就職内定率（直近3年間平均）：97%

〔指標〕 [看護学部] キャリア支援対策講座の開催：8回

〔項目番号10〕

- ・ 授業料減額免除の制度により、家計基準及び成績基準に該当する者に対し、経済的な支援を実施する。
- ・ 2020年4月から運用が開始された修学支援新制度に係る授業料の減額免除を実施する。

〔指標〕 授業料減額免除基準に該当する学生のうち、経済的理由による退学者：なし

〔項目番号11〕

- ・ 「キャンパスの活用等に関するプラン」における年次別整備計画に基づき、芸術の森キャンパスE棟の車いす兼用エレベータを改修する。
- ・ あらゆる差別の解消に向け、障害者や性的指向・性自認等について、教職員や学生に対する啓発・研修等を実施する。

〔指標〕 「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づくバリアフリー<sup>4</sup>工事の計画的な執行

〔指標〕 「障害者差別解消法」及び「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」についての教職員及び学生への周知：1回

〔項目番号12〕

- ・ 学生のメンタルヘルスに対する教職員の理解を深めるため、研修会等を実施する。
- ・ 本学のメンター<sup>5</sup>制度を理解し効果的なメンター活動につなげるため、新任教員に対するガイダンスを実施する。

〔指標〕 学生のメンタルヘルスに関する教職員向け研修の実施：1回

〔指標〕 新任教員に対するメンターガイダンスの実施：1回

〔項目番号13〕

- ・ 留学生の日本語能力の向上を目的として、デザイン研究科の両学期において日本語講座を開講し、受講者アンケート等により効果検証を行う。

〔指標〕 日本語能力の向上に役立ったと認識した留学生の割合：80%

4 バリアフリー

高齢者や障がい者など社会的弱者が、社会生活の上で支障となる物理的・社会的・制度的・心理的など全ての障壁を除去すること。

5 メンター

学生に対して学業上の問題だけではなく生活面においても助言や支援を行う者。一人の教員が学生を個別に担当し、定期的・継続的に対話を行い、気軽に相談できるようにしている。



## II 研究に関する目標を達成するための措置

### 1 特色のある活発な研究の推進に関する目標を達成するための措置

#### 【項目番号14】 【重点取組項目】

- ・ 学内の競争的資金<sup>6</sup>である共同研究費を通じて、デザイン・看護の両分野の連携や外部機関との連携による研究課題に対して重点的に支援する。

[指標] デザインと看護の両分野の連携による研究：6件

#### 【項目番号15】

- ・ 学内の競争的資金である学術奨励研究費や共同研究費において、超高齢社会への対応、地域コミュニティの再生、地域産業の振興など、北海道や札幌などの地域特性・地域課題等に関する研究を推進する。

[指標] 地域特性や地域課題等に関する研究：15件

#### 【項目番号16】

- ・ [デザイン学部] 3年次後期開講科目「デザイン総合実習Ⅳ」等における企業や外部機関と連携した取組から、社会において有用性の高い研究を推進するための課題を抽出する。

[指標] 企業や外部機関との連携による課題研究：1件

### 2 研究機関としての地位の向上に関する目標を達成するための措置

#### 【項目番号17】

- ・ e-Rad（府省共通研究開発管理システム）を中心とした様々な外部資金の募集情報を定期的に周知する。
- ・ 科学研究費助成事業<sup>7</sup>への効果的な申請支援策を展開し、申請を積極的に行う。

[指標] 教員向け情報提供：3回

[指標] 科学研究費助成事業への新規申請：対象教員<sup>8</sup>の87%

#### 【項目番号18】

- ・ 学術奨励研究費の「国際学会・国際展示会等発表者補助」「学術論文掲載料等補助」を運用し、教員の研究成果について国内外へ積極的に発表する。

[指標] 国際学会・国際展示における研究成果の発表：11件

## III 地域貢献に関する目標を達成するための措置

### 1 地域産業及び地域医療への貢献に関する目標を達成するための措置

#### 【項目番号19】 【重点取組項目】

- ・ 産業界及び保健・医療・福祉業界等とのネットワークや展示会への出展などを通じて、地域産学連携協力依頼<sup>9</sup>の制度を周知するとともに、外部機関との契約支援や研究成果の知財化支援<sup>10</sup>等の体制を充実し、産学連携活動の増進を図る。

[指標] 産業界及び保健・医療・福祉業界等からの地域産学連携協力依頼の受諾：8件

#### 【項目番号20】

- ・ [デザイン学部] キャリアガイダンス・キャリア教育科目「キャリアデザイン」における講座や学内企業セミナーにおいて、北海道・札幌市内の企業担当者や卒業生を招き、企業を知る機会を設ける。また求人紹介や個別相談等を通して、当該企業の情報を提供する。

- ・ [デザイン学部] キャリア教育科目「インターンシップ」において、北海道・札幌市内の企業等へ学生を派遣する。

#### 6 競争的資金

研究課題を公募の上、複数の者による客観的かつ厳正な審査を経て優れた課題を採択し、研究者に配分する研究資金

#### 7 科学研究費助成事業

文部科学省及び独立行政法人日本学術振興会が実施する助成事業。全ての分野にわたり基礎から応用までのあらゆる学術研究を段階に発展させることを目的に競争的資金を助成する。

#### 8 対象教員

休職者や定年退職予定者等を除いた科学研究費補助事業に応募資格のある専任教員。なお、第三期中期計画期間の最終年度である2023年度までに、在籍した教員総数の90%の申請を目指す予定である。

#### 9 地域産学連携協力依頼

地域や企業等が研究や地域貢献活動等について本学に協力を求める依頼

#### 10 知財化支援

特許権や商標権など知的財産の権利化に向けて行う支援



- ・ [看護学部] 道内の医療機関や市町村（保健師）の採用担当者、当該医療機関等に勤める卒業生が参加するキャリア説明会を開催し、直接情報を得られる機会を提供する。
- [指標] [デザイン学部] 専門教育科目「インターンシップ」において道内企業への理解が深まったと認識した学生の割合：60%
- [指標] [看護学部] 就職希望先の道内医療機関等に対する理解が深まったと認識した学生の割合：80%

#### 項目番号21

- ・ 地元企業等の競争力強化や地域の専門職の資質向上等に寄与する公開講座を開催する。
- [指標] 職業人向け公開講座の開催：8件

#### 項目番号22

- ・ [看護学部] 市内の病院等が参加する看護コンソーシアム<sup>11</sup>の会議を定期的に行い、看護職のスキル向上やキャリア形成に関する課題を共有するとともに、連携しながら必要な研修を企画、実施する。
- [指標] 看護コンソーシアムの研修において、スキル向上やキャリアの育成に効果を感じた受講生の割合：80%

### 2 地域社会への貢献に関する目標を達成するための措置

#### 項目番号23

- ・ 市民がより良い生活を送るための新しい知見を獲得できるような生涯学習の機会提供や健康寿命の延伸等をテーマとした市民向け公開講座を開催する。
- ・ 公開講座受講者を対象にアンケートを実施し、講座内容の妥当性を確認する。
- [指標] 公開講座の開催（職業人向けを除く。）：25件
- [指標] 公開講座の受講（職業人向けを除く。）：630人
- [指標] 公開講座の受講者満足度（職業人向けを除く。）：4.5（5段階評価）

#### 項目番号24

- ・ 札幌市の各部局に対して受託研究・共同研究や地域産学連携協力依頼の制度等の活用を周知するとともに、市の課題解決に向けた提案や市の事業・施策の推進に係る依頼をAITセンターなどで積極的に受け入れる。
- [指標] 札幌市からの受託研究・共同研究依頼及び地域産学連携協力依頼の受諾：20件

#### 項目番号25

- ・ 公式ウェブサイトにおける行政との連携事例の公開や、「研究・活動事例集」及び「教員研究紹介」の活用により、道内市町村へ広報活動を行うとともに、道内市町村の振興・活性化に資する地域産学連携協力依頼を積極的に受け入れる。
- [指標] 行政からの地域産学連携協力依頼の受諾：15件

## IV 教育・研究・地域貢献の取組を推進する大学運営に関する目標を達成するための措置

### 1 教育・研究・地域貢献の取組を推進する連携・国際化・情報発信に関する目標を達成するための措置

#### 項目番号26

- ・ サテライトキャンパスの利便性を有効活用し、市民や外部機関、他大学、行政等との連携を促進する。
- [指標] 外部機関や他大学等との連携の場としてのサテライトキャンパスの利用：2,500人

#### 項目番号27

- ・ 同窓会との連携により社会で活躍している卒業生・修了生の講演会等を開催し、卒業生・修了生と在学生在が交流する機会を設け、同窓の絆を深めるとともに在学生の就業意欲向上等を図る。
- [指標] 卒業生・修了生による講演会等の開催：1回
- [指標] 卒業生・修了生による講演会への参加：20人/回

<sup>11</sup> 看護コンソーシアム

本学を拠点として医療機関等と連携し、社会ニーズに対応できる看護システムの構築や看護の質を保証することなどを目指す共同体



#### 項目番号28

- 海外提携校（承德医学院、清華大学美術学院、華梵大学、ラップランド大学、国立台中科技大学、パシフィック・ノースウェスト・カレッジ・オブ・アート）との交流活動を実施するとともに、他の海外校とも連携し、教職員及び学生の国際交流の機会を充実する。

〔指標〕 教職員・学生の派遣と受入：60人

〔指標〕 海外提携校との交流活動：提携校ごと1件

#### 項目番号29

- 本学の特長である「D×N（デザインと看護の連携）」の取組を中心に、公式ウェブサイトやマスメディア等を通じて、受験生や保護者、市民や企業などステークホルダーごとに戦略的かつ効果的な広報活動を展開する。

〔指標〕 公式ウェブサイトへのアクセス：335,000件

〔指標〕 プレスリリースの実施：10回

#### 項目番号30

- デザイン及び看護関連の学術情報を収集し、図書館機能を充実させる。
- 学生向けの文献検索ガイダンスを実施し、修学・研究の円滑な遂行を支援する。
- 機関リポジトリ<sup>12</sup>を活用して、紀要や博士論文など、教員や学生の研究成果を学外に公表する。

〔指標〕 書籍、資料の購入：2,000冊

〔指標〕 文献検索ガイダンスの受講：延べ250人

〔指標〕 機関リポジトリによる研究論文等の公表：11件

#### 項目番号31

- 本学の活動内容について高校生や保護者の理解を深めるため、オープンキャンパス<sup>13</sup>の開催、進学相談会及び出前授業等への参加など多様な機会を設けるとともに、高校教員を対象とする大学説明会を開催する。また、前年度までの出願状況、入学後の成績及び入学者アンケート等の結果を分析し、必要に応じて各種広報活動の内容や参加に係る見直しを行う。

〔指標〕 オープンキャンパスの開催：各キャンパス2回

〔指標〕 オープンキャンパスにおいて本学への理解が深まったと回答した参加者の割合：70%

〔指標〕 進学相談会及び出前授業等への参加：50件

〔指標〕 高校教員説明会の開催：各キャンパス1回

## 2 大学運営の改善・効率化に関する目標を達成するための措置

#### 項目番号32 【重点取組項目】

- 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。
- 事務局において、定例業務の更なる見直しや改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。
- 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランス<sup>14</sup>の向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教職員に対しては、機会をとらえて休暇取得を促す。

〔指標〕 学内委員会等が開催する各種会議：400回以下

〔指標〕 全教職員の有給休暇取得率：40%

#### 項目番号33

- 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。

〔指標〕 定員計画及び「本学が求める教員像」に基づく教員の採用

#### 12 機関リポジトリ

研究成果の論文など、大学・研究機関とその構成員による知的生産物を電子的な形態で保存・管理し、原則的に無償で公開・発信するために構築されたインターネット上のシステム

#### 13 オープンキャンパス

大学が施設内を公開し、特に入学を希望する者や考慮している者に対して大学への理解・関心を深めてもらうことを目的に開催する入学促進イベント

#### 14 ワーク・ライフ・バランス

仕事と生活の調和。やりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活等においても多様な生き方が選択・実現できること。





項目番号34

- 適切に教員評価を実施するとともに、評価項目や配点などの検証及び評価結果の活用など、制度及び運用の見直しや改善を行う。

[指標] 教員評価項目や配点の検証・見直し：1回

項目番号35

- 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD<sup>15</sup>研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。

[指標] 教育改善に資するFD研修の実施：7回

[指標] 教育改善に資するFD研修の受講：延べ200人

項目番号36

- 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。
- 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。

[指標] 職員を対象としたSD<sup>16</sup>研修への派遣・参加：15回

[指標] 職員を対象としたSD研修の受講：延べ100人

[指標] SD研修報告会の実施：1回

3 自己点検・評価の実施・公表に関する目標を達成するための措置

項目番号37

- 2021年度及び第三期中期目標期間終了時に見込まれる業務実績や2022年度計画の進捗状況について、PDCAサイクル<sup>17</sup>による自己点検・評価を適切に実施するとともに、札幌市地方独立行政法人評価委員会や認証評価<sup>18</sup>機関等の評価結果を踏まえ、随時改善を図り、その結果を公式ウェブサイト等により公表する。

- 2023年度の認証評価受審に向け、一般社団法人大学教育質保証・評価センターが定める点検評価ポートフォリオの作成を通じた自己点検・評価を実施し、認証評価の受審申請を行う。

[指標] 年度計画に係る自己点検・評価の実施：半期ごと

[指標] 認証評価受審申請：11月

項目番号38

- 2023年度計画の策定に当たり、前年度の実績見込みを参考に可能な限り各項目に適切な成果指標を設定する。

[指標] 年度計画のうち「教育」「研究」「地域貢献」に関する目標の全項目に成果指標を設定

4 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

項目番号39

- 受託研究・共同研究・寄附金による成果事例を公式ウェブサイトで紹介するとともに、産学官のマッチング等を趣旨とした展示会において「研究・活動事例集」や「教員研究紹介」のほか大学グッズを配布するなど、自主財源の充実に向けたPR活動を積極的に行う。

[指標] 受託研究・共同研究の受入：15件

項目番号40

- 戦略的な経費の確保に向け、管理的経費（消耗品費、備品購入費、印刷製本費、光熱水費等）の削減を図る。

- 決算見込みを基に、適正な予算の執行管理を行う。

[指標] 一般管理費の節減額：170万円

15 FD (Faculty Development)

教員を対象に、授業内容・方法を改善し向上させるための組織的な研修等の取組

16 SD (Staff Development)

職員を対象に、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な研修等の取組

17 PDCA サイクル

計画 (plan)、実施 (do)、検証 (check)、改善 (act) のサイクルを確実かつ継続的に繰り返すことにより、レベルアップを図ること。

18 認証評価

学校教育法に基づき、文部科学大臣の認証を受けた評価機関による評価。大学の教育研究等の総合的な状況について、7年以内ごとに受けることが義務付けられている。



5 その他業務運営の適切な遂行に関する目標を達成するための措置

項目番号41

- ・ 保全計画に基づき、芸術の森キャンパスG・H棟ほか受変電・電気設備更新工事、芸術の森キャンパス体育館・図書館・D棟ほか受変電・電気設備更新工事実施設計を適正に実施する。
- ・ 「キャンパスの活用等に関するプラン」における年次別整備計画に基づき、芸術の森キャンパスE棟の車いす兼用エレベータの改修、大学敷地内の通学路・避難経路周辺の防災に係る環境整備を行う。
- ・ 大学内の要修繕箇所のリストに基づき、緊急度や予算の執行状況を踏まえ、順次可能なものから速やかに修繕等を実施する。

[指標] 保全計画及び「キャンパスの活用等に関するプラン」に基づく計画的な執行

項目番号42

- ・ 安全管理の徹底について、研修等の機会を通じて災害や感染症など有事の際の危機管理マニュアル等を周知する。
- ・ 防災訓練の実施を通じて学生や教職員等の防災意識を高め、学生や教職員等の安全を確保する体制の強化を図る。
- ・ 全学的な危機管理体制の検証・見直しを行う。避難経路を確保するために必要な校舎周辺の整備や、対策本部体制等の見直し等、可能なものから検討を進める。

[指標] リスク管理に関する研修の実施：1回

[指標] 防災訓練の実施：2回

項目番号43

- ・ 施設管理支援システム（CAFМ）を活用し施設でのエネルギー使用状況を把握するとともに、学生や教職員へ節電等の意識啓発及び省エネルギー対策に取り組む。
- ・ 芸術の森キャンパスG・H棟ほか受変電・電気設備更新工事に併せて照明設備に省エネ機器を導入する。

[指標] 電気使用量：1,650千kWh以下

[指標] ガス使用量：426千m<sup>3</sup>以下

[指標] 水道使用量：9千m<sup>3</sup>以下

項目番号44

- ・ 個人情報の保護・管理に係る研修を行う。
- ・ 関係法令及び情報セキュリティポリシー等を周知するとともに、遵守状況に関する定期的な点検を実施する。

[指標] 情報セキュリティに関する研修の実施：1回

[指標] 情報セキュリティに関する研修の受講：全教職員

項目番号45

- ・ コンプライアンス<sup>19</sup>に係る研修を行う。
- ・ 教育・研究・地域貢献・大学運営のあらゆる場面において、関係法令及び学内規則等を遵守するよう周知する。

[指標] コンプライアンスに関する研修の実施：1回

[指標] コンプライアンスに関する研修の受講：全教職員

項目番号46

- ・ 新任教員全員及び新規に研究費に関わる業務に着任した職員に対し、研究倫理教育の受講を促す。
- ・ 利益相反<sup>20</sup>に係わる申請に基づき、適切な管理を行う。

[指標] 研究倫理教育の受講：対象者<sup>21</sup>全員

19 コンプライアンス

法令等を遵守することは元より、社会規範に反することなく高い倫理観に基づき務めを果たすこと。

20 利益相反

外部との経済的な利益関係等により、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は、第三者から懸念が表明されかねない事態

21 対象者

新任教員、新規に研究費の執行管理や研究倫理を担当する職員、研究倫理教育受講後5年を経た教員及び担当職員



## 項目番号47

- ・ 入学者選抜試験（2023年度入試）を円滑に実施する。  
〔指標〕 新テストに対応した入学者選抜試験の円滑な実施

V 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画  
別紙参照

## VI 短期借入金の限度額

- 1 短期借入金の限度額  
2億円
- 2 想定される理由  
運営費交付金の受入遅延及び事故の発生等により、緊急に必要となる対策費として借り入れることが想定される。

VII 重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画  
なし。

## VIII 剰余金の使途

決算において地方独立行政法人法第40条第1項に規定する残余が発生した場合、教育研究の質の向上及び組織運営の改善その他札幌市が大学の運営上必要と認めた経費に充てる。

## IX 施設及び設備に関する計画

- 1 施設整備
  - ・ 芸術の森キャンパスG・H棟ほか受変電・電気設備更新工事  
予算額：155,679千円
  - ・ 芸術の森キャンパス体育館・図書館・D棟ほか受変電・電気設備更新工事实施設計  
予算額：5,151千円
- 2 キャンパスの活用等に関するプラン
  - ・ 芸術の森キャンパスE棟エレベータ改修工事  
予算額：25,000千円
  - ・ 敷地内通学路、避難経路周辺の整備（芸術の森・桑園キャンパス）  
予算額：6,600千円

（注）金額については見込みであり、上記のほか、業務の実施状況に応じた施設・設備の改善や、老朽度合いに応じた改修等を追加することもあり得る。

## X 人事に関する計画

- 1 教職員の採用
  - ・ 教員の定員計画及び「本学が求める教員像」に基づき、退職者の補充など適切な教員採用を行う。（再掲）
  - ・ 職員については、定年退職等の時期に基づき、計画的な採用を行う。
- 2 教職員の育成
  - ・ 教育内容の充実や教員の資質向上を図るため、FD研修会を実施するとともに、学外で開催される研修会の情報を適切に提供する。（再掲）
  - ・ 職員が多彩な研修を受講できるよう研修機会を充実し、職員の能力向上を図る。（再掲）
  - ・ 適切な人事異動を実施し、大学運営に求められる様々な知識・経験の蓄積を図る。（再掲）
- 3 ワーク・ライフ・バランスの向上
  - ・ 学内委員会等による定例的な各種会議の開催回数を見直し、運営効率化を図る。（再掲）
  - ・ 事務局において、定例業務の更なる見直し・改善により効率化を図るなど、職員の超過勤務時間の縮減に取り組む。（再掲）
  - ・ 全教職員に対して有給休暇の取得を啓発し、ワーク・ライフ・バランスの向上に取り組む。特に休暇取得率が低い教職員に対しては、機会をとらえて休暇取得を促す。（再掲）



別紙 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

1. 予算 (単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	1,503
施設整備費補助金	161
授業料等収入	422
受託研究等収入及び寄附金収入	23
その他収入	26
目的積立金取崩	190
計	2,325
支出	
教育研究経費	456
受託研究等経費及び寄附金事業費等	23
人件費	1,343
一般管理費	342
施設整備費	161
計	2,325



## 2. 収支計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	
経常費用	2,294
教育研究経費	503
受託研究等費	19
人件費	1,343
一般管理費	313
財務費用	2
減価償却費	114
収益の部	
経常収益	2,104
運営費交付金収益	1,523
授業料等収益	487
受託研究等収益	19
寄付金収益	4
資産見返運営費交付金戻入	38
資産見返寄附金戻入	2
資産見返物品受贈額戻入	5
資産見返補助金戻入	0
雑益	26
その他収益	26
純利益（純損失）	△ 190
目的積立金取崩益	190
総利益（総損失）	0

## 3. 資金計画 (単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	2,447
業務活動による支出	2,074
投資活動による支出	181
財務活動による支出	70
翌年度への繰越金	122
資金収入	2,447
業務活動による収入	1,974
運営費交付金による収入	1,503
授業料及び入学金検定料による収入	422
受託研究等による収入	19
寄付金による収入	4
その他収入	26
投資活動による収入	161
施設費による収入	161
前年度よりの繰越金	312



## 2 2022年度 決算報告書

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	1,503	1,503	-	
施設整備費補助金	161	157	△ 4	
授業料等収入	422	438	16	(注1)
受託研究等収入及び寄附金収入	23	18	△ 5	
補助金収入	-	1	1	
その他収入	26	23	△ 3	
目的積立金取崩	190	190	-	
計	2,325	2,330	5	
支出				
教育研究経費	456	446	△ 10	(注2)
受託研究等経費及び寄附金事業費等	23	19	△ 4	
人件費	1,343	1,280	△ 63	(注2)
一般管理費	342	348	6	
施設整備費	161	157	△ 4	
補助金事業費	0	10	10	(注3)
計	2,325	2,260	△ 65	
収入-支出	-	70	70	

○ 予算と決算の差異について

(注1) 授業料減額免除対象者が少なかったこと、在学者数が多かったことから増加しました。

(注2) 教員の欠員等により、減少しました。

(注3) 前年度計上分の文部科学省大学改革推進等補助金事業費の執行により増加しました。



### 3 教職員数 (2023年3月31日現在)

#### 1) 所属別教員数 (単位：名)

学	長	1
副	学 長	1
デ	ザ イ ン 学 部	33
看	護 学 部	44
A	I T セ ン タ ー	2
合計		81

#### 2) 職位別教員数 (単位：名)

		教授	准教授	講師 (特任講師を 含む)	助教	助手	計	非常勤講師
デザイン学部	男	12	8	5	2	0	27	44
	女	1	5	0	1	0	7	24
看護学部	男	1	2	1	3	0	7	100
	女	10	7	11	9	1	38	57
AITセンター	男	1	0	0	1	0	2	0
	女	0	0	0	0	0	0	0
合計		25	22	17	16	1	81	225

#### 3) 職員数 (単位：名)

	事務系	教務系	技術・技能系	医療系	その他	計
男	27	2	0	0	0	29
女	43	2	0	0	0	45
合計	70	4	0	0	0	74

### 4 管理職一覧表 (2023年3月31日現在)

役職名	教職員名
学長	中島 秀之
副学長 兼 看護学部長	松浦 和代
デザイン学部長	椎野 亜紀夫
看護学研究科長	菊地 ひろみ
デザイン研究科長	齊藤 雅也
地域連携研究センター長	石井 雅博
AITセンター長	高橋 尚人
附属図書館長	川村 三希子
事務局長	小野 聡
事務局次長 兼 桑園事務室長 兼 経営企画課長	成澤 元宏
事務局総務課長	伊関 洋
事務局地域連携課長	事務局次長事務取扱
事務局学生課長	福原 啓祐
事務局桑園担当課長	布廣 成規



## 5 学生定員及び学生数（2022年5月1日現在）

## 1) 学生定員 (単位：名)

学部	入学定員	3年次編入学定員	総定員
デザイン学部	90	若干名	360
看護学部	85	-	340
合計	175	-	700

## 2) 学生数 (単位：名)

学部	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン学部	1学年	29	68	97
	2学年	31	67	98
	3学年	22	69	91
	4学年	23	71	94
看護学部	1学年	4	81	85
	2学年	7	84	91
	3学年	5	75	80
	4学年	7	78	85
助産学専攻科		0	10	10
合計		128	603	731

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士前期課程	1学年	12	9	21
	2学年	13	16	29
看護学研究科 博士前期課程	1学年	1	9	10
	2学年	6	12	18
合計		32	46	78

研究科	学年	男女別		計
		男	女	
デザイン研究科 博士後期課程	1学年	1	0	1
	2学年	2	0	2
	3学年	5	3	8
看護学研究科 博士後期課程	1学年	1	3	4
	2学年	0	5	5
	3学年	3	8	11
合計		12	19	31





## 3) 科目等履修生・聴講生・研究生 (単位：名)

学部	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン学部	0	1	0	1
看護学部	0	0	0	0
合計	0	1	0	1

研究科	科目等履修生	聴講生	研究生	計
デザイン研究科	1	0	6	7
看護学研究科	1	0	0	1
合計	2	0	6	8

## 6 授業料等

(単位：円)

区分	検定料	入学料		授業料
		札幌市内居住者	札幌市外居住者	
学部生	17,000	141,000	282,000	535,800
科目等履修生・聴講生	9,800	14,100	28,200	1単位につき 14,800
研究生	9,800	42,300	84,600	月額29,700

## 7 奨学金貸与・授業料減免実施状況 (2023年3月31日現在)

奨学金利用状況

(単位：名)

学年	日本学生支援機構			その他	計
	給付型	第1種	第2種		
学部1年生	25	47	35	2	109
学部2年生	21	48	43	1	113
学部3年生	28	47	35	3	113
学部4年生	26	40	38	5	109
助産学専攻科	-	0	0	6	6
研究科(博士前期)	-	17	0	0	17
研究科(博士後期)	-	0	2	0	2
合計	100	199	153	17	469



## 授業料減免実施状況

(単位：名)

学年	学期	全額減免者	2/3減免者	半額減免者	1/3免除者	計
学部1年生	前期	10	8	0	11	29
	後期	10	7	0	11	28
学部2年生	前期	8	7	0	12	27
	後期	7	7	0	13	27
学部3年生	前期	15	9	0	12	36
	後期	12	9	0	14	35
学部4年生	前期	12	9	3	3	27
	後期	9	10	3	1	23
助産学専攻科	前期	0	0	0	1	1
	後期	0	0	0	1	1
研究科（博士前期） 1年生	前期	1	0	0	1	2
	後期	0	0	0	2	2
研究科（博士前期） 2年生	前期	0	0	2	3	5
	後期	0	0	1	1	2
合計	前期	46	33	5	43	127
	後期	38	33	4	43	118



## 8 学生の入選・受賞（デザイン学部）

入選・受賞 年月	【賞】 氏名	内容	主催者
2022年6月	【技術賞】 櫻井 英文（デザイン研究科博士 後期課程2年）	2021年度土木学会賞において、札幌市建設局市街地復旧推進室にて取り組んだ「札幌市清田区里塚地区における市街地復旧事業」が受賞	公益社団法人 土木学会
2022年6月	【表彰】 大村 莉乃（デザイン学部3年）	札幌市で交付する原動機付自転車ご当地ナンバーの背景デザインを制作し、札幌市長より表彰	札幌市
2022年9月	【ファイナリスト】 石崎 航琉、柏木 紬、鎌上るるな、蒲田 暁、沼畑 亜美（5名ともデザイン学部4年）	ゼミグループで制作したゲームが、東京ゲームショウ「センス・オブ・ワンダーナイト2022」において、ファイナリストとして選出	一般社団法人 コンピュータエンターテインメント協会
2022年9月	【最優秀賞】 【優秀賞】 中津 正樹（デザイン研究科博士前期課程2年）	「アート&テクノロジー東北2022」において、2作品が受賞	芸術科学会東北支部
2022年10月	【優秀賞】 川去 鳳聖（デザイン学部4年）	「日本デザイン学会秋季企画大会・学生プロポジション」において、卒業研究を発表し受賞	日本デザイン学会
2022年10月	【奨励賞】 尾田 美月（デザイン学部3年）	『第47回「北の住まい」住宅設計コンペ』にて受賞	一般社団法人 北海道建築士事務所協会
2022年10月	【ポスター発表 優秀賞】 高橋 麗未（デザイン学部4年）	「2022年度日本造園学会北海道支部大会」におけるポスター発表にて受賞	日本造園学会北海道支部
2022年11月	【優秀作】 中津 正樹（デザイン研究科博士前期課程2年）	「Intenational Students Creative Award 2022」デジタルコンテンツ部門にて受賞	一般社団法人 ナレッジキャピタル
2022年11月	【優秀賞・テレコムサービス協会賞・小樽商科大学賞】 齋藤 来瞳（デザイン研究科博士前期課程2年）	「Matching HUB BusinessIdea & Plan Competition 2022」における提案が3賞を受賞	国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学
2022年11月	【優秀賞】 松田 穂香（デザイン学部2021年度卒業生）	「2022年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会」において、卒業研究をもとにした発表を行い受賞	日本都市計画学会北海道支部
2022年12月	【大賞/経済産業大臣賞】 石崎 航琉（デザイン学部4年） 【入賞】 中津 正樹（デザイン研究科博士前期課程2年） 【入賞】 高橋 こはく（デザイン学部2年）	「Asia Digital Art Award FUKUOKA 2022」学生カテゴリー、エンターテインメント部門（石崎、中津）、静止画部門（高橋）において受賞	2023アジアデジタルアート大賞 展実行委員会
2022年12月	【最優秀賞】 能戸 紫月（デザイン学部3年） 【優秀賞】 尾田 美月（デザイン学部3年） 【増田信吾賞】 杉本 啓起（デザイン学部3年）	「北海道組新人戦2022」において受賞	建築学生同盟北海道組
2022年12月	【グランプリ】 佐々木 舞（デザイン研究科博士前期課程1年）、小林 臣綸（デザイン学部4年）	「ゲームアイデアコンテスト」において受賞	マーブル株式会社
2022年12月	【優秀賞】 小泉 未来（デザイン学部4年）	「第19回金融教育に関する実践報告コンクール」において受賞	金融広報中央委員会
2023年1月	【入選】 相馬 功希、伊藤 冠介（2名ともデザイン研究科博士前期課程1年）	「第57回セントラル硝子国際建築設計競技」において受賞	セントラル硝子株式会社



## 9 学生の課外活動

	公認団体	主な入選・受賞等
1	バスケットボール部	
2	軽音楽部「halo」	
3	美術部「noumenon」	
4	YOSAKOIソーラン部「～真花～」	
5	服飾制作部「Alice」	
6	写真映像部「SEED」	
7	演劇部「デンコラ」	
8	茶道部「Cha部」	
9	バレーボール部	
10	絵本ボランティアサークル「しゃぼん玉」	
11	創作活動サークル「創-KIZ」	
12	ダンスサークル「VOLUME」	
13	カレー研究サークル「SCUカレー研究会」	
14	アウトドアサークル「PEAK」	
15	アルティメットサークル「Fly☆Fly」	
16	バドミントンサークル	
17	吹奏楽サークル「芸術の森 音楽隊」	
18	陶芸サークル「ころんと」	
19	地域交流ボランティア同好会「act」	
20	ふまねっと同好会「COC STUDENTPLAZA」	
21	日本語デザイン研究会「しろ」	
22	球技同好会「Mt.」	
23	手芸同好会「もふもふ」	
24	団地同好会「団地さーくる」	
25	当事者研究同好会「H&C : Humor and Chillax」	
26	ボードゲーム同好会「H.O.M.E」	
27	映画同好会「土曜の夜倶楽部」	
28	D×N同好会「Co-Large」	
29	ヨガ同好会「癒しの会」	
30	八百カフェ実行委員会	
31	テニス同好会「SCUテニス倶楽部」	
32	学生コミュニティ同好会「Crepe」	
33	萬画・漫画同好会	
34	フィットネス同好会「Rep」	



## 10 後援会

後援会（2007年2月発足）は、学生の福利厚生への推進等、学生生活の充実に向けて必要な支援を行い、教育目的の達成に寄与することを目的として活動している。

### 2022年度

役員	(会 長) 木下 健二 (副会長) 上原 佳子 (理 事) 若本 彩子、男澤 誠一、嶋田 直美、三浦 祐大、高橋万里香、三原 輝幸、 遠藤 毅、前川めぐみ (監 事) 平井 賢二、行天二季子
主な事業	・ 課外活動（部活動、大学祭、地域ボランティア活動等）支援 ・ 就職対策（就職試験対策、写真撮影補助、資格取得支援、国家試験対策等） ・ 後援会報「SSA News」発行、後援会WEBページ情報発信 ・ 卒業記念事業、緊急支援事業（コロナ対策）
後援会費	40,000円（ただし、編入学生は20,000円、助産学専攻科生は10,000円）

## 11 教育・研究刊行物一覧

発行年月	名称
2022年4月	2022年度学生生活ハンドブック
2022年4月	2022年度履修要項<履修の手引き>デザイン学部・看護学部
2022年4月	札幌市立大学後援会 会報2021 (SSA NEWS)
2022年5月	2023大学案内
2022年5月	令和5年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 推薦選抜）
2022年5月	令和5年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 一般選抜・特別選抜）
2022年5月	令和5年度学生募集要項（デザイン研究科 博士後期課程）
2022年5月	令和5年度学生募集要項（助産学専攻科）
2022年5月	令和5年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程）
2022年6月	令和5年度入学選抜要項（デザイン学部・看護学部）
2022年6月	令和5年度学生募集要項（デザイン学部 総合型選抜）
2022年6月	令和5年度学生募集要項（看護学部 社会人特別選抜）
2022年6月	令和5年度学生募集要項（看護学研究科 博士後期課程）
2022年8月	令和5年度学生募集要項（デザイン学部 特別選抜）
2022年9月	令和5年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 学校推薦型選抜）
2022年9月	SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2022 札幌市立大学研究論文集第16巻第1号
2022年10月	札幌市立大学 研究・活動事例集2022
2022年10月	札幌市立大学 教員研究紹介2022
2022年11月	令和5年度学生募集要項（デザイン学部・看護学部 一般選抜）
2022年11月	令和5年度学生募集要項（デザイン研究科 博士前期課程 第2次募集）
2022年11月	令和5年度学生募集要項（看護学研究科 博士前期課程 第2次募集）
2023年1月	SCUZINE vol.5
2023年1月	札幌市立大学附属図書館ニュースレターのほほん第16号
2023年2月	デザイン学部・デザイン研究科卒業修了研究展（2023 図録）
2023年2月	令和6年度デザイン学部3年次編入学生募集要項



## 12 施設

### 1) 校地・校舎、講義室・演習室等の面積

(2022年4月1日現在)

区分	校地・校舎		講義室・演習室等	
	校地面積 (㎡)	校舎面積 (㎡)	総数	面積 (㎡)
芸術の森キャンパス	167,617	23,087	53	5,696
桑園キャンパス	18,152	12,367	30	3,132
合計	185,769	35,454	82	8,828
サテライトキャンパス	178	178	2	152
AITセンター	106	106	0	0

### 2) 芸術の森キャンパス・桑園キャンパス・サテライトキャンパス・まこまないキャンパス・AITセンター (施設配置図・校舎配置図)

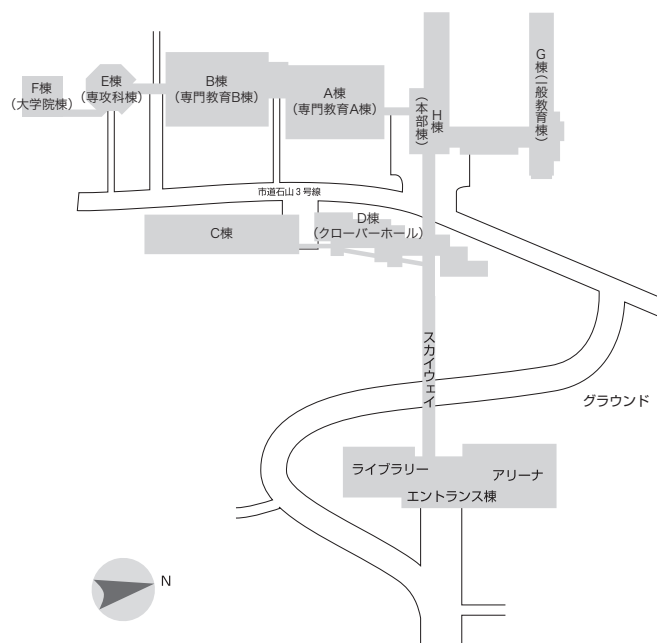
芸術の森キャンパス

〒005-0864

北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 (代)

FAX : 011-592-2369



### ●桑園キャンパス

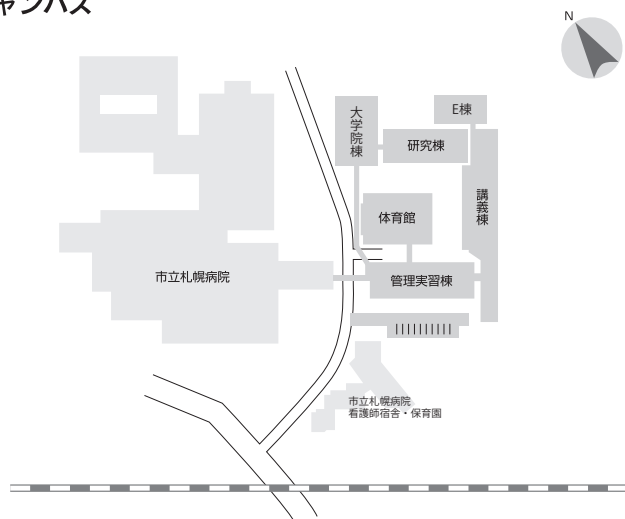
桑園キャンパス

〒060-0011

北海道札幌市中央区北11条西13丁目

TEL : 011-726-2500 (代)

FAX : 011-726-2506





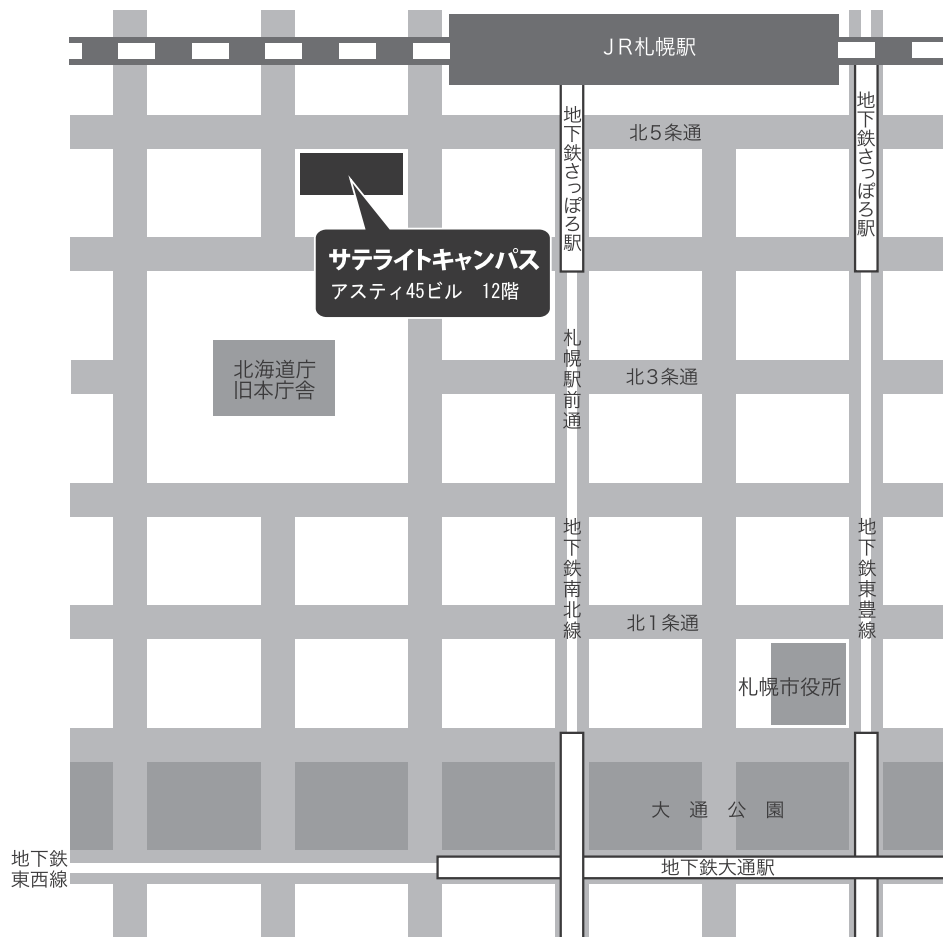
サテライトキャンパス

〒060-0004

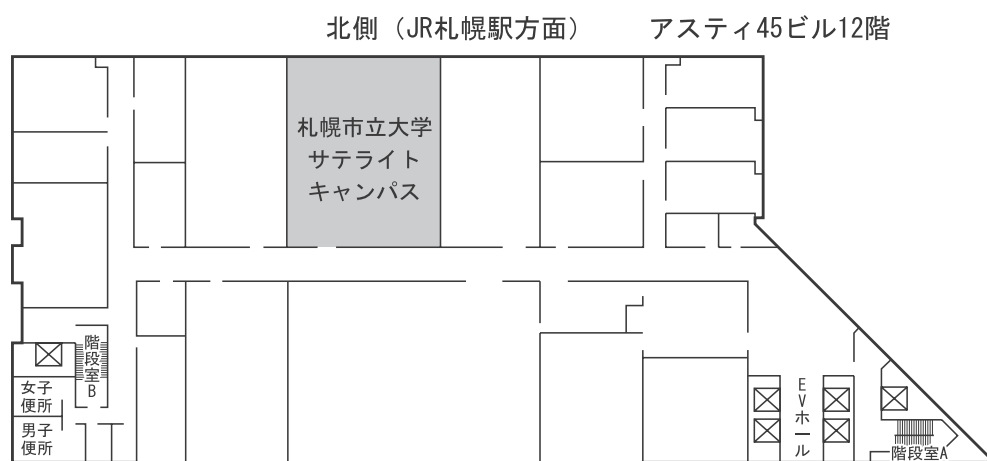
北海道札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階

TEL : 011-218-7500 (代)

FAX : 011-218-7507



〈施設平面図〉





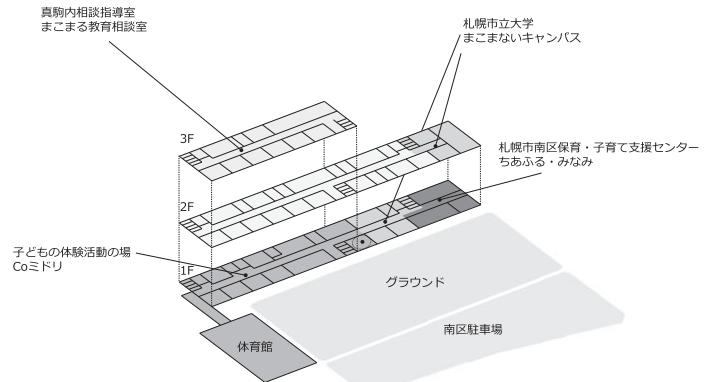
まこまないキャンパス

〒005-0014

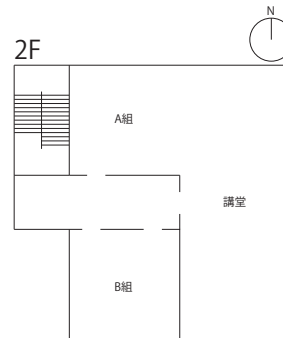
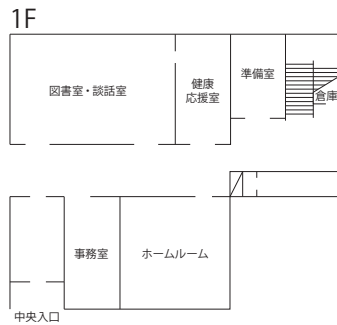
北海道札幌市南区真駒内幸町2丁目2-2まこまる（旧真駒内緑小学校）内

TEL：011-596-6675

FAX：011-596-6676



〈まこまないキャンパス施設平面図〉



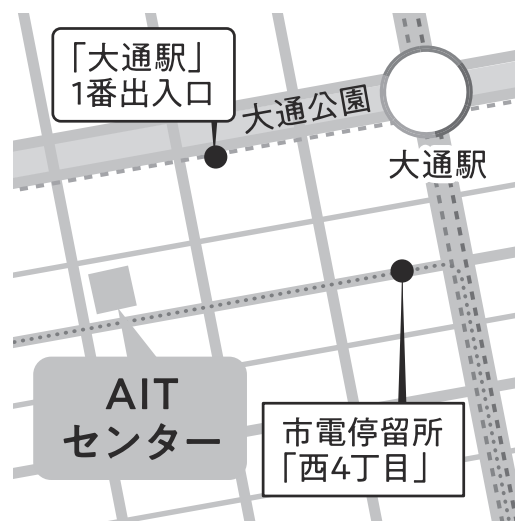
AITセンター

〒060-0061

北海道札幌市中央区南1条西6丁目20番1 ジョブキタビル9階

TEL：011-522-6186

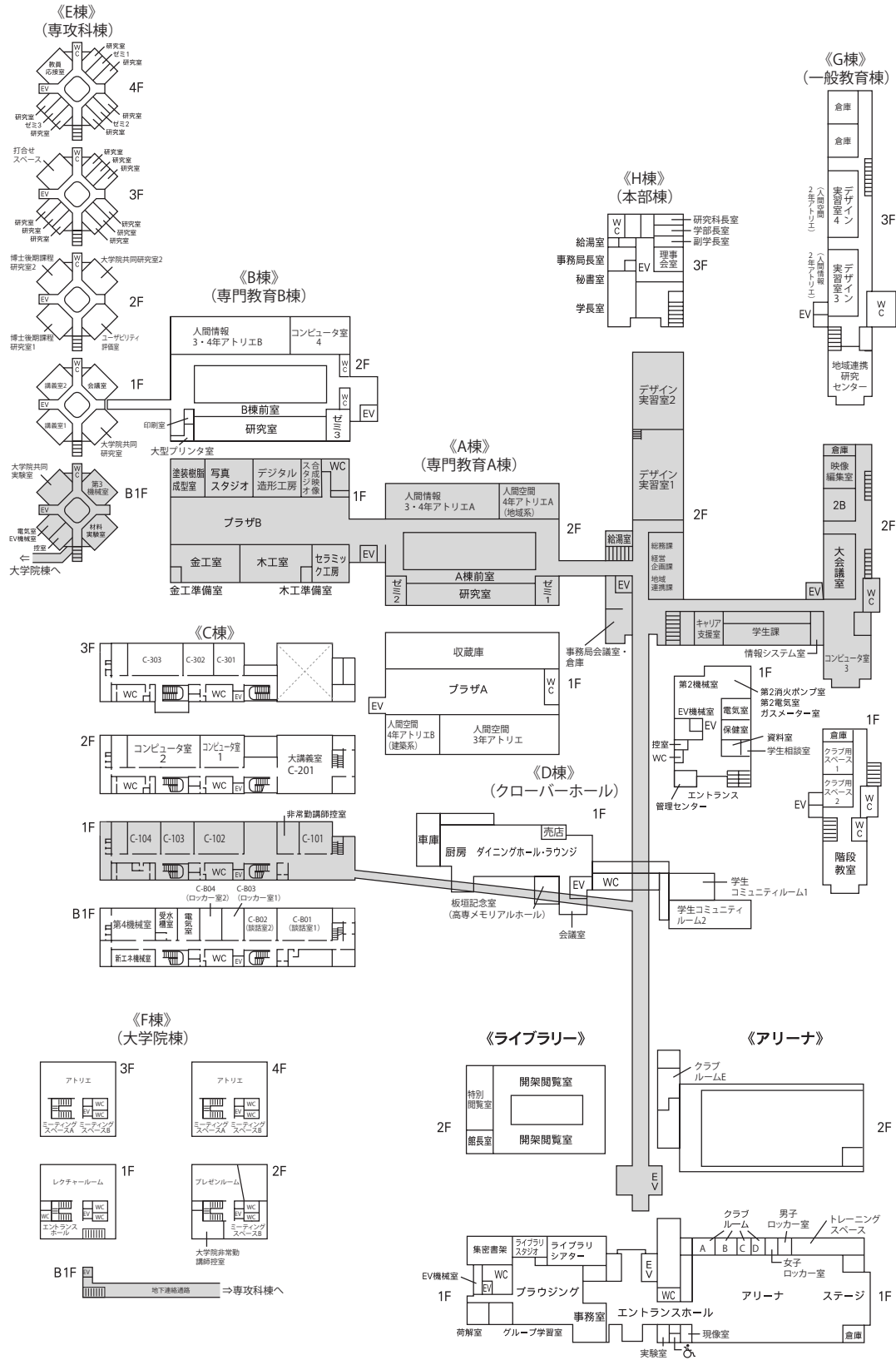
FAX：011-522-6187







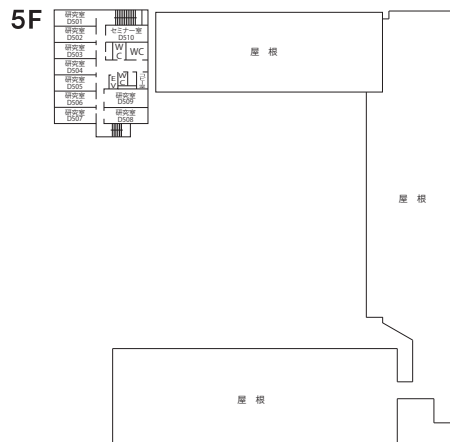
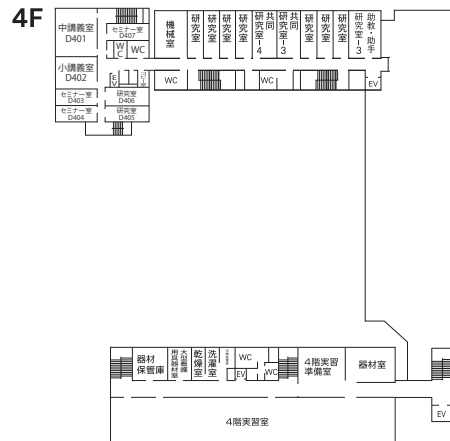
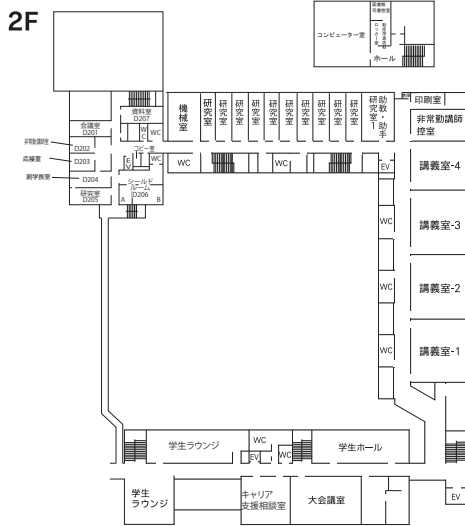
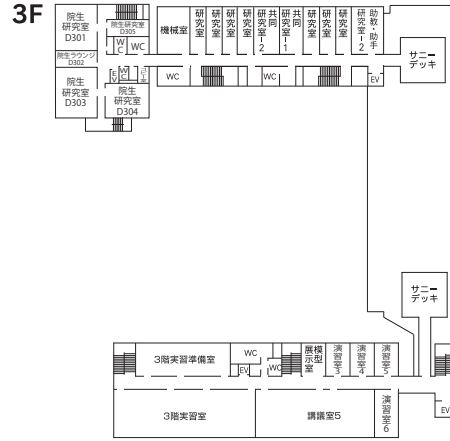
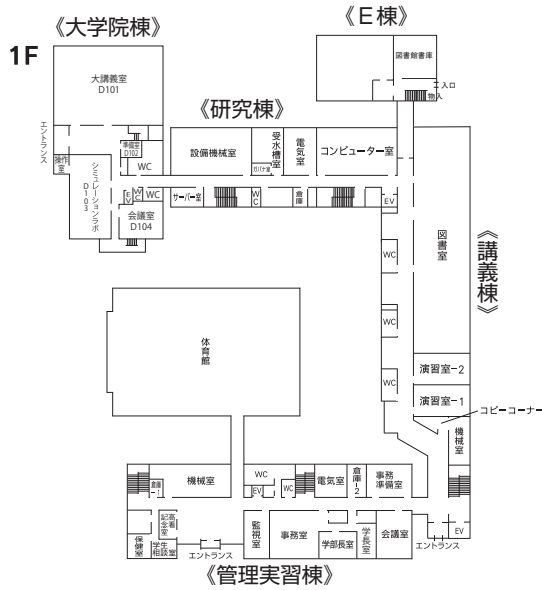
芸術の森キャンパス(校舎配置図)



排水槽



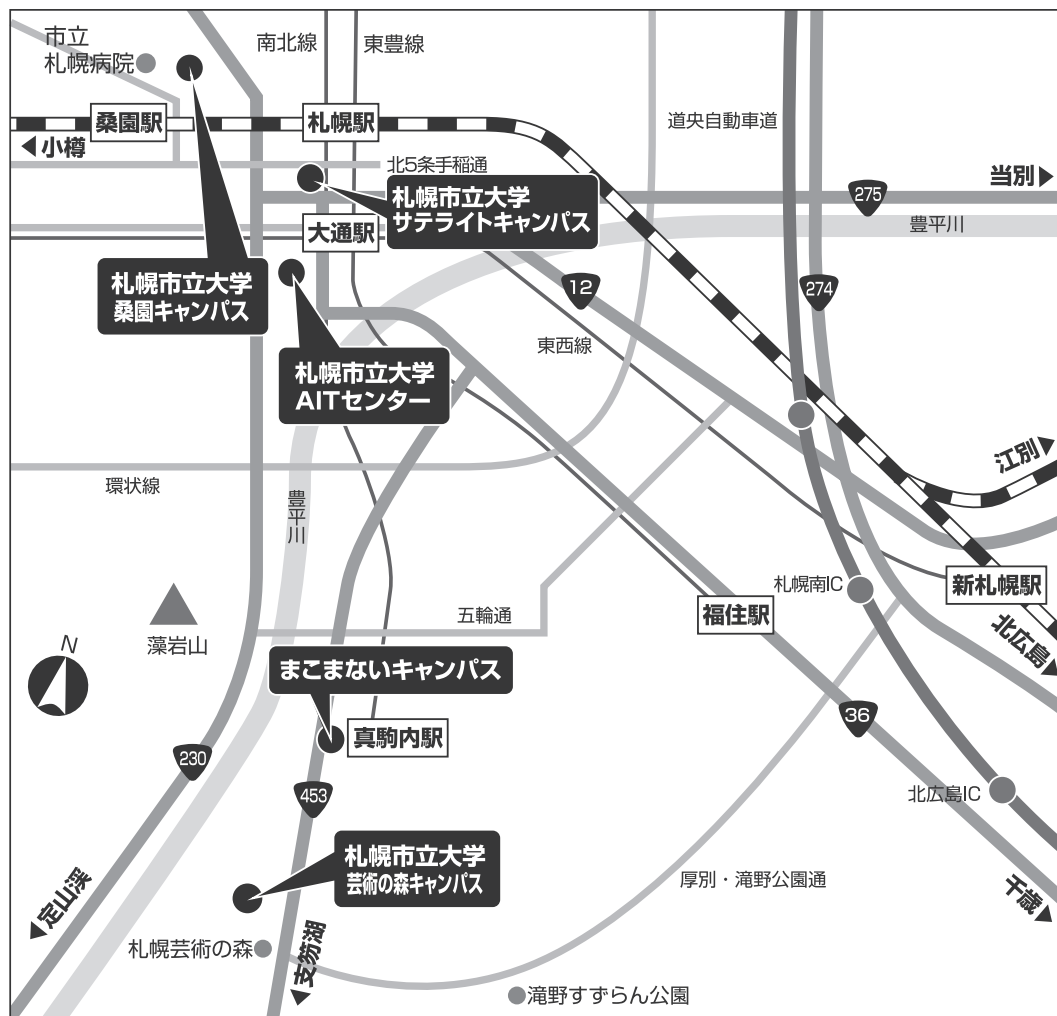
桑園キャンパス〈校舎配置図〉



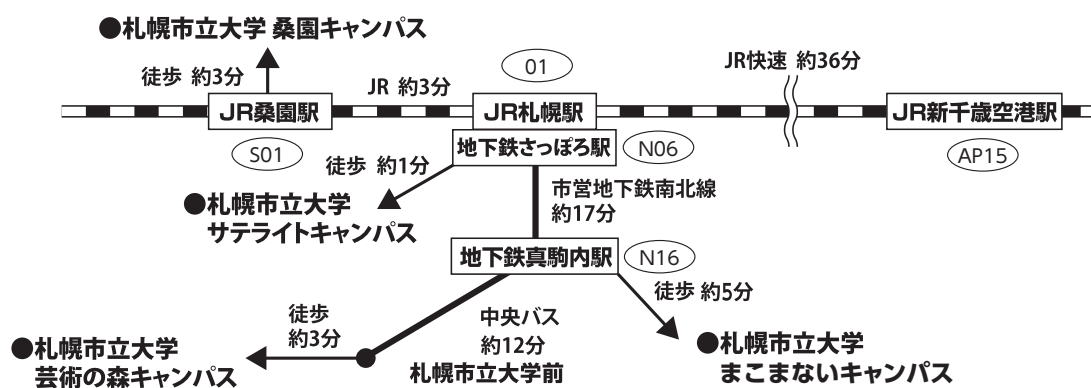


## 13 大学へのアクセス

## 1) アクセスマップ



## 2) 交通案内





## 14 札幌市立大学 大学歌『みらいの手』

作詞: 後藤優太・首藤翠 (デザイン学部 第4期生)  
作曲: 堀 彩菜 (デザイン学部 第3期生)

力強く風が吹き抜ける  
新たな希望をたずさえて  
さあ飛び出そう  
翼広げて  
光の指す方へと

ともに笑いともに競った仲間たち  
これからは別々の道を往く  
強い風に吹かれ  
立ち止まりかけても  
恐れず歩き続けて

僕らには創りあげる手がある  
僕らには支えあえる手がある  
同じ空の下には今も  
走り続ける仲間がいるだろう

僕らには創りあげる手がある  
僕らには支えあえる手がある  
あの地平の彼方にはきっと  
君の染める世界がある

僕らには導く能力(ちから)がある  
僕らには差し伸べる精神(こころ)がある  
その壁の向こうにはきっと  
君を待つ世界がある

## 『みらいの手』

公立大学法人 札幌市立大学 大学歌

作詞: 後藤優太・首藤翠  
作曲: 堀 彩菜

1-93  
A *allegro*  
B

C  
A *allegro*

B  
C

A *allegro*  
C



## X 教員一覧

### 1 教員一覧

デザイン学部		看護学部	
職位・コース	教員名	職位・領域	教員名
学長	中島 秀之	教授・小児	松浦 和代
教授・人間空間	椎野 亜紀夫	教授・在宅	菊地 ひろみ
教授・人間空間	齊藤 雅也	教授・成人	川村 三希子
教授・人間情報	石井 雅博	教授・母性	荒木 奈緒
教授・人間情報	安齋 利典	教授・成人	卯野木 健
教授・人間情報	柿山 浩一郎	教授・成人	小田 和美
教授・人間空間	西川 忠	教授・老年	貝谷 敏子
教授・人間情報	藤木 淳	教授・地域	喜多 歳子
教授・人間情報	細谷 多聞	教授・基礎	定廣 和香子
教授・共通教育	松井 美穂	教授・管理	佐藤 ひとみ
教授・人間情報	三谷 篤史	教授・基礎	樋之津 淳子
教授・人間空間	山田 良	准教授・小児	加藤 依子
教授・人間情報	若林 尚樹	准教授・成人	菅原 美樹
准教授・人間空間	大島 卓	准教授・在宅	高橋 奈美
准教授・人間空間	片山 めぐみ	准教授・老年	原井 美佳
准教授・人間空間	金子 晋也	准教授・基礎	檜山 明子
准教授・人間情報	金 秀敬	准教授・成人	藤井 瑞恵
准教授・人間空間	小林 重人	准教授・地域	本田 光
准教授・人間空間	小宮 加容子	准教授・老年	村松 真澄
准教授・人間空間	武田 亘明	准教授・精神	守村 洋
准教授・人間情報	張 浦華	講師・母性	石引 かずみ
准教授・共通教育	並木 翔太郎	講師・精神	伊東 健太郎
准教授・共通教育	丸山 洋平	講師・母性	岡 園代
准教授・人間空間	森 朋子	講師・管理	鬼塚 美玲
准教授・人間空間	山田 信博	講師・成人	工藤 京子
准教授・人間情報	横溝 賢	講師・母性	黒田 紀子
講師・人間空間	石田 勝也	講師・基礎	武富 貴久子
講師・人間情報	大淵 一博	講師・小児	牧田 靖子
講師・人間空間	須之内 元洋	講師・基礎	三戸部 純子
講師・人間情報	福田 大年	講師・管理	矢野 祐美子
講師・人間情報	松永 康佑	講師・母性	山本 真由美
助教・人間空間	坪内 健	特任講師・成人	山出 誓子
助教・人間情報	矢久保 空遥	助教・地域	市戸 優人
助教・人間情報	吉田 彩乃	助教・母性	大友 舞
		助教・母性	久保田 祥子
		助教・成人	栗原 知己
		助教・地域	近藤 圭子
		助教・成人	齋 若奈
		助教・在宅	坂本 結城
		助教・基礎	渋谷 友紀
		助教・地域	田仲 里江
		助教・老年	中田 亜由美
		助教・成人	平山 憲吾
		助教・基礎	吉田 実和
		助手・基礎	高橋 葉子
AITセンター			
職位	教員名		
教授	高橋 尚人		
助教	星野 聖太		



## 2 教員業績一覧

### デザイン学部

#### 中島 秀之

<学術論文> 1.Hideyuki Nakashima. Knowledge representation in Prolog/KR. In Proc. of 1984 International Symposium on Logic Programming. IEEE, 1984./2.Hideyuki Nakashima, Stanley Peters, and Hinrich Schuetze. Communication and inference through situations. In Proc. of IJCAI-91, pages 76-81, 1991./3.Hideyuki Nakashima and Yasunari Harada. Situated disambiguation with properly specified representation. In Kees van Deemter and Stanley Peters, editors, Semantic Ambiguity and Underspecification, pages 77-98. CSLI Publications, 1996./4.Hideyuki Nakashima, Itsuki Noda, and Kenichi Handa. Organic programming for complex systems. In Proc. of Poster Session of Fifteenth International Joint Conference on Artificial Intelligence, page 76. IJCAI, Aug. 1997./5.Hideyuki Nakashima, Hitoshi Matsubara, Ichiro Osawa. Causality as a key to the frame problem. Artificial Intelligence, 91(1):33-50, 1997./6.Hideyuki Nakashima. AI as complex information processing. Minds and Machines, 9(1):57-80, 1999./7.Hideyuki Nakashima. Grounding to the real world - architecture for ubiquitous computing -. In Springer LNAI 2871 Foundations of Intelligent Systems, pages 7-11, Oct. 2003. ISMIS 2003 Invited Talk./8.Hideyuki Nakashima Eastern View in Science - Theorists' View vs. Agents' View -. American Association for the Advancement of Science (AAAS 2005), Washington DC, February, 2005/9.Hideyuki Nakashima, Masaki Suwa, Haruyuki Fujii: Endo-System View as a Method for Constructive Science, Proc. 5th International Conference of the Cognitive Science (ICCS 2006), pp. 63-71 (2006) (pdf)/10.Hideyuki Nakashima: Cyber-Assisting Real World with Ambient Intelligence and Semantic Computing . Invited Talk, Proc. IJCAI-07, p. xiii (2007) /11.Hideyuki Nakashima: Cyber Assist Project for Ambient Intelligence, in Advances in Ambient Intelligence, IOS Press, pp. 1-20, 2007/12.Hideyuki Nakashima: Design of Constructive Design Process, Special Issue of Japanese Society for the Science of Design, Vol 16-2, What is "What's the Design?", pp. 7-12, 2009. /13.Hideyuki Nakashima, Hamid Aghajan, Juan Carlos Augusto (Eds.): Handbook of Ambient Intelligence and Smart Environments, Springer, 2009/14.Nakashima, Fujii, Suwa: Designing Methodology for Innovative Service System, Proc. ICServ2013, pp.187-192, 2013/15.Hideyuki Nakashima, Hitoshi Matsubara, Keiji Hirata, Yoh Shiraishi, Shoji Sano, Ryo Kanamori, Itsuki Noda, Tomohisa Yamashita, Hitoshi Koshiba: Design of the Smart Access Vehicle System with Large Scale MA Simulation, In proceedings of the 1st International Workshop on Multiagent-based Societal Systems (MASS2013), (May. 2013).

<著書> 1.計算的思考ってなに？ーコンピュータサイエンティストのように考える（共著、2022、近代科学社）

<所属学会・研究会> 人工知能学会/情報処理学会/日本認知科学会/PRICAI/サービス学会/日本ソフトウェア科学会/観光情報学会/日本工学アカデミー会員/日本工学会

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 理事（2022年1月1日～2023年12月31日、産学連携推進機構）/未来AI研究センター顧問（2022年4月1日～2023年3月31日、公立ほこだて未来大学）/未踏事業審査委員会委員（2022年4月1日～2023年3月31日、情報処理推進機構）/LIFE2022運営幹事学会（日本生活支援工学会）大会長（2022年4月1日～2023年3月31日、日本生活支援工学会）/取締役会長（2022年4月1日～2024年3月31日、未来シェア）/社会システムデザインセンター社員及び副理事長（2022年4月1日～2023年3月31日、法人社会システムデザインセンター）/国立障害者リハビリテーションセンター研究所評価委員会委員（2022年4月1日～2024年3月31日、国立障害者リハビリテーションセンター研究所）/公立大学法人会津大学参与会参与（2022年4月1日～2024年3月31日、公立大学法人会津大学）/北海道大学電子科学研究所 外部評価委員（2022年4月1日～2024年3月31日、北海道大学）/一般社団法人日本ディープラーニング協会 有識者会員（2022年4月1日～2024年3月31日、一般社団法人日本ディープラーニング協会）/北海道大学電子科学研究所 外部評価委員（2022年4月1日～2024年3月31日、北海道大学）/トヨタ「技術者の一日」講師（2022年8月1日～



2022年8月2日、トヨタ自動車株式会社) / Kフォーラムの開催に係る講師 (2022年8月25日～2022年8月27日、公益財団法人栢森情報科学振興財団) / CREST「共生インタラクション」領域シンポジウム登壇 (対談・総合討論)「テクノロジーの発展と「学び」の変化:人間は機械によって「学び」を加速させられるか?」(令和4年8月31日、国立研究開発法人科学技術振興機構) / 『AI白書2023』編集委員長 (2022年9月1日～2023年3月30日、株式会社角川アスキー総合研究所) / 「さらなる100年を見据えたサップロの防災とAI」基調講演・パネルディスカッション登壇「AI・IT活用へ社会をデザインすべき」(令和4年9月12日、札幌市) / 市立札幌旭丘高等学校 講演会講師「AI=深層学習+記号推論」(令和4年9月29日、札幌市教育委員会) / 日本学士院 合同談話会講師「AIと人間社会」(令和4年10月3日、日本学士院) / 「第11回ホームホスピス全国大会in札幌」講演会 講師「医療・福祉の未来予想図」(令和4年10月29日、一般社団法人全国ホームホスピス協会) / NEDO技術委員 (2022年12月1日～2024年3月31日、NEDO) / 北海道議会議員講演会 講師「新たな公共交通への取組み」(令和4年12月14日、北海道議会) / 「Innovators Under 35 Japan」審査員「U35イノベーターたちへ」(令和4年12月15日、株式会社角川アスキー総合研究所、MITテクノロジーレビュー IU35事務局) / 一般社団法人新雪 理事 (2023年1月10日～2024年3月31日、一般社団法人新雪) / 2022年度青年研修パキスタン「ICT推進によるDX実践」の開催に係 講師「DX Japan and AI AI Researcher's View」(令和5年1月31日、株式会社北海道アルバイト情報社、ジョブキタ人材サービス事業部) / 札幌市主催高度エンジニア発掘・育成事業「STANDOUT」 特別コメンテーター (令和5年2月12日、株式会社シーラクス) / 札幌市次世代公共交通システム研究会委員 (2023年2月20日～2024年3月31日、札幌市まちづくり政策局) / 「スマートモビリティ地域シンポジウム」基調講演講師「AIを活用した地域の公共交通の新たな展開について」(令和5年2月28日、株式会社Piic) / 札幌商工会議所2022年度医療・ヘルスケアビジネス創出事業 講師「AI技術×ポジティブヘルス増進」～もみじ台団地で進める看護MaaSの取組と今後の可能性～(令和5年3月15日、札幌商工会議所) / DX白書有識者委員会委員「コラム「DXとAI」」(承認日～2023年3月31日、情報処理推進機構) / 戦略的創造研究推進事業における分野別研究領域評価委員 (ICTイノベーション分野) (承認日～2024年3月31日、国立研究開発法人科学技術振興機構) / 札幌国際芸術祭実行委員会副会長 (承認日～2024年3月31日、札幌国際芸術祭実行委員会事務局) / 会長 (承認日～2024年3月31日、北海道MaaS推進研究会) / NoMaps実行委員会 顧問 (承認日～2024年3月31日、NoMaps実行委員会) / 「Sapporo AI Lab」エグゼクティブ・アドバイザー (承認日～2023年3月31日、Sapporo AI Lab、一般社団法人さっぽろ産業振興財団 IT・クリエイティブ産業振興部) / 日本ソフトウェア科学会名誉会員 (日本ソフトウェア科学会)

### 椎野 亜紀夫

<学術論文>1.椎野亜紀夫:北海道胆振東部地震発生後の集合住宅居住者の都市公園水道施設利用に関する一考察(単著、2022年5月、ランドスケープ研究、Vol.85、No.5、pp.567-572) / 2.櫻井善文・矢部和夫・片桐浩司・椎野亜紀夫:日本の寒冷地小河川におけるクサヨシ除去による沈水植物復元の検証(共著、2022年11月、湿地研究12(1)、pp.73-87)

<学会発表>1.AI技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデル(共同、LIFE2022、2022年8月)

<学会役員就任状況>日本造園学会(北海道支部副支部長(2017年～現在)) / 日本造園学会(ランドスケープ作品選集委員会委員(2020年～現在))

<所属学会・研究会>日本造園学会 / 日本都市計画学会 / 日本建築学会 / こども環境学会 / 日本博物館協会 / 環境情報科学センター

### 齊藤 雅也

<学術論文>1.建築家 上遠野徹「札幌の家・自邸」の冬季・夏季の熱環境に関する調査研究(共著、2022年6月、日本建築学会技術報告集、第28巻、第69号、pp.751-756) / 2.想像温度による熱中症危険度の判定可能性に関する研究 -北海道4年の調査結果を用いた分析- (共著、2022年11月、日本建築学会環境系論文集、第87巻、第801号、pp.750-758) / 3.自然災害の復旧・復興期における被災者の自助・共助を醸成する公助のデザイン(共著、2023年3月、日本建築学会環境系論文集、第88巻、第805号、pp.214-223)



＜著書＞1.季節を味わう住みこなし術 「ちょいケア」で心地よいライフスタイルに大変身！－ 日本建築学会編（共著、2022年9月、技報堂出版）

＜学会発表＞1.AI 技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデル（共同、2022年8月、LIFE2022札幌（第21回日本生活支援工学会大会）、3A1-A2、札幌市立大学（オンライン）、pp.292-293、2022年8月）／2.訪問リハビリMaaSによる社会実験（共同、2022年8月、LIFE2022札幌（第21回日本生活支援工学会大会）、3A1-A5、札幌市立大学（オンライン）、pp.300-303、2022年8月）／3.動物園のバイオクライマティックデザイン（共同、2022年9月、日本建築学会大会学術講演会（選抜梗概）、北海道科学大学（オンライン発表）、pp.961-964）／4.出身国・地域が異なる住まい手に適応した室内気候デザインの研究 冬季の札幌における中国人と日本人の想像温度・調整行動について（共同、2022年9月、日本建築学会大会（北海道）学術講演梗概集（選抜梗概）、北海道科学大学（オンライン発表）、pp.949-952）／5.トカゲとシダの生態に基づくヒトの室内気候デザインの研究（共同、2022年9月、日本建築学会大会学術講演梗概集（選抜梗概）、北海道科学大学（オンライン発表）、pp.953-956）／6.中学校における住環境教育の実践と授業内容の検証手法に関する研究（共同、2022年9月、日本建築学会大会学術講演梗概集（選抜梗概）、北海道科学大学（オンライン発表）、pp.957-960）／7.現有備品を活用した寒冷地避難所のデザイン提案 秋・冬季夜間の就寝環境での被験者実験（共同、2022年9月、日本建築学会大会学術講演梗概集（選抜梗概）、北海道科学大学（オンライン発表）、pp.1155-1158）／8.バイオクライマティックデザインのための「木漏れ日」感をもたらす屋外・室内空間の環境条件 札幌での秋季の被験者実験を通して（共同、2022年9月、日本建築学会大会学術講演梗概集、北海道科学大学（オンライン発表）、pp.861-862）／9.夏季のオープンクーリングによる住宅の室内気候 その1 札幌にあるモデル住宅の実測調査（共同、2022年11月、日本太陽エネルギー学会講演論文集、福井県国際交流会館、pp.169-172）／10.夏季のオープンクーリングによる住宅の室内気候 その2 東京にある住宅の熱環境実測と住まい手の申告調査.（共同、2022年11月、日本太陽エネルギー学会講演論文集、福井県国際交流会館、pp.173-176）／11.夏季のオープンクーリングによる住宅の室内気候 その3 札幌にあるモデル住宅の室内気候と体感評価（共同、2022年11月、日本太陽エネルギー学会講演論文集、福井県国際交流会館、pp.177-180）／12.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その1 夏季夜間の環境調整行動、熱環境・睡眠の満足度と心・体の疲労度（共同、2023年3月、日本建築学会中国支部研究報告集、第46巻、pp.435-438、広島大学）／13.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その2 過去・現在・未来の温度想像力と熱環境・睡眠の満足度、心・身体の疲労度（共同、2023年3月、日本建築学会中国支部研究報告集、第46巻、pp.439-442、広島大学）／14.地域の気候風土を活かす「住みこなし」の想像温度による診断 その3 札幌・福山・熊本における夏季の想像温度と実際温度の差異と経日変化（共同、2023年3月、日本建築学会中国支部研究報告集、第46巻、pp.443-446、広島大学）

＜学会座長就任状況＞日本建築学会 本部（大会学術講演会（2000～現在、2回／年程度））／日本建築学会 北海道支部 支部研実行委員会（2022年度実績:1回（オンライン）委員長（2022～2023年度））／日本太陽エネルギー学会（全国大会（2006～現在、1回／年程度、不定期）2022年度実績:1回（対面））

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会環境系論文集（2022年度実績:2本）／2.日本建築学会技術報告集（2022年度実績:1本）

＜学会役員就任状況＞日本太陽エネルギー学会（理事（2022～23年度））／空気調和・衛生工学会（代議員（2021～22年度））／日本建築学会地球環境委員会（幹事（2021～22年度））／日本建築学会地球環境委員会 環境ライフスタイル普及小委員会（主査（2021～22年度））／日本建築学会 熱環境委員会バイオクライマティックデザイン小委員会（委員（2001～現在））／空気調和・衛生工学会 北海道支部（運営委員（2013～2022年度））／日本建築学会 北海道支部 環境工学専門委員会（委員（2001～現在、途中、主査・幹事））

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／空気調和・衛生工学会／日本太陽エネルギー学会／日本感性工学会／日本看護科学学会／日本公衆衛生学会／LowEx. Net (Network of International Society for Low Exergy Systems in Buildings)／PLEA (Passive and Low Energy Architectures)

＜講演会・講習会活動＞ハビタッドデザイン ヒトも、動物も、植物も「暮らし×住み処「目にみえない世界」をデザインする」2022年12月8日、PSオランジュリ（熊本）／文部科学省スーパーサ





イエンスハイスクール (SSH) 事業 SS特別講座 講師「ペットボトルハウスで考える住まいの温・涼デザイン」2023年2月3日、北海道旭川西高等学校) / 文部科学省スーパーサイエンスハイスクール (SSH) 事業 サイエンスセミナーIV 講師「札幌市立大学の紹介、建築環境学とは？」2023年2月4日、北海道旭川西高等学校) / これからの医療とケアを考える「オレンジリビングベースのABW (Activity Based Working)」2023年2月26日、PSグループ) / BIS養成講習会 (北海道建築技術協会) / BIS更新講習会 (北海道建築技術協会)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞卒業論文等顕彰事業委員会 環境系専攻部会・委員 (卒論・修論審査) 「」 (2022年4月～6月、一般社団法人 日本建築学会) / 環境工学専門委員 (支部研究集会) 「日本建築学会 会長講演」 (2022年4月～6月、日本建築学会 北海道支部) / 登録建築物エネルギー消費性能評価機関・任意評定実施機関/評価員・評定員「」 (2022年4月～2023年3月、(財)北海道建築指導センター) / 地球環境本委員会・幹事 (研究集会運営) 「脱炭素化とアジア建築の未来 (企画)」 (2022年6月～9月、一般社団法人 日本建築学会) / 理事 (専門家向けハンドブックの編纂) 「新太陽エネルギーハンドブック (仮称)」 (2022年6月～現在、一般社団法人 日本太陽エネルギー学会) / BIS認定事業に係る試験講習委員会 (講習会 講師) 「開口部の計画、涼房・防暑の計画」 (2022年9月29日、(社)北海道建築技術協会) / 幹事 (オンラインセミナー運営) 「NY州 (大学キャンパス) のZEBについて」 (2022年10月13日、Passive and Low Energy Architecture日本支部) / 環境工学委員会 バイオクライマティックデザイン小委員会 (セミナー運営) 「バイオクライマティックデザイン 50の言葉」 (2022年10月～12月、日本建築学会 本部) / 地球環境本委員会 環境ライフスタイル普及小委員会・主査 (研究集会の運営) 「季節を味わう住みこなし術」 (2023年1月～3月、一般社団法人 日本建築学会) / 北海道支部 常任幹事 (専門家向けセミナー運営) 「脱炭素地域づくりセミナー」 (2023年2月～3月、公益社団法人空気調和・衛生工学会) / パッシブ換気システムを備える住宅の専門家・顧問 (セミナー運営) 「北海道から本州への技術移転を」 (2023年2月20日、パッシブシステム研究会、ソトダン21)

### 石井 雅博

＜所属学会・研究会＞Vision Sciences Society / 日本視覚学会 / 日本光学会 / 日本感性工学会 / 日本バーチャルリアリティ学会 / 芸術科学会 / 映像情報メディア学会 / 電子情報通信学会 / 情報処理学会  
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞視覚科学技術コンソーシアム (幹事)

### 柿山 浩一郎

＜学会発表＞1. BtoB企業製品のユーザビリティ評価の特徴 (口頭発表) (共同、日本デザイン学会誌 第69回研究発表大会概要集2022 セッションID:5B-06、pp.166-167 2022年6月) / 2. テキストコミュニケーションにおける意図・感情伝達を円滑にする飾り文字の研究 (共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2023 演題番号01、pp.1-2 2023年3月) / 3. 撮影意識が写真の質に対する影響 (共同、日本感性工学会 感性フォーラム札幌2023 演題番号04、pp.7-8 2023年3月)

＜学会座長就任状況＞日本デザイン学会 第69回春季大会 (2022年6月24日～26日、日本デザイン学会) / 日本感性工学会 感性フォーラム札幌2023 (2023年3月5日、日本感性工学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本感性工学会論文誌 (2件、日本感性工学会 (論文査読))

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会 (研究推進委員会、委員長) / 日本デザイン学会 (梗概集編集委員会、委員) / 日本デザイン学会 (理事) / 日本感性工学会 (理事) / 日本感性工学会 (論文審査委員会、委員) / 日本感性工学会 (北海道支部、支部長) / 日本感性工学会 (感性インタラクショナル研究部会 部会長)

＜学術集会運営＞第69回日本デザイン学会春季研究発表大会2022 (日本デザイン学会) / 第27回バーチャルリアリティ学会大会 (バーチャルリアリティ学会) / 感性フォーラム札幌2023 (日本感性工学会 北海道支部、感性インタラクショナル研究部会)

＜所属学会・研究会＞日本感性工学会 / 日本デザイン学会 / 日本教育工学会

＜講演会・講習会活動＞第6回クレイモデリングセミナー2022 運営

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞低床車両デザイン選考委員 (低床車両のラッピング広告事業を行う上での広告ガイドライン作成) ((財)札幌市交通事業振興公社) / NUDAカレッジトライアル講座運営 (NPO法人 北のユニバーサルデザイン協議会)



## 西川 忠

＜学会発表＞1.勇払平野に残るトーチカの構造調査（共同、日本建築学会北海道支部研究報告集、95巻、2022年6月）／2.既存住宅市場活性化に向けた住宅外装の経年変化に対する恕限度の研究（共同、日本建築学会大会学術講演、2022年7月）／3.際的な視野からの補強コンクリートブロック造の可能性の研究 その12 フィリピンにおける補強コンクリートブロック造構造基準作成の背景と枠組み（その12～17）（共同、日本建築学会大会学術講演、2022年9月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会（2件、日本建築学会構造系論文集）／2.日本コンクリート工学会（40件、日本コンクリート工学会年次大会）

＜学術集会運営＞日本コンクリート工学会年次大会（日本コンクリート工学会）

＜講演会・講習会活動＞日本コンクリート工学会北海道支部講演会「北海道のコンクリート秘話」（2022年5月20日、日本コンクリート工学会北海道支部）／北海道建築技術協会 建築診断研究会セミナー「道内のコンクリート遺産」（2022年9月13日、北海道建築技術協会）／日本コンクリート工学会北海道支部出前講座「臨床建築学入門」（2022年10月5日、日本コンクリート工学会北海道支部）／インフラメンテナンス国民会議「公共施設の管理に従事する町村職員のための建物診断セミナー」（2022年10月24日、インフラメンテナンス国民会議北海道フォーラム）／浦白町「うらうすの魅力再発見とまちづくり～建物・自然・歴史～」（2022年10月26日、西川研究室・浦白町共催）／上級学校セミナー「現代のスーパーテクノロジー建築とトンデモ建築」（2022年11月9日、札幌市立新川高等学校）／SCU公開講座「建築と雪を考える」（2022年12月14日、札幌市立大学）／建築関係訴訟連絡協議会セミナー「鉄筋コンクリート造の法令上悩ましいこと」（2023年1月25日、札幌地方裁判所）／「赤平インスタレーション展」における講演「炭鉱遺産を伝えるための技術的課題」（2023年2月26日、赤平市教育委員会）／コンクリート診断士更新講習委員（2018年～現在）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞技術アドバイザー（2022年9月1日～、丸彦渡辺建設株）

## 藤木 淳

＜学術論文＞1.植物になったかのような疑似体験により観察者の共感を向上させる手法の開発（共著、2022年6月、芸術科学会論文誌）／2.選択に関連する視覚刺激が感情に与える影響（共著、2022年7月、日本感性工学会論文誌21号）

＜著書＞1.札幌市立北都小学校×フジ森 活動を振り返って（共著、2022年4月、札幌アーティスト・イン・スクール事業 おとどけアート2021記録集）／2.球体の万華鏡壁（Kaleidowall of Sphere）（共著、2022年6月、芸術科学会誌：DiVA第50号）／3.選択に関連する視覚刺激が感情に与える影響（共著、2022年7月、日本感性工学会論文誌21号）／4.『おいかけっこ』『1フレーム』『夜の朝顔』『オンとオフ』—非接触で体験可能な参加型作品—（単著、2022年9月15日、SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2022 札幌市立大学論文集）／5.cellroid2: 一自律的に図形を形成する点群 CG—（共著、2022年9月15日、SCU JOURNAL OF DESIGN & NURSING 2022札幌市立大学論文集）

＜作品発表＞1.P055E5510N25（単独、2022年芸術科学会誌DiVA53号 藤木淳 新作披露展2022（札幌市立大学））

＜学会発表＞1.色眼鏡インターフェースを用いたゲーム設計 ゲームを通じた新たなコミュニケーション体験の創造（共同、日本デザイン学会 第69回春季研究発表大会、2022年6月26日）／2.P055E551025（単独、札幌市立大学・藤木淳 新作披露展2022、2022年9月5日～10月14日）／3.Rhodopsins（共同、東京ゲームショウ2022 インディーゲーム出展、2022年9月15日～18日）／4.ルールを解くデジタルジグソーパズルの制作（共同、インタラクショ2023、2023年3月10日）／5.看護教育のための血圧測定を入力インターフェースとして用いたゲームの試作（共同、インタラクショ2023、2023年3月10日）／6.Anisan Quest:位置情報を含む任意データに対する レトロRPGゲーム風ビジュアライズ手法（共同、インタラクショ2023、2023年3月10日）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.情報処理学会論文誌ジャーナル（1件、情報処理学会）

＜学会役員就任状況＞日本バーチャリアリティ学会2022年全国大会（展示委員）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本バーチャリアリティ学会／芸術科学会／共創学会／日本看護科学学会／情報処理学会

＜講演会・講習会活動＞札幌国際芸術祭2024 第1回「教育喫茶」における雪の結晶プログラミングのレクチャー「これからの教育と芸術・アートを繋ぐ」（2023年2月18日、札幌国際芸術祭2024）



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞展示委員（2022年4月以降、日本バーチャルリアリティ学会）／札幌国際芸術祭2024「SIAFスクール」プロジェクトリーダーとして監修・技術協力（2022年10月以降、札幌国際芸術祭2024）／トリック×イリュージョン展のための作品制作（2022年11月以降、北海道立近代美術館）

### 細谷 多聞

＜学術論文＞1.地球の視野を獲得するための高高度空間の芸術利用（共著、2022年4月31日、環境芸術学会、環境芸術第25号）／2.あそびを作品に展開する試み-豊かなあそびを促すためのデザイン-（共著、2023年3月31日、日本デザイン学会、デザイン学研究作品集 2022年、28巻、1号）

＜作品発表＞1.「けいとでおえかき」と「Paseoと糸と〇〇と．．．」（共同、2022年6月、札幌駅総合開発）／2.「にんにんどろ～ん、にんじゃでござる」（共同、2022年7月、札幌駅総合開発）／3.「福がこささる しあわせ来ちゃっ!？」と」（共同、2022年11月、第28回芸術の森地区文化祭（芸術の森美術館））／4.ヒカリでお絵かき（共同、2023年2月、こころとカラダのライフデザイン）

＜学会発表＞1.デザイン専門教育における実践機会の創出（共同、日本デザイン学会 第69回春期研究発表大会8D-03、2022年6月25日・26日）／2.誰もが楽しむことができる遊びの検証-遊び「けいとでおえかき」の実施報告-（共同、日本デザイン学会 第69回春期研究発表大会PA-21（ポスター発表）、2022年6月26日）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.第69回日本デザイン学会春季研究発表大会（ベストプレゼンテーション賞選定委員）／2.2022年度デザイン学研究作品集（6件、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（2022～2024年度作品審査委員会、委員長（学会理事））

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会、環境芸術学会

＜講演会・講習会活動＞講義「さわって楽しい遊び」と遊び「びりびりわしゃわしゃ」実施「夕張市民講座「びりびりわしゃわしゃ」」（2022年12月2日、夕張市教育委員会）

### 松井 美穂

＜所属学会・研究会＞日本英文学会／日本英文学会北海道支部／日本アメリカ文学会／日本ウィリアム・フォークナー協会／Carson McCullers Society／アメリカ学会／カナダ文学会／文学と評論社

### 三谷 篤史

＜学会発表＞1.食事介護の基礎的スキルを学習可能な食事介護シミュレータの開発（共同、第23回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会（SI2022）2022、12.14-16 幕張メッセ 国際会議場、2022年12月）

＜所属学会・研究会＞日本ロボット学会／日本機械学会／アメリカ電気電子学会（IEEE）/ロボティクス・オートメーション部門（RAS）およびパワー・エナジー部門（PES）／精密工学会／計測自動制御学会／日本デザイン学会／看護理工学会／日本感性工学会／日本トライボロジー学会

＜講演会・講習会活動＞「ロボットがえがく未来の社会」ワークショップ「ワタシ的ライフデザイン」アップデート」（2023年2月11日～12日、COI-NEXT こころとカラダのライフデザイン共創拠点北海道大学 JPMJPF2108）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞あつまれ！ロボット学校大開放！の監修「夏の特別展2022」（2022年7月26日～8月21日、札幌市青少年科学館）

### 山田 良

＜作品発表＞1.南区芸術祭2022/黒板の森（単独2022年9月、北海道札幌市）／2.北海道の建築展／Infinite Landscape／水・光（単独2022年9月、北海道札幌市）／3.北海道の建築展／Cube Installation／竹山実の世界へ近づこうとする試み（共同2022年9月、北海道札幌市）／4.札幌溪仁会リハビリテーション病院／Soen Village（単独2023年3月、北海道札幌市）／5.さっぽろチカホ／Shelf Byway／シーニックバイウェイ北海道（単独2023年3月、北海道札幌市）

＜学会発表＞1.designboom（単独、Designboom（イタリア）、2022年9月）／2.ARCHDAILY（単独、ARCHDAILY（USA）、2022年10月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.環境芸術（1件、環境芸術学会）



＜学会役員就任状況＞JIA日本建築家協会（北海鋼機デザインアワード 審査委員長）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／環境芸術学会

＜講演会・講習会活動＞関口勇揮記念美術館 屋外展「関口勇揮 10の解釈とインスタレーション」  
（2022年7月 2週間）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞審査委員長「北海鋼機デザインアワード」（2022年5月、JIA日本建築家協会）／審査委員長「支部共通建築設計競技」（2022年7月 2週間、日本建築学会）／展示企画・運営、空間作品提案「北海道の建築展22」（2022年7月～9月、JIA日本建築家協会）／展示企画、空間作品提案「南区芸術祭2022」（2022年7月～9月、札幌市南区）／展示企画・支援「さっぽろアートステージ2022 アートストリート」（2022年11月、さっぽろアートステージ実行委員会事務局）／展示企画、待合ロビー空間デザイン提案（2023年3月、札幌リハビリテーション病院）／展示企画、展示会場デザイン提案「チカホ「シーニックバイウエイ北海道展」」（2023年3月19日～1年間、北海道開発局札幌開発建設部）

## 若林 尚樹

＜学会発表＞1.落書きグラフィックの図的表現による比較分析（共同、第69回春季研究発表大会（オンライン）、2022年6月）／2.動物の頭部形態の類型化をもとにした工作キットの設計（共同、第69回春季研究発表大会（オンライン）、2022年6月）／3.地域に密着した地元ブランド構築プロセスの研究（共同、第69回春季研究発表大会（オンライン）、2022年6月）／4.動物園での印象評価をもとにした案内マップの提案（共同、第69回春季研究発表大会（オンライン）、2022年6月）／5.動物園での印象評価をもとにした案内 マップの評価分析（共同、第69回春季研究発表大会（オンライン）、2022年6月）／6.対話型ワークショップにおける療育者のノウハウ抽出の試み（共同、第69回春季研究発表大会（オンライン）、2022年6月）／7.体験プログラムにおける教材としての工作キットの活用（共同、第63回日本動物園水族館教育研究会（北海道札幌市）、2023年1月）／8.触察用ペーパークラフトの開発と提案（共同、第42回研究大会日本視覚障害理科教育研究会（オンライン）、2023年2月）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.芸術学論集（Journal of the Society of Art and Design）（1件、芸術学研究会）／2.デザイン学研究作品集（2件、日本デザイン学会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会（国内学会）会員／こども環境学会（国内学会）会員／感性工学会（国内学会）会員／芸術科学会（国内学会）会員／動物園水族館教育研究会（国内研究会）会員／アジアデジタルアートアンドデザイン学会（国際学会）会員

＜講演会・講習会活動＞1.ペーパークラフトを作ってみよう（5年総合的な学習の時間）「工作ワークショップ事業5年「ペーパークラフトを作ってみよう」」（2022年4月～6月、芸術の森小学校）／2.ペーパークラフトを作ってみよう こんな学校にしたい（4年総合的な学習の時間）「工作ワークショップ事業4年「ペーパークラフトを作ってみよう」」（2022年10月～2023年2月、芸術の森小学校）／3.ワークショップ「ゾウのはなしをしよう」（2022年11月6日、札幌市円山動物園）／4.総合学習、教科科目のための工作キットの教材開発と、それを活用したワークショップ型授業の実施「1年で一番思い出に残ったこと」（2023年1月～3月、藻岩南小学校）／5.ワークショップ「モルもっと知ろう」（2023年3月29日、札幌市円山動物園）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞レバンガ北海道が地域貢献の一環として実施している幼稚園保育園のためのトレーニングに関する絵本の制作「レバンガ北海道×札幌市立大学 産学連携協定」（2021年9月～2022年15月、株式会社レバンガ北海道）／Webデザイナーテキストブック編集委員、Webデザイナー検定委員「CR-ARTS協会委員」（2022年4月～2023年3月、画像情報教育印稿協会）／Septeni Ad Creativeのための「新しい新卒向け企業説明会とは？」のサービスデザインの提案「協同デザインIIにおける企業連携」（2022年10月～2023年1月、Septeni Ad Creative株式会社）／触察用海洋生物組み立てキットの提案、作成「触察用海洋生物組み立てキットの作成」（2022年10月～2023年1月、沖縄美島財団）／航空機により快適でスムーズな利用のためのサービスデザイン「地域産学協力依頼にもとづくデザイン総合実習IVでの協力」（2022年10月～2023年3月、株式会社AIRDO）

## 大島 卓

＜学術論文＞1.屋上緑化施設の調査事例-札幌市駒岡小学校屋上緑化施設-（単著、2022年10月）／2.敷地構成分析に基づいた動物園展示施設外領域の空間特性の解明（9p,査読中）（単著、2023年3月）



- ＜学術集会運営＞日本造園学会全国大会（公益社団法人日本造園学会）／日本造園学会北海道支部大会（公益社団法人日本造園学会北海道支部）
- ＜所属学会・研究会＞公益社団法人日本造園学会／一般社団法人日本建築学会
- ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞デザインワークショップの開催・運営「冬みち便り製作事業」（2022年8～11月、札幌市南区土木部維持管理課）

### 片山 めぐみ

- ＜作品発表＞1.地域コミュニケーション活性化を目指した地域連携型プロジェクトのデザイン（共同、2022年10月、日本教育工学会研究報告集 2022 (3)、pp.168-175）／2.”空間×情報×身体”～メディアミックスで磨く学生と地域の感性～（単独、2022年10月22日、日本デザイン学会第1支部研究会（オンライン開催）<https://jssd-branch1-2022.studio.site/fAsnPcfs/slug>）／3.地域活動における学生のモチベーション向上のためのアクションリサーチ—参加者の出番と居場所の創出—（共同、2023年3月17日、日本デザイン学会第4支部研究会（オンライン開催）<http://jssd.jp/8573>）
- ＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本デザイン学会／日本社会福祉学会

### 金子 晋也

- ＜学術論文＞1.三笠市炭鉱遺構群の調査研究 旧北炭幌内炭鉱の選炭機の現況と復元的考察（共著、2022年6月、日本建築学会北海道支部研究報告集 (95)、pp.317-322）／2.シン・モンゼンマチ（共著、2022年7月、日本建築学会建築デザイン、pp.346-347）／3.英国のホール型民家におけるはね出し二階による空間構成の発達過程 日本と欧米諸国における木造建築構法の変遷過程に関する比較研究 その10（共著、2022年7月、学術講演梗概集建築計画 (2022)、pp.1079-1080）
- ＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会技術報告集（4件、日本建築学会）
- ＜学会役員就任状況＞日本建築学会北海道支部（常議員・役員会幹事）／日本建築学会北海道支部（歴史意匠専門委員会、会計）／日本建築学会（設計計画・構法計画運営委員会 委員）／日本建築学会（木造構法小委員会 委員・幹事）／日本建築学会（近代建築史小委員会 委員）／日本建築学会（文化的生態的小委員会 委員）
- ＜所属学会・研究会＞日本建築学会／芸術工学会／生活学会／日本在宅ケア学会
- ＜講演会・講習会活動＞札幌啓成高校「総合的な探求の時間」「総合的な学習の時間Future Vision M3（建築って何だろう）特別講座②」（2022年6月30日、札幌啓成高校）／2022年度 北海道ヘリテージマネジメント専門職（第6期）育成講座「登録文化財所見演習」（2022年8月21日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会）
- ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞委員会幹事、委員会の開催・運営「木造建築小委員会若手ワーキング研究会（オンライン）」（2022年4月～2023年3月、日本建築学会木造構法小委員会）／歴史意匠専門委員会の開催・運営・会計、特定課題研究の会計「歴史意匠専門委員会の開催・運営・会計、特定研究課題の会計」（2022年4月～2023年3月、日本建築学会北海道支部歴史意匠専門委員会）／拠点施設の設計・施工「DIYによる拠点施設整備事業」（2022年4月～2023年3月、厚真町まちづくり推進課）／支部役員会運営（常議員幹事として参加）「日本建築学会北海道支部役員会」（2022年6月～2023年3月、日本建築学会北海道支部）／第101回北の民家の会木構法研究会「建築構法に関するレクチャー（オンライン）」（2022年7月16日、北の民家の会）／北海道ヘリテージマネジメント専門職育成講座「登録文化財所見演習」（2022年8月21日、北海道文化遺産活用活性化実行委員会）／北海道における文化的生態的景観に関する研修（2022年9月3日～5日、日本建築学会文化的生態的景観小委員会）／合同研究会の企画・運営「合同研究会（サテライトキャンパス）」（2022年9月6日～9月7日、茨城大学稲用研究室）／札幌市立大学芸術の森キャンパスに関するレクチャー（現地）（2022年9月8日、名古屋市立大学大学院久野研究室）／建築文化週間、会計「「登録有形文化財の保存・活用を体感する」」（2022年10月13日、日本建築学会）／ほっかいどう住宅フェア「北海道の木造建築の調査記録やデザイン事例紹介」（2022年10月15日～16日、ほっかいどう住宅フェア事務局）／大通公園プレイスメイキング実証実験（協力）「大通公園プレイスメイキング実証実験「PARK LIFE LABO 02」」（2022年10月23日、札幌都心プレイスメイキング実行委員会）／東京工業大学那須研究室・鹿児島大学柴田研究室・明星大学斉藤研究室・東洋大学田口研究室による合同研究会の企画・運営「合同研究会（オンライン：9/20,11/30,2/22）」（2022年10月～2023年3月、inter-univ研究会）／函館市の



一棟二戸住宅に関するレクチャー（オンライン）（2022年11月8日、新潟大学大学院松井大輔研究室）／公開研究会（拡大委員会）「近代建築史研究の磁場」司会「実践編 第2回「地域性」の評価指標をめぐって（オンライン司会）」（2022年12月4日、日本建築学会近代建築史小委員会）／2022年度「デザイン学研究 作品集」 2次審査（2023年3月1日、日本デザイン学会）

## 金 秀敬

<著書>1.Towards Value-Driven Experience Design by Minding the Gap between Visual-Olfactory Perception（優秀論文賞受賞論文Global Award – Innovation | Sensory Perception and Design, 24th International Conference on Engineering and Product Design Education, London UK）（単著、2022年9月、Proceedings of International Conference on Engineering and Product Design Education. DOI number: 10.35199/EPDE.2022.90 ISBN: 978-1-912254-16-3）／2.Influence of Multimodal Integration on Spatial Perception（共著、2022年9月、Proceedings of International Conference on Kansei Engineering and Emotion Research 2022）

<国際会議での発表>1.Multisensory Integration in Enhancing Affective Experience（International Multisensory Research Forum 2022（於Ulm, Germany）7.4-7, 2022、2022年7月）

<所属学会・研究会>日本感性工学会／日本デザイン学会／The Design Society

<講演会・講習会活動>オープンキャンパス

<専門職者・企業・展覧会等への支援>特別講演会の企画と運営（札幌市立大学）／論文査読（ICED）／論文審査（日本感性工学会）

## 小林 重人

<著書>1.Sustained circulation: A descriptive framework of long-lived Japanese community currencies（共著、2022年11月、*Local Economy: The Journal of the Local Economy Policy Unit*（37, 5, 364-383））／2.自然災害の復旧・復興期における被災者の自助・共助を醸成する公助のデザイン（共著、2023年3月、日本建築学会、『日本建築学会環境系論文集』（88, 805, 214-223））

<国際会議での発表>1.Impact of Digitalization of Money on People's Perceptions of Community Currencies: A Gaming Simulation Analysis（Proc. 6th Biennial RAMICS International Congress（356-378）、2022年10月、ブルガリア・ソフィア）／2.Data Utilization of Digital Community Currency for Regional Economic Policy: Case of TARCA in Otaru, Hokkaido（Proc. 6th Biennial RAMICS International Congress（336-355）、2022年10月、ブルガリア・ソフィア）／3.Japanese Passbook Communities: An investigation of the Japanese Adaptation of the LETS Community Currency Mechanism（Proc. 6th Biennial RAMICS International Congress（137）、2022年10月、ブルガリア・ソフィア）

<学会発表>1.AI技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデル（共同、LIFE2022（第21回日本生活支援工学会大会、日本機械学会 福祉工学シンポジウム2022、第37回ライフサポート学会大会）、2022年8月）／2.訪問リハビリMaaSによる社会実験（共同、LIFE2022（第21回日本生活支援工学会大会、日本機械学会 福祉工学シンポジウム2022、第37回ライフサポート学会大会）、2022年8月）／3.JAFEE通貨と学会活性化（共同、第27回 進化経済学会 オータムコンファレンス、2022年9月）／4.対馬市と大学生を繋ぐポストコロナに向けた交流の在り方—パターン・ランゲージを活用した対馬グローバル大学の交流デザイナー（共同、対馬学フォーラム、2023年3月）／5.教育大学における地域経済の学習シミュレーションの開発（共同、進化経済学会 北海道・東北部会 春期大会、2023年3月）

<学会役員就任状況>進化経済学会 北海道・東北部会（事務局長）／進化経済学会 JAFEE通貨委員会（委員）

<学術集会運営>進化経済学会 北海道・東北部会 春期大会（進化経済学会）

<所属学会・研究会>情報処理学会／進化経済学会／地域活性学会／日本シミュレーション&ゲーミング学会／経済社会学会／経済教育学会／日本建築学会

<講演会・講習会活動>出張講義「人間の行動も変える？デザインのチカラ」（2022年8月30日、旭川北高等学校）／地域通貨に関する一般向け講演「文化経済によるまちづくりのための地域通貨」（2022年11月13日、学遊の会）



＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞DXに関する行政職員向け研修会「デジタル地域通貨を介したソーシャルデザイン」（2022年9月30日、石川県内灘町）

### 小宮 加容子

＜学術論文＞1.あそびを作品に展開する試み-豊かなあそびを促すためのデザイン-（共著、2023年3月31日、日本デザイン学会、デザイン学研究作品集 2022年、28巻、1号）

＜作品発表＞1.「けいとでおえかき」と「Paseo と糸と〇〇と．．．」（共同、2022年6月、札幌駅総合開発）／2.「にんにんどろ～ん、にんじゃでござる」（共同、2022年7月、札幌駅総合開発）／3.「福がこささる しあわせ来ちゃっ!？」（共同、2022年11月、第28回芸術の森地区文化祭（芸術の森美術館））／4.ヒカリでお絵かき（共同、2023年2月、こころとカラダのライフデザイン）

＜学会発表＞1.デザイン専門教育における実践機会の創出（共同、日本デザイン学会 第69回春期研究発表大会8D-03、2022年6月25・26日）／2.誰もが楽しむことができる遊びの検証-遊び「けいとでおえかき」の実施報告-（共同、日本デザイン学会 第69回春期研究発表大会PA-21（ポスター発表）、2022年6月26日）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.2022年度デザイン学研究作品集（8件、日本デザイン学会）

＜学術集会運営＞第69回日本デザイン学会春季研究発表大会（概要編集委員会幹事、日本デザイン学会）／2022年日本デザイン学会作品集（日本デザイン学会2022年度作品集審査委員、日本デザイン学会）

＜講演会・講習会活動＞講義「さわって楽しい遊び」と遊び「びりびりわしゃわしゃ」実施「夕張市民講座「びりびりわしゃわしゃ」」（2022年12月2日、夕張市教育委員会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞理事、セミナー実施（2022年7月3日）（不定期、北のユニバーサルデザイン協議会（NUDA））

### 武田 亘明

＜学術論文＞1.地域コミュニケーション活性化を目指した地域連携型プロジェクトのデザイン（共著、2022年10月、日本教育工学会研究報告集 JSET2022-3、pp.168-175）／2.グローバル循環型人材育成プログラムにおける地域活性化へ向けた研究活動との連携（共著、2022年10月、日本教育工学会研究報告週 JSET2022-3、pp.122-127）／3.マルシェを「要」としてつながる～持続可能な地域発展～（単著、2023年2月、一般財団法人日本青年館「社会教育」2月号、pp.30-37）

＜講演会・講習会活動＞1.メディア社会の暮らしの変化に対応するための自治体DX（単独、青森県自治体職員研修会、2022年10月11日）／2.岩宇地域における移住定住に関する地域的な課題について（単独、岩宇4町村職員岩宇地域まちづくり研修、2023年3月9日）

＜所属学会・研究会＞情報処理学会／日本教育工学会／日本教育工学協会（評議員）／北海道中国哲学学会／教育とコンピュータ利用研究会（副会長・北海道支部長）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞全日本中学高校WebコンテストThinkQuest JAPAN審査員（2022年12月、特定非営利活動法人学校インターネット教育推進協会（JAPIAS））

### 張 浦華

＜作品発表＞1.東洋の幻想（鯉のぼりデザイン）（招待出品）（単独、2022年4月22日～5月8日、ミッドタウン・ガーデン（東京ミッドタウンガーデン運営㈱主催））／2.2022「北海道陶芸会展」ポスター ハガキ（単独、2022年7月、北海道陶芸会展）／3.東洋の幻想（オブジェ）（審査有り）（単独、2022年7月19日～24日、（仏）イル・ド・フランス イヴリーヌ県ランブイエ市パトノートル会場）／4.金彩茶碗（審査有り）（単独、2022年7月19日～24日、（仏）イル・ド・フランス イヴリーヌ県ランブイエ市パトノートル会場）／5.夏の花活（単独、2022年7月26日～31日、ギャラリー大通美術館）／6.箱庭（茶碗）（審査有り）（単独、2022年8月6日～12日、土岐市文化プラザ）／7.花園之歌（単独、2022年10月22日11月～6日、札幌芸術の森美術館）／8.「Go to paradise」（単独、2022年11月1日～8日、Taipei National University of the Arts, Yixiang Gallery）／9.「Time alone」（単独、2022年11月23日～12月2日、Art Center, Tainan University of Technology Gallery）／10.「Go to space」（単独、2022年12月1日～7日、Dream Forest Galley, Korea）／11.「Carp Streamer」（単独、2022年12月25日～28日、Sapporo Community Plaza）／12.一人静（水差）（審査有り）（単



独、2023年1月2日～2月26日、萩美術館・浦上記念館）／13.茶碗16点（単独、2023年3月9日～19日、台北倏忽空間 MOMENT SPACE）  
 <論文査読・学会抄録査読>1.札幌市大学ジャーナルの論文査読（札幌市立大学研究論文集 SCU Journal of Design & Nursing）  
 <学術集会運営>北海道陶芸会の55周年記念事業（北海道陶芸会の55周年記念事業 実行委員）  
 <所属学会・研究会>日本デザイン学会／日本感性工学会／北海道陶芸会  
 <講演会・講習会活動>台湾華梵大学国際課程講師演題”私と陶芸創作”（11/23 オンラインにより行った）「私と陶芸創作」（2022年11月23日）／台湾華梵大学主催華梵大学2023台日国際陶芸薪焼（穴窯）工作営講師（2/10-3/11）「抹茶茶碗の鑑賞と創作」（2023年2月11日）  
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>札幌大通りギャラリー美術館で行われた作品展のためのハガキのデザイン「2022北海道陶芸会展」（2022年7月26日～31日）

### 並木 翔太郎

<学術論文>1.新しいこども動物園における教育コンテンツの提案に向けた予備的研究：現こども動物園における利用実態調査（共著、2023年2月、調査研究報告書、pp.1-10）  
 <所属学会・研究会>筑波英語学会／日本語学会／日本英語学会／英語語法文法学会／日本語文法学会  
 <専門職者・企業・展覧会等への支援>「こころとカダラのライフデザイン」リレー講演（2022年1月、2月、3月、4月、JSTこころとカダラのライフデザイン共創拠点）

### 丸山 洋平

<学術論文>1.Child-Woman Ratioの分母年齢と地域別将来人口推計の精度との関係（単著、2022年11月、人口学研究、第58号、pp.29-50）  
 <共同報告書等>1.二宮書店『地理月報 No.561』での原稿執筆（依頼）（単著、2022年4月15日、地理月報、No.561、pp.10-12）  
 <国際会議での発表>1.A Consideration on the Objective Interpretation of Regional Indicators -Through a Critical Review of Regional Rankings（International Conference on Population Geography 2022 Tokyo, ZOOM、2022年9月）  
 <学会発表>1.マクロ統計データの組み合わせによる新たな地域人口分析指標（単独、日本人口学会第74回大会、神戸大学、2022年6月12日）／2.訪問リハビリMaaSによる社会実験（共同、LIFE2022、Web報告、2022年8月21日）／3.北陸新幹線金沢延伸前後の北陸3県の人口移動—最近の人口移動統計活用の可能性—（単独、経済統計学会第66回（2022年度）全国研究大会、Web報告、2022年9月6日）／4.基礎自治体の行政計画における人口指標の設定・測定実態（共同、日本人口学会2022年度第1回東日本地域部会、札幌市立大学、2022年10月1日）／5.拡大家族形成傾向の地域性を測定する指標作成の試み（単独、地域類型研究会、神戸大学、2022年12月17日）  
 <学会座長就任状況>LIFE2022（2022年8月21日、LIFE2022）／International Conference on Population Geography 2022 Tokyo（2022年8月25日、International Conference on Population Geography 2022 Tokyo）  
 <論文査読・学会抄録査読>1.人口学研究（3件、日本人口学会（2022年度中に1件））／2.人口問題研究（4件、国立社会保障・人口問題研究所（2022年度中に1件））  
 <学会役員就任状況>日本人口学会（編集委員（2020年6月～現在に至る））／人口学研究会（広報委員（2022年6月～現在に至る））  
 <学術集会運営>International Conference on Population Geography 2022 Tokyo（International Conference on Population Geography 2022 Tokyo（2022年8月25日～27日））／2022年度日本人口学会東日本地域部会（日本人口学会（2022年10月1日））  
 <所属学会・研究会>日本人口学会／日本家族社会学会／人文地理学会／日本地理学会／日本都市計画学会／経済統計学会／北海道社会学会／人口学研究会  
 <講演会・講習会活動>認定看護管理者教育課程サードレベル「正しい統計データの探し方、使い方」（2022年8月23日、札幌市立大学）／さっぽろ自由学校「遊」2022年度講演『日本の少子化と子育てを考える』第2回「北海道における少子化課題」（2022年11月30日、さっぽろ自由学校「遊」）／屯田





地区統計協議会研修会「調査結果の裏側を推測する一数字を用心して扱うために」(2022年12月12日、屯田地区統計協議会) / 神奈川県地域人口研究会「コロナ禍における人口移動の変化と今後の考察」(2023年3月14日、神奈川県総合政策課)

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞2022年度認定看護管理者教育課程サードレベルでの授業『正しい統計データの探し方、使い方』(2022年8月23日、札幌市立大学桑園キャンパス) / 令和4年度神奈川県地域人口研究会「コロナ禍における人口移動の変化と今後の考察」(2023年3月14日、神奈川県) / コロナと人口移動に関する助言(金子様)(北海道新聞)

## 森 朋子

＜その他の論文＞1. Tilaurakot-Kapilvastu as a landscape (依頼講演)(共著、2022年5月、Tilaurakot-Kapilvastu World Heritage Nomination Conference, 17-18 May 2022, Nepal) / 2. 21世紀・アイヌ文化伝承の森整備推進事業の内アイヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究報告書(共著、2023年3月、北海道大学観光学高等研究センター)

＜学会発表＞1. 第11回冬季オリンピック札幌大会総合計画再考、実施段階におけるスケート施設群の分散配置に着目して(単独、2022年度日本建築学会北海道支部研究報告集、95、pp.259-262、2022年6月) / 2. A Study on Development Strategy and Action Plans to Protect the Greater Lumbini Area in Nepal (共著、2022年8月、in *Proceedings of International Conference of Asian-Pacific Planning Societies 2022* (日本都市計画学会、国際会議(長崎)) p.156) / 3. 北海道内自治体における太陽光発電設備等の設置関連条例制定の実態(単独、2022年度日本建築学会大会(北海道)、pp.93-94、2022年9月) / 4. 函館市西部地区における絵葉書から見た地域価値、人々の場所の感覚と日常感に着目して(共同、日本都市計画学会北海道支部2022年度研究発表会予稿集、p.9、2022年11月)

＜論文査読・学会抄録査読＞1. 日本建築学会計画系論文集、査読付論文の査読(1件、日本建築学会) / 2. *Urban and Regional Planning Review*、査読付(英語)論文査読(1件、日本都市計画学会)

＜学会役員就任状況＞日本建築学会(都市計画本委員会委員) / 日本建築学会(グローバル景観小委員会委員) / 日本建築学会(2022年度日本建築学会大会(北海道)大会実行委員会行事部会委員) / 日本建築学会北海道支部(都市計画専門委員会委員(2022年度主査)) / 日本建築学会北海道支部(学術委員会委員) / 日本建築学会北海道支部(第95回日本建築学会北海道支部研究発表会実行委員) / 日本都市計画学会北海道支部(幹事) / 日本都市計画学会北海道支部(2022年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会実行委員) / 日本エコモス国内委員会(理事) / 日本エコモス国内委員会(第8小委員会(バッファゾーン)副査) / 日本エコモス国内委員会(第21小委員会(自然再生エネルギー開発と文化遺産への影響問題)副査)

＜学術集会運営＞第95回日本建築学会北海道支部研究発表会(日本建築学会北海道支部) / 公開研究会「再生可能エネルギーと景観」(日本建築学会都市計画委員会グローバル景観デザイン小委員会) / 2022年度日本建築学会大会(北海道)(日本建築学会) / 2022年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会(日本都市計画学会北海道支部) / 公開研究会「札幌都心部におけるまちづくりを考える」(日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会)

＜所属学会・研究会＞日本建築学会 / 日本都市計画学会 / 日本エコモス国内委員会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第95回日本建築学会北海道支部研究発表会の実行委員としての運営「第95回日本建築学会北海道支部研究発表会」(2022年6月25日、日本建築学会北海道支部) / 北海道遺産第4回選定審査員(2022年8月～10月、NPO法人北海道遺産協議会) / 建築学会北海道大会に合わせ、小委員会主催「景観ルックイン札幌」を企画・運営「景観ルックイン札幌」(2022年9月4日、日本建築学会都市計画委員会グローバル景観デザイン小委員会) / 公開研究会を本学サテライトキャンパスにて開催。研究会の運営サポート「公開研究会「再生可能エネルギーと景観」」(2022年9月5日、日本建築学会都市計画委員会グローバル景観デザイン小委員会) / 大会行事の企画として、むかわ町長へのインタビュー・編集等を担当「日本建築学会大会記念行事「平成30年北海道胆振東部地震から4年～それぞれの復興まちづくりをめぐるwebエクスカッション」」(2022年9月8日、日本建築学会) / 大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会まちづくり委員会・委員「大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会まちづくり委員会」(2022年10月～11月、大通Tゾーン駅前通地区まちづくり協議会) / 2022年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会の実行委員としての運営「2022年度日本都市計画学会北海道支部研究発表会」(2022年11月26日、日本都市計画学会北海道支部) / 「21世紀・ア



イヌ文化伝承の森整備推進事業の内イヌ文化振興にむけた観光学等の学術的・多角的観点からの調査研究」への参加（2022年11月～2023年3月、北海道大学観光学高等研究センター）／主査として公開研究会の企画・運営「札幌都心部におけるまちづくりを考える～札幌駅前通・札幌大通まちづくり会社との対話を通して～」（2023年1月17日、日本建築学会北海道支部都市計画専門委員会）／「世界遺産暫定リスト・ティラウラコットの世界遺産登録WS」への参加「ティラウラコット遺跡の世界遺産登録WS」（2023年3月25日・26日、ルンビニ開発機構）／「ユネスコ・日本信託基金・世界遺産ルンビニ保存管理強化事業」への参加「国際科学委員会」（2023年3月27日～29日、ユネスコ・カトマンズ事務所）／日本エコモス国内委員会理事、第8・21小委員会幹事（副査）として拡大幹事会・理事会参加（日本エコモス国内委員会）

### 山田 信博

＜学術論文＞1.寒冷地のサンルーム付き住戸の居住特性と実践的改修に関する研究（査読付論文）（共著、2023年3月、住総研 研究論文集・実践研究報告集 No.49）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／日本居住福祉学会／北海道都市地域学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞真駒内のまちづくりに関する事例を札幌市、UR都市再生機構と協議している（真駒内まちづくり協議会）

### 横溝 賢

＜学術論文＞1.情感をのせて殴り描くレコーディング手法の実践（共著、2022年、日本デザイン学会デザイン学研究 作品論文、28巻、1号、pp.160-165）／2.ことばを聴くことから始めるデザイン演習の試み（共著、2022年6月、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会概要集）／3.あるがままを享受できる社会的なデザインの可能性～札幌市電のある暮らしの息遣いを描き出すデザイン活動を事例として～（共著、2022年6月、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会概要集）／4.デザインの社会実践を促す独創アプローチの試み（共著、2022年6月、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会概要集）／5.問いを問い直す、語らう道具のデザイン実践～第68回日本デザイン学会春季研究発表大会オーガナイズドセッション2での場づくりとその準備を事例として（共著、2022年6月、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会概要集）／6.まちの記憶を描き、眺め、語り継ぐ社会的デザイン実践（共著、2022年9月、日本認知科学会第39回大会予稿集）／7.問いを問い直す、語らう道具のデザイン実践—オンライン学会用WEBチャットアプリConf-QRの道具作りを事例として（共著、2022年12月、第6回共創学会年次大会）／8.酵母との共生を通じた社会的なデザイン実践の試み（共著、2022年12月、第6回共創学会年次大会）／9.生活世界のより深い語りを生む抽象表現（共著、2022年12月、第6回共創学会年次大会）

＜学会座長就任状況＞第69回日本デザイン学会春季研究発表大会（2022年6月24日～6月26日、日本デザイン学会）／第13回日本デザイン学会第1支部大会「地域の見え方・接し方」（2022年10月22日、日本デザイン学会 第1支部会）

＜学術集会運営＞2022年度 日本デザイン学会情報デザイン研究部会オルタナティブ部vol0.01-vol.20（日本デザイン学会 情報デザイン研究部会）／2022年度第12回日本デザイン学会第1支部大会「地域の見え方・接し方」（日本デザイン学会 第1支部会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本工学教育協会／共創学会／認知科学会／日本教育メディア学会

＜講演会・講習会活動＞さっぽろ市民カレッジ「共創デザインの実践手法」11/18初回「自己の見えと他者の見えの交差による相互理解」（2022年11月18日、札幌市生涯学習センターちえりあ）／さっぽろ市民カレッジ「共創デザインの実践手法」11/25第2回「共創のうまれかた」（2022年11月25日、札幌市生涯学習センターちえりあ）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第69回JSSD春季研究発表大会オーガナイズドセッション企画運営「足元のWHYを問い直すデザイン～時間が生み出す構造を捉えて持続可能な社会システム」（2022年6月25日、日本デザイン学会情報デザイン研究部会）／第69回JSSD春季研究発表大会テーマセッション企画運営「足元のWHYを問い直すデザイン／人間中心でないデザイン」（2022年6月25日・26日、日本デザイン学会情報デザイン研究部会）／マンスリー研究部会 オルタナティブ部 企画運営（2022年度1年間、日本デザイン学会情報デザイン研究部会）／日本デザイン学会 情報デザイン



研究部会主査として部会の運営に携わる（2022年度1年間、情報デザイン研究部会）／日本デザイン学会第1支部会の幹事として同支部会の運営に携わる（2022年度1年間、JSSD第1支部会）／NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会の理事として同団体の運営に携わる（2022年度1年間、NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会）／岩手大学が運営する産官学民連携プラットフォーム岩手ネットワークシステムの研究部会、INS SDGs研究会の運営に会著として携わる（2022年度1年間、INS SDGs研究会）

### 石田 勝也

＜学術論文＞1.地球的視野を獲得するための高高度空間の芸術利用（主著、2022年4月31日、環境芸術学会、環境芸術第25号）／2.新しいこども動物園における教育コンテンツの提案に向けた予備的研究：現こども動物園における利用実態調査（共著、2023年2月、調査研究報告書、pp.1-10）

＜作品発表＞1.風音-かざね-（単独、2023年2月、こころとカラダのライフデザイン）／2.IEIE, Reflected: Phase2（共作、2023年2月、札幌市民交流プラザ）／3.吹雪とレーザーによる風の可視化（共作、2023年2月、札幌市民交流プラザ）

＜所属学会・研究会＞環境芸術学会／情報処理学会／芸術科学会

＜講演会・講習会活動＞さっぽろアートステージ「キッズアートフェス」（2022年11月7日～23日、さっぽろアートステージ実行委員会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞番組審議委員会（2022年度、FM北海道）／副教材作成検討委員会（2022年度、アイヌ民族文化財団）／札幌国際芸術祭SIAFラボメンバー／「札幌市消防局バーチャルコンテンツ制作業務」企画競争実施委員／札幌市広報課地上デジタルテレビ・データ放送の審査委員

### 大淵 一博

＜学会発表＞1.パケ買いしてしまう商品パッケージのイメージ分析（共同、感性フォーラム札幌2023、2023年2月）

＜学会役員就任状況＞日本感性工学会北海道支部（幹事（庶務・会計担当）※2019～）

＜学術集会運営＞感性フォーラム2023（日本感性工学会北海道支部）／第27回バーチャルリアリティ学会大会（日本バーチャルリアリティ学会）

＜所属学会・研究会＞電子情報通信学会／日本感性工学会／日本医療情報学会

＜講演会・講習会活動＞色彩分析ソフトウェア利用に関する講習会（2023年1月、札幌イメージコーディネート研究会）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌市長グリーンティングカード デザイン審査会（2022年10月25日、札幌市国際部）／診察券デザイン審査（2023年2月13日、NTT東日本札幌病院）／システム開発協力（通年、札幌の美しい景観を考える会）／実行委員会委員長（統括・経理・イベント企画・運営・デザイン制作協力等）（通年、北海道グレートサンタラン実行委員会）／ソフトウェア利用に関する講習会・Webサイトデザイン制作協力（随時、札幌イメージコーディネート研究会）

### 須之内 元洋

＜著書＞1.アイヌ文化発信コンテンツ「The Story of DEBO」（共著、2022年6月、Live Travelers オンライン）

＜報告書＞1.新しいこども動物園における教育コンテンツの提案に向けた予備的研究：現こども動物園における利用実態調査（共著、2023年2月、調査研究報告書、pp.1-10）

＜専門雑誌等執筆＞1.co-jin講座vol.2「はじめてのNFTとDAO～表現と活動の未来を考える～」（単著、2023年1月27日、きょうと障害者文化芸術推進機構（京都府障害者支援課））

＜論文査読・学会抄録査読＞1.DH Unbound 2022国際会議 抄録査読（4件、DH Unbound 2022 (The Association for Computers and the Humanities and Canadian Society for Digital Humanities)）

＜所属学会・研究会＞Association for Computing Machinery／デジタルアーカイブ学会／芸術科学会／情報処理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞障害者アートのデジタルアーカイブの運用・構築及びギャラリー広報の支援、専門職向け講義「co-jin講座vol.2「はじめてのNFTとDAO～表現と活動の未来を考える～」」（2023年1月27日、きょうと障害者文化芸術推進機構（事務局 京都府））／福祉支援施設



入居者の表現に関するデジタルアーカイブ運用支援（みずのき美術館）／陶磁器デザイナー森正洋氏のデジタルアーカイブ運用支援（合同会社森正洋デザイン研究所）／「アートトリサーチ」データベースの運用支援、天神山アートスタジオウェブサイト運用支援（さっぽろ天神山アートスタジオ）／アートプロジェクト ワークショップ運用支援、プロジェクトウェブメディア構築（NPOアートフル・アクション）／インダストリアルデザイナー柳宗理氏のデジタルアーカイブ構築アドバイス・支援（一般財団法人柳工業デザイン研究会）／八王子市の文化財マップの運用支援（株式会社SETENV）

## 福田 大年

＜学術論文＞1.視点の違いを楽しむ共観プロセスの解明（共著、2022年6月、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会）／2.問いを問い直す、語らう道具のデザイン実践：第68回日本デザイン学会春季研究発表大会オーガナイズドセッション2での場づくりとその準備を事例として（共著、2022年6月、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会）／3.協創で再構成される野外観察：個人の表現活動と他者との学び合いが連動した外的世界の認知（共著、2022年6月、第69回日本デザイン学会春季研究発表大会）／4.創造的人材を育む組織文化の醸成：共創型ビジュアル思考を活用した小学校の新しい学び場づくりから（共著、2022年12月、共創学会第6回年次大会）／5.制作者の迷いと決断から生まれる創造性の可視化：制作過程記録動画を鑑賞者と見合うことで見出される制作者の無意識を認知する（共著、2022年12月、共創学会第6回年次大会）／6.一筆描きの制作と鑑賞の特徴（共著、2022年12月、共創学会第6回年次大会）／7.協創的に学習を再構成する図的表現：「学びの展開図」の開発（単著、2022年12月、共創学会第6回年次大会）

＜報告書＞1.動物科学館における展示デザインリニューアルに向けた検証（共著、2023年3月、札幌市）

＜学会座長就任状況＞第69回日本デザイン学会春季研究発表大会（2022年6月、日本デザイン学会）

＜学会役員就任状況＞日本デザイン学会（支部長（2022年6月～現在に至る））

＜学術集会運営＞日本デザイン学会第一支部大会（大会テーマ「地域の見え方・接し方」）（日本デザイン学会第一支部会）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ヒューマンインタフェース学会／共創学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞NoMaps2022 メインビジュアル用アートワークコンペティション選考員（2022年4月12日～4月29日、NoMaps 実行委員会事務局）／予稿レベルの論文執筆に関するアドバイス業務（2022年7月1日～2023年3月31日、株式会社グラグリッド）／北8西1地区第一種市街地再開発事業 地域全体等のネーミングの字体デザイン作成事業（2022年7月27日～10月31日、札幌駅北口8・1地区市街地再開発組合）／学部・研究科FD研修会「デザイン総合実習における学びの設計と現状」（2022年9月21日、札幌市立大学）／都市型水族館のコミュニケーションツールとしての配布資料のデザイン制作（2022年11月～2023年2月、株式会社青々）／札幌市立大学×JAF札幌支部×厚真町 観光ルート創出アンケート調査（2023年2月12日、厚真町、JAF札幌支部、札幌市立大学）／AOAO SAPPORO コミュニケーションツールとしての絵本のデザイン制作（2023年3月～2023年6月、株式会社青々）／デジタルトランスフォーメーションワーキンググループ メンバー（札幌市立大学）

## 松永 康佑

＜学会発表＞1.握手状態での運動計測データに基づく再現CGと樺太アイヌ衣服の再現性について（共同、第56回研究大会・日本文化人類学会 分科会発表、2022年6月4日）／2.色眼鏡インターフェースを用いたゲーム設計 ゲームを通じた新たなコミュニケーション体験の創造（共同、日本デザイン学会第69回研究発表大会、2022年6月26日）／3.看護教育のための血圧測定を入力インタフェースとして用いたゲームの試作（共同、情報処置学会 インタラクシオン2023 インタラクティブ発表（デモ）、2023年3月8日）／4.四分円環体が連結した運動によるアニメシー知覚に関する研究（単独、情報処置学会 インタラクシオン2023 インタラクティブ発表（デモ）、2023年3月9日）／5.ルールを解くデジタルジグソーパズルの制作（共同、情報処置学会 インタラクシオン2023 インタラクティブ発表（デモ）、2023年3月10日）

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／ADADA学会／ACM SIGGRAPH／日本図学会／日本看護科学学会

**坪内 健**

＜学術論文＞1.Actual conditions and a planning review of collective relocation site from the view of changes in neighborhood relationships: Focusing on the collective relocation project for disaster prevention in Koizumimachi district, Kesenuma city, Japan (共著、2023年1月、Japan Architectural Review)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本建築学会計画系論文集（3件、日本建築学会）／2.日本建築学会技術報告集（3件、日本建築学会）

＜学会役員就任状況＞日本建築学会（特別研究委員会・多元性に着目した復興再考〔若手奨励〕、委員）／日本建築学会北海道支部（建築計画専門委員会、委員）／日本建築学会北海道支部（都市計画専門委員会、委員）

＜学術集会運営＞第125回研究会「合理的配慮から大学キャンパスライフを再考する」（人間・環境学会）

＜所属学会・研究会＞日本建築学会／都市住宅学会／北海道都市地域学会／日本都市学会／人間環境学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞ニセコ景観デザインレビュートライアルのワークショップのファシリテーター「景観デザインレビュートライアル第1章」（2022年12月12日、ニセコ景観研究会）／ニセコ景観デザインレビュートライアルのワークショップのファシリテーター「景観デザインレビュートライアル第2章」（2023年1月30日、ニセコ景観研究会）

**矢久保 空遥**

＜所属学会・研究会＞日本デザイン学会／日本音響工学会／日本感性工学会／芸術工学会／日本サウンドスケープ協会

**吉田 彩乃**

＜国際会議での発表＞1.訪問リハビリMaaSによる社会実験（2022年8月）／2.AI技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデル（2022年8月）

＜学術集会運営＞2023年度 人工知能学会全国大会（第37回）（一般社団法人人工知能学会）／第27回（2022年）日本バーチャルリアリティ学会大会（日本バーチャルリアリティ学会）

＜所属学会・研究会＞人工知能学会／情報処理学会／日本生態心理学会／日本コンピューティング化学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞第37回全国大会の実行委員としてOSの募集・選定・取りまとめを担当（委嘱状あり）「2023年度 人工知能学会全国大会（第37回）」（2022年9月～2023年3月末、一般社団法人人工知能学会）／第27回（2022年）日本バーチャルリアリティ学会大会の会場担当として会場準備を行い、退会期間中は受付を担当「第27回（2022年）日本バーチャルリアリティ学会大会」（2022年9月12日～14日、日本バーチャルリアリティ学会）／こころとカラダのライフデザイン協創拠点・ワタシ的デザインアップデートWSの運営として会場設営、広報用ポスター・チラシの準備を担当「ワタシ的デザイン"アップデート：ココロ×カラダ×ライフのミライを考える」（2023年2月5日・11日～12日、国立研究開発法人科学技術振興機構）



## 看護学部

### 松浦 和代

＜学術論文＞1.妊娠初期における口腔内自覚症状と関連要因の分析（共著、2022年7月、口腔衛生学会雑誌、72巻、3号、pp.165-171）

＜受賞等＞1.Student Poster Presentation Award（2022年9月、The 41st Annual Interenational Conference on Simulation Technology）

＜学会発表＞1.Food Allergyを持つ幼児の親を対象としたElectronic Diaryの導入とその評価（共同、2022年7月、日本小児看護学会第32回学術集会）／2.病院内での災害対策の取組み 小児病棟・NICUでの災害時の対策や日頃の備えはできていますか？（共同、2022年7月、日本小児看護学会第32回学術集会）／3.Development of a system to predict child abuse in newborns（共同、2022年9月、The 41st Annual Interenational Conference on Simulation Technology）／4.幼児の家庭内事故を防ぐための危険予知トレーニング講習会の実施と評価（共同、2022年10月、日本セイフティプロモーション学会第16回学術大会）／5.乳幼児の親子を対象とした究明処置技術講習会の実施と評価（共同、2022年10月、日本セイフティプロモーション学会第16回学術大会）／6.NICUにおけるオンライン面会の導入と評価—コロナ禍における親支援の新たな取組み（共同、2022年11月、第31回日本新生児看護学会学術集会）／7.乳児虐待リスク予測システムプロトタイプの開発（共同、2022年11月）

＜学会座長就任状況＞小児看護における看護倫理（単独、2022年7月、日本小児看護学会第32回学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本小児看護学会第32回学術集会（5件、日本小児看護学会）／2.日本看護学教育学会第32回学術集会（5件、日本看護学教育学会）／3.第27回日本糖尿病教育・看護学会学術集会（3件、日本糖尿病教育・看護学会）／4.第42回日本看護科学学会学術集会（5件、日本看護科学学会）／5.日本小児看護学会誌（1件、日本小児看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本小児看護学会（評議員）／日本看護学教育学会（評議員）／日本看護科学学会（社員（代議員））／全国病弱教育研究会（北海道・東北ブロック世話人）／北海道成育看護研究会（理事長）／北海道学校保健学会（理事）／北海道臨床工学技士会（理事）／北海道小児保健研究会（幹事）

＜学術集会運営＞LIFE2022

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本学校保健学会／日本小児保健研究／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本新生児看護学会／日本口腔衛生学会／北海道成育看護研究会／北海道学校保健学会／北海道臨床工学技士会／北海道小児保健研究会／全国病弱教育研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞高度実践看護師教育課程認定委員会「審査」（2022年・1年間、日本看護系大学協議会）／アドバイザー「終末期の子ども受け入れのためのマニュアル編集」（2022年・1年間、特定非営利活動法人ファミリーハウス）／FD研修会「看護基礎教育における卒業生との連携に向けて」（2023年3月8日、茨城キリスト教大学）

### 菊地 ひろみ

＜学術論文＞1.北海道内の訪問看護ステーションにおける訪問看護師の人材確保の課題と対応—管理者の視点から（共著、2022年8月、日本在宅看護学会誌、11巻、1号、pp.33-41）／2.訪問看護ステーションの新卒看護師採用に関する実態と課題（共著、2023年3月、北海道公衆衛生学会誌、36巻、2号、pp.69-74）

＜学会発表＞1.身近なつながり作りに向けた「新人訪問ナース オンライン交流会」の開催（2022年11月、第12回日本在宅看護学会学術集会）／2.ALS患者・家族の支援プログラム構築にむけて—専門職が行っている支援内容に焦点を当てて—（2022年12月、第42回日本看護科学学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.在宅看護から始めるキャリア形成（単独、2022年9月、リハビリテーション・ケア合同研究大会 苫小牧 2022）／2.地域に在住する高齢者のフレイル予防と食（単独、2023年3月、日本食品科学工学会令和5年度 北海道支部大会）

＜学会招聘講演＞1.在宅看護から始める看護キャリア形成（単独、2022年9月、第53回日本看護協会学術集会）

＜研究会発表等＞1.ICT活用による訪問看護支援システム開発（共同、2022年11月、札幌市立大学）



＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本難病看護学会誌（2件、日本難病看護学会）／2.第27回日本在宅ケア学会学術集会（6件、日本在宅ケア学会）／3.死の臨床（1件、日本死の臨床研究会）  
 ＜学会役員就任状況＞日本在宅ケア学会（理事）／日本難病看護学会（編集委員）／北海道公衆衛生学会（評議委員 査読委員）  
 ＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本難病看護学会／日本難病医療ネットワーク学会／日本在宅ケア学会／日本在宅看護学会  
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞訪問看護推進検討会委員（2022年6月～2023年3月、北海道看護協会）／看護教員養成研修会講師（北海道看護協会）／北海道新卒訪問看護師育成支援会議（北海道看護協会）

### 川村 三希子

＜学術論文＞1.認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントにおける看護実践自己評価尺度の開発（共著、日本看護科学学会誌、42巻、pp.291-300）  
 ＜著書＞1.がん看護ナースポケット（共著、2022年4月、学研メディカル秀潤、978-4-7809-1409-2、pp.449-454、pp.455-460、pp.461-466）／2.超高齢者の緩和ケア（共著、2022年10月、南山堂、978-4525504717、pp.118-122、pp.217-232）  
 ＜資料＞1.アドボカシー（2023年3月、雑誌：がん看護、28巻、3号、pp.240-242）  
 ＜受賞等＞1.学術奨励賞・教育、実践部門（2023年2月、日本がん看護学会）  
 ＜学会発表＞1.老人看護専門看護師が捉える看護師の倫理的感受性と倫理的感受性を育むアプローチ（共同、2022年6月、老年看護学会）／2.外見の変化を体験したがんサバイバーのヘルスリテラシーに関するアンメットニーズ（共同、2023年2月、日本がん看護学会）／3.外見の変化を体験したがんサバイバーのヘルスリテラシーの実態（共同、2023年2月、日本がん看護学会）  
 ＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本がん看護学会誌（3件、日本がん看護学会）／2.日本看護学会（5件、日本看護学会）／3.日本看護科学学会（5件、日本看護科学学会）／4.日本がん看護学会（5件、日本がん看護学会）／5.日本緩和医療学会（17件、日本緩和医療学会）  
 ＜学会役員就任状況＞日本ホスピス緩和ケア協会（監事）／日本緩和医療学会（代議員）／日本看護科学学会（評議員）／日本がん看護学会（倫理委員（副委員長））／日本がん看護学会（査読委員）／日本緩和医療学会 北海道支部（運営委員）／北海道がん心身ネットワーク研究会（世話人）／日本死の臨床研究会（編集委員）  
 ＜学術集会運営＞LIFE2022  
 ＜所属学会・研究会＞日本がん看護学会／日本看護科学学会／日本老年看護学会／日本緩和医療学会／日本死の臨床研究会／日本ホスピス緩和ケア協会  
 ＜講演会・講習会活動＞認知症×がんとホスピス（2022年6月20日、ファミリーホスピス株式会社）  
 ＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞2022年ELNEC-J看護師教育プログラム in 札幌（2022年6月20日～21日）／専門的緩和ケアに従事する看護師の能力を可視化し、育む～SPACE-N 3ステッププログラムの活用を通して～（2022年8月20日、日本ホスピス緩和ケア協会）／専門的緩和ケア看護師教育プログラム（2022年8月～12月、日本ホスピス緩和ケア協会）／NP資格認定試験 試験監督（2023年3月5日、一般社団法人日本NP教育大学院協議会）

### 荒木 奈緒

＜学会発表＞1.出生前検査の各検査の受検における意思決定の際に妊婦が抱く心理の違いについて（共同、2022年8月、第21回日本遺伝看護学会）／2.胎児の立場から見た出生前検査に対する考えー看護学生を対象としたアンケート調査ー（共同、2022年8月、第21回日本遺伝看護学会）／3.男性の父性意識の形成から父親役割の獲得に至るまでの経験ー妊娠期の妻・我が子との関りからー（共同、2022年10月、第52回北海道母性衛生学会）  
 ＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本助産学会誌（6件、日本助産学会）  
 ＜学会役員就任状況＞日本助産学会（代議員）／日本遺伝看護学会（学会誌編集委員）／日本看護学会（学術集会抄録選考委員）／北海道母性衛生学会（理事）／北海道成育看護研究会（評議員）  
 ＜学術集会運営＞日本遺伝看護学会第21回学術大会／第16回北海道成育看護研究会  
 ＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本看護科学学会／日本母性衛生学会／日本遺伝看護学会／日本遺



伝カウンセリング学会／日本生命倫理学会／日本看護技術学会／日本小児看護学会／日本超音波医学会  
／日本小児保健協会／全国助産師教育協議会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞個別調査部会部会員「日本医療安全調査機構 個別調査部会部  
会員」（2022年4月1日～2023年3月31日、日本医療安全調査機構）／臨床看護研究指導講師（2022  
年5月1日～2023年3月31日、NTT東日本札幌病院）／NIPT教育ワーキンググループ サブリーダー  
（2023年1月20日～2023年3月31日、日本助産学会）

## 卯野木 健

＜学術論文＞1.Development and initial validation of the Japanese healthy work environment  
assessment tool for critical care settings. (共著、2022年5月、PLoS One) / 2.Variation in  
communication and family visiting policies in intensive care within and between countries during  
the Covid-19 pandemic: The COVISIT international survey. (共著、2022年5月、J Crit Care) /  
3.Effectiveness of Nurse-Led Interventions for the Prevention of Mental Health Issues in Patients  
Leaving Intensive Care: A Systematic Review. (共著、2022年9月、Healthcare) / 4.Survey of  
Glasgow Coma Scale and PaO2/FIO2 ratio assessment methods for the Sequential Organ Failure  
Assessment score in Japanese intensive care units (共著、2022年9月、Acute Med Surg) /  
5.Impact of Energy and Protein Delivery to Critically Ill Patients: A Systematic Review and  
Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials. Nutrients. (共著、2022年11月、Nutrients) /  
6.Clinical practice competencies for standard critical care nursing: consensus statement based on  
a systematic review and Delphi survey. (共著、2023年1月、BMJ Open) / 7.Appetite loss and  
associated factors at 1 year after intensive care unit elder survivors in a secondary analysis of the  
SMAP-HoPe study. (共著、2023年1月、Sci Rep) / 8.Prevalence, Location, and Interference With  
Daily Life of Chronic Pain in Long-Term Survivors After Discharge From a Tertiary Emergency  
Center. (共著、2023年2月、Cureus)

＜受賞等＞1.Top Cited Article (2022年12月、Acute medicine&surgery) / 2.Top Downloaded  
Article (2023年3月、Japan Journal of Nursing Science)

＜学会発表＞1.クリティカルケア看護師のワークエンゲージメントを高める (単独、2022年6月、日本  
クリティカルケア看護学会) / 2.「人工呼吸器からの離脱」を理解する 基礎知識から臨床での考え方  
まで (単独、2022年10月、日本救急看護学会) / 3.これでいいのかICU看護 (単独、2023年3月、日本  
集中治療医学会) / 4.ICU入室患者における退室1年後における離職の予測モデルの検討-機械学習を用  
いた予備的検討- (共同、2023年3月、日本集中治療医学会)

＜学会シンポジウム＞1.研究テーマの探し方 (2022年6月、日本クリティカルケア看護学会) / 2.日  
本集中治療医学会における認証看護制度 (ICRN,ICRN-K) に関して (2022年10月、日本救急看護学  
会) / 3.重症患者リハビリテーション診療GLできました！ (2023年3月、日本集中治療医学会)

＜学会座長就任状況＞一歩進んだPICSケア -患者が入院前の生活を取り戻すために私たちができるこ  
と- (2022年6月、日本クリティカルケア看護学会) / 集中治療看護の課題と未来 (2023年3月、日本集  
中治療医学会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本クリティカルケア看護学会 (7件、日本クリティカルケア看護学  
会) / 2.Intensive Care Medicine (1件、ESICM) / 3.International Journal of Critical Care (1件、  
WFCCN) / 4.Brain Science (1件、MDPI) / 5.Nursing Open (1件、Wiley) / 6.日本集中治療医学  
会 (7件、日本集中治療医学会) / 7.日本クリティカルケア看護学会雑誌 (2件、日本クリティカルケ  
ア看護学会) / 8.Journal of Clinical Medicine (2件、MDPI) / 9.Nursing in Critical Care (1件、  
BACCN)

＜学会役員就任状況＞日本集中治療医学会 (理事) / 日本クリティカルケア看護学会 (理事) / 看護理  
工学会 (教育委員会委員)

＜所属学会・研究会＞日本集中治療医学会／日本呼吸療法医学会／日本クリティカルケア看護学会／看  
護理工学会／American Association for Critical Care Nurses／Society of Critical Care Medicine

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞各病棟における質の改善活動のアドバイス (手稲溪仁会病院)





### 小田 和美

＜学会発表＞1.糖尿病の療養支援が“すんなりいかない”ときの突破口～看護の教育的関わりモデルの「教育的関わり技法」～（共同、2022年9月、第27回日本糖尿病教育・看護学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞日本保健医療行動科学会（日本保健医療行動科学会評議員）／日本糖尿病・教育看護学会（日本糖尿病教育・看護学会査読委員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本保健医療行動科学会／日本糖尿病学会／日本糖尿病妊娠学会／日本看護研究学会／日本看護管理学会／日本慢性看護学会／日本看護学教育学会／日本循環器看護学会／日本がん看護学会／千葉看護学会／日本老年行動科学会／日本心身医学会

### 貝谷 敏子

＜学術論文＞1.高齢者に発生したスキン・ケアの創の特徴と発生および治療に伴うアウトカムに関する縦断調査（共著、2022年11月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会、26巻、3号、pp.248-260）

＜著書＞1.老年看護学技術改訂4版 循環（共著、2023年3月、南江堂、9784524233175、pp.43-54）

＜資料＞1.貝谷敏子、高齢者のスキントラブル予防と日常ケア 高齢者のスキン・ケア予防とケアの留意点、認知症ケア。（札幌市立大学 看護学部老年看護学）. 2022 ; 23 (4) : 35-40（単著、2022年11月、日総研、23巻、4号、pp.35-40）

＜学会座長就任状況＞WOCナースのキャリアデベロップメント（共同、2022年5月、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本創傷・オストミー・失禁管理学会学会誌（2件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／2.日本看護科学学会誌（1件、日本看護科学学会）／3.日本創傷・オストミー・失禁管理学会学会誌（5件、日本創傷・オストミー・失禁管理学会）／4.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）

＜学会役員就任状況＞日本創傷・オストミー・失禁管理学会（庶務担当）／日本褥瘡学会（社員）／看護理工学学会（査読委員）／日本創傷治癒学会（社員）

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞札幌医科大学倫理委員会外部委員（札幌医科大学）／JWOC排泄エコー講習会・開催運営（日本創傷・オストミー・失禁管理学会）

### 喜多 歳子

＜実践報告等＞1.公衆衛生看護学臨地実習のオリエンテーションにおいて実施した実習の留意事項に関する教育実践：倫理的葛藤事例を用いたケースメソッドの教育的有効性（共著、2022年5月、保健師教育、6巻、1号、pp.71-79）

＜学会座長就任状況＞一般演題「健康支援・健康増進」（単独、2022年9月、日本産業衛生学会全国協議会）／講演「親子保健・地域保健」（単独、2022年10月、北海道公衆衛生学会）／一般演題「親子保健・福祉A」（2022年12月、日本公衆衛生看護学会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本産業衛生学会全国協議会（6件、日本産業衛生学会全国協議会）／2.日本公衆衛生看護学会誌（2件、日本公衆衛生看護学会）／3.日本公衆衛生看護学会誌（6件、日本公衆衛生看護学会）／4.北海道公衆衛生学会誌（1件、北海道公衆衛生学会）

＜学術集会運営＞日本産業衛生学会全国協議会／LIFE2022

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生学会／日本疫学会／日本産業衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／看護総合科学研究会／北海道公衆衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞評議員会にて事業計画・報告、収支決算・予算を審議する（札幌市中央区社会福祉協議会）／委員として民生委員・児童委員候補の推薦に関わる審議（札幌市中央区桑園地区民生委員・児童委員推薦準備会委員）／理事として協会の活動全般を審議する（北海道公衆衛生協会）

### 定廣 和香子

＜特許・意匠登録＞心臓の模擬装置（2023年3月）

＜学会発表＞1.血液透析導入期の患者への看護実践に関する文献研究（共同、2022年11月、日本看護技術学会）／2.D×N（Design and Nursing）による3D心電図学習教材の開発－ユーザビリティの検討（共同、2022年12月、日本看護科学学会）／3.看護師長の知覚を通じた師長が行う看護実践の解明



(共同、2022年12月、日本看護科学学会) / 4.3D心電図学習教材開発に向けた理論的枠組みの構築とプロトタイプ制作(共同、2022年12月、日本看護科学学会) / 5.大学院教育による看護学教育者の育成に向けたCNE制度の検討(共同、2022年12月、日本看護科学学会) / 6.「いたみを押し量り表出する機会をつくる遊びの提案」(共同、2022年12月、アートミーツケア学会)

＜研究会発表等＞1.デザインと看護の連携による心電図初学者のための3D学習教材開発(2022年11月、産学官金研究交流会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護技術学会誌(1件、日本看護技術学会) / 2.日本看護学教育学会誌(1件、日本看護学教育学会) / 3.SCUジャーナル(1件、札幌市立大学)

＜学会役員就任状況＞日本看護科学学会(代議員) / 日本看護学教育学会(教育制度委員会委員) / 日本看護技術学会(評議員)

＜学術集会運営＞日本看護教育学会第31回会学術集会 企画委員 / 日本看護教育学会第32回会学術集会 企画委員

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会 / 日本看護教育学会 / 日本看護科学学会 / 医療の質・安全学会 / Sigma・Theta・Tau International / 日本看護技術学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞専任教員養成講習会講師「2022年度北海道専任教員養成講習会」(2022年6月17日～7月15日、北海道・北海道看護協会企画) / 学会代表委員(診療報酬のあり方検討会)として要望書提出について審議「診療報酬のあり方検討会(合同委員会含む)」(2022年9月28日、2023年1月6日、3月1日、看護社会保険連合)

### 佐藤 ひとみ

＜著書＞1.医療情報 第7版 医学・医療編(共著、2022年6月、篠原出版、9784867058138、pp.264-266)

＜学会発表＞1.看護基礎教育における看護情報学のモデルシラバスの検討(共同、2022年11月、第42回日本医療情報学連合大会)

＜学会シンポジウム＞1.看護基礎教育では「看護情報学」の何を教えるか(単独、2022年7月、第23回日本医療情報学会看護学術大会)

＜所属学会・研究会＞日本看護管理学会 / 日本医療情報学会 / 日本看護科学学会 / 北海道医学会 / 看護総合科学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞病院機能評価サーベイヤー(2022年8月8日/8月9日、日本医療機能評価機構)

### 樋之津 淳子

＜学術論文＞1.The Effect of Lavender on Sleep Quality in Individuals Without Insomnia(共著、2022年7月、Holistic Nursing Practice、36巻、4号、pp.223-231)

＜学会発表＞1.中堅看護師が望むリカレント研修(共同、2022年8月、第26回日本看護管理学会学術集会) / 2.新型コロナウイルス感染症流行下での台湾北部地方における地域在住高齢者の睡眠と身体活動量との関係(共同、2022年12月、第42回日本看護科学学会学術集会)

＜学会座長就任状況＞一般演題1(単独、2022年9月、第4回看護人間工学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護学教育学会誌(1件、日本看護学教育学会) / 2.日本看護科学学会誌(6件、日本看護科学学会) / 3.日本看護技術学会誌(1件、日本看護技術学会) / 4.札幌市立大学研究論文集(1件、札幌市立大学) / 5.日本看護研究学会誌(1件、日本看護研究学会) / 6.看護理工学会誌(1件、看護理工学会) / 7.日本医療大学紀要(1件、日本医療大学) / 8.日本看護学教育学会誌(3件、日本看護学教育学会)

＜学会役員就任状況＞看護理工学会(評議員・監事) / 看護人間工学会(理事) / 日本看護科学学会(評議員) / 日本看護学教育学会(評議員) / 日本看護研究学会(評議員) / 日本看護研究学会北海道地方会(役員) / 日本看護技術学会(評議員)

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会 / 看護人間工学会 / 看護理工学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護技術学会 / 日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞研究会の運営委員、全国実態調査、意見交換(北のケア環境研究会)



### 菅原 美樹

＜学術論文＞1.Nursing Difficulties and Issues in Endoscopic Sedation: Qualitative Research in Japan (共著、2022年5月、Gastroenterology nursing、45巻、3号、pp.174-183)

＜学会発表＞1.Development of direct care competency assessment measures for critical care certified nurse specialist in japan (共同、2022年4月、25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference) / 2.Family nursing care for ICU trauma patients considered important by expert critical care nurses in japan (共同、2022年4月、25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference) / 3.重症外傷患者の看護に対するクリティカルケア領域の熟練看護師の学習ニーズ (共同、2022年6月、第18回日本クリティカルケア看護学会学術集会) / 4.救急看護認定看護師の救急外来部門における教育的役割活動の実態 (共同、2022年10月、第24回日本救急看護学会学術集会)

＜学会座長就任状況＞シンポジウム10 看護の最前線で活動している研究者は、どんなことを考えて研究しているのか (2022年6月、第18回日本クリティカルケア看護学会学術集会) / 教育講演1 救急外来における看護実践の評価: 医療の質評価と改善活動 (2022年10月、第24回日本救急看護学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本クリティカルケア看護学会誌 (2件、日本クリティカルケア看護学会) / 2.日本救急看護学会雑誌 (1件、日本救急看護学会) / 3.第18回日本クリティカルケア看護学会学術集会 (4件、日本クリティカルケア看護学会) / 4.第24回日本救急看護学会学術集会 (4件、日本救急看護学会) / 5.日本災害看護学会第25回年次大会 (3件、日本災害看護学会)

＜学会役員就任状況＞日本救急看護学会 (庶務担当理事 医療政策委員会担当理事) / 日本クリティカルケア看護学会 (将来構想委員会担当理事 看護師認証制度検討委員会担当理事 選挙管理委員長) / 日本災害看護学会 (代議員)

＜学術集会運営＞第20回日本クリティカルケア看護学会学術集会 企画委員

＜所属学会・研究会＞日本救急看護学会 / 日本クリティカルケア看護学会 / 日本循環器看護学会 / 日本看護管理学会 / 日本集中治療医学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護教育学学会 / 日本看護研究学会 / 日本災害看護学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞認定看護師審査会 構成員 (公益社団法人日本看護協会) / 看護の診療報酬・介護報酬体系に関する審議・提案 社員 (一般社団法人看護系学会等社会保険連合) / FD研修会「効果的なOSCEの導入に向けて」 (2022年12月1日、関西医科大学看護学部)

### 高橋 奈美

＜学会発表＞1.筋萎縮性側索硬化症 (ALS) の進行過程におけるALS患者と家族の関係性に関する研究 (単独、2022年12月、第42回日本看護科学学会学術集会) / 2.筋萎縮性側索硬化症 (ALS) 患者家族の支援プログラム構築に向けて - 専門職が行っている支援内容に焦点を当てて - (共同、2022年12月、第42回日本看護科学学会学術集会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本難病看護学会誌 (2件、日本難病看護学会)

＜学会役員就任状況＞日本慢性看護学会 (評議員) / 日本在宅ケア学会 (代議員)

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会 / 日本難病看護学会 / 日本在宅看護学会 / 日本在宅ケア学会 / 日本慢性看護学会 / 日本専門看護師協議会 / 北海道医療大学看護福祉学部学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞災害対策研修会「厳冬期における災害への備えー医療的ケアを必要とする小児と家族のための福祉避難所要件の検討ー」 (2022年10月29日、日本小児看護学会)

### 原井 美佳

＜調査研究報告書＞1.寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発

＜研究会発表等＞1.積雪寒冷地域の自治体との協働による高齢者向け健康啓発イベントーいきいき健康塾の継続的な実施ー (共同、2022年11月、2022年度SCU産学官金研究交流会)

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会 (北海道公衆衛生学会評議員 (機関指定評議員))

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会 / 日本老年泌尿器科学会 / 日本排尿機能学会 / 日本公衆衛生学会 / 北海道公衆衛生学会 / 日本看護学教育学会 / 日本看護科学学会 / 日本農村医学会 / 日本認知症ケア学会 / 札幌市介護支援専門員連絡協議会 / 全国福祉用具専門相談員協会 / 日本産業カウンセラー協会 / 日本コンチネンス協会 / 日本スピリチュアルケア学会



### 檜山 明子

＜学術論文＞1.The Effect of Lavender on Sleep Quality in Individuals Without Insomnia（共著、2022年7月、Holistic Nursing Practice、36巻、4号、pp.223-231）／2.選択に関連する視覚刺激が感情に与える影響（共著、2022年9月、日本感性工学会論文誌、21巻、4号、pp.379-385）／3.認知症高齢がん患者の疼痛マネジメントにおける看護実践自己評価尺度の開発（共著、2022年11月、日本看護科学会誌、42巻、pp.291-300）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.医療の質・安全学会誌（1件、医療の質・安全学会）／2.SCUジャーナル（1件、SCUジャーナル）

＜所属学会・研究会＞日本看護研究学会／日本看護倫理学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／看護総合科学研究会／北のケア環境研究会／日本看護技術学会／日本医療・病院管理学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞運営委員（事務局）（2022年4月1日～2023年3月31日、北のケア環境研究会）／北海道専任教員養成講習会講師（2022年6月29日～8月16日、北海道看護協会）

### 本田 光

＜実践報告書＞1.公衆衛生看護学臨地実習のオリエンテーションにおいて実施した実習の留意事項に関する教育実践 - 倫理的葛藤事例を用いたケースメソッドの教育的有用性（2022年5月、保健師教育、6巻、1号、pp.71-79）

＜受賞等＞1.学術奨励賞優秀論文（2022年12月、日本公衆衛生看護学会）

＜学会発表＞1.IMPROVING STUDENTS' NURSING SKILLS BY CONTINUOUS HOME VISITS TO ELDERLY PEOPLE LIVING IN PUBLIC HOUSING（共同、2022年4月、25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference）／2.SEX-RELATED THINKING AND BEHAVIOR OF CHILDREN WITH DISABILITIES（共同、2022年4月、25th East Asian Forum of Nursing Scholars Conference）／3.EFFECTS OF CONTINUOUS HOME VISITS BY NURSING STUDENTS ON ELDERLY PEOPLE LIVING IN PUBLIC HOUSING（共同、2022年10月、The 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science）／4.妊娠期における父親支援プログラムの開発ー日本版BPPアウトラインの明確化ー（共同、2022年12月、日本子ども虐待防止学会第28回学術集会）／5.公衆衛生看護学会学術実践開発委員会ワークショップ（共同、2022年12月、第11回日本公衆衛生看護学会）

＜学会座長就任状況＞一般演題座長「第33群 成人保健A・産業保健C」（2022年12月、第11回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.BMC Health Services Research（1件、BMC Health Services Research）／2.第11回日本公衆衛生看護学会学術集会（5件、第11回日本公衆衛生看護学会学術集会）／3.日本公衆衛生看護学会誌（2件、日本公衆衛生看護学会誌）／4.Public Health Nursing（1件、Public Health Nursing）／5.名寄市立大学紀要（1件、名寄市立大学紀要）／6.北海道公衆衛生学会誌（1件、北海道公衆衛生学会誌）／7.BMC Primary Care（1件、BMC Primary Care）／8.日本地域看護学会誌（1件、日本地域看護学会誌）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）／日本公衆衛生看護学会（学術実践開発委員会委員）

＜学術集会運営＞第32回日本産業衛生学会全国協議会

＜所属学会・研究会＞日本産業衛生学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本看護科学学会／日本母性衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞保健師職能委員長、研修企画「職能主催研修会の企画、看護の日フェア、隔月支部会議&委員会議、その他」（2022年4月～2023年2月、北海道看護協会札幌第一支部）／令和4年度支部長会議「令和4年度北海道看護協会支部長会議、その他」（2022年7月22日、北海道看護協会本部）／講義「看護研究基調講義 看護研究の基礎」（2022年7月26日、市立札幌病院）／講義「地区診断と地区活動」（2022年8月17日、札幌市南区保健福祉課）／講義「地区診断」（2022年9月21日、札幌市豊平区保健福祉課）／桑園地区でのフリースクール設立準備運営会議・学生ボランティア活動支援「フリースクール設立準備会議・運営会議」（2022年9月～2023年3月、桑園フリースクール設立準備会）



## 村松 真澄

＜学術論文＞1.最先端医療の今 畳み込みニューラルネットワークを用いた高齢者の口腔アセスメントの基礎研究（共著、2022年8月、Medical Science Digest、48巻、8号、pp.389-391）／2.ホームホスピス入居者の穏やかさを醸し出すケアへの思い スタッフの語りから（共著、2022年9月、日本在宅ケア学会誌、26巻、1号、pp.129-136）／3.都市部の地域高齢者の身体機能、口腔機能および食生活に関する予備調査 フレイルおよびサルコペニアに着目して（共著、2022年9月、SCU Journal of Design & Nursing、16巻、1号、pp.45-53）／4.Using the Oral Assessment Guide to Predict the Onset of Pneumonia in Residents of Long-Term Care and Welfare Facilities: A One-Year Prospective Cohort Study（共著、2022年10月、Int. J. Environ. Res. Public Health、19巻、21号）／5.Current status and future prospects for oral care education in Bachelor of Nursing curriculums: A Japanese cross-sectional study（共著、2022年11月、Japan Journal of nursing science、20巻）／6.A Survey of Oral Assessment and Healthcare Education at Nursing Schools in Japan（共著、2022年11月、International Dental Journal）／7.チームで進める口腔ケアの実際 第2報（単著、2023年2月、日本口腔ケア学会雑誌、17巻、2号、pp.1-11）

＜調査研究報告書＞1.2021/22年度モニタリンググループ年次報告書（共著、2022年10月、日本公衆衛生学会モニタリング、pp.50-51）

＜学会発表＞1.インプラント周囲炎を伴うパーキンソン病患者への口腔ケア一例（共同、2022年4月、第19回日本口腔ケア学会 総会・学術大会）／2.介護老人福祉施設入所者における歯科受診の有無が口腔に与える影響の検討 1年間前向きコホート研究（共同、2022年5月、第63回日本歯科医療管理学会総会・学術大会）／3.介護老人福祉施設入所者の肺炎発症にOral Assessment Guideは説明変数になりうるか（共同、2022年6月、日本老年歯科医学会第33回学術集会）／4.介護老人福祉施設入所者におけるOAGによる機能障害分類とオーラルディアドコキネシス評価値との関係（共同、2022年6月、日本老年歯科医学会第33回学術集会）／5.服薬数の1年間変化数と肺炎発症との関連 介護老人福祉施設入居者を対象とした1年前向きコホート研究（共同、2022年6月、第63回日本歯科医療管理学会総会・学術大会）／6.特別養護老人ホーム等における入居者のエンドオブライフを支えるケアプロセスとの様相（共同、2022年6月、第27回日本老年看護学会）／7.COVID-19流行下における面会制限により患者およびその家族に生じる影響と医療者が実施した対策についての国内文献検討（共同、2022年10月、第74回北海道公衆衛生学会学術集会）／8.“3A2-D13” 食事介護の基礎的スキルを学習可能な食事介護シミュレータの開発”（共同、2022年12月、第23回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会（SI2022）2022,12.14-16）／9.速報：新型コロナウイルス感染症流行下での台湾北部地方における地域在住高齢者の睡眠と身体活動量との関係（共同、2022年12月、日本看護科学学会第42回学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.歯科口腔保健をきっかけに広げる地域保健の推進と展望～健口づくりから地域包括ケアシステムまで～本学の看護師・保健師教育における歯科保健教育の現状と今後の保健師教育への提案（単独、2022年12月、第11回日本公衆衛生看護学会学術集会）

＜研究会発表等＞1.ディープラーニングを用いた口腔アセスメント（共同、2022年11月、2022年度SCU産学官金研究交流会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本老年看護学会雑誌（1件、日本老年看護学会）／2.日本老年看護学会雑誌（3件、日本老年看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本老年看護学会（代議員）／日本摂食嚥下リハビリテーション学会（評議員）／日本口腔ケア学会（評議員）／北海道公衆衛生学会（評議員）

＜学術集会運営＞第25回日本口腔ケア協会学術大会並びに日本口腔ケア学会秋季大会

＜所属学会・研究会＞日本老年看護学会評議員・査読委員・政策検討委員／日本口腔ケア学会評議員・学術委員／日本摂食嚥下リハビリテーション学会評議員・査読委員／日本公衆衛生学会会員モニタリング委員／北海道公衆衛生学会会員評議員／日本看護教育学会会員／日本地域看護学会会員／日本看護研究学会会員／日本老年歯科医学会会員／日本看護科学学会会員／看護理工学会会員／日本看護技術学会会員／日本看護管理学会会員／日本がん看護学会会員／日本在宅ケア学会会員／日本歯科医療管理学会会員／日本在宅看護学会会員／北海道歯学会会員／日本口腔看護研究会副代表世話人／北海道口腔ケア研究会会員世話人／旭川口腔ケア普及会会員幹事／日本認知症ケア学会／日本高齢者ケアリング学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞旭川口腔ケア普及会幹事（2022年度、上川中部地域歯科保健推進協議会）／2022年度口腔ケア実践WEBセミナーの企画運営（2022年10-11月、日本口腔看護研究



会) / 口腔の評価方法 (OAG) と使い方のコツ「口腔の評価方法 (OAG) と使い方のコツ」 (2023年2月24日、国立病院機構京都医療エンター臨床栄養課) / 看護師の視点から見る摂食嚥下障害一評価のポイントと急性期からできること「看護師の視点から見る摂食嚥下障害一評価のポイントと急性期からできること」 (2023年3月11日、北海道医療大学同窓会コラボ講演会)

## 守村 洋

<学術論文> 1.COVID-19パンデミックにおける非対面型シミュレーション演習の試み (共著、2022年10月、看護人材育成、19巻、4号、pp.78-85) / 2.マルトリートメント・虐待とトラウマインフォームドケア (単著、2023年2月、精神科看護、50巻、3号、pp.18-22)

<著書> 1.精神科看護ポケットガイド (共著、2022年9月、中央法規、9784805887738、pp.189196205-189196205) / 2.根拠がわかる 精神看護技術 第3版 (共著、2023年1月、メヂカルフレンド社、9784839216962、pp.67、pp.78、pp.81、pp.176、pp.189、pp.199、pp.207、pp.210、pp.224、pp.290、pp.297、pp.304-71、pp.96、pp.185、pp.191、pp.204、pp.214、pp.231、pp.295、pp.299、pp.305)

<学会発表> 1.精神看護学シミュレーション教育における当事者参加型演習の取り組み 第1報-当事者とのかかわりから得た学生の学び- (共同、2022年6月、日本精神保健看護学会第32回学術集会・総会) / 2.精神看護学シミュレーション教育における当事者参加型演習の取り組み 第2報~当事者が演習に参加して語ることの意義~ (共同、2022年6月、日本精神保健看護学会第32回学術集会・総会) / 3.トラウマインフォームドケア研修を受講し、看護実践している精神科看護師の変化~意識、態度、関わりに焦点を当てて~ (共同、2022年6月、日本精神保健看護学会第32回学術集会・総会) / 4.精神科医療における暴力のシナリオを用いたシミュレーション教育 一情緒的難易度を考慮した段階的な試み一 (共同、2022年10月、第10回日本シミュレーション医学教育学会) / 5.精神看護学シミュレーション教育の変遷と展望 (共同、2023年2月、第4回日本看護シミュレーションラーニング学会)

<論文査読・学会抄録査読> 1.熊本保健科学大学研究誌 (1件、熊本保健科学大学)

<学会役員就任状況> 日本看護シミュレーションラーニング学会 (代議員)

<所属学会・研究会> 日本精神保健看護学会 / 日本シミュレーション医学教育学会 / 日本看護シミュレーションラーニング学会

<講演会・講習会活動> 教諭向け研修会「自殺予防の取組」 (オンデマンド、札幌市教育委員会) / 市民向け講習会「精神障がい者の病状の不安定さに家族はどう対応すれば良いのか」 (2022年8月20日、NPO法人札家連) / HoPE 北海道中小企業家同友会産学官連携研究会講演会「コロナ禍におけるメンタルヘルス」 (2022年12月14日)

<専門職者・企業・展覧会等への支援> 令和4年度福祉職場におけるメンタルヘルス研修「職場のメンタルヘルス対策と管理者の役割」など (オンデマンド、北海道社会福祉協議会) / メンタルヘルス・スペシャリスト養成講座「精神保健」 (2022年4月24日、10月16日、一般社団法人メンタルケア協会) / 機関紙「心の健康」編集委員 (2022年8月16日、北海道精神保健協会) / 精神科訪問看護基本療養指導に係る研修、札幌第2支部「コロナ禍における看護職のメンタルヘルス~笑顔を取り戻すために~」「精神科訪問看護基本療養指導に係る研修「精神保健福祉の現状と動向」など」 (2022年8月25日、北海道看護協会) / 「コロナ禍における看護職のメンタルヘルス~笑顔を取り戻すために~」 (2022年10月1日) / 令和4年度中空知管内救急研修会「救急現場に必要なメンタルヘルスの知識と実践」 (2023年1月24日、中空知救急連絡協議会)

## 石引 かずみ

<学術論文> 1.Educational significance and challenges of conducting the objective structured clinical examination twice for midwifery students before and after clinical training : A longitudinal single university study during 2014-2019 in Japan (共著、2022年12月、Plos ONE、17巻、12号)

<学会発表> 1.助産学生の分娩介助に関する客観的臨床能力試験 (OSCE) を実習前後に実施することの教育的意義と課題 (共同、2022年12月、日本看護科学学会)

<学術集会運営> 日本遺伝看護学会第21回学術大会

<所属学会・研究会> 日本助産学会 / 日本母性衛生学会 / 北海道母性衛生学会 / 日本看護科学学会 / 日本看護研究学会 / 日本フォレンジック看護学会 / 日本保健医療福祉連携教育学会



### 伊東 健太郎

＜著書＞1.看護実践のための根拠がわかる精神看護技術 第3版（共著、2023年1月、メヂカルフレンド、978-4-8392-1696-2、pp.120-129）／2.看護実践のための根拠がわかる精神看護技術 第3版（共著、2023年1月、メヂカルフレンド、978-4-8392-1696-3、pp.151-153）

＜実践報告書＞1.【より効果を高めるシミュレーション教育の創意工夫】COVID-19パンデミックにおける非対面型シミュレーション演習の試み（共著、2022年10月、看護人材育成、19巻、4号、pp.78-85）

＜学会発表＞1.精神看護シミュレーション教育における当事者参加型演習の取り組み 当事者が演習に参加して語ることの意義（共同、2022年6月、日本精神保健看護学会）／2.精神看護学シミュレーション教育における当事者参加型演習の取り組み（第1報）当事者とのかかわりから得た学生の学び（共同、2022年6月、日本精神保健看護学会）／3.トラウマインフォームドケア研修を受講し、看護実践をしている精神科看護師の変化 意識、態度、関わりに焦点を当てて（共同、2022年6月、日本精神保健看護学会）／4.北海道の過疎地域における精神障害者を支援する際の困難（単独、2022年9月、日本ルーラルナーシング学会）／5.精神科医療における暴力のシナリオを用いたシミュレーション教育 - 情緒的難易度を考慮した段階的な試み-（共同、2022年11月、日本シミュレーション医療教育学会）／6.日本看護科学学会学術集会～当事者参加型の精神看護学シミュレーション教育に参加した当事者の思い～（共同、2022年12月、日本看護科学学会）／7.精神看護学シミュレーション教育の変遷と展望（共同、2023年2月、日本看護シミュレーションラーニング学会）

＜所属学会・研究会＞日本精神保健看護学会／日本看護科学学会／日本看護教育学会／日本自殺予防学会／日本社会精神医学会／日本看護研究学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本シミュレーション医療教育学会／日本ルーラルナーシング学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞現役看護師を中心とした参加者が当事者研究を行い自身のメンタルヘルスについて分析するための支援（毎月、当事者研究会「ぱちぱちの会」）／医療職者が当事者研究を行い、生きづらさについて共有し分かち合う会の支援（毎月、当事者研究「Supaの会」）／当事者研究北海道大会ネットワーク運営の支援（2022年4月～2023年3月、北海道当事者研究ネットワーク）／SST（社会生活技能訓練）の研修（2022年4月26日、すずらん病院）／精神専門看護師および地域福祉事業所支援員への当事者支援の研修（2022年11月29日、胆振いぶり・ひだか児童家庭支援センターしづく）

### 岡 園代

＜著書＞1.助産師基礎教育テキスト第7巻ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア（共著、2023年2月、日本看護協会出版会、978-4-8180-2557-8、pp.253-277）

＜受賞等＞1.学術奨励賞（2022年11月、日本新生児看護学会）

＜学術集会運営＞日本遺伝学会

＜所属学会・研究会＞日本新生児看護学会／日本周産期・新生児医学会／新生児集中ケア認定看護師会

### 鬼塚 美玲

＜学術論文＞1.想像温度による熱中症危険度の判定可能性に関する研究（共著、2022年11月、日本建築学会環境系論文集、87巻、801号、pp.750-758）

＜受賞等＞1.令和2年度日本医療マネジメント学会賞 最優秀論文（2022年7月、日本医療マネジメント学会）

＜学会発表＞1.積雪寒冷期大地震の災害急性期に病院で想定される看護職の健康リスク（共同、2022年8月、第26回日本看護管理学会学術集会）／2.AI技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデルの実証（共同、2022年8月、LIFE2022）／3.積雪寒冷期大地震時の病院での災害看護活動に係るリスク分析の一考察－看護ケアの安全性・適切性への影響度の視点から－（共同、2022年9月、日本災害看護学会第24回年次大会）／4.積雪寒冷期大地震の災害急性期で想定される病院の作業環境リスク（共同、2022年11月、第17回医療の質・安全学会学術集会）／5.Impact of the Blackout in the Hokkaido Eastern Iburi Earthquake on Disaster Nursing Activities in Hospitals（共同、2023年3月、EAFONS2023）

＜研究会発表等＞1.積雪寒冷期大地震の災害急性期に病院で想定される看護職の健康リスク（2022年



11月、SCU産学官金研究交流会)

＜論文査読・学会抄録査読＞1.SCUジャーナル（1件、札幌市立大学）

＜所属学会・研究会＞防衛衛生学会／日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護研究学会／日本医療マネジメント学会／日本職業・災害医学会／日本災害看護学会／日本建築学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道看護協会札幌第1支部助産師職能委員として以下の研修企画・運営を実施、①「CLoCMip<sup>®</sup>関連研修 必須研修【専門的自律能力】後輩指導・助産師教育～明日から活かせる！ウィズコロナ社会の助産師教育をみんなで考えよう！～」、②「働く助産師のメンタルヘルス～ストレスを味方につける！モチベーションマネジメント」（2022年7月23日、北海道看護教育施設教育協議会、北海道看護協会札幌4支部合同助産師職能研修会）／看護教育施設協議会・札幌小樽地区の会議に出席し看護教育に関する動向の把握、看護教員に対する研修の企画等を実施

### 工藤 京子

＜所属学会・研究会＞日本災害医学学会／日本看護科学学会／日本呼吸ケア・リハビリテーション学会／日本看護研究学会／日本認知症ケア学会／日本看護管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞実習指導者1年目への講義「看護基礎教育における実習の意義と指導」「臨床指導者研修Ⅰ」（2022年5月6日、市立札幌病院看護部）／新人看護師への講演「入職6ヶ月以降の過ごし方・働き方を考える」「オンラインチャトル研修」（2022年10月25日、本学卒業生、キャリア支援委員会）

### 黒田 紀子

＜学会集会運営＞第21回日本遺伝看護学会学術大会

＜所属学会・研究会＞日本母性衛生学会／日本新生児看護学会／日本小児保健協会／日本小児看護学会

### 武富 貴久子

＜学術論文＞1.Factors that hinder medical career aspirations: A nationwide questionnaire survey of teachers in charge of career guidance in Japanese high schools. (共著、2022年6月、PloS One、17巻、6号、pp.e0270477-doi: 10.1371/journal.pone.0270477)

＜学会発表＞1.看護実践環境と看護師の心理的エンパワーメントの関連（共同、2022年8月、第26回日本看護管理学会学術集会）／2.中堅看護師が望むリカレント研修（共同、2022年8月、第26回日本看護管理学会学術集会）／3.AI技術×ポジティブヘルス増進による高齢者の社会的つながり創発モデル（共同、2022年8月、LIFE2022）／4.訪問リハビリMaaSによる社会実験（共同、2022年8月、LIFE2022）／5.「心理的安全性」とは何か：看護管理者のマネジメント力を高める協働学習への応用（共同、2022年8月、第26回日本看護管理学会学術集会）／6.院内看護研究研修を基盤とする教育・管理サポートシステムの構築と検証—A病院の7年間の研究成果と研修評価から—（共同、2022年11月、第60回全国自治体病院学会）／7.Effect of information literacy on readiness and confidence for evidence-based nursing（共同、2023年3月、EAFONS 2023 26th East Asian Forum of Nursing Scholars）

＜学会シンポジウム＞1.医学教育研究の基本を学ぶワークショップ（共同、2022年8月、第54回日本医学教育学会大会）

＜論文査読・学会抄録査読＞1.日本看護管理学会誌（1件、日本看護管理学会）／2.SCUジャーナル（1件、SCU）

＜学会役員就任状況＞日本医学教育学会（研究推進委員会）／日本プライマリケア・連合学会（和文誌編集委員会）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本看護教育学学会／日本看護研究学会／日本医学教育学会／日本医療・病院管理学会／日本血管看護研究会／日本公衆衛生学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本プライマリ・ケア連合学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞看護研究指導（2022年4月1日～2023年3月31日、砂川市立病院看護部）／医学OSCE認定標準模擬患者員会（委員）（2022年5月27日就任、公益社団法人医療系大学間教養試験実施評価機構）／OSCE運営支援（標準模擬患者に対する演技および評価の助言）（2022年9月10～11日、10月22日、北海道大学医学研究院）／近畿地区例会における講義「臨床に





おける研究と研究指導のコツ」～研究の苦手意識を吹き飛ばそう～（2022年11月5日、日本看護管理学会）／第84回医学教育セミナーとワークショップ「医療者教育研究、はじめの一步：リサーチクエスションを立ててみよう」（2023年1月26日、岐阜大学医学教育開発研究センター）

### 牧田 靖子

＜受賞等＞1.Student Poster Presentation Award（2022年9月、第41回 JSSTシミュレーション技術国際会議（JSST2022））

＜学会発表＞1.Development of a System to Predict Child Abuse in Newborns（共同、2022年9月、The 41st JSST Annual International Conference on Simulation Technology（JSST2022））／2.乳幼児の親子を対象とした救命処置技術講習会の実施と評価（共同、2022年10月、日本セーフティプロモーション学会第16回学術集会）／3.乳児虐待リスク予測システム（仮称）プロトタイプの開発（共同、2022年11月、超異分野学会 北海道フォーラム2022）

＜所属学会・研究会＞日本小児看護学会／日本小児救急医学会／日本小児集中治療研究会／日本子ども虐待防止学会／日本糖尿病教育・看護学会／日本看護学教育学会／日本看護科学学会／子どもの虐待防止協会／北海道成育看護研究会／北海道地域医療研究会／認定特定非営利活動法人ファミリーハウス

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞初めて医療的ケア児を受け入れる保育園の看護師、保育士への講義（演習）「医療的ケア児とは、医療的ケア児の支援のポイント」（2022年8月）／災害看護研修会2022の実行委員「厳冬期における災害への備えー医療的ケアを必要とする小児と家族のための福祉避難所要件の検討ー」（2022年10月29日、日本小児看護学会災害対策委員会）／終末期の子ども受け入れのためのマニュアル作成（認定特定非営利活動法人ファミリーハウス）／患者会立ち上げ後の活動を支援、また活動後の評価、運営についての助言（毎月1回、小児膠原病の会）／育児相談、保健相談の実施「教えて！ナース」（毎月1回、南区保育・子育て支援センター）

### 三戸部 純子

＜所属学会・研究会＞日本心理学会／看護人間工学会／看護技術学会／医療の質・安全学会

### 矢野 祐美子

＜学会発表＞1.指定インフォメーション・エクスチェンジ5看護管理に資する研究活動の支援（共同、2022年8月、第26回日本看護管理学会学術集会）／2.地方の中小規模病院における看護管理者の継続学習の実態とニーズ（単独、2022年9月、第60回日本医療・病院管理学会学術総会）

＜学会役員就任状況＞日本看護管理学会（学術活動推進委員）

＜学術集会運営＞日本看護管理学会 例会from北海道

＜所属学会・研究会＞日本看護管理学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本看護評価学会／日本医療・病院管理学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞臨床実習指導者導入研修会 研修講師「臨床実習指導者導入研修会」（2022年4月25日、札幌厚生病院）／認定看護管理者北海道・東北ブロック合同研修会 研修講師「コロナ禍での看護師育成支援ー看護基礎教育の現場からー」（2022年7月16日、認定看護管理者会、認定看護管理者会北海道・東北ブロック）／実習指導者研修Ⅰ・プリセプター研修Ⅰ 研修講師「実習指導者研修Ⅰ・プリセプター研修Ⅰ」（2023年1月30日、苫小牧市立病院）

### 山本 真由美

＜学術論文＞1.Educational significance and challenges of conducting the objective structured clinical examination twice for midwifery students before and after clinical training: A longitudinal single university study during 2014–2019 in Japan（共著、2022年12月、PLOS ONE）

＜学術集会運営＞第21回日本遺伝看護学会学術集会

＜所属学会・研究会＞日本助産学会／日本母性衛生学会／日本看護科学学会／日本看護管理学会／日本看護学教育学会／日本看護研究学会／日本看護技術学会／看護理工学会／北海道母性衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞北海道看護協会札幌第1支部助産師職能委員として活動をを行った「CLoCMip®関連研修 必須研修【専門的自律能力】後輩指導・助産師教育～明日から活かせる！ウィズコロナ社会の助産師教育をみんなで考えよう！～」（2022年7月23日、北海道助産師職能札



幌第1支部、北海道看護協会札幌4支部合同助産師職能研修会) / 札幌小樽地区の会議に出席し看護師教育に関する動向を把握する、教員に対する研修の企画等「働く助産師のメンタルヘルス～ストレスを味方につける！モチベーションマネジメント」(2022年7月23日、北海道看護教育施設教育協議会、北海道看護協会札幌4支部合同助産師職能研修会)

### 市戸 優人

＜実践報告等＞1.公衆衛生看護学臨地実習のオリエンテーションにおいて実施した実習の留意事項に関する教育実践—倫理的葛藤事例を用いたケースメソッドの教育的有用性— (共著、2022年5月、保健師教育、6巻、1号、pp.71-79)

＜学会発表＞1.SEX-RELATED THINKING AND BEHAVIOR OF CHILDREN WITH DISABILITIES (共同、2022年4月、EAFONS2022)

＜学会役員就任状況＞日本産業衛生学会北海道地方会看護部会 (日本産業衛生学会北海道地方会看護部会 部会幹事) / 北海道公衆衛生学会 (評議員) / 日本産業衛生学会北海道地方会 (運営委員会)

＜学術集会運営＞第32回日本産業衛生学会全国協議会 研究サポートデスク担当

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会 / 日本産業衛生学会 / 日本公衆衛生学会 / 日本思春期学会 / 日本看護研究学会 / 日本健康学会 / 日本公衆衛生看護学会 / 北海道公衆衛生学会 / 日本地域看護学会 / 日本母性衛生学会

### 大友 舞

＜学術論文＞1.妊娠初期における口腔内自覚症状と関連要因の分析 (共著、2022年4月、口腔衛生学会雑誌、72巻、3号、pp.165-172) / 2.Educational significance and challenges of conducting the objective structured clinical examination twice for midwifery students before and after clinical training: A longitudinal single university study during 2014–2019 in Japan (共著、2022年12月、PLOS ONE、17巻、12号)

＜学会発表＞1.助産学生の分娩介助に関する客観的臨床能力試験 (OSCE) を実習前後に実施することの教育的意義と課題 (共同、2022年12月、第42回日本看護科学学会学術集会)

＜学術集会運営＞第21回日本遺伝看護学会学術大会

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会 / 日本母性衛生学会 / 日本助産学会 / 日本小児看護学会 / 日本母性看護学会 / 日本口腔衛生学会

### 久保田 祥子

＜学術論文＞1.満期単胎骨盤位の一律帝王切開に関する倫理的考察 (単著、2022年9月、CBEL Report、5巻、1号、pp.1-13)

＜学会発表＞1.性的同意概念の分析と教育への示唆 実証研究のシステマティック・レビューを通して (単独、2022年8月、日本思春期学会)

＜学術集会運営＞第21回日本遺伝看護学会学術大会

＜所属学会・研究会＞日本生命倫理学会 / 日本助産学会 / 日本思春期学会

### 栗原 知己

＜学術論文＞1.Effectiveness of Nurse-Led Interventions for the Prevention of Mental Health Issues in Patients Leaving Intensive Care: A systematic Review. (共著、2022年9月、Healthcare (Basel, Switzerland)、10巻、9号) / 2.人工呼吸器ならびにVV-ECMOの管理を要する患者への看護に必要なコンピテンシーに関する調査 (共著、2022年12月、日本クリティカルケア看護学会誌、18巻、pp.92-100) / 3.Appetite loss and associated factors at 1 year after intensive care unit elder survivors in a secondary analysis of the SMAP-HoPe study. (共著、2023年1月、Scientific reports、13巻、1号) / 4.Clinical practice competencies for standard critical care nursing: consensus statement based on a systematic review and Delphi survey. (共著、2023年1月、BMJ open、13巻、1号)

＜実践報告書＞1.救急看護後技術の極意-しくじりはこれでさよなら 酸素療法 (共著、2022年6月、メディカ出版、35巻、3号、pp.311-315) / 2.救急看護後技術の極意-しくじりはこれでさよなら ECMO (介助) (共著、2022年6月、メディカ出版、35巻、3号、pp.366-370) / 3.ICU退室後のうつ



症状は予防できるのか（共著、2022年8月、学研メディカル秀潤社、9巻、3号、pp.19-23）

＜資料＞1.ECMO装着患者の病院間搬送における看護師の活動報告（共著、2022年5月、日本救急看護学会雑誌、24巻、pp.29-32）

＜受賞等＞1.優秀演題賞（2022年6月、第18回クリティカルケア看護学会学術集会）

＜学会発表＞1.緊急入院患者の人工呼吸管理とICU退室1年後のメンタルヘルスの関連性・Propensity score IPTWによる分析（共同、2022年6月、第18回クリティカルケア看護学会学術集会）

＜学会シンポジウム＞1.重症患者の栄養管理～摂食機能回復への取り組み（単独、2022年6月、第18回クリティカルケア看護学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞一般社団法人 日本集中治療医学会（看護教育委員会 委員）／一般社団法人 日本救急看護学会（外傷看護委員会小委員会 委員）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本救急看護学会／日本クリティカルケア看護学会／日本集中治療医学会／日本看護管理学会／日本看護研究学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞Web版 外傷初期看護セミナー インストラクター業務「外傷初期看護セミナー（JNTEC）」（2022年8月7日、日本救急看護学会）／「ICUセミナー中級編」のセミナー講師（オンデマンド動画配信）「ICUセミナー 中級編」急性呼吸窮迫症候群の治療（2022年9月1日～30日、日本集中治療医学会）

### 近藤 圭子

＜学術論文＞1.都市部に居住する高齢者のうつ傾向とソーシャル・キャピタルとの関連（共著、2023年3月、北海道公衆衛生学雑誌、36巻、2号、pp.81-88）／2.都市部の地域高齢者の身体機能、口腔機能および食生活に関する予備調査-フレイルおよびサルコペニアに着目して-（共著、2022年、SCU Journal of Design & Nursing Vol.16, No.1, pp.45-53）

＜調査研究報告書＞1.寒冷な特別豪雪地帯の高齢者に対する健康啓発プログラムの開発（2023年2月）

＜実践報告書＞1.公衆衛生看護学臨地実習のオリエンテーションにおいて実施した実習の留意事項に関する教育実践（共著、2022年5月、保健師教育、6巻、1号、pp.1-9）

＜学会発表＞1.医療過疎地域における高齢者の医療受診状況と予防的保健行動について（単独、2023年3月、第93回日本衛生学会学術総会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（北海道公衆衛生学会評議員）

＜所属学会・研究会＞日本プライマリ・ケア連合学会／日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本在宅ケア学会／北海道公衆衛生学会／日本農村医学会／日本衛生学会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞非営利地域団体によるフリースクール運営のための学生参加、フリースクール運営のための助言や学生ボランティアのサポート（2022年9月～、フリースクール「うめむすび」）／看護職能団体として看護の質向上、看護職が働き続けられる環境づくり、ニーズに応える看護の提供（2023年3月～、北海道看護協会保健師職能委員会）

### 坂本 結城

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞2022年度日本小児看護学会災害看護研修会の実行委員「厳冬期における災害への備えー医療的ケアを必要とする小児と家族のための福祉避難所要件の検討ー」（2022年10月29日、日本小児看護学会災害対策委員会）

### 渋谷 友紀

＜学術論文＞1.COVID-19パンデミックにおける非対面型シミュレーション演習の試み（共著、2022年10月、看護人材育成、19巻、4号、pp.78-110）

＜著書＞1.看護実践のための根拠がわかる精神看護技術第3版（共著、2023年1月、メヂカルフレンド社、9784839216962、pp.162-164）

＜実践報告書＞1.サービスデザイン手法を応用した教材作成方法に関する研究-ユーザーの行動を中心としたアプローチにより意欲を引き出す試み（共著、2023年1月、日本デザイン学会、69巻、3号、pp.51-60）

＜学会発表＞1.精神看護学シミュレーション教育における当事者参加型演習の取り組み第1報-当事者と



のかかわりから得た学生の学び（共同、2022年6月、第32回日本精神保健看護学会学術集会）／2.精神看護学シミュレーション教育における当事者参加型演習の取り組み第2報-当事者が演習に参加して語ることの意義（共同、2022年6月、第32回日本精神保健看護学会学術集会）／3.精神科医療における暴力のシナリオを用いたシミュレーション教育-情緒的難易度を考慮した段階的な試み（共同、2022年10月、第10回日本シミュレーション医療教育学会学術集会）／4.リカバリーの視点で当事者の全体像を捉えるための取り組み-当事者参加型演習における学びのレポート分析から（共同、2022年12月、第42回日本看護科学学会学術集会）／5.当事者参加型の精神看護学シミュレーション教育に参加した当事者の思い（共同、2022年12月、第42回日本看護科学学会学術集会）／6.精神看護学シミュレーション教育の変遷と展望（共同、2023年2月、第4回日本看護シミュレーションラーニング学会）

＜研究会発表等＞1.人間中心設計プロセスの教育への応用に関する研究-人を変えるサービスデザインとしての看護学校教員用教材開発（共同、2022年6月、2022年度春季HCD研究発表会）

＜所属学会・研究会＞特定非営利活動法人 人間中心設計推進機構／日本精神保健看護学会／日本シミュレーション医療教育学会／日本看護科学学会／日本看護シミュレーションラーニング学会／日本看護学教育学会／日本看護研究学会／日本デザイン学会／日本教育工学会

### 田中 里江

＜学術論文＞1.都市部に居住する高齢者のうつ傾向とソーシャル・キャピタルとの関連（共著、2023年3月、北海道公衆衛生学雑誌、36巻、2号、pp.81-88）

＜実践報告書＞1.公衆衛生看護学臨地実習のオリエンテーションにおいて実施した実習の留意事項に関する教育実践—倫理的葛藤事例を用いたケースメソッドの教育的有用性—（共著、2022年5月、保健師教育、6巻、1号、pp.71-79）

＜学会発表＞1.中堅看護師が望むリカレント教育～テーマティック・アナリシス法によるインタビュー分析～（共同、2022年8月、第26回日本看護管理学会学術集会）／2.タブレットを用いた孤独死対応の記録用アプリケーションの開発（共同、2022年9月、第9回日本フォレンジック看護学会学術集会）

＜学会役員就任状況＞北海道公衆衛生学会（評議員）

＜所属学会・研究会＞日本公衆衛生看護学会／日本地域看護学会／日本公衆衛生学会／北海道公衆衛生学会／日本看護科学学会／日本看護学教育学会／日本災害看護学会／教育システム情報学会／日本フォレンジック看護学会／日本医療教授システム学学会／日本教育工学学会／日本看護管理学会

### 平山 憲吾

＜調査研究報告書＞1.「化学療法を継続する進行高齢がん患者における意思決定支援モデルの開発と検証」令和3年度科研費研究成果報告書（単著、2022年12月）

＜学会発表＞1.進行がんを有する高齢患者の化学療法継続における意思決定の構造（単独、2022年12月、日本看護科学学会）／2.外見の変化を体験したがんサバイバーのヘルスリテラシーの実態（共同、2023年2月、日本がん看護学会）／3.外見の変化を体験したがんサバイバーのヘルスリテラシーに関するアンメットニーズ（共同、2023年2月、日本がん看護学会）

＜学会役員就任状況＞日本専門看護師協議会（研修委員会 北海道地区ワーキング委員）／看護総合科学研究会（総務）

＜所属学会・研究会＞日本看護科学学会／日本がん看護学会／日本専門看護師協議会／日本老年医学会／日本老年看護学会／日本在宅ケア学会／日本健康医学会／看護総合科学研究会

＜専門職者・企業・展覧会等への支援＞日本看護協会が定める資格認定制度である専門看護師に対する研修会の実施「CNSのための役割開発」（2022年12月11日、日本専門看護師協議会 研修委員会）

### 吉田 実和

＜学会発表＞1.看護教育のための血圧測定を入力インターフェースとして用いたゲームの試作（共同、2023年3月、情報処理学会インタラクティブ2023）

＜所属学会・研究会＞日本看護学教育学会／日本看護技術学会／日本看護研究学会／日本看護科学学会／看護理工学会



## AITセンター

## 高橋 尚人

＜学術論文＞1.札幌市における防災・減災のデジタル化に関する基礎的研究（単著、2022年9月第21回情報科学技術フォーラム（FIT2022））／2.札幌市の幹線道路排雪作業の最適化（共著、2022年9月第21回情報科学技術フォーラム（FIT2022））／3.2022年2月の札幌圏での大雪時のTwitterデータおよび人流データ分析（単著、2022年11月寒地技術論文・報告集Vol.38）／4.共著・筆頭：深層学習を用いた滑走路面状態の判別に関する研究（共著、2022年11月寒地技術論文・報告集Vol.38）

＜寄稿＞1.AIを活用した排雪作業の最適化（単著、2022年4月、日本雪工学会誌Vol.38 No.2）／2.畳み込みニューラルネットワークを用いた高齢者の口腔アセスメントの基礎研究（共著、2022年8月、メディカル・サイエンス・ダイジェスト2022年8月号）／3.AIが拓く土木の未来（単著、2023年1月、草野作工ウェブサイト）

＜学会発表＞1.口腔関連Quality of Life対応の口腔内所見評価モデル開発の予備的検討（共同、日本補綴歯科学会第131回学術大会、2022年7月）／2.主咀嚼側における咀嚼機能評価に基づく下顎運動経路モデル作成のための基礎的検討（共同、日本補綴歯科学会第131回学術大会、2022年7月）／3.2022年2月の札幌圏での大雪時のTwitterデータ分析（単独、雪氷研究大会（2021・札幌）、2022年10月）／4.プロピオン酸ナトリウムを活用した新たな凍結防止剤の導入検証（共同、第34回ゆきみらい研究発表会論文集、2023年2月）／5.ICU入室患者の退室1年後における就業状況を予測するモデル作成の試行（共同、第50回日本集中治療医学会学術集会、2023年3月）

＜学会座長就任状況＞雪氷研究大会（2022・札幌）（2022年10月、日本雪氷学会・日本雪工学会）／第38回寒地技術シンポジウム（2022年11月、北海道開発技術センター）

＜学会役員就任状況＞日本雪氷学会（北海道支部 理事）

＜学術集会運営＞雪氷研究大会（2022・札幌）（日本雪氷学会・日本雪工学会）

＜所属学会・研究会＞土木学会／日本雪氷学会／情報処理学会／日本看護科学学会

＜講演会・講習会活動＞雪氷研究大会（2022・札幌）「2021/22 札幌圏を襲った大雪を振りかえる」  
「コネクティッドカーデータを活用した冬期路面評価」（2022年10月4日、日本雪氷学会・日本雪工学会）／DXゼミナールin札幌 Vol.3「データ活用のモデルケース」（2022年10月21日、さっぽろ産業振興財団）／市立旭丘札幌高等学校 出前授業「AIとまちづくり」（2022年12月10日・12日、市立旭丘札幌高等学校）

「札幌市立大学のシンボルマークについて」

札幌市立大学のシンボルマークは、  
英国の著名なクリエイティブグループtomatoの  
ジョン・ワーウィッカー氏によってデザインされました。  
雪の結晶のイメージは、札幌の自然環境を特徴づけると共に、  
大学での学習過程を図像的にあらわしたものです。(登録商標)



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY

札幌市立大学年報 2022年度 第17号

編集 広報室

担当事務 経営企画課

発行日 2023年12月31日

発行 札幌市立大学

〒005-0864 北海道札幌市南区芸術の森1丁目

TEL : 011-592-2300 FAX : 011-592-2369

URL <https://www.scu.ac.jp>